

Yanaginogosho Site

The 83th Excavation Report of the Local Government Office in Hiraizumi of the 12th Century



2023

Iwate Board of Education , JAPAN

岩手県文化財調査報告書第166集

平泉遺跡群発掘調査報告書

柳之御所遺跡

岩手県教育委員会

岩手県文化財調査報告書第166集
平泉遺跡群発掘調査報告書

柳之御所遺跡

第83次発掘調査概報

2023

岩手県教育委員会



岩手県文化財調査報告書第166集
平泉遺跡群発掘調査報告書

柳之御所遺跡

第83次発掘調査概報

2023

岩手県教育委員会

序

平泉町に所在する柳之御所遺跡は、平安時代末期の約100年間にわたり北方の王者として繁栄を誇った奥州藤原氏が残した遺跡で、特別史跡中尊寺境内、特別史跡毛越寺境内附鎮守社跡、特別史跡無量光院跡などの文化財と並び、当時の平泉の核をなしていた遺跡の一つです。本遺跡は、昭和63年から（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、平泉町教育委員会が実施した一級河川北上川上流改修一関遊水地事業及び国道4号改修平泉バイパス建設事業に伴う緊急発掘調査により、大規模な掘立柱建物跡・園池跡・堀跡などが確認され、また、膨大な量のかわらけや各種木製品など、質・量ともに卓越した遺物が出土いたしました。これらの豊富な遺構・遺物により、本遺跡が『吾妻鏡』に記された「平泉館」であることが指摘されています。

本遺跡は、建設省（現国土交通省）の御理解により、平成5年には遺跡の保存が決定し、平成9年3月に『柳之御所遺跡』として国の史跡に指定されました。県では、本遺跡が国民共有の貴重な財産であるとの認識から、史跡公園として整備し後世に伝えるとともに、広く活用していきたいと考え、平成10年度から史跡整備に向けた発掘調査を実施してきました。平成21年度からは、史跡公園として公開し、これまで多くの方々に御来園いただいております。

また、平成23年に「平泉」が世界遺産に登録されました。柳之御所遺跡は平成24年に暫定リストに登録されたことから、その価値評価に向けて活動を継続しているところです。

加えて、「平泉」の価値を広く世界中に伝え、人類共通の財産として後世へ継承するための拠点施設として、平成3年11月20日に、岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンターが柳之御所史跡公園内に開館しました。本施設は、①世界遺産「平泉」の価値を発信する機能、②来館いただいた方々に「平泉」を紹介する道しるべとなる機能、③これまでの柳之御所遺跡の発掘調査の成果を報告する機能、を持ち合わせた施設となっており、引き続き柳之御所遺跡の発掘調査の成果を蓄積し、県民の皆様へ成果を還元していくとともに、今後の史跡整備等に役立てて参ります。

最後に、発掘調査の実施と報告書作成にあたり、御指導・御協力を賜りました平泉遺跡群調査整備指導委員会の委員、文化庁、（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、平泉町教育委員会、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所をはじめ関係各位に深く感謝申し上げますとともに、本書が平泉文化研究発展の一助になれば幸いです。

令和5年3月

岩手県教育委員会

教育長 佐藤 博

例 言

1. 本書は、岩手県教育委員会が令和3年度に実施した柳之御所遺跡整備調査事業に係る、史跡柳之御所遺跡の発掘調査の概要報告である。調査期間は令和3年6月1日～10月31日である。
2. 本事業は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課が主体となり、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに業務の一部を委託して実施した。
3. 遺構の呼称は、昭和63年度に(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した調査時の方法に準拠し、下記の略称を使用し、本書でも記載している。遺構名の記載については遺構略号の前に調査次数を付してある。なお、複数年次にわたる調査で明らかに同一と認定される遺構については当初の調査時の遺構名を継続して使用した。
SA：塀・柱列 SC：道路状遺構 SD：溝・堀 SE：井戸・井戸状遺構
SK：土坑・柱穴の一部 SX：その他 P：柱穴
例：83SD1 第83次調査の第1号溝
4. 図版、写真図版、遺物観察表中の遺物番号は共通である。遺物の実測図については縮尺1/3を基本にし、スケールを図中に表示した。遺構・遺物写真については縮尺不定である。
5. 野外調査は、生涯学習文化財課柳之御所担当中村孝・(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの北村忠昭が担当した。本書に係る執筆はⅡ章を北村忠昭が、それ以外を中村孝がおこなった。また編集は(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター西澤正晴が行った。
6. 調査成果の一部については、平泉遺跡群調査整備指導委員会や平泉学フォーラム等で公表してきたが、本書の内容が優先するものである。
7. 遺構の埋土観察、遺物の色調観察は、『新版標準土色帖』を参考にした。
8. 後述する平泉遺跡群調査整備指導委員会の先生方をはじめとして、下記の機関・方々の御協力を得た。
岩手県立博物館 平泉文化遺産センター
島原弘征 菅原計二 鈴木江利子 鈴木博之 八重樫忠郎 (50音順：敬称略)
9. 本事業に係る調査で得られた諸記録及び出土遺物は岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンターで保管している。

目 次

I 序 論	1
1 遺跡の位置と調査経緯	1
2 調査計画及び平泉遺跡群調査整備指導委員会	3
3 令和3年度の調査	5
II 調査内容	9
1 調査の概要	9
2 検出遺構	11
3 出土遺物	53
III 総 括	71

挿 図 目 次

図1 遺跡位置図 (1/50000)	2	図20 83SA1~4平断面図	41
図2 調査区位置図 (1/1500)	6	図21 83SX3平断面図	43
図3 遺構配置図 (1/400)	10	図22 83SX1平断面図	44
図4 72SD2・83SK5平断面図	12	図23 整地層	46
図5 80SC1平面図 (1/200)	14	図24 出土遺物1	53
図6 80SC1平断面図1 (1/50)	16	図25 出土遺物2	56
図7 80SC1平断面図2 (1/50)	17	図26 出土遺物3	57
図8 80SC1平断面図3 (1/50)	18	図27 出土遺物4	59
図9 80SC2平面図 (1/200)	20	図28 出土遺物5	60
図10 80SC2平断面図1 (1/50)	21	図29 出土遺物6	61
図11 80SC2平断面図2 (1/50)	22	図30 出土遺物7	62
図12 73SD7平断面図	25	図31 出土遺物8	63
図13 83SD3~6・9・11・12・24~27平面図	27	図32 出土遺物9	64
図14 83SD3~5平断面図	28	図33 出土遺物10	66
図15 83SD4・5平断面図	30	図34 出土遺物11	67
図16 83SD6・9・11平断面図	32	図35 出土遺物12	68
図17 83SD8・12・24平断面図	36	図36 出土遺物13	69
図18 83SD10・25~27平断面図	37	図37 出土遺物14	70
図19 83SA1~5平面図	39	図38 道路側溝接続模式図	71
		図39 道路跡想定図 (1/400)	73

挿 表 目 次

表1 発掘調査年次計画 3	表5 かわらけ観察表・登録台帳 75
表2 平泉遺跡群調査整備指導委員会 3	表6 国産陶器観察表・登録台帳 86
表3 平泉遺跡群調査整備指導委員会協議事項 4	表7 輸入陶磁器観察表・登録台帳 103
表4 第83次調査出土遺物数量表 54	表8 瓦観察表・登録台帳 104
	表9 石製品観察表・登録台帳 104

写 真 図 版 目 次

写真図版1 遺構 調査区全景	写真図版15 遺物 土器・陶磁器類③
写真図版2 遺構 72SD2	写真図版16 遺物 土器・陶磁器類④
写真図版3 遺構 83SK5・80SC1～2・83SD2	写真図版17 遺物 土器・陶磁器類⑤
写真図版4 遺構 83SD2断面1	写真図版18 遺物 土器・陶磁器類⑥
写真図版5 遺構 83SD2断面2・29SD1	写真図版19 遺物 土器・陶磁器類⑦
写真図版6 遺構 83SD1①	写真図版20 遺物 土器・陶磁器類⑧
写真図版7 遺構 83SD1②・83SD4・10・ 83SA3	写真図版21 遺物 土器・陶磁器類⑨
写真図版8 遺構 73SD7・83SD10・11・ 83SD4・5	写真図版22 遺物 土器・陶磁器類⑩
写真図版9 遺構 83SD5・6・9	写真図版23 遺物 土器・陶磁器類⑪
写真図版10 遺構 83SD10・25・26・27・83SX3	写真図版24 遺物 土器・陶磁器類⑫
写真図版11 遺構 83SX1①	写真図版25 遺物 土器・陶磁器類⑬
写真図版12 遺構 83SX1②・整地層	写真図版26 遺物 土器・陶磁器類⑭
写真図版13 遺物 土器・陶磁器類①	写真図版27 遺物 土器・陶磁器類⑮
写真図版14 遺物 土器・陶磁器類②	写真図版28 遺物 土器・陶磁器類⑯
	写真図版29 遺物 土器・陶磁器類⑰

I 序 論

1 遺跡の位置と調査経緯

柳之御所遺跡は、岩手県西磐井郡平泉町平泉字柳御所に所在し、緯度・経度は北緯38度59分28秒、東経141度7分35秒（旧日本測地系）である（図1）。遺跡の背後（北東側）には高館の丘陵があり、東に北上川、西から南かけて猫間が淵と呼称される低地によって区切られた河岸段丘上に立地する。遺跡内の標高は南側で25.3m、中心部で27m、北側で32mであり、北西側が高く、南東側に傾斜している。遺跡の北側の一部は北上川の流路により浸食されたと考えられるため、本来の遺跡の形状には不明な点が残る。遺跡の範囲は調査前には住宅地と田畑があった場所で、緊急調査後に岩手県による公有地化が行われている。

この遺跡は本格的な発掘調査の開始以前から奥州藤原氏に関連する内容をもつことが想定されていたが、多くは北上川の洪水等により削平を受けて失われたものと考えられていた。そのため、遺跡は一閑遊水地事業や国道4号バイパス事業に伴い、大規模な発掘調査が行われることとなった。調査開始以前の予想に反して、調査当初より多くの遺構・遺物が確認され、調査の進展に伴って内容が明らかになり、その価値が高く評価されることとなった（財 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995）。この成果を受けて遺跡の保存運動が高まり、建設省（現国土交通省）や関係機関の尽力により遺跡の保存が決定し、治水と遺跡保護との両立が図られることとなった。その後、平成9年に史跡指定され、以降順次史跡範囲を広げながら現在に至っている。岩手県教育委員会では遺跡が国の史跡に指定されたことから、史跡公園として整備し保存活用を図るため、文化庁及び柳之御所遺跡調査研究指導委員会（現平泉遺跡群調査整備指導委員会）の指導助言を得て、平成10年度から主に未調査区域を対象とした内容確認の発掘調査を計画し、継続して実施している。これまでの調査は当面の整備対象となる堀内部地区を中心に行ってきた。これらの調査により、堀内部地区の大部分が調査され、遺構遺物の両面から研究が深化している。平成30年度には堀内部地区の総括報告書が刊行され、堀内部地区の調査は一区切りを迎え、同年より堀外部地区の調査を開始している。この調査に先立つ堀外部地区の調査は一閑遊水地事業や国道4号バイパス事業に伴い、平泉町教育委員会が行っており、報告書が刊行されている。その後も平泉町教育委員会による小規模な調査が行われてきている。なお、柳之御所遺跡堀内部地区は、平成22年より史跡公園として公開を行い、現在も史跡整備工事を継続している。

柳之御所遺跡の周辺には、西には隣接して猫間が淵跡、無量光院跡が位置し、北には高館跡、南には伽羅御所跡が接している。無量光院跡はこれまでの発掘調査で、宇治平等院と類似しつつも、細部で異なる伽藍の内容が確認されている。伽羅御所跡は地名から『吾妻鏡』に記載される伽羅御所に比定する見解もある。これまで複数の地点で調査が行われ、貴重な遺物も出土しているが、小規模の発掘調査にとどまり遺跡の様相や性格を明確に示すものは確認されていない。近年の調査により周辺部で溝跡等も確認されており、区画の様相も検討されつつある。平泉町内ではこの他に志羅山遺跡や泉屋遺跡、倉町遺跡といった当時の平泉の街並みに関連する遺跡が調査されている。北上川を挟んだ東岸域や衣川を挟んで北側の奥州市接待館遺跡、白鳥館遺跡などの調査も行われており、当時の平泉に関連する遺跡の分布範囲が周辺に広がることが明らかになってきている。

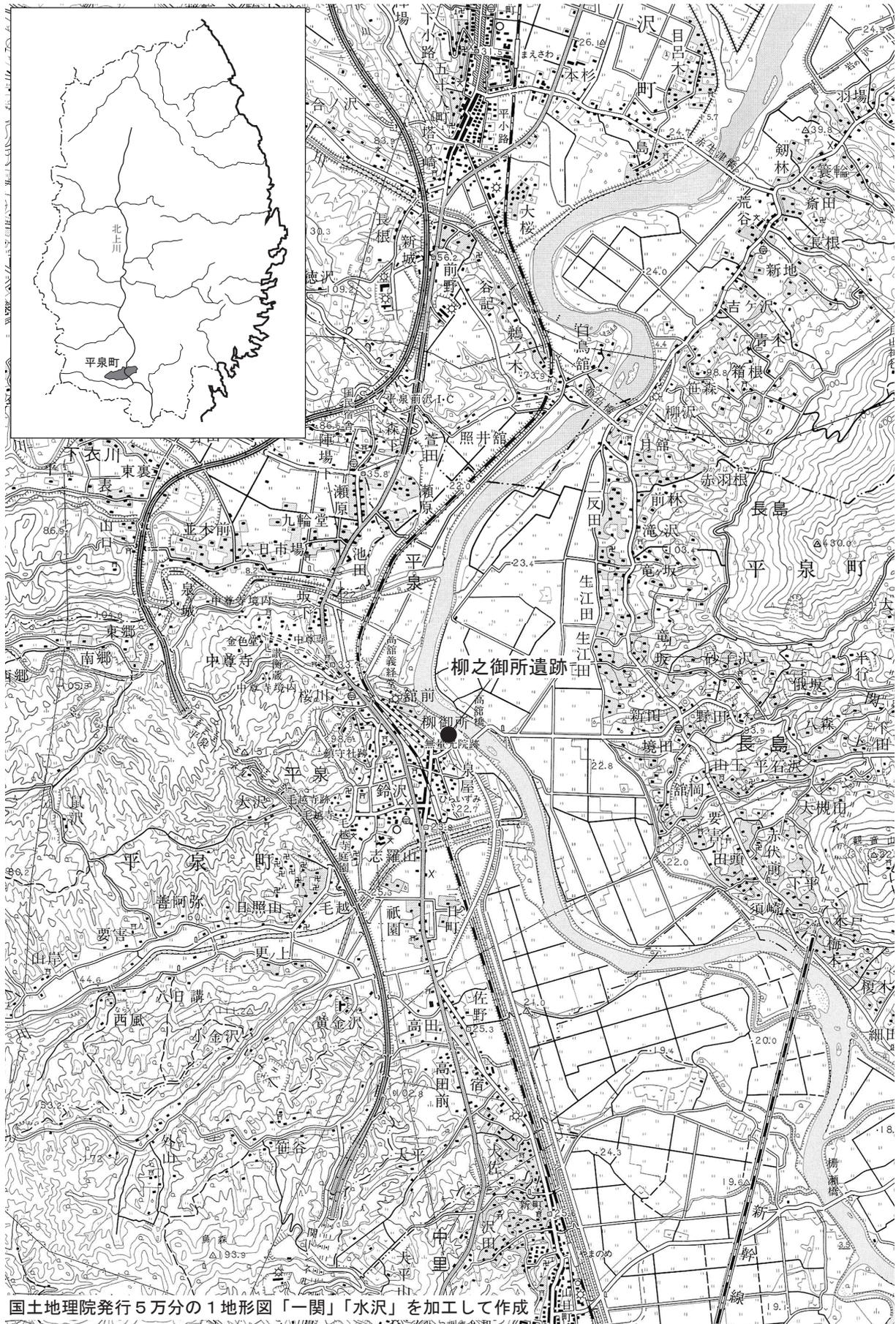


図1 遺跡位置図 (1/50000)

2 調査計画及び平泉遺跡群調査整備指導委員会

岩手県教育委員会では柳之御所遺跡の調査を、下表のとおり計画を立てて進めている（表1）。

令和3年度調査（第83次）は堀外部地区の第2次計画の1年目にあたる。第1次計画は道路状遺構を中心に発掘調査を行い、道路状遺構の延伸方向の確認、構築時期の確認、道路状遺構と直交する区画との関係確認等の検討と整備に関わるデータ収集を主な目的とした。第83次調査を含む計画については表1に示した。

調査整備に関しては平成10年度から「柳之御所遺跡調査研究指導委員会」を設置し、柳之御所遺跡及び平泉遺跡群の発掘調査及び調査研究に対して指導助言を得てきた。平成12年に名称を「柳之御所遺跡調査整備指導委員会」に改め、平成15年度には世界遺産登録に向けた周辺遺跡の検討の必要性から「平泉遺跡群調査整備指導委員会」と改称した（表2）。令和3年度の委員会・専門部会は表3の通り開催した。

表1 発掘調査年次計画

	目 的	年 次 調 査 次 数	調 査 内 容 等	調 査 面 積	調 査 期 間	備 考	
△道路跡の検討 第1次計画	■ 走行方向など ■ 遺構変遷 （年代の位置付け） ■ 区画との関係	平成30年度 第80次	・ 既調査範囲での道路状遺構を再確認し、次年度以降の遺構検出の資料とする。 ・ 走行方向を確認し、整備検討の資料を得る。 ・ 未調査範囲の遺構状況を把握する。	800㎡	6月4日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む	
		平成31年度 第81次 令和元年度	・ 遺構残存が良好とみられる範囲で、道路状遺構の年代検討の資料を得る。 ・ 道路状遺構と区画の検討資料を得る。	800㎡	6月6日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む	
		「堀外部地区と堀内部地区との関係性」 第3期研究計画（テーマ） について	令和2年度 第82次	・ 遺構残存が良好とみられる範囲で、道路状遺構の延伸方向を確認する。 ・ 道路と区画の検討資料を得る。 ・ 3ヵ年の調査を踏まえ、道路状遺構の延伸や年代等の見通しを得る。	800㎡	6月1日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む
			令和3年度 第83次	・ 内部に近い範囲での区画の在り方や年代、遺構の様相を把握する。 ・ 遺構の様相を把握し、検討資料を得る。	800㎡	6月1日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む
△区画の検討 第2次計画	■ 区画の年代 ■ 区画の変遷 ■ 区画内の様相	令和4年度 第84次	・ 道路状遺構南側の遺構の様相を把握する。 ・ 道路状遺構南側の土地利用に関する検討資料を得る。	800㎡			
		令和5年度 第85次	・ 未調査範囲での遺構状況を把握する。 ・ 区画の有無などを含めて道路状遺構北側との比較検討の資料を得る。	800㎡			
		研究総括年度	令和6年度 第86次	・ 道路状遺構や区画の在り方、年代を確定するための補足調査（予定）。 ・ 関連遺跡や過去の調査との比較検討。 ・ 堀外部地区総括報告書を刊行。	800㎡		

表2 平泉遺跡群調査整備指導委員会

（令和3年4月現在、役職は当時）

氏 名	役 職	専門部会 （○は部会長）
入間田宣夫	東北大学名誉教授	整備・ガイダンス
遠藤セツ子	平泉メビウスの会事務局	整備
小野 正敏	国立歴史民俗博物館名誉教授	遺構・○ガイダンス
坂井 秀弥	公益財団法人 大阪府文化財センター理事長	遺構・保存管理
斉藤 利男	弘前大学名誉教授、弘前学院大学特任教授	遺構
清水 擴	東京工芸大学工学部名誉教授	遺構
清水 真一	徳島文理大学文学部教授	遺構・整備
関宮 治良	前平泉町商工会議所事務局長	整備・保存管理
田中 哲雄	前東北芸術工科大学教授	○整備・保存管理
◎田辺 征夫	一般財団法人 仏教美術協会理事長	
玉井 哲雄	国立歴史民俗博物館名誉教授	○遺構
西村 幸夫	國學院大學新学部設置準備室長・教授	保存管理・ガイダンス

※ ◎委員長 遺構：遺構検討部会、整備：整備検討部会、保存：保存管理計画検討部会
ガイダンス：「平泉の文化遺産」ガイダンス施設整備検討部会

表3 平泉遺跡群調査整備指導委員会協議事項

回	日時	内容
第1回整備・遺構・ 保存管理・ガイダンス 検討合同部会	R3.6.11	遺産影響評価基準等報告書について
		「平泉文化の総合的研究基本計画」第3期計画
		平泉の文化遺産ガイダンス施設（仮称）の概要について
		令和2年度3月委員会における書面連絡内容について
		「平泉の文化遺産」ガイダンス施設（仮称）の展示内容について
		グラフィック、ジオラマ模型、映像コンテンツについて
		今年度の柳之御所遺跡の調査・整備について
		今年度の旧観自在王院の調査について
		今年度の無量光院跡の整備について
第1回平泉遺跡群調査 整備指導委員会	R3.9.14	平泉世界遺産ガイダンスセンターについて
		柳之御所遺跡堀内部地区整備報告書作成について
		今年度の柳之御所遺跡の調査・整備について
		今年度の旧観自在王院の調査について
		今年度の無量光院跡の整備について
		「平泉の文化遺産」関連遺跡の調査について
第2回整備・遺構 合同部会	R3.12.15	平泉世界遺産ガイダンスセンターの開館について
		柳之御所遺跡堀内部地区第I-2期整備報告書について
		柳之御所遺跡の調査・整備について
		旧観自在王院庭園の調査について
		無量光院跡の整備について
		「平泉の文化遺産」関連遺跡の調査について
第2回平泉遺跡群調査 整備指導委員会	R4.2.17	柳之御所遺跡の調査・整備について
		名勝旧観自在王院庭園の調査について
		無量光院跡の整備について
		「平泉の文化遺産」関連遺跡の調査について

3 令和3年度の調査（図2）

(1) 調査体制（令和3年4月現在）

<岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課>

総括課長	藤原 安生
文化財課長	岩渕 計
上席文化財専門員	大道 篤史（文化スポーツ部文化振興課兼任）
上席文化財専門員	戸根 貴之（文化スポーツ部文化振興課兼任）
主任主査	作山 雄一（文化スポーツ部文化振興課兼任）
文化財専門員	千葉 正彦（文化スポーツ部文化振興課兼任）
文化財調査員	中村 孝（文化スポーツ部文化振興課兼任）

<岩手県文化スポーツ部文化振興課>

総括課長	岡部 春美
世界遺産課長	佐藤 嘉広

<（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター>

所長	齊藤 邦雄
主任文化財専門員	北村 忠昭

(2) 調査区の位置と調査目的

令和3年度調査（第83次）は堀内部地区に近い範囲で未調査範囲を主な対象とした（図2）。近年まで宅地等が所在し、これまで未調査の範囲で遺構の分布状況等に不明な点が多い。

今回の調査目的は大きく分けて2つある。

一つは堀外部地区東辺部での道路状遺構のあり方、道路状遺構と堀跡との関係の把握である。

平成3年度に平泉町教育委員会により実施された第32次調査や、平成30年度以降に実施した第80次調査、第81次調査、第82次調査において2条の道路状遺構とその先後関係を確認している。一方、平成23年に実施した第73次調査では道路跡の可能性のある2条の溝跡が検出されており、道路の延伸方向と構築時期の確認を行いつつ、併せて道路状遺構と道路の可能性のある2条の溝跡の関係を把握することを目的とした。

もう一つは、堀外部地区東辺部での遺構の様相、区画のあり方、年代の把握である。

道路状遺構の北側は平泉町教育委員会が実施した調査によって区画の存在が確認され、区画のあり方によって3時期程度の変遷が想定されているが、今回の調査箇所については未調査であることから、遺構の分布や変遷等は不明である。そのため、堀外部地区東辺部における遺構の様相、区画のあり方及び年代を解明する材料を得ることを目的とした。

なお、調査は遺構の分布や所属時期の確定、遺構の性格等を把握することを目的としているが、遺構の保存のために、精査の際の掘削は必要最小限にとどめている。調査終了後は、調査区全体と一部の掘削を行った遺構についてはいずれも砂の埋め戻しによる保護層を確保した上で、調査以前の地形に合わせて埋め戻しを行い、遺構の保護を図っている。

3 令和3年度の調査



図2 調査区位置図 (1/1500)

(3) 調査の方法

グリッド

柳之御所遺跡の調査に際しては、遺構の測量や遺物の取り上げなどの作業に際し、基準としてグリッドを設定している。このグリッドは（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが1988年から始まる緊急調査に際し平泉町教育委員会と協議のうえ設定したものである（財 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995）。平面直角座標第X系(旧日本測地系)をもとにした5×5mグリッドで、南北方向の基準線に対し真北は、西に0°11'振れる。遺跡範囲の北西端辺りが原点(0,0)となる。

なお、第49次調査まではグリッドの呼称をX座標方向、Y座標方向の順にしていたが、第50次調査以降、その順を逆転させY座標方向、X座標方向の順で呼称・記載している。混乱を最小限にとどめるため、本書においてもこの方式を踏襲し、たとえば66-70(Y-X)グリッドならばX軸方向が70、Y軸方向が66を示している。以下の記載についてはこのグリッドによって調査を行い、遺物の取り上げも、近現代の改変による耕作土の出土遺物等を一部除いて、基本的にこのグリッドによって行っている。

また、本遺跡の周辺では大規模な調査の開始以降に宮城岩手内陸地震や東日本大震災により大きな地形の変動を受けている。その後に行った再測量において当遺跡内での座標変動とその数値を改めて確認している。ただし、柳之御所遺跡内での継続調査においては1988年以来進めているグリッド内での位置を示すことが調査研究の継続上有効と考えており、旧座標におけるグリッド表記を行うこととする。そのため現在の調査においても現地においては日本測地系の座標を基準として設定しており、発掘調査における測量及び報告書等の記載は従来通り行う。

局地的な調査継続としては上記のように考えられるものの、柳之御所遺跡は周囲の遺跡との関係性も研究上重要であることが認識されてきている。それらの比較や整備、その基準となる図面作成においては世界測地系の正確な座標値を把握、更新する必要性も高い。そのため、東日本大震災後の成果に基づいた改測成果を把握することで対応に努めていきたい。

表土掘削・遺構検出

今回の調査では、表土の厚さや堆積状況を把握するために一部で人力による掘削を行い、表土の厚さを確認後、重機による表土掘削を行った。表土の除去後は、鋤簾などの道具を使用して遺構検出を行った。この段階での遺物の取り上げは、トレンチもしくはエリア毎に行っている。

遺構精査・記録

検出作業によって確認された遺構については、遺跡保護のため基本的には掘削を伴う精査は行っていない。しかし、一部の遺構については遺構の年代把握や遺物検討のために、半裁等によって土層観察を行い、遺構の断面を記録した。平面図の実測は5mグリッドを分割した1×1mのメッシュを使用して手作業で行った。今次の調査で検出された遺構はもちろんであるが、既知の遺構についても、検出したものについてはあらためて平面図の作成を行っている。写真についてはデジタルカメラを使用して撮影を行った。調査区全景写真撮影は、業務委託を実施して、ドローンによる撮影を行っている。

遺構名称

今次調査における遺構名は新規の遺構については頭に今回の調査回数である83を付して遺構略号を

使用したが（例83SK〇〇）、既往の発掘調査で確認された遺構と同一であることが想定できる遺構については旧番号（既調査で命名）を本書においても使用している。具体的には道路状遺構を構成する長大な4条の溝跡は既調査で確認されている遺構と同一であることから25SD2、25SD3・7、29SD1、80SD1の遺構名称を継続して用いる。なお、重機による表土掘削の後の遺構検出段階において、調査区中央の南側で幅広な帯状範囲を検出した。25SD3・7の南側に位置することから、80SD1と想定し、複数のトレンチを設定して、精査を行ったが、実際には、複数の遺構（29SD1、81SD5、82SD11、82SD17、82SA1）が重複している状況であった。調査途中での名称変更は、遺物整理等の混乱を招きかねない恐れがあったため、そのままの名称を使用し、整理段階で正式遺構名として変更することとした。

整理作業

野外調査終了後の令和3年11月1日から令和4年3月31日まで行った。遺物は水洗後に注記→接合→実測→トレース→図版作成→写真撮影の順で作業を行った。遺構については点検の後トレース→図版作成の順で作業を行った。

記載内容

この報告では、今次の調査で検出した遺構と、既知の遺構でも半裁などにより精査した遺構について記載している。

普及活動

遺跡を訪れる観光客や大学生の見学などに対して、必要に応じて随時現場を公開した。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から令和3年度は現地説明会を実施せず、令和3年9月30日よりYoutubeによる動画公開を実施した。

Ⅱ 調査内容

1 調査の概要

第83次調査区は堀外部地区の東側、外側の堀跡である72SD2に隣接した未調査範囲にあたる。調査区の西側及び南側は平泉町教育委員会が実施した第30次調査（平成3年度）の調査地点と隣接する。また、東側は第73次調査（平成23年度）、第79次調査（平成29年度）の調査地点と隣接する。延伸する遺構を確認するため、隣接する調査地点の調査区の一部の確認も実施した。本来の地形は高館から延びる丘陵尾根が南東に延び、そこを境に北側は北上川へ下がり、南側は猫間が淵へ下がる地形である。公有地化以前の状況は宅地及び田畑であり、階段状に平坦に造成されている。調査対象面積は800㎡（調査面積730㎡）である。

第83次調査区は、堀外部地区で検出された道路状遺構（80SC1、80SC2）が延伸すると考えられる範囲で、この延伸方向と構築時期、先後関係を把握することを目的としている。また、柳之御所遺跡を大きく2つに区画する堀跡との関係を把握すること、堀跡付近の道路跡北側の様相を把握することも目的としている。

調査区内は宅地造成や水田造成等に伴う地形の改変の影響を大きく受けており、表土層及び盛土層を除去すると、検出面である褐色土～黄褐色粘土層が確認できる地点や近世以降の陶磁器を包含する暗褐色土層を除去すると、黄褐色粘土層が確認できる地点などがあり、12世紀以降の土地改変が広範囲にわたっている。一方で、調査区の東側では12世紀の整地層が確認できる部分もあり、調査区内においても様相は一様ではない。調査区内の基本層序は下記の通りである。

I層 表土層・盛土層。調査区東側では宅地造成による礫を主体とする盛土が確認され、現表土層は非常に薄い。

II層 暗褐色土層。攪乱層や盛土層の下位に残存する旧表土層。摩滅したかわらけ細片がまんべんなく包含される土層。12世紀以降の堆積層である。上部には近世以降の陶磁器が確認されており、細分が可能である。

III層 黒褐色土層。木炭小片を多く包含するとともに、略完形かわらけをはじめ大形の破片を包含する。第80次調査の南北ラインX=42より南側で確認されており、その他の調査では確認されていない。第83次調査の整地層の下位には、本層との先後関係は確認できないが、IV層直上に灰黄褐色土層（83T8の①層）が確認されている。

IV層 褐色土～黄褐色粘土層。12世紀のいわゆる地山層である。柳之御所遺跡全体の多くの範囲で遺構検出面となる層である。道路状遺構を構成する溝跡の壁面では褐色土、褐色粘質土、黄褐色粘土が確認でき、細分が可能である。上部の褐色土は古段階の道路状遺構の堆積土に類似しており、12世紀の表土であった時期が想定される。また、整地層が確認できる範囲ではにぶい黄褐色を呈しており、地点により相違が確認される。

今回の調査における検出遺構は以下の通りである。次節では精査を行った遺構を中心に記述する。なお、近世以降と判断した遺構は記載を割愛した。

1 調査の概要

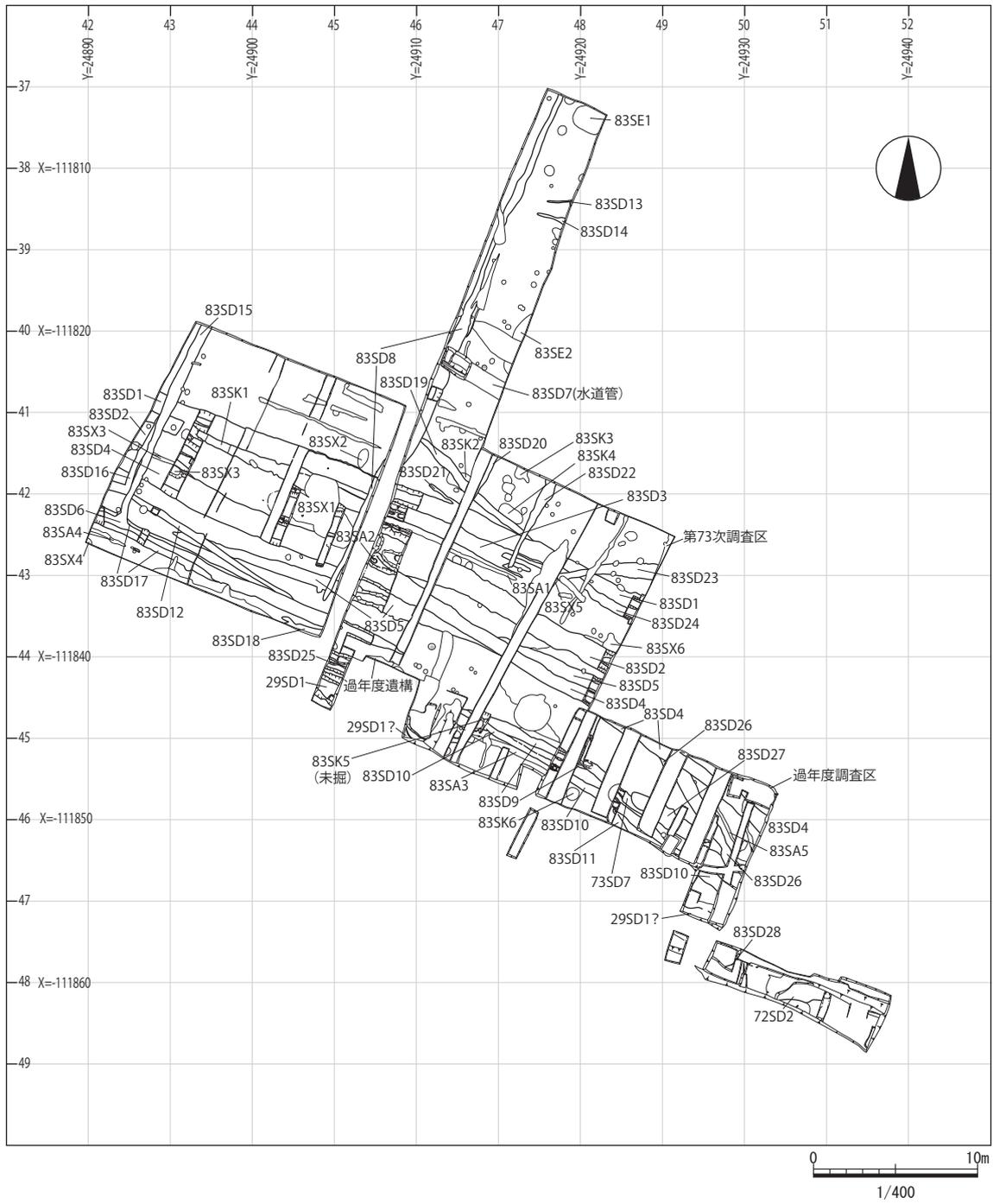


図3 遺構配置図 (1/400)

堀跡	1 条
土坑類	6 基（井戸跡含む）
道路状遺構	2 条（溝跡 4 条）
溝 跡	30 条（道路状遺構を構成する溝も含む）
塀 跡	5 条
井戸跡	2 基
焼土遺構	2 基
不明遺構	3 基
かわらけ集中	1 箇所
整地層	1 箇所
柱 穴	76 個（12 世紀以降のものを含む）

2 検出遺構

(1) 堀 跡

72SD2（図 4・写真図版 2）

〔位置・検出状況・精査方法〕 50-48～51-48グリッドに位置する。第79次調査で確認された土橋の幅を確認するために、未調査範囲を中心に検出を行った。本遺構周辺は、土地改変の影響を大きく受け、攪乱が広範囲に確認された。上部の攪乱土層を除去すると、帯状に礫を確認したことから、礫と土橋・堀跡の関係を把握するため、礫と直交する方向にトレンチ（83T13）を設定して、堆積状況の確認を行った。その他の部分は礫が確認された部分で保存することとした。

〔規模・形状〕 トレンチ部分での確認であることと、削平により遺構の規模が不明瞭であるため、詳細な規模・形状は不明である。

〔埋土・堆積状況〕 本遺構の埋土は83T13の8層と9層である。確認した範囲では灰黄褐色粘土を主体とする。下位の9層は新鮮な状態では暗緑灰色を呈する。本遺構は調査区の中でも標高が低く、常時湧水状態にあるため、本遺構の埋土が確認できた段階で、掘削を止め、それより下位は保存することとした。そのため、深さは確認できていない。

〔重複・先後関係〕 なし。

〔出土遺物〕 かわらけ143.1g、国産陶器179.1g（5点）、金属製品9.3g（1点）、石器類2,263.5g、種子1点、陶磁器類（中世以降）33.8gが出土しており、国産陶器4点を図示した（1～4）。

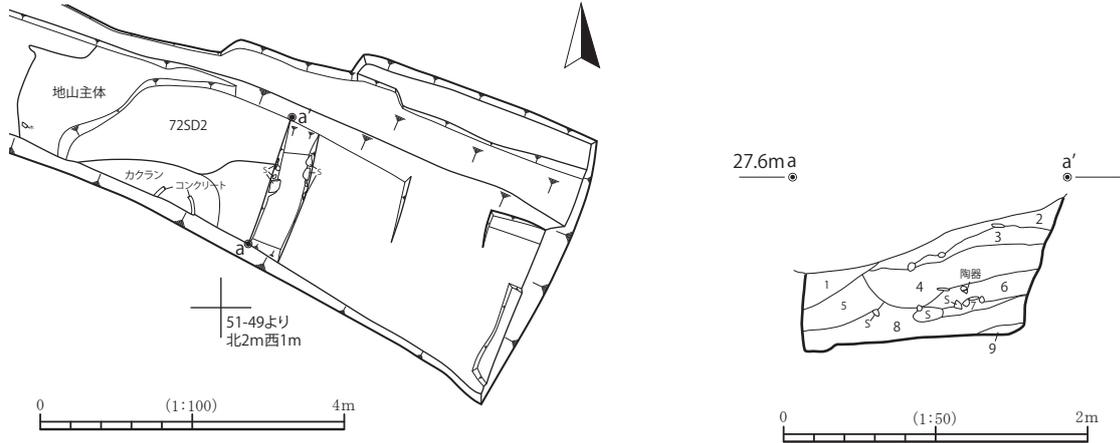
(2) 土 坑 類

83SK5（図 4・写真図版 3）

〔位置・検出状況・精査方法〕 46-44グリッドに位置する。本遺構周辺に道路状遺構と並行する帯状のプランが複数確認でき、その内容確認のため、トレンチ（83T9）を設定した。道路状遺構と並行する溝跡に切られる灰黄褐色のプランを検出し、土坑と判断した。本遺構は重複する遺構との関係を把握することにとどめたため、大部分を保存することとし、底面までの確認を行っていない。

〔規模・形状〕 前述の通りであるため、詳細な規模・形状は不明であるが、開口部径は1m前後の

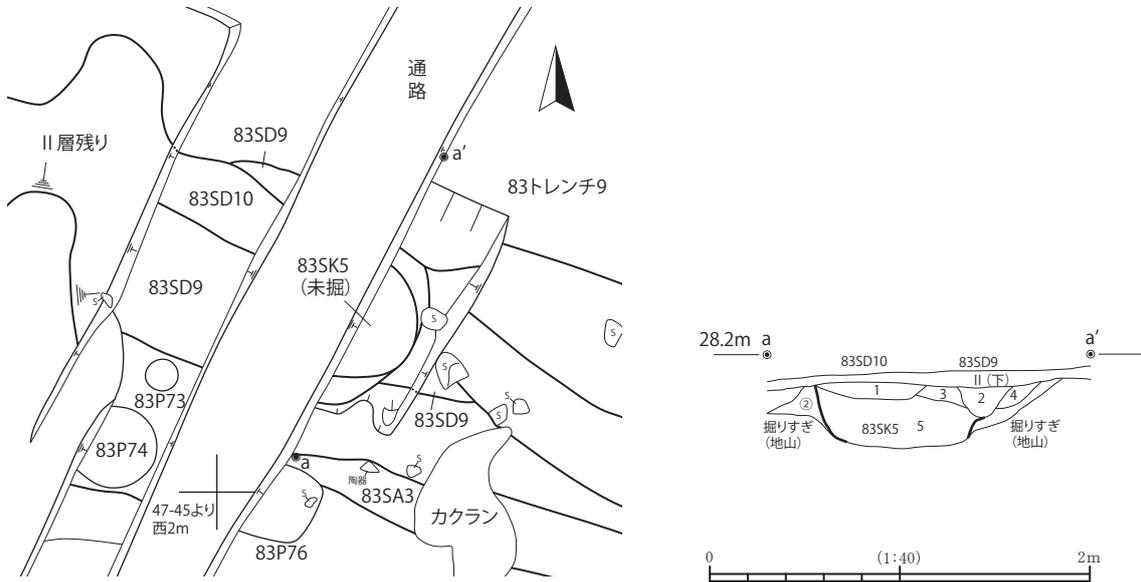
2 検出遺構



【83T13 断面a-a'】

1. 2.5Y4/2 暗灰黄色砂質シルト 粘性やや疎 しまり中 表土層。
2. 2.5Y6/4 にぶい黄色粘土 粘性密 しまりやや密 にぶい黄褐色土との混合層。地山主体の現代の埋め戻し土層。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまりやや密 にぶい黄色ブロック7~10%含。
4. 2.5Y6/4 にぶい黄色粘土 粘性やや密 しまりやや密 明黄褐色粘土とにぶい黄褐色シルトとの混合層。現代の埋め戻し土層。
5. 10YR4/1 褐灰色粘土 粘性やや密 しまりやや密 ビニール片混在。現代の埋め戻し土層。
6. 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性やや密 しまりやや密 黄褐色(2.5Y5/3)粘土ブロック10~15%含。拳~拳大の礫包含。近世磁器出土。
7. 2.5Y6/4 にぶい黄色粘土 粘性密 しまり密 6層小ブロック3~5%含。
8. 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性やや密 しまりやや密 にぶい黄色粘土粒2~3%、炭化物(1mm粒)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
9. 10YR4/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまりやや密 新鮮な状態では暗緑灰色(10G3/1)を呈す。かわらけ小片出土。酸化鉄斑顕著。

72SD2



【83T9 断面a-a'】

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性やや疎 しまりやや密 炭化物(2~3mm粒)2~3%含。かわらけ細片包含。
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト 粘性やや疎 しまりやや密
3. 10YR4/2 灰黄褐色粘土 粘性やや密 しまり密 炭化物(2~3mm角)2~3%含。酸化鉄集積。
4. 10YR4/2 灰黄褐色粘土 粘性やや密 しまり密 炭化物(2~3mm角)2~3%含。酸化鉄集積。壁際に地山土の流入が見られる。
5. 10YR5/2 灰黄褐色 砂質シルト 粘性やや疎 しまりやや密 炭化物(2~3mm粒)3~5%含。酸化鉄の集積顕著。

83SK5

図4 72SD2・83SK5 平断面図

円形を呈するものと想定される。

〔埋土・堆積状況〕 83T9の5層が本遺構の埋土で、灰黄褐色砂質シルトの単層である。酸化鉄の集積が顕著である。

〔重複・先後関係〕 83SD9溝跡、83SD10溝跡と重複する。本遺構がこれらの遺構に切られる。

〔出土遺物〕 なし。

(3) 道路状遺構

80SC1 (83SD2・25SD3、29SD1) (図5～8・写真図版3～5)

〔位置・検出状況・精査方法〕 これまで確認されてきた道路状遺構の続きで、東側32.1m分の延伸が確認された。今年度の調査では25SD3にあたる83SD2及び断面観察の結果、29SD1も確認できた。今年度の調査においても、83SD2の北側には並行する堀跡83SA1が確認されている。本遺構は、南北方向X=41ラインより南側に位置する。東側は第73次調査の範囲に延伸しており、73SD1に繋がる。73SD1は近世以降の遺構と報告されているが、断面図には上部と下部で不連続な部分が確認できることから上部には近世以降の溝跡が存在する可能性が高いと捉えたい。また、72SD2と重複するとされているが、72SD2付近で削平を受けて消失していると報告されていること、平面図や断面図を確認する限りでは72SD2を切っている痕跡が確認できないこと、72SD2の東側への延伸が確認できないこと等から、72SD2との時間差がないものと考えたい。西側は第30次調査で確認された25SD3に繋がる。検出面は削平された地山面で、北側側溝である83SD2は後述する80SC2の北側側溝である83SD1やこれらの溝跡と並行する複数の溝跡を含めて、西北西方向から東南東方向に走行する带状範囲として検出した。29SD1は49-47グリッド西壁を詳細に検討した結果、確認することができた。しかし、83T8の南側延長部分では削平されて確認できなくなっており、83T4の南側延長で確認した範囲までの間は土地改変の影響を大きく受けているものと想定される。精査はメインのトレンチである83T4の他、83SD4との関連を確認した83T6、83SX1との関連を確認した83T7、調査区中央で遺構の状況を確認した83T8、83T12で行った。その他は保存することとした。

〔規模・形状〕 83SD2の確認できた延長は32.1m、29SD1の確認できた延長は1.9mである。83SD2は西側に隣接する第30次調査と同じく、西北西方向から東南東方向を向き、直線状である。走行方向は上幅の中央付近で計測すると、83SD2はS-63.5°-E (N-63.5°-W)、29SD1は83T4部分でS-59°-W (N-59°-W)、49-47グリッド部分でS-62°-E (N-62°-W) である。南北側溝間の幅は、83SD2と29SD1の両側溝が確認できる部分が83T4しかないため、83T4での数値となるが、芯々で9.5mである。また、第73次調査で確認した範囲も含むと、72SD2付近では12.6mとなる。83SD3の上幅は1.2～2.5m、29SD1は2m前後である。堆積状況を確認した部分での深度は、83SD2が83T4で0.62m、83T6で0.53m、83T7で0.42m、83T8で0.66m、83T12で0.44m、29SD1が83T4で0.59m、49-47グリッドで0.19mである。83SD2の溝断面形は東端に位置する83T8では底面幅が狭い逆台形状で、83T4より西側では底面幅が広い逆台形状を呈する。トレンチの底面標高に注目すると、83T12は28.5m前後、83T6・83T7・83T4は28.2m前後、83T8は27.8m前後となっており、東南東方向に緩やかに傾斜している。

〔埋土・堆積状況〕 堆積状況については、トレンチ毎に記載する。

83SD2 (25SD3) 83T4西壁 (図6・写真図版3) 45-42グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。17層～22層が本遺構の埋土である。斜面上方に位置する北壁際には壁の崩落土と考え

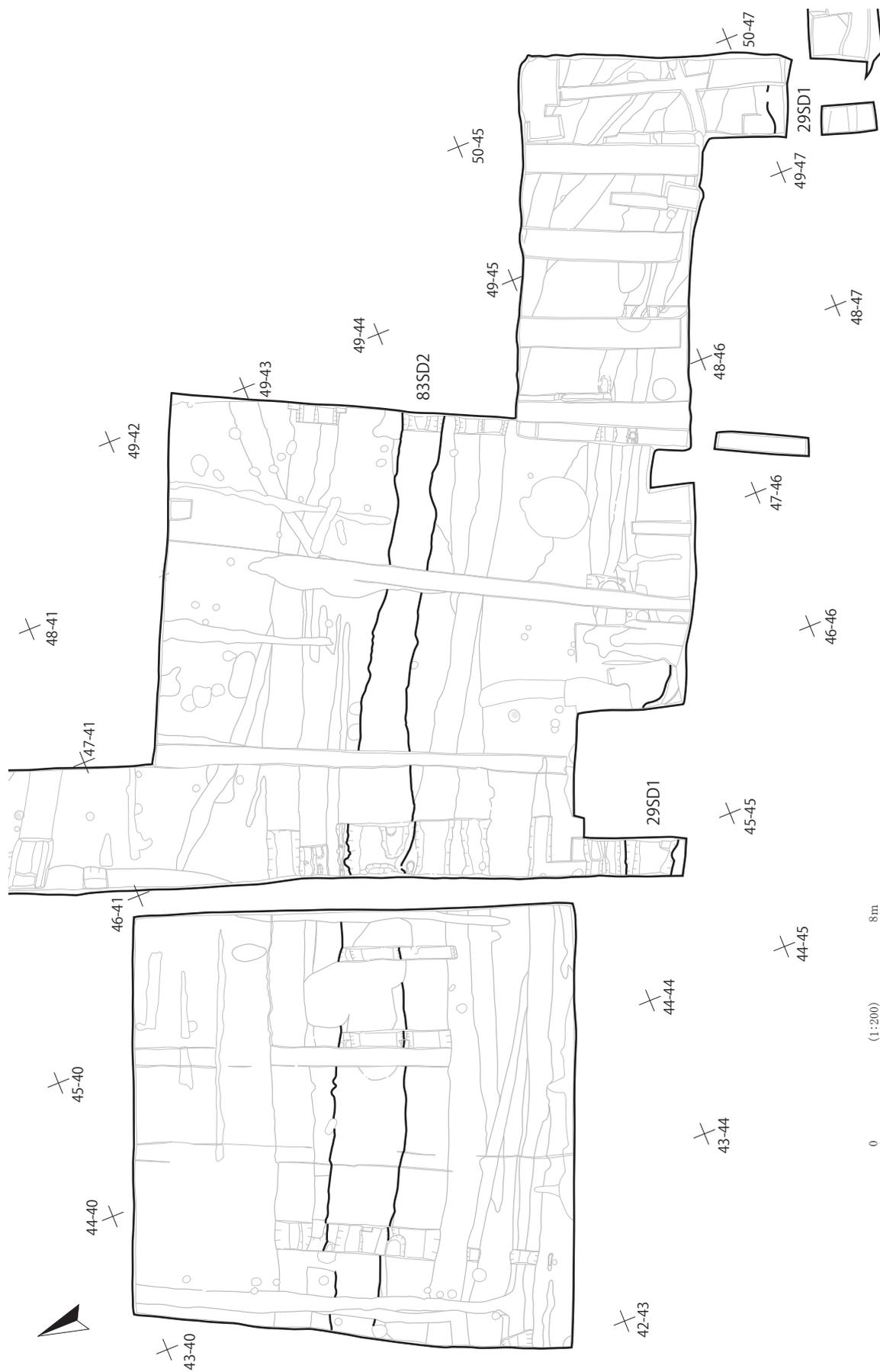


图5 80SC1 平面图 (1/200)

られるにぶい黄色粘土層（22層）が確認できる。南側の底面から壁際にかけては、にぶい黄褐色シルト（21層）の堆積が薄く確認できるが、北側の壁の変化点までの埋土の主体は灰黄褐色粘土（19層・20層）である。夾雑物が少なく、自然堆積の可能性が高い。18層は北側に隣接する83SA1を含めて被覆している。最終的にはにぶい黄褐色シルトと黄褐色砂質土との混合土層（17層）で埋め戻されている。

83SD2 (25SD3) 83T4東壁（図6・写真図版5）本トレンチ内では、東側が一段低くなっており、西壁の観察では該当部分の堆積状況が確認できない。そのため、東壁でも堆積状況の確認を行った。図の右が猫間が淵跡側になる。8層と7層以上間で不連続となっており、少なくとも、新古の2時期があるものと想定される。8層はにぶい黄褐色粘土を主体とする。斜面上方に位置する83SA1も一連で被覆している。ブロック状の混入物は確認できない。7層以上が新期の埋土と考えられる。確認できる範囲では、古期よりも深く掘り込まれている。埋土は灰黄褐色土やにぶい黄褐色土を主体とする。砂や細礫の混入が見られ、流水の影響を受けた状況で、小規模な壁の崩落を伴いながら、堆積が続いたものと想定される。最終的には人為的な堆積土（2層）で埋め戻しが行われている。

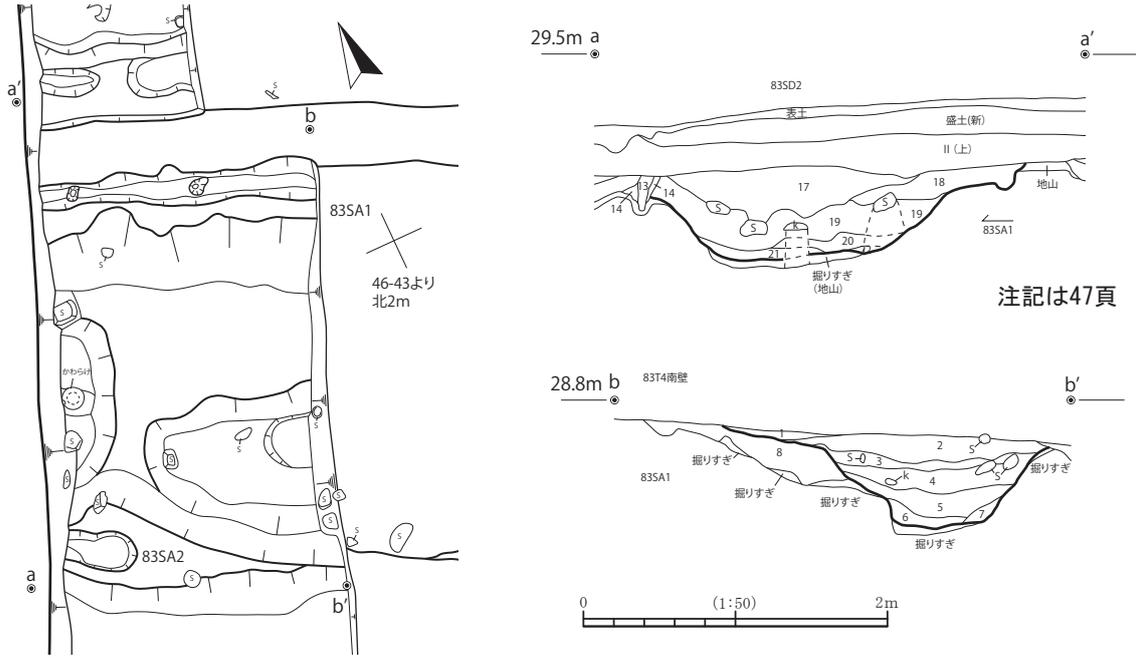
83SD2 (25SD3) 83T6西壁（図6・写真図版4）44-41・42グリッドで観察した。図の左側が猫間が淵跡側になる。5層～10層が本遺構の埋土である。壁際及び底面付近には壁の崩落に伴うと考えられる地山起源のにぶい黄色シルト層（9層・10層）の堆積が確認できる。その後、粘土（7層・8層）、砂（6層）の堆積や酸化鉄の集積が顕著に見られ、流水の影響を受けた状況での堆積が続いたものと想定される。最終的にはにぶい黄褐色シルトと灰黄褐色粘土の混合層で埋め戻されており、これまでの調査成果と同様の堆積状況と考えられる。

83SD2 (25SD3) 83T7西壁（図7・写真図版4）44・45-42グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。5層～9層が本遺構の埋土である。5層・6層と7層～9層間で不連続になっており、少なくとも、新古の2時期があるものと想定される。7層及び9層は地山起源の浅黄色粘土質シルト層で、壁の崩落土と考えられる。下部の埋土の主体は灰黄褐色シルト層（8層）である。6層は83T12の14層に対応するもので、灰黄褐色粘土を主体とする。底面付近の南側に礫を包含する。5層はにぶい黄褐色砂や褐色砂を層状に包含する灰黄褐色～にぶい黄褐色シルト層で、流水の影響を受けた状況での堆積が想定される。全体的に酸化鉄が顕著に見られる。他のトレンチと異なる点として、83SX1が確認される83T7周辺では、他の部分で確認される埋め戻し土層は確認できない。

83SD2 (25SD3) 83T8北側延長東壁（図7・写真図版5）48-43・44グリッドで観察した。図の右が猫間が淵跡側になる。5層～10層が本遺構の埋土である。10層は一部しか確認していないが、南側に広がるものと考えられる。8層以上と不連続になっており、古い段階の溝の可能性が想定される。底面直上に地山起源の浅黄色粘土（9層）が薄く堆積している。にぶい黄褐色粘土（8層）、にぶい黄褐色シルト（7層）、灰黄褐色粘土（6層）、にぶい黄褐色シルト（5層）の順に堆積している。6層が各箇所確認される埋め戻し土層である。7層以下はレンズ状の堆積状況を呈しており、自然堆積の可能性が高いと考えられる。

83SD2 (25SD3) 83T12西壁（図7・写真図版4）43-41グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。13層～17層が本遺構の埋土である。斜面上方にあたる北側の壁際には壁の崩落土と想定

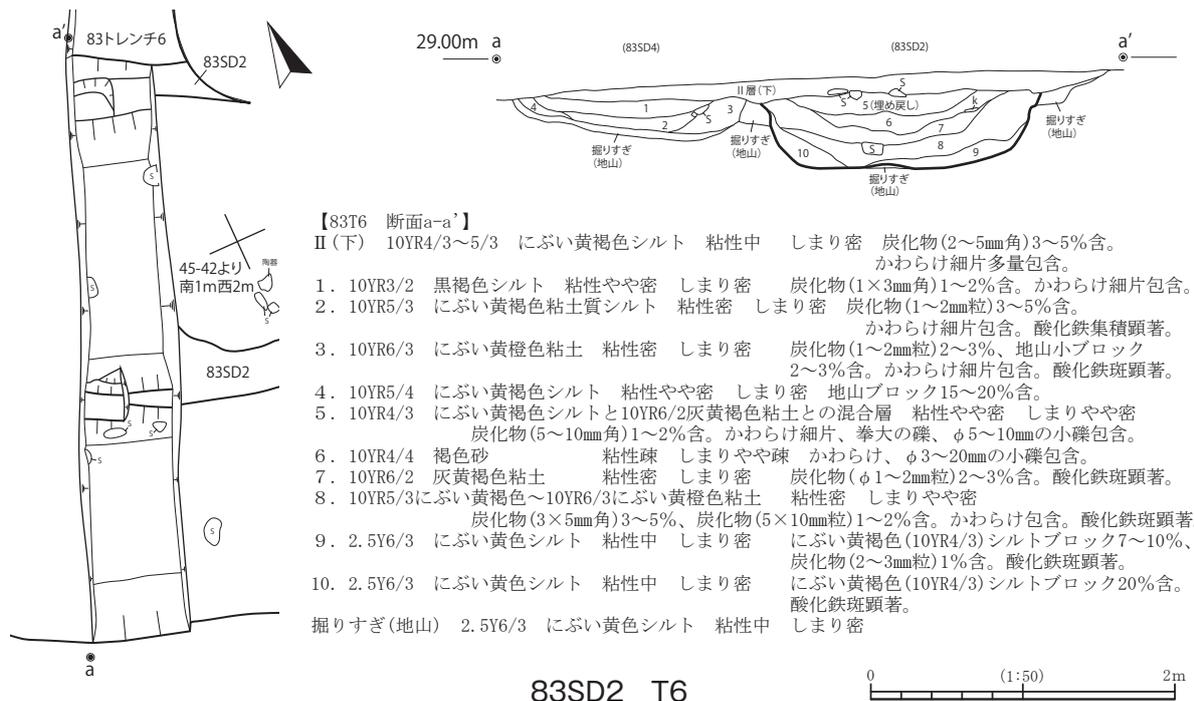
2 検出遺構



【83T4 断面b-b'】

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまりやや密 炭化物(1~2mm粒)2~3%含。かわらけ細片少量包含。酸化鉄斑顕著。
2. 10YR6/3 にぶい黄褐色粘土質シルト 粘性やや密 しまりやや密 にぶい黄褐色シルトと細礫との混合層。炭化物(1~2mm粒)1~2%含。かわらけ包含。
3. 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまり密 細礫5~7%含。酸化鉄斑顕著。
4. 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまり密 炭化物(1~2mm粒)1~2%含。かわらけ包含。
5. 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性やや疎 しまりやや密 褐色砂との混合層。炭化物(2×5~10mm棒状)1~2%含。酸化鉄の集積が著しい。
6. 10YR6/2 灰黄褐色シルト 粘性やや密 しまり中 砂と粘土が鹿の子状に混在。地山(にぶい黄色粘土)ブロック5~7%、炭化物(2~3mm粒)1~2%含。酸化鉄斑見られる。
7. 10YR6/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまり密 地山(にぶい黄色粘土)ブロック7~10%含。酸化鉄斑見られる。
8. 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土 粘性密 しまりやや密 褐色砂ブロック5~7%、炭化物(1~2mm角)3~5%、炭化物(5~10mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。

83SD2 T4



【83T6 断面a-a'】

- II (下) 10YR4/3~5/3 にぶい黄褐色シルト 粘性中 しまり密 炭化物(2~5mm角)3~5%含。かわらけ細片多量包含。
 1. 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性やや密 しまり密 炭化物(1×3mm角)1~2%含。かわらけ細片包含。
 2. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト 粘性密 しまり密 炭化物(1~2mm粒)3~5%含。かわらけ細片包含。酸化鉄集積顕著。
 3. 10YR6/3 にぶい黄褐色粘土 粘性密 しまり密 炭化物(1~2mm粒)2~3%、地山小ブロック2~3%含。かわらけ細片包含。酸化鉄斑顕著。
 4. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまり密 地山ブロック15~20%含。
 5. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトと10YR6/2灰黄褐色粘土との混合層 粘性やや密 しまりやや密 炭化物(5~10mm角)1~2%含。かわらけ細片、拳大の礫、φ5~10mmの小礫包含。
 6. 10YR4/4 褐色砂 粘性疎 しまりやや疎 かわらけ、φ3~20mmの小礫包含。
 7. 10YR6/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまり密 炭化物(φ1~2mm粒)2~3%含。酸化鉄斑顕著。
 8. 10YR5/3にぶい黄褐色~10YR6/3にぶい黄褐色粘土 粘性密 しまりやや密 炭化物(3×5mm角)3~5%、炭化物(5×10mm粒)1~2%含。かわらけ包含。酸化鉄斑顕著。
 9. 2.5Y6/3 にぶい黄色シルト 粘性中 しまり密 にぶい黄褐色(10YR4/3)シルトブロック7~10%、炭化物(2~3mm粒)1%含。酸化鉄斑顕著。
 10. 2.5Y6/3 にぶい黄色シルト 粘性中 しまり密 にぶい黄褐色(10YR4/3)シルトブロック20%含。酸化鉄斑顕著。
- 掘りすぎ(地山) 2.5Y6/3 にぶい黄色シルト 粘性中 しまり密

83SD2 T6

図6 80SC1 平断面図1 (1/50)

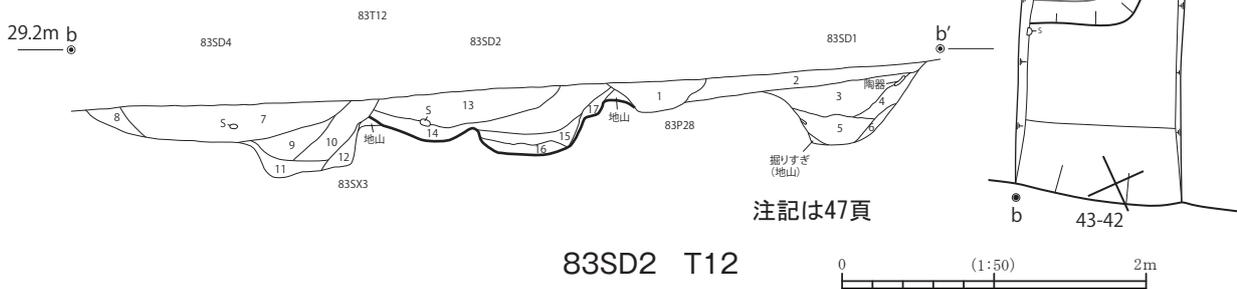
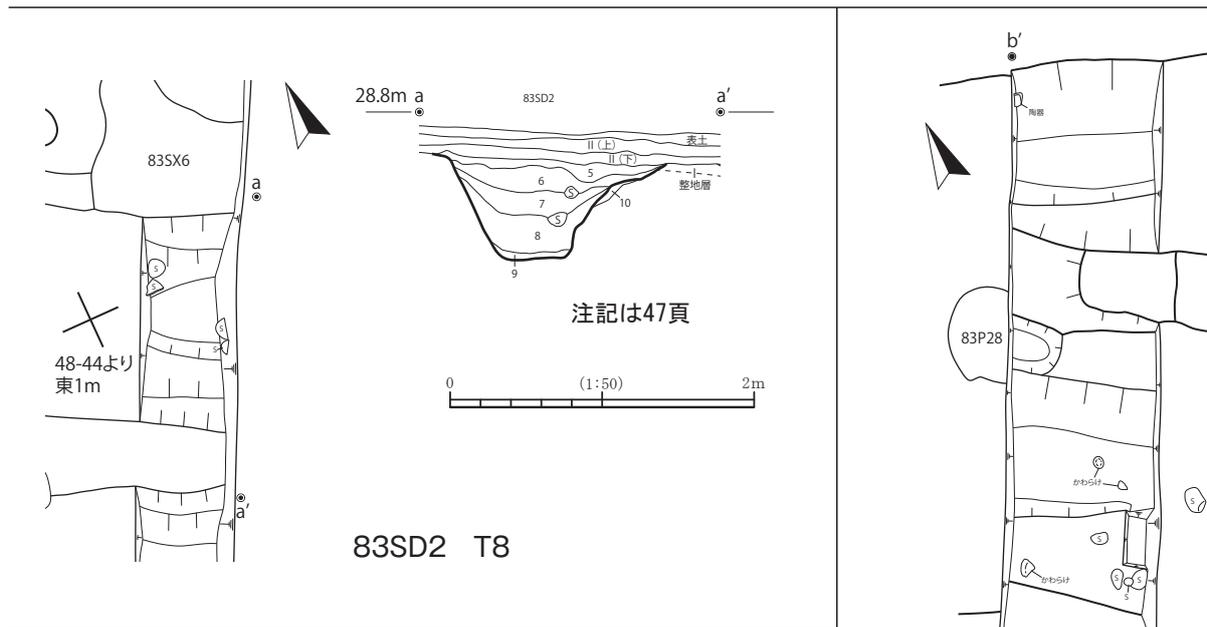
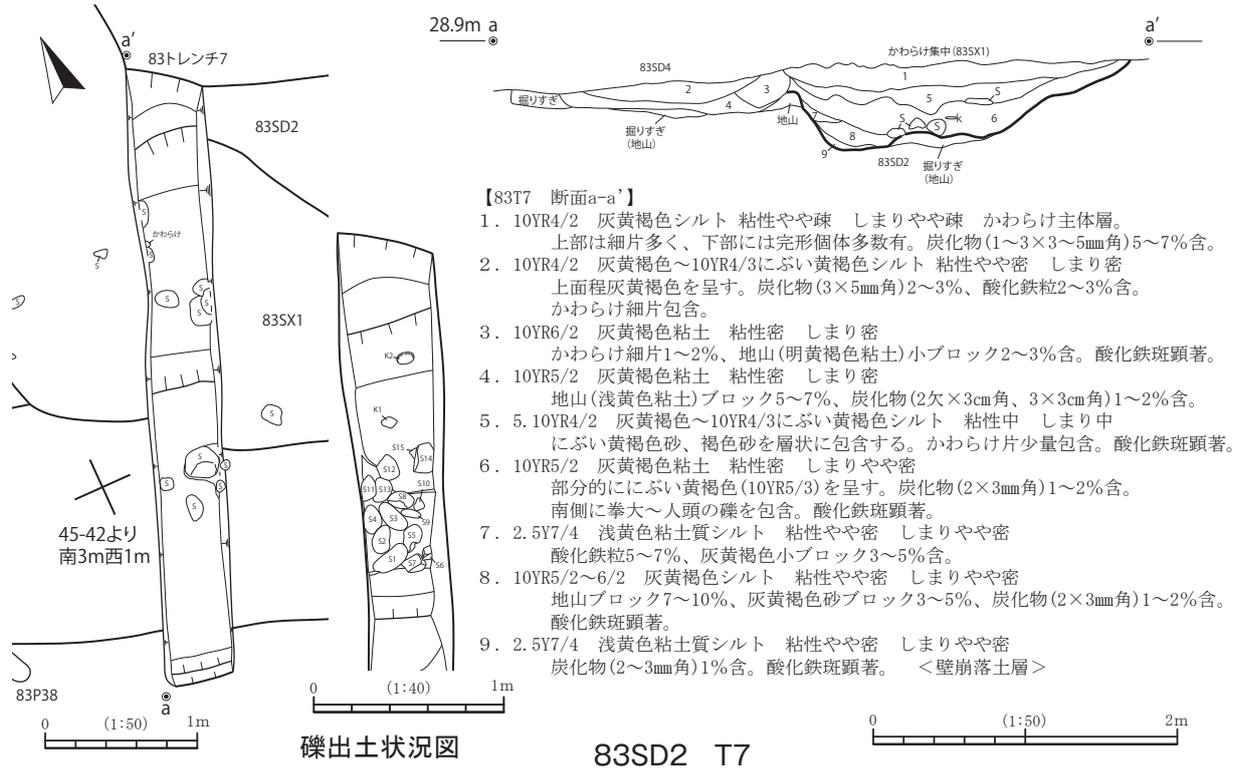
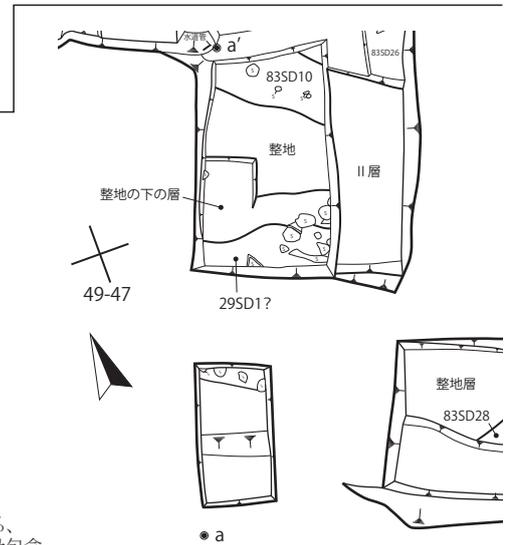
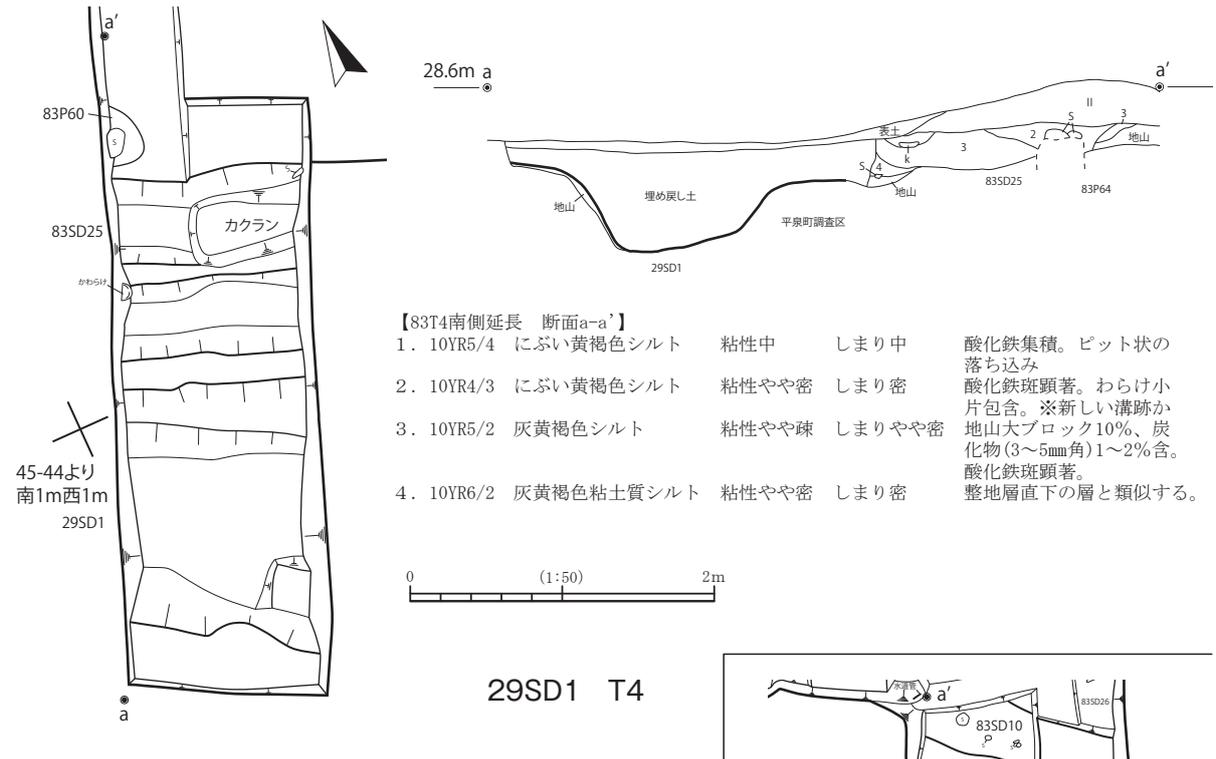


図7 80SC1 平断面図2 (1/50)

2 検出遺構



【49-47グリッド西壁 断面a-a'】

2. 5Y7/3 浅黄色粘土質シルト 粘性やや密 しまり中
オリーブ褐色(2.5Y4/3)土ブロック5~7%含。
- 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまりやや密 酸化鉄粒5~7%、地山小ブロック5%、炭化物(1mm角)1~2%含。かわらけ細片少量包含。
- 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまりやや密
炭化物(1×2mm角)1%含。酸化鉄粒顕著。
- 10YR4/1 褐灰色シルト 粘性やや密 しまり中
- 10YR6/6 明黄褐色粘土 粘性密 しまりやや密
にぶい黄褐色土ブロック7~10%、炭化物(1mm粒)1~2%含。
- 10YR5/2 灰黄褐色砂質シルト 粘性やや疎 しまりやや密
地山(明黄褐色粘土)小ブロック3%含。酸化鉄が上・中・下で層状になっている。
- 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト 粘性やや密 しまりやや密
灰黄褐色(10YR6/2)粘土と鹿の子状になる。炭化物(2~5mm角)5~7%含。

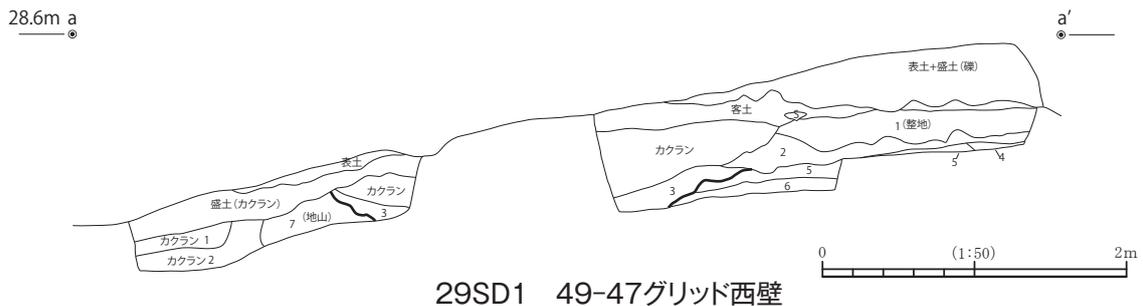


図8 80SC1 平断面図3 (1/50)

される地山起源の浅黄色粘土（17層）が確認できる。北側の深い部分には底面付近に灰黄褐色シルト（16層）、その上位に地山起源のにおい黄橙色粘土（15層）が堆積し、全体的に同じ高さになっている。14層と15層の間に壁の崩落等の痕跡は確認できないが、15層上面で逆台形状の断面形を呈することから、本層を境に2時期に分かれるものと考えられる。その後、灰黄褐色粘土（14層）が堆積し、最終的には灰黄褐色シルトと褐色砂、におい黄褐色粘土の混合土（13層）で埋め戻されている。

83SD2 (29SD1) 49-47グリッド西壁（図8） 49-46・47グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。地下埋設物の設置等による削平等の影響で、部分的にしか確認できないが、詳細な断面観察により、両方の壁の立ち上がりの一部を確認した。3層が本遺構の埋土で、灰黄褐色粘土を主体とする。酸化鉄粒が顕著に見られるが、その他の混入物はほとんど確認できず、当該範囲においては、人為堆積の根拠は見出せない。

〔重複・先後関係〕 広範囲に及ぶ遺構であるため、想定されるプラン内には様々な遺構との関係が確認できるが、直接的に重複関係を把握できるものに限定して記載する。83SK1、83SD4・83SD8、83SA2、83SX1・83SX3・83SX5・83SX6、83P28・83P30・83P31・83P61～83P63と重複し、83SK1、83SX6、83P61～83P63を切り、その他の遺構に切られる。

〔出土遺物〕 83SD2 (25SD3) はかわらけ10,758.1 g、国産陶器1,105.3 g（26点）、輸入磁器1.7 g（1点）、金属製品16.5 g、石器類26,626.5 g、土壁・粘土塊179.0 g、鉄滓211.3 g、不明4.3 g、炭化物7.8 gが出土しており、かわらけ15点、国産陶器14点、輸入磁器1点、瓦1点を図示した（8～22・23～36・37・38）。29SD1はかわらけ20.9 g、国産陶器115.2 g（3点）、陶磁器類（中世以降）4.5 gが出土しており、国産陶器3点を図示した（5～7）。

80SC2 (83SD1・25SD2、83SD10・83SD17)（図9～11・写真図版6・7）

〔位置・検出状況・精査方法〕 第80次調査以降、新たに道路状遺構として認識された遺構で、外側の堀跡である72SD2に近い部分で東側約44m分の延伸が確認された。25SD2にあたる83SD1が本遺構の北側側溝、80SD1にあたる83SD10及び83SD17が本遺構の南側側溝である。本遺構は南北方向X=40ラインより南側に位置する。東側は第73次調査及び第79次調査の範囲に延伸する。83T8で作成した断面図と第73次調査で作成された断面図と比較した結果、83SD1は、73SD3へつながると判断した。ただし73SD3は、検出面で近世陶磁器が出土したことから近世以降の遺構と報告されている。ここでは、12世紀の83SD1が、73SD3と接続することを優先して73SD3は12世紀の遺構であると変更する。73SD3は外側の堀跡である72SD2を横断して内側の堀跡である72SD1付近まで延伸している。83SD10は第79次調査で確認された土橋の中心方向に延伸しているが、第79次調査の範囲では該当する遺構は確認されていない。西側は隣接する第30次調査の範囲に延伸し、83SD1は25SD2に繋がる。一方、南側側溝は近代の溝跡と報告されている30SD20に繋がる。非常に浅いと報告がされており、この溝跡の構築により確認できなくなっているものと想定される。本遺構を含む複数の溝跡が東西方向に延伸する帯状範囲として検出しており、北側側溝である83SD1はその範囲の北側に位置する。検出面は削平された地山面である。83SD17は近世以降の溝跡である83SD6が同位置に構築されているため、43-42グリッドより西側しか確認できない。同じ南側側溝である83SD10は整地層上面で北西方向から南東方向に延伸する帯状範囲として検出した。83SD1の精査はメイントレンチの83T4の他、83T12、83T8、83SD17の精査は83T12、83SD10の精査は83T8の他、83T9、83T10で行った。その他は保存することとした。

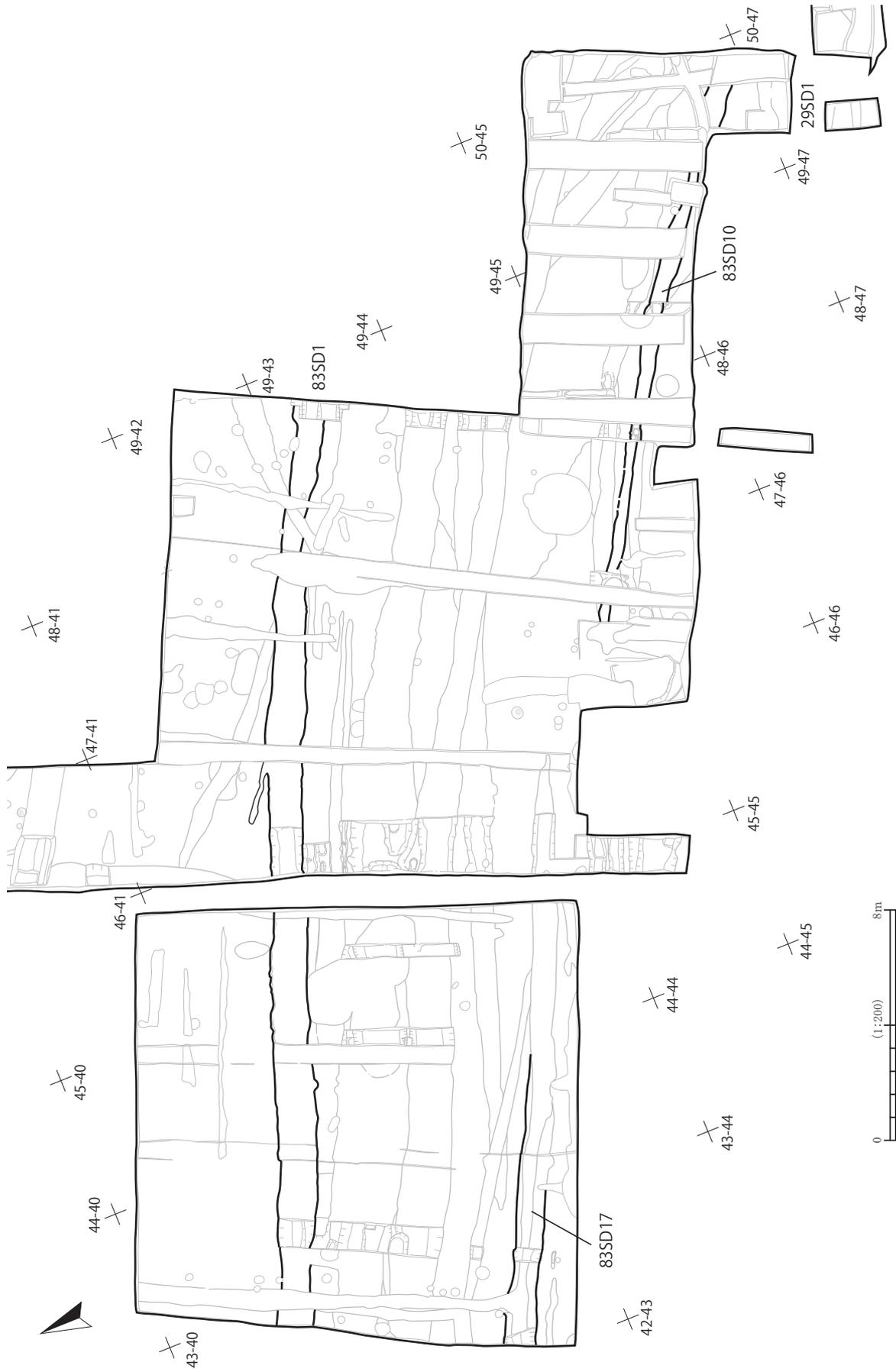
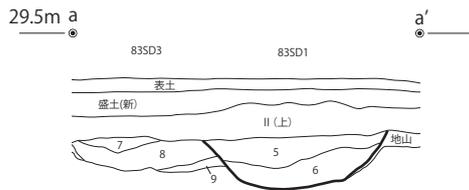
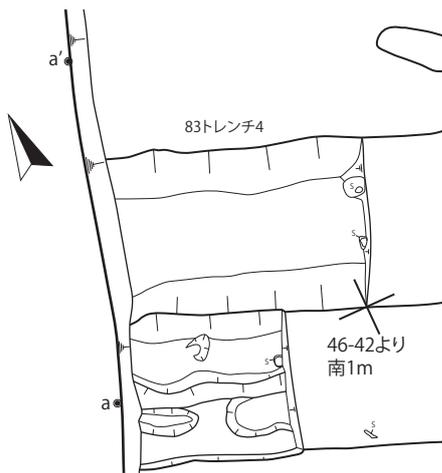
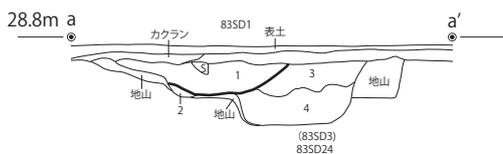
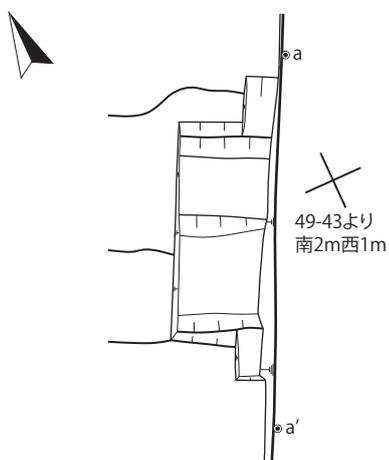
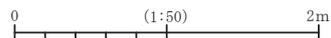


図9 80SC2 平面図 (1/200)



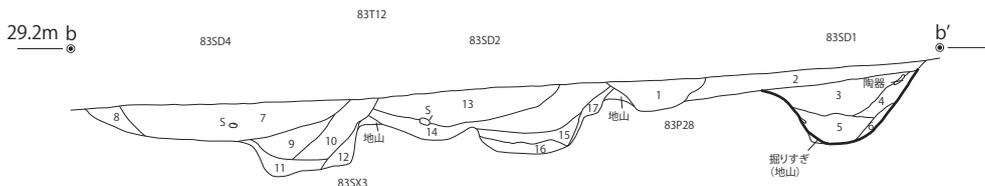
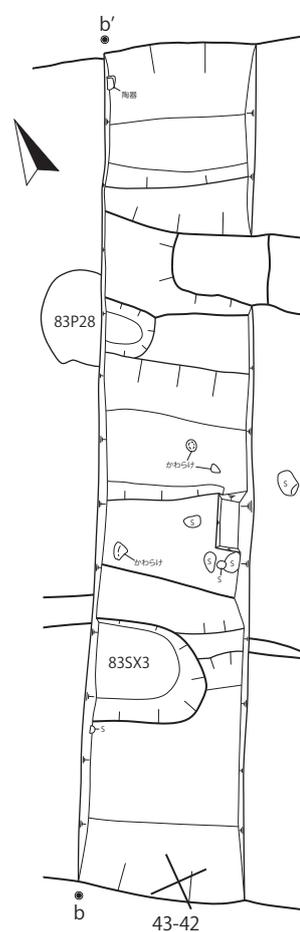
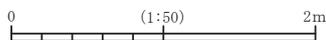
注記は48頁

83SD1 T4



注記は48頁

83SD1 T8



83SD1 T12

注記は48頁

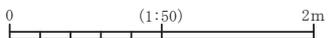


図10 80SC2 平断面図1 (1/50)

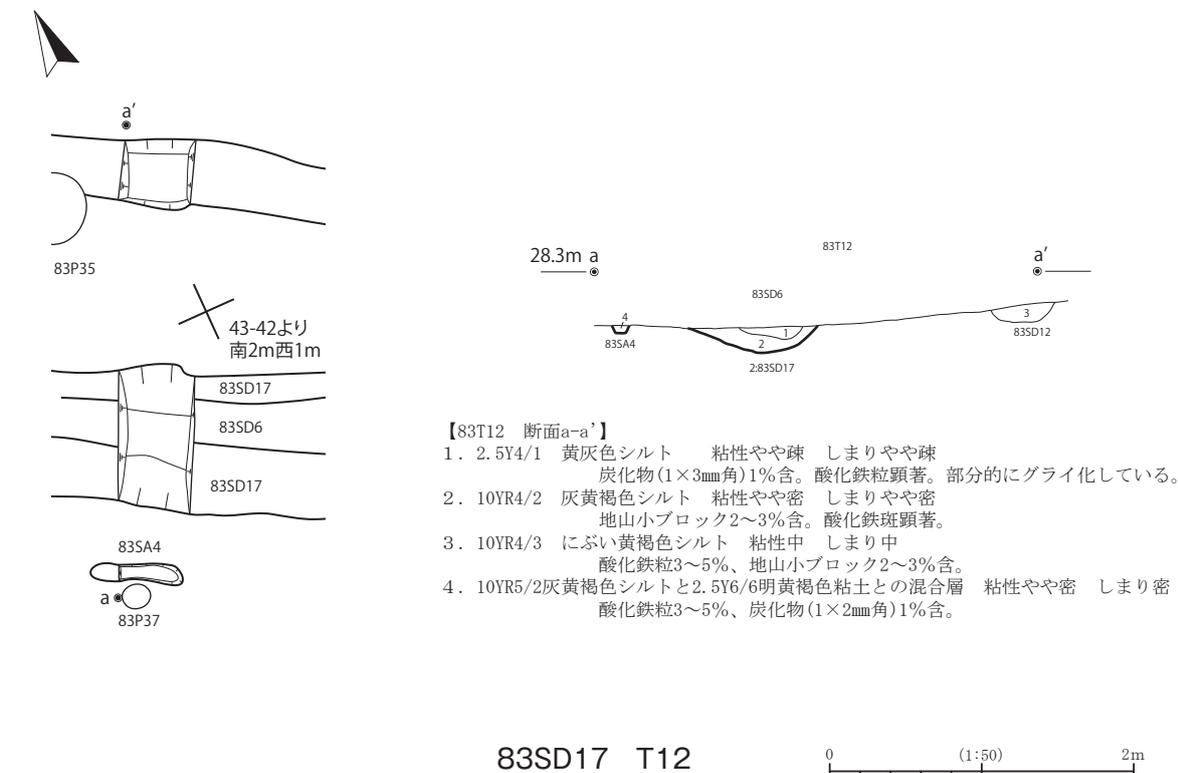
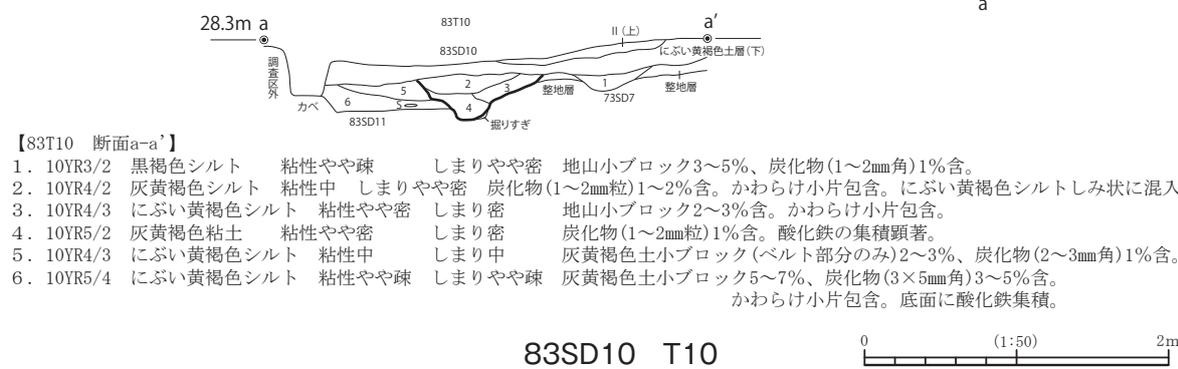
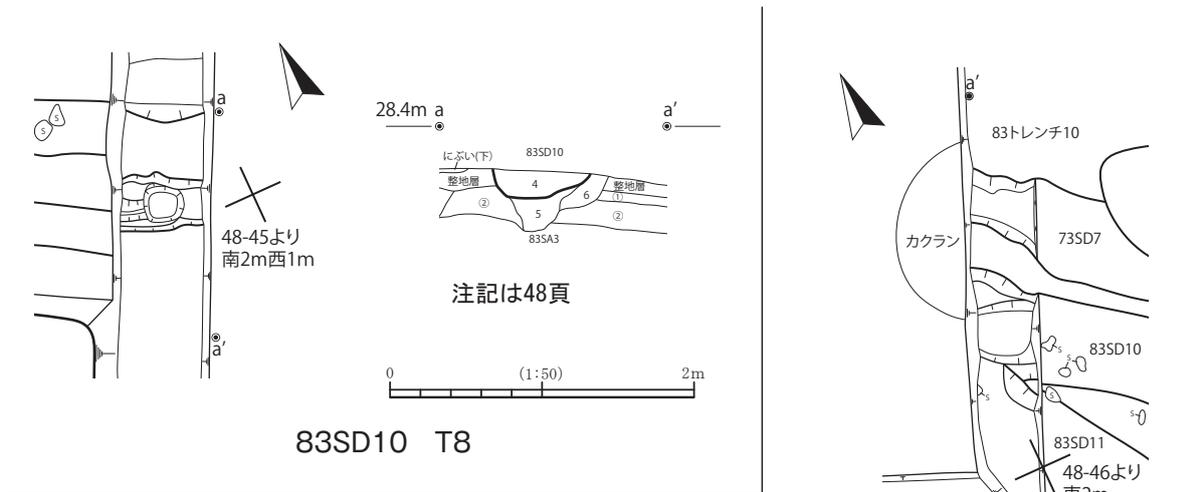


図11 80SC2 平断面図2 (1/50)

〔規模・形状〕 83SD1の確認できた延長は32.1m、83SD17の確認できた延長は10.3m、83SD10の確認できた延長は19.2mである。83SD1は西北西方向から東南東方向を向き、46-42グリッドから東側は南側に振れ、東方向に延伸している。83SD17は西北西方向から東南東方向を向く。83SD10は北西から南東方向を向き、48-45グリッドから東側は南側に振れ、南東方向に延伸している。走行方向は上幅の中央付近で計測すると、83SD1はS-69°-E (N-69°-W)、46-42グリッドより東側がS-63°-E (N-63°-W)、83SD17はS-64°-E (N-64°-W)、83SD10はS-61°-E (N-61°-W)、48-45グリッドより東側がS-52°-E (N-52°-W)である。南北側溝間の幅は、83T12の芯々で7.9m、83T8の芯々で11.3mである。また、第73次調査で確認した範囲も含むと、72SD2付近では11.8mとなる。83SD1の上幅は0.66~1.4m、83SD17が0.8~1.1m、83SD10が0.3~0.75mである。堆積状況を確認した部分での深度は、83SD1が83T4で0.34m、83T8で0.22m、83T12で0.51m、83SD17が83T12で0.16m、83SD10が83T8で0.18m、83T9で0.09m、83T10で0.3mである。溝断面形は概ね逆台形状を呈するが、83SD1の東側や83SD17は底面が弧状を呈し、83T10では底面が極端に狭くなっており、V字状に近い形状を呈している。トレンチの底面標高に注目すると、83SD1は83T12で28.5m前後、83T4で28.5m前後、83T8で28.4m前後、83SD17は83T12で28.3m前後、83SD10は83T8で27.9m前後、83T10で27.7m前後となっており、北側側溝は緩やかに東南東方向に、南側側溝は東南東方向から南東方向に傾斜している。〔埋土・堆積状況〕 本遺構の堆積状況については、トレンチ毎に記載する。

83SD1 (25SD2) 83T4西壁 (図10・写真図版6) 45・46-41・42グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。5層及び6層が本遺構の埋土である。全体的に夾雑物が少なく、レンズ状の堆積状況を呈しており、自然堆積の様相を呈しているものと考えられる。基本層序Ⅱ層と様相が類似するかわらけ細片を包含する埋土で被覆されている。

83SD1 (25SD2) 83T8延長東壁 (図10・写真図版6) 48-43グリッドで観察した。図の右が猫間が淵跡側になる。1層及び2層が本遺構の埋土である。北側の壁際に壁の崩落土と考えられるにぶい黄褐色粘土層(2層)が確認できるが、大部分は夾雑物の少ないにぶい黄褐色シルト(1層)である。人為堆積の根拠は見出せない。

83SD1 (25SD2) 83T12西壁 (図10・写真図版7) 43-40・41グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。3層~6層が本遺構の埋土である。斜面上方の北側の壁際には壁の崩落に伴うと考えられる地山起源のにぶい黄色シルト層(6層)が確認できる。埋土の下部は褐灰色~灰黄褐色シルト(5層)、上部は灰黄褐色シルト(3層・4層)を主体とし、各層とも三角形もしくはレンズ状の堆積状況を呈しており、自然堆積の可能性が高い。全体的に酸化鉄が顕著である。

83SD17(80SD1) 83T12西壁(図11) 42-42グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。非常に残存状態が悪いことと、83SD6の構築によって上部が失われているため、底面付近しか確認できない。2層が本遺構の埋土で夾雑物の少ない灰黄褐色シルトの単層である。酸化鉄斑が顕著である。人為堆積の根拠は見出せない。

83SD10 (80SD1) 83T5西壁 (図18・写真図版10) 49-46グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。トレンチの断面観察のみで確認できたもので、本遺構の立ち上がりがわずかに確認で

きる。3層が本遺構の埋土で、褐灰色シルトの単層である。

83SD10 (80SD1) 83T8東壁 (図11) 47-45グリッドで観察した。図の右が猫間が淵跡側になる。4層が本遺構の堆積土である。灰黄褐色シルトの単層である。かわらけ細片や炭化物が包含するものの、ブロック状の堆積土は確認できず、人為堆積の根拠は見出せない。

83SD10 (80SD1) 83T9西壁 46-44グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。遺構の有無が不明瞭であったため、検出作業を入念に行った結果、確認できる深度は浅くなってしまっている。1層が本遺構の埋土で、にぶい黄褐色シルトの単層である。人為堆積の痕跡は確認できない。

83SD10 (80SD1) 83T10西壁 (図11・写真図版8) 48-45グリッドで観察した。図の左が猫間が淵跡側になる。2層～4層が本遺構の埋土である。下部は灰黄褐色粘土を主体とする。酸化鉄の集積が顕著である。上部は灰黄褐色～にぶい黄褐色シルトを主体とする。下部のような酸化鉄の集積は確認できない。全体的に夾雑物が少なく、人為堆積の根拠は見出せない。

〔重複・先後関係〕 広範囲に及ぶ遺構であるため、プラン内には様々な遺構との関係が確認できるが、直接的に重複関係を把握できるもの限定して記載する。83SK1・83SK5、83SD3・83SD6・83SD8・83SD9・83SD11・83SD15・83SD19・83SD24、83SA3、83SX1、83P27・83P57・83P58と重複し、83SK1・83SK5、83SD3・83SD9・83SD11・83SD19・83SD24、83SA3、83SX1を切り、その他の遺構に切られる。この他83SD21とも重複するが、先後関係を把握できなかった。

〔出土遺物〕 83SD1 (25SD2) はかわらけ2,991.8g、国産陶器1,176.2g (17点)、輸入磁器31.4g (4点)、金属製品4.5g、羽口28.6g、石器類169.4g、土壁・粘土塊16.6g、鉄滓139.6g、炭化物9.8gが出土しており、かわらけ3点、国産陶器14点、輸入磁器3点、石器類1点を図示した (39～41・42～55・56～58・59)。83SD10 (80SD1対応) はかわらけ101.0g、石器類527.1g、土壁10.7gが出土しているが、細片のため、図示していない。83SD17 (80SD1) は国産陶器16.7g (1点) が出土し、国産陶器1点を図示した (60)。

(4) 溝 跡

73SD7 (図12・写真図版8)

〔位置・検出状況・精査方法〕 48-45グリッドに位置する。第73次調査のトレンチを再確認し、その周辺を確認したところ、整地層上面で北西から南東方向に走行する黒褐色の帯状範囲として検出した。第73次調査では道路状遺構を構成する溝跡と想定されており、東西方向に延伸するものと想定していたが、83T8より西側及び49-46グリッドより東側ではその延伸が確認できなくなっており、想定よりも全長の短い溝跡と判断した。83T8と83T10で堆積状況と重複する遺構との関係把握を行い、その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 48-45グリッド内を北西から南東に走行するが、北西側は83T8より西側では確認できなくなり、南東側は49-46グリッドのベルト部分で立ち上がるものと想定される。調査区内で確認した全長は5.9mである。走行方向はS-50°-E (N-50°-W) である。確認できた上幅は最大で0.6m、堆積状況を確認した部分での深度は83T8が最大で19cmである。壁は底面からなだらかに立ち上がる。トレンチの底面標高に注目すると、83T8では27.92m前後、83T10では27.93m前後と大きさに差は

見られない。

〔埋土・堆積状況〕 3層に分層した。83T8では底面直上に整地層起源と想定される明黄褐色粘土と灰黄褐色土の混合土が確認でき、その上部に地山ブロックを含むにぶい黄褐色土が薄く堆積し、大部分は黒褐色シルト主体の堆積土（83T8の1層、83T10の1層）で埋没している。人為堆積の根拠は見出せない。

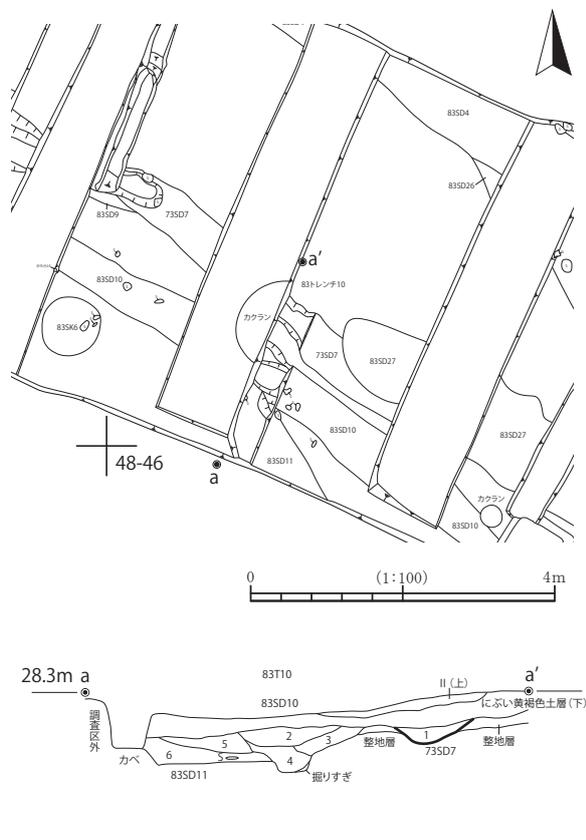
〔重複・先後関係〕 83SD9、83SD27と重複する。本遺構が83SD9を切り、83SD27に切られる。

〔出土遺物〕 かわらけ70.5gが出土しているが、細片のため図示していない。

83SD3 (図13~14)

〔位置・検出状況・精査方法〕 44-41~47-42グリッドに位置する。中央付近で、道路状遺構を構成する83SD1 (25SD2) や83SD2 (25SD3) を含む複数の溝跡が帯状として検出されている。本遺構は帯状範囲の北側に位置し、83SD1と重複する地山ブロックを包含する灰黄褐色~にぶい黄褐色の帯状範囲として確認している。検出面は削平された地山面である。概ね東西方向に延伸し、西側は44-41グリッドで83SD1に切られて確認できなくなっている。東側は47-42グリッドで底面の深い部分が筋状に確認できるが、それより東では確認できなくなっている。83T4で堆積状況を確認し、その他の部分を保存することとした。

〔規模・形状〕 44-41グリッドから東南東方向にほぼ直線的に延伸し、47-42グリッドで確認できなくなる。調査区内で確認された全長は約16.0mである。走行方向は上幅の中央付近で計測すると、S-64°~67°-E (N-64°~67°-W) である。検出段階での標高に注目すると、44-41グリッド周辺では



【83T10 断面a-a'】

1. 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性やや疎 しまりやや密
地山小ブロック3~5%、炭化物(1~2mm角)1%含。
2. 10YR4/2 灰黄褐色シルト 粘性中 しまりやや密
炭化物(1~2mm粒)1~2%含。かわらけ小片包含。
にぶい黄褐色シルトしみ状に混入。
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまり密
地山小ブロック2~3%含。かわらけ小片包含。
4. 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性やや密 しまり密
炭化物(1~2mm粒)1%含。酸化鉄の集積顕著。
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性中 しまり中
灰黄褐色土小ブロック(ベルト部分のみ)2~3%、
炭化物(2~3mm角)1%含。
6. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト 粘性やや疎 しまりやや疎
灰黄褐色土小ブロック5~7%、炭化物(3×5mm角)3~5%含。

図12 73SD7 平断面図

28.9m前後、46-42グリッド周辺では28.6m前後となっており、東南東へ傾斜している傾向が確認できる。確認できた上幅は1.2mで、深さは83T4で22cmである。南側の壁は底面からなだらかに立ち上がり、上半は60°程の角度で直線的に立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 3層に分層した。地山ブロックやかわらけ細片を包含する灰黄褐色～にぶい黄褐色シルトを主体とする。83SD1と接する底面周辺には混合層が確認できる。最終的にはⅡ層起源と想定されるにぶい黄褐色シルトで埋没している。全体的な堆積状況はレンズ状を呈しているが、地山ブロックの包含が確認でき、人為堆積の可能性を否定できるものではない。

〔重複・先後関係〕 83SD1、83SX1、83SX5、83P49と重複する。本遺構はこれらの遺構に切られる。

〔出土遺物〕 かわらけ130.1g、国産陶器49.8g（1点）、羽口10.8gが出土しており、かわらけ1点、国産陶器1点を図示した（61・62）。

83SD4 (29SD2) (図13～15・写真図版7・8)

〔位置・検出状況・精査方法〕 42-41～50-46グリッドに位置する。前述の83SD3と一連で検出した範囲の南側に位置しており、80SC1の北側側溝である83SD2（25SD3）と重複する概ね東西方向に走行する黒褐色の帯状範囲として検出した。西側は第29次調査・第30次調査で確認された29SD2に連続する。東側は調査区外に延伸するが、東側に隣接する第79次調査では確認できないため、未調査範囲内で立ち上がるものと考えられる。検出面は削平された地山面である。精査は83T4の他、83SD2との関係を把握するために設定した83T6、83SX1及び83SD2との関係を把握するために設定した83T7、一連の遺構を確認するために設定した83T8、プランが不明瞭な範囲である調査区西側に設定した83T12で行い、その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 第30次調査との境界で確認できる42-41グリッドから48-44グリッドまでは東南東方向に走行し、調査区東側で再確認できる部分では、やや南向きに東走しながら調査区外へ延伸している。調査区内で確認された延長は約44.1mである。走行方向は上幅の中央付近で計測すると、調査区西から中央ではS-60～62°-E（N-60～62°-W）で、調査区東側になると、S-52°-E（N-52°-W）となる。トレンチで確認した底面標高に注目すると、西側に位置する83T12が28.6m前後と高く、東側に向かって傾斜しており、調査区中央東端に位置する83T8では28.2m前後となっている。確認できた上幅は0.7～1.7mで、深度は23～26cmである。底面は83T4や83T7では概ね平坦、83T6では北側がやや急に傾斜しているが、83T8や83T12では中央に向かって緩やかに下がっている。壁は底面からなだらかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 以下にトレンチ毎に記述する。

83T12 7・8層が本遺構の埋土である。かわらけ細片や炭化物粒を包含する暗褐色～にぶい黄褐色シルトを主体とする。南壁際には小規模な壁の崩落を伴うと想定される地山ブロックを含むにぶい黄褐色シルトが三角形に堆積している。全体的に自然堆積と考えられる。

83T6 1～4層が本遺構の埋土である。南側の壁際には83T12と類似するにぶい黄褐色シルト（4層）が確認でき、北側にも壁の崩落に伴うと想定される地山主体の堆積土（3層）が確認できる。下半はにぶい黄褐色土、上半は黒褐色土を主体とし、レンズ状の堆積状況を呈していることから自然堆積と考えられる。

83T7 3～5層が本遺構の埋土である。下半は灰黄褐色粘土を、上半は灰黄褐色～にぶい黄褐色シルトを主体とする。壁の崩落に伴うと考えられる埋土は確認できないが、他のトレンチと堆積状況が類似しており、自然堆積の可能性が高い。

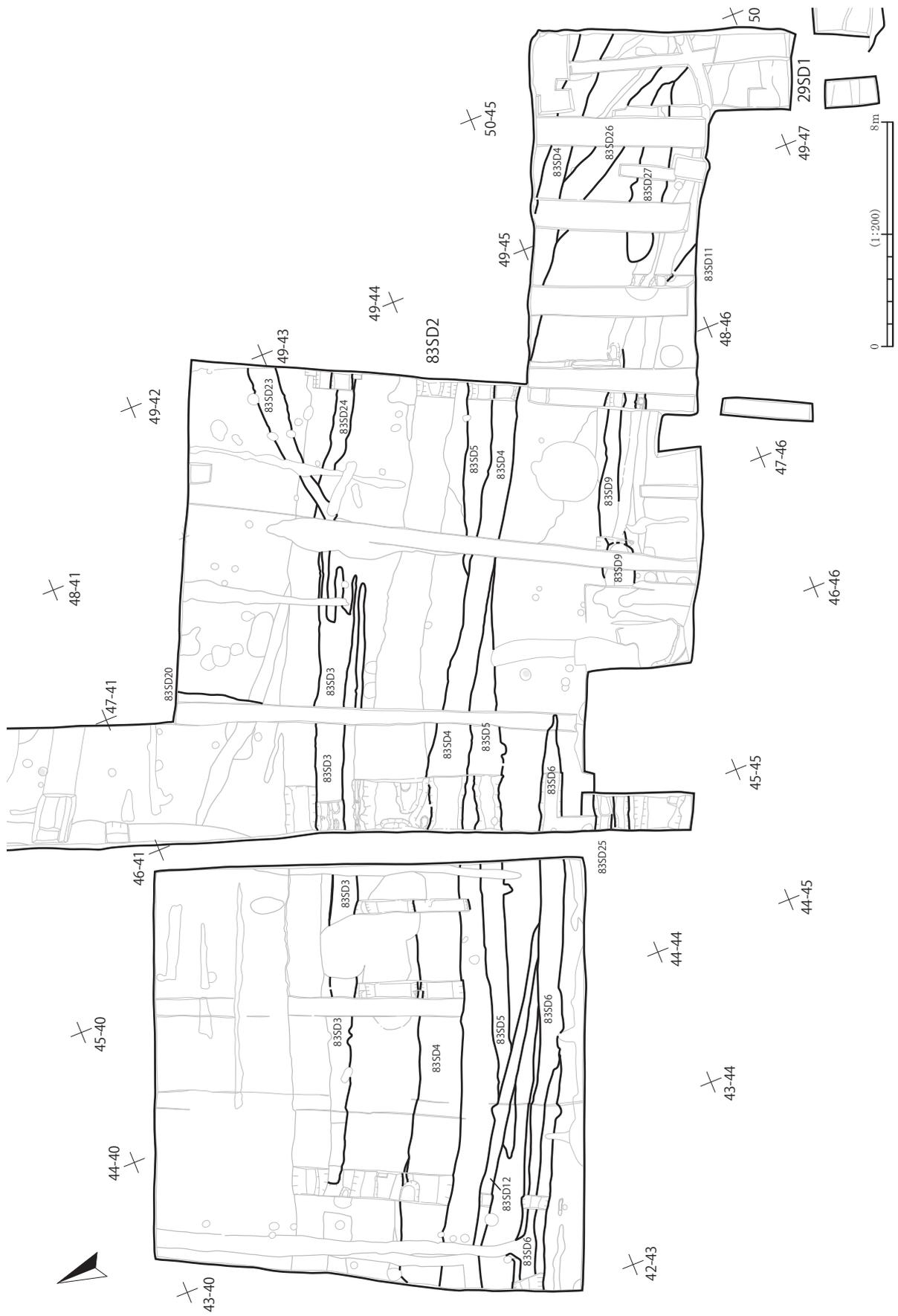


図13 83SD3~6・9・11・12・24~27 平面図

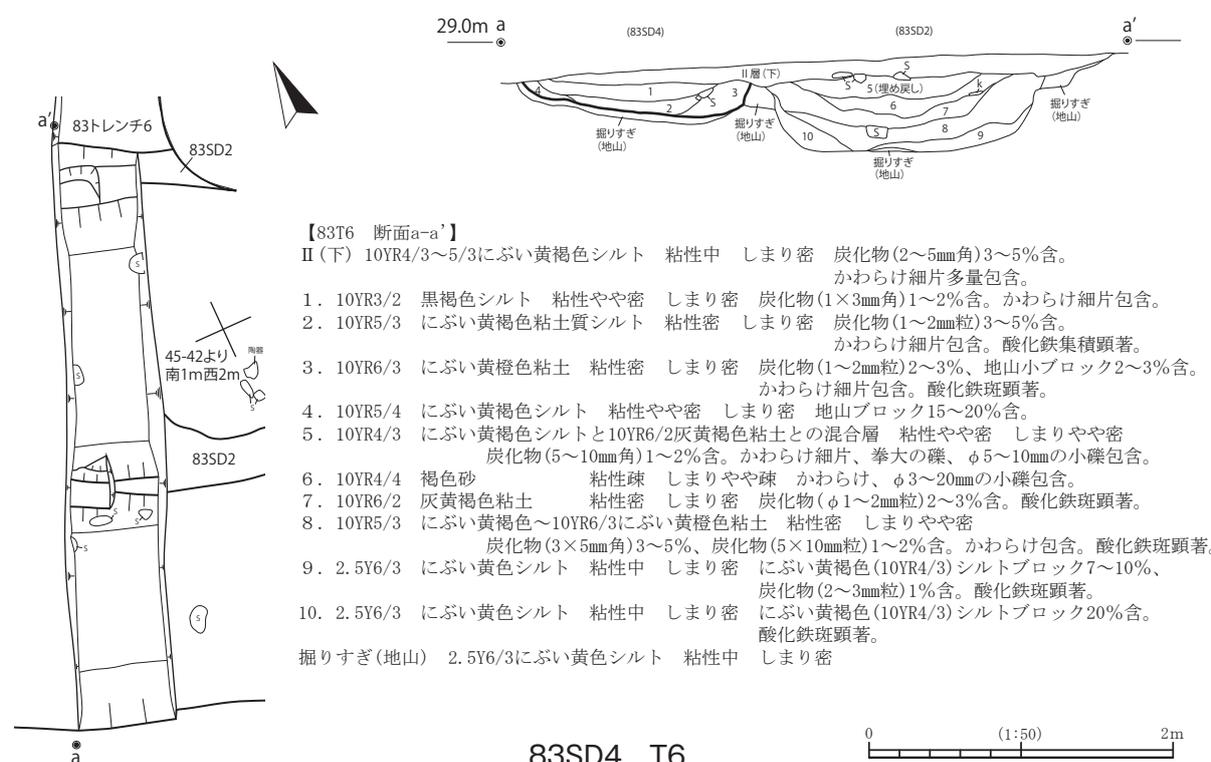
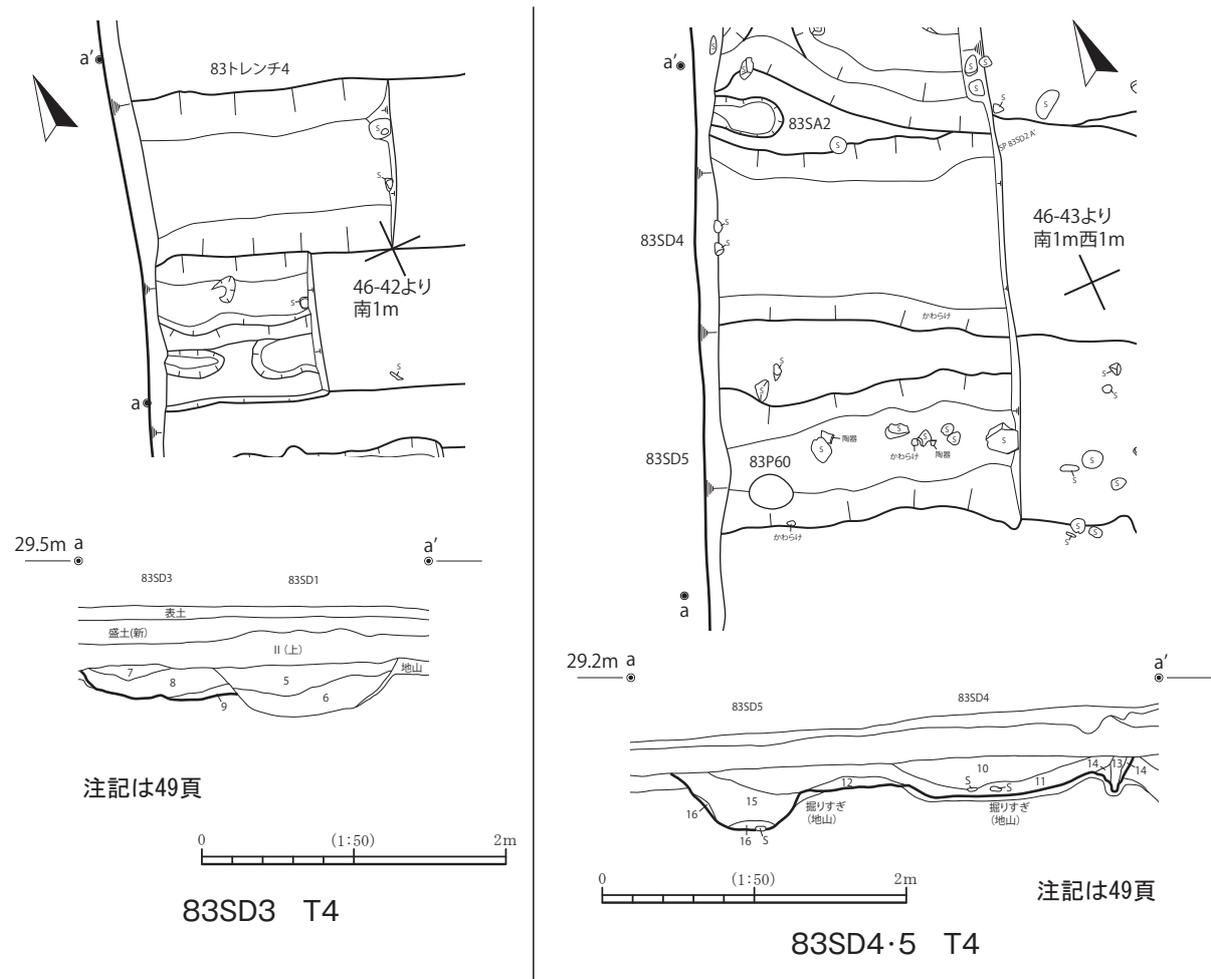


図14 83SD3~5 平断面図

83T4 10・11層が本遺構の埋土である。南側に隣接する83SD5が完全には埋没しておらず、本遺構に堆積するにぶい黄褐色シルトが一連で被覆している。浅く窪んだ状況に、黒褐色シルトが堆積することで埋没している。10層からはかわらけ細片が多量に出土している。

83T8延長 11・12層が本遺構の埋土である。底面付近にはにぶい黄褐色シルトが薄く堆積し、大部分は夾雑物の少ない暗褐色シルトで埋没している。人為堆積の痕跡は見出せず、他のトレンチと同じように自然堆積と考えられる。

〔重複・先後関係〕 83SD2・83SD5・83SD8・83SD15・83SD16・83SD26、83SX1・83SX3、整地層、83P31・83P32と重複する。83SD2・83SD5・83SD26、83SX3、整地層を切り、その他の遺構に切られる。

〔出土遺物〕 かわらけ3,175.8g、国産陶器454.4g（12点）、金属製品6.9g、石器類20.0g、粘土塊7.0g、鉄滓144.5g、炭化物4.1gが出土しており、かわらけ1点、国産陶器7点を図示した（63・64～70）。

83SD5（図13～15・写真図版8・9）

〔位置・検出状況・精査方法〕 43-42グリッド～48-44グリッドに位置する。東側では、前述の83SD4と一連で検出しており、83SD4に切られる灰黄褐色の帯状範囲として検出した。検出面は削平された地山面及び整地層が確認できる47-43・44グリッド周辺では整地層上面である。43-42グリッドを起点として、概ね東西方向に延伸している。東側は第73次調査の範囲に延伸しているが、個別の溝跡とは認識されておらず、遺構名は付されていない。45-43及び46-43グリッドでは本遺構の範囲内に多数の礫を検出している。83T4と83T8で精査を行い、その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 43-42グリッドを起点として、直線的に東走しながら、調査区外に延伸している。調査区内で確認された全長は27.8mである。走行方向は上幅の中央付近で計測すると、S-70～72°-W（N-70～72°-E）である。トレンチで確認した底面標高に注目すると、83T4では28.2前後m、83T8では28.1m前後となっており、東に緩やかに傾斜している。確認できた上幅は最大1.0mで、深度は83T4で40cm、83T8で33cmである。83T4では、底面幅は非常に狭く、83T8では底面幅が広がる差が見られ、壁はその底面から45°程度の角度で直線的に立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 以下にトレンチ毎に記述する。

83T4 15層及び16層が本遺構の埋土である。主体は大小様々なかわらけを多量に包含する灰黄褐色粘土層（15層）で、底面及び南側の壁付近に小規模な壁の崩落を伴うと想定される地山主体の堆積土（16層）が確認できる。この段階では浅く窪んだ状況であり、最終的には北側に隣接する83SD4と連続する堆積土によって完全に被覆されている。埋没の初期段階では自然堆積と考えられるが、主体となる15層はかわらけの包含量を考慮すると、人為堆積の可能性が高いと考えられる。

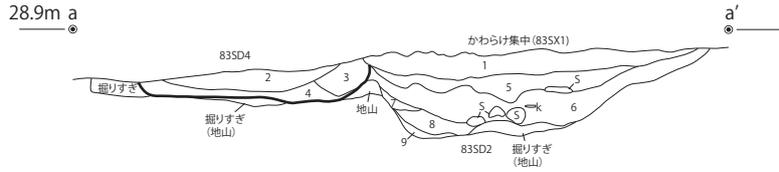
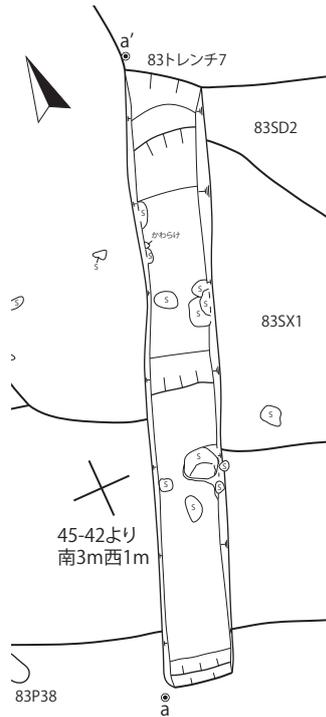
83T8延長 13層及び14層が本遺構の埋土である。混入物の違いにより2層に分層したが、その主体はにぶい黄褐色シルトである。83T4のような多量のかわらけの包含は確認できないが、少なくとも下層の14層は地山ブロックの混入が確認でき、人為堆積の可能性が高いと考えられる。

〔重複・先後関係〕 83SD4・83SD8・83SD12、整地層、83P60と重複する。本遺構が整地層と83P60を切っており、その他の遺構に本遺構が切られている。

〔出土遺物〕 かわらけ18,618.1g、国産陶器403.7g（10点）、金属製品29.3g、土壁・粘土塊21.2g、炭化物27.8gが出土し、かわらけ7点、国産陶器7点を図示した（71～77・78～84）。

83SD6（30SD20）（図13・16・写真図版9）

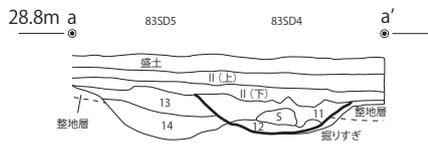
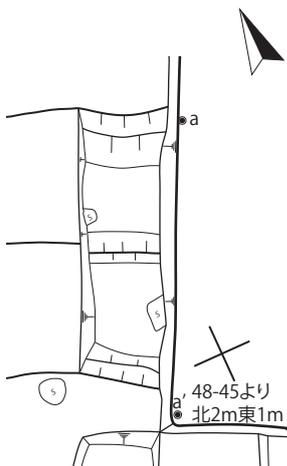
〔位置・検出状況・精査方法〕 42-42グリッド～45-43グリッドに位置する。南端で東西方向に走行す



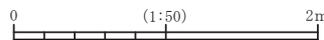
【83T7 断面a-a'】

1. 10YR4/2 灰黄褐色シルト 粘性やや疎 しまりやや疎 かわらけ主体層。
上部は細片多く、下部には完形個体多数有。炭化物(1~3×3~5mm角)5~7%含。
2. 10YR4/2 灰黄褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまり密
上面程灰黄褐色を呈す。炭化物(3×5mm角)2~3%、酸化鉄粒2~3%含。
かわらけ細片包含。
3. 10YR6/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまり密
かわらけ細片1~2%、地山(明黄褐色粘土)小ブロック2~3%含。酸化鉄斑顕著。
4. 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまり密
地山(浅黄色粘土)ブロック5~7%、炭化物(2欠×3cm角、3×3cm角)1~2%含。
5. 5. 10YR4/2灰黄褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中 しまり中
にぶい黄褐色砂、褐色砂を層状に包含する。かわらけ片少量包含。酸化鉄斑顕著。
6. 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまりやや密 部分的ににぶい黄褐色(10YR5/3)を
呈す。炭化物(2×3mm角)1~2%含。南側に拳大~人頭の礫を包含。酸化鉄斑顕著。
7. 2. 5Y7/4 浅黄色粘土質シルト 粘性やや密 しまりやや密 酸化鉄粒5~7%、
灰黄褐色小ブロック3~5%含。
8. 10YR5/2~6/2灰黄褐色シルト 粘性やや密 しまりやや密 地山ブロック7~10%、
灰黄褐色砂ブロック3~5%、炭化物(2×3mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
9. 2. 5Y7/4 浅黄色粘土質シルト 粘性やや密 しまりやや密
炭化物(2~3mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。 <壁崩落土層>

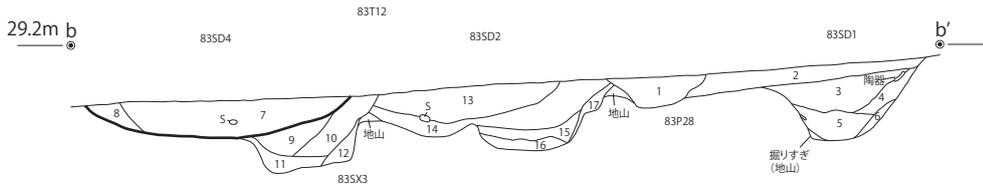
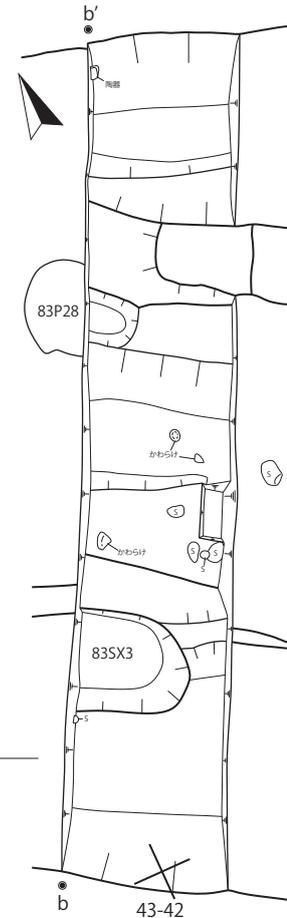
83SD4 T7



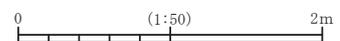
注記は49頁



83SD4.5 T8



注記は49頁



83SD4 T12

図15 83SD4・5 平断面図

る黒褐色の帯状範囲として検出した。検出面は削平された地山面であるが、83T4を観察すると、現在の畔と一致して、II層より掘り込まれており、近世以降の溝であると捉えることができる。西側は隣接する第30次調査の範囲に延伸しており、第29次調査及び第30次調査で検出された30SD20に連続する。近代の溝跡として報告されていることと齟齬はみられない。42-42グリッドにおいて、南北方向に延伸する83SD15と一体となっている。また、42-42グリッド及び43-42グリッドにおいて、本遺構を含め2条以上の溝が存在する可能性があることから、82T12の延長線上の一部の精査を行った。その他に83T4で精査を行い、その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 第30次調査の範囲から南東方向に延伸しており、45-43グリッドで確認できなくなっている。調査区内で確認された全長は約20.6mである。走行方向は上幅の中央付近で計測すると、S-65~66°-E (N-65~66°-W) である。検出段階の標高に注目すると、42-42グリッド周辺と44-43グリッド周辺で比較すると30cm前後の高低差があり、概ね北西から南東へ傾斜しているものと認識できる。上幅は最大0.9mで、確認した深度は83T4で30cm、83T12で9cmである。壁は底面からなだらかに立ち上がる。83T4では、83T12で確認できるものより古い段階の溝と想定されるものも確認されている。底面が非常に狭く、壁は底面から45°程度の角度で直線的に立ち上がる。埋土の様相も異なっており、別遺構である可能性も考えられる。

〔埋土・堆積状況〕 西側ほど残存状態が悪く、底面付近しか確認できない。埋土は全体的にしまりのないもので、83T4では黒褐色、83T12は黄灰色を呈する。83T4では黒褐色シルトの下に灰黄褐色~にぶい黄褐色粘土質シルト主体（2層）となっている。1層と比較すると、締まっているのが確認できる。

〔重複・先後関係〕 83SD12・83SD17、83P36と重複する。83P36に切られ、その他の遺構を切っている。この他、83SD15と一体化しており、検出状況では差を見出すことはできなかった。

〔出土遺物〕 かわらけ30.6g、国産陶器24.3g（1点）、石器類5.3gが出土しているが、細片のため、図示していない。

83SD8 (図17)

〔位置・検出状況・精査方法〕 44-43グリッド~47-37グリッドに位置する。調査区中央に設定したメインベルト（83T4）を挟んで南北方向に延伸するにぶい黄褐色の帯状範囲として検出した。検出面は削平された地山面である。北側は調査区外へと延伸しており、南側は44-43グリッドで確認できなくなっている。精査は83T4の延長線上である西壁の一部で行い、その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 47-37グリッドから南南西方向に直線的に延伸し、44-43グリッドで確認できなくなる。調査区内で確認された全長は約34.2mである。走行方向は上幅の中央付近で計測すると、S-23~25°-W (N-23~25°-E) である。検出段階の標高に注目すると、47-37グリッドで29.6m前後、46-41グリッドで28.9m前後、44-43グリッドで28.5m前後と南南西方向（猫間が淵跡方向）へ傾斜しているのが確認できる。確認できた上幅は最大0.8mで、確認した深度は堆積状況を確認した部分で14cmである。壁は底面からなだらかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 にぶい黄褐色シルトを主体とし、混入物の差異により2層に分層した。夾雑物が少なく、人為堆積の根拠は見出せない。

〔重複・先後関係〕 83SD1~83SD5・83SD7・83SD19、83SX1と重複する。83SD7に切られ、その他の遺構を切る。

〔出土遺物〕 かわらけ1.2g、輸入磁器2.2g（1点）、鉄滓20.2gが出土しているが、細片のため、図示していない。

2 検出遺構

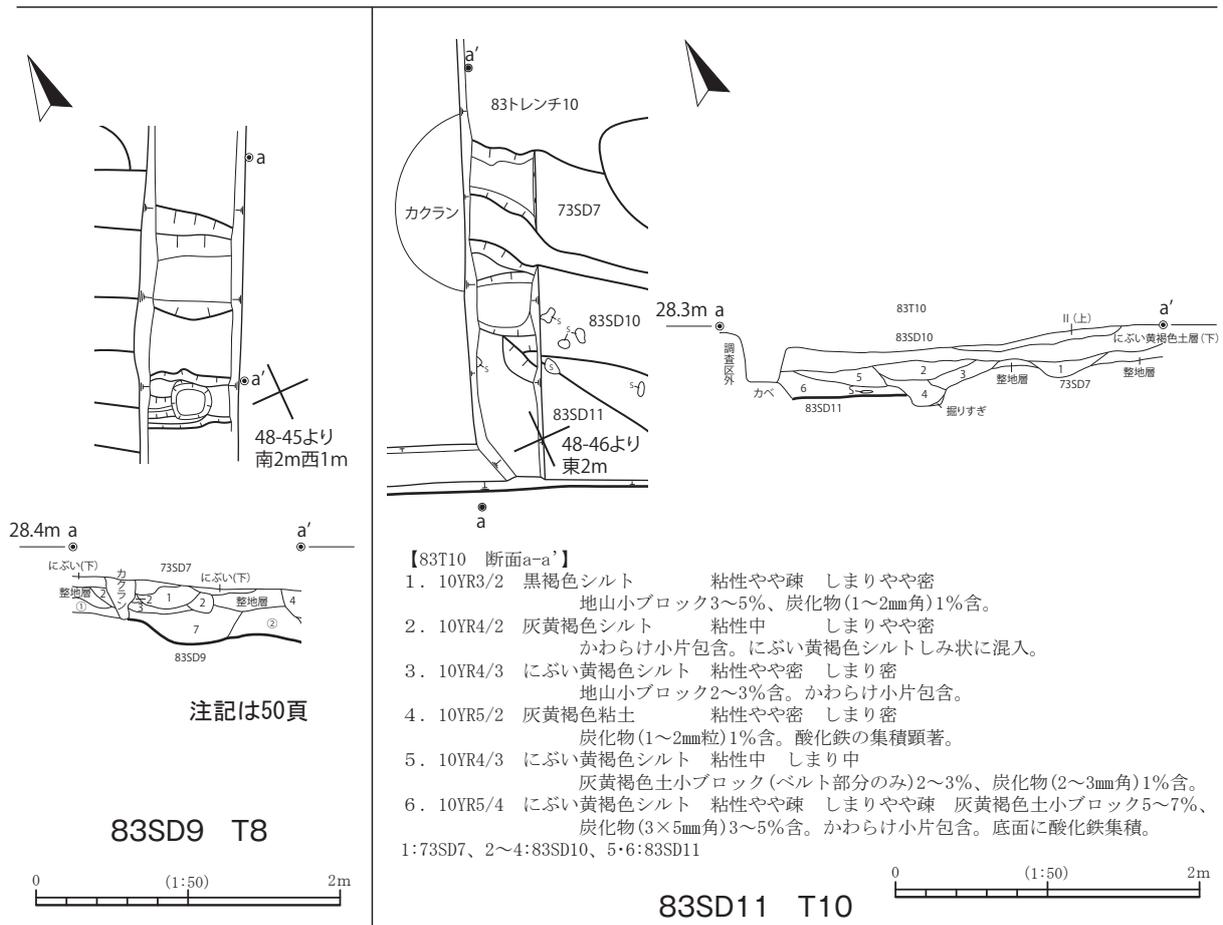
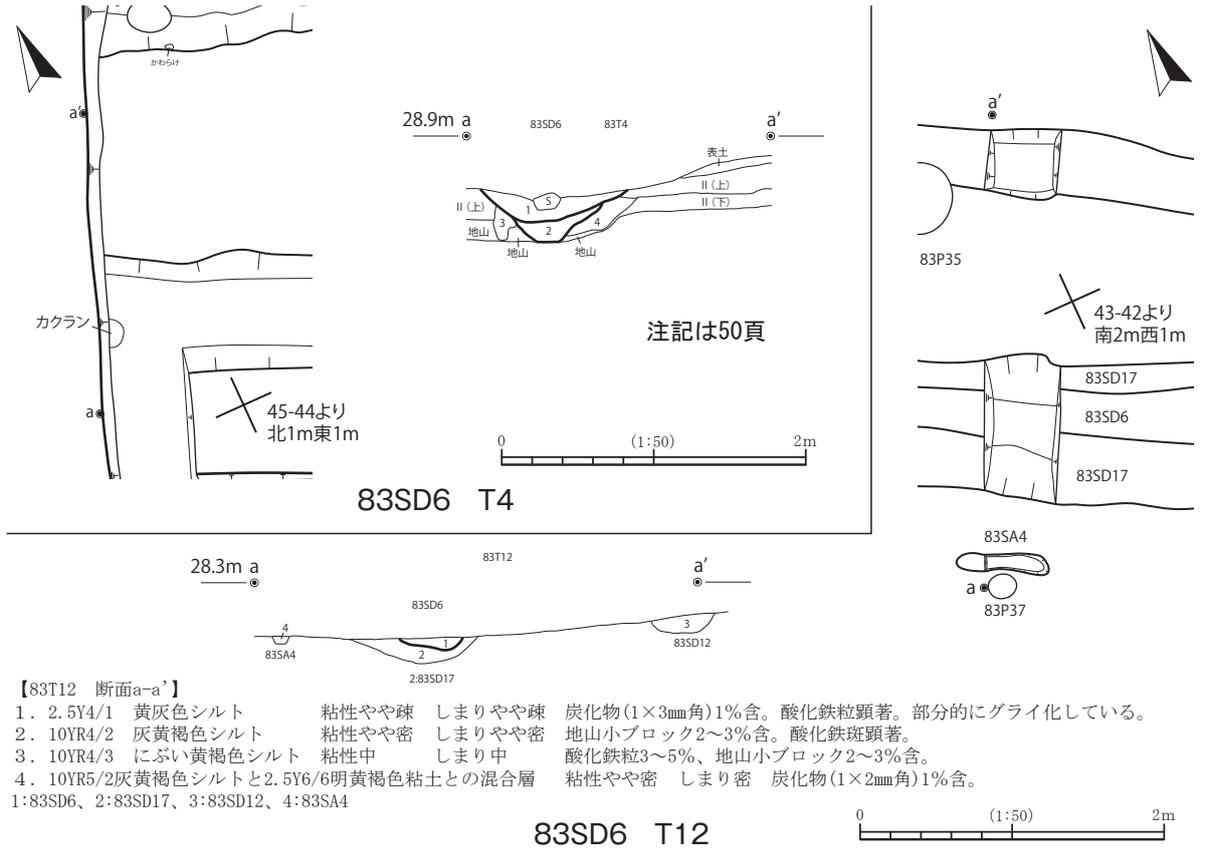


図16 83SD6・9・11 平断面図

当初12世紀に属すると考えたが、ほとんどの遺構と新しく重複することから近世以降の年代を想定している。

83SD9 (図13・16・写真図版9)

〔位置・検出状況・精査方法〕 46-44グリッド～48-45グリッドに位置する。83T8より西側では、汚れた地山を主体とする堆積層が面的に広がっており、整地層の可能性を想定していた。黒味を帯びた帯状範囲が東西方向に延伸していたが、そのプランは不明瞭であり、プランが明瞭になるまで、数回に分けて検出を繰り返した。その結果、前述の帯状範囲の北側に褐灰色～灰黄褐色の帯状範囲を検出した。先に検出した遺構を83SD10、後に検出した遺構を83SD9とした。平面図に記載はできなかったが、47-45グリッドの範囲においても整地層が広がっていたものと考えられる。検出面は地山面(にぶい黄褐色粘土シルト面)で、83T8の観察から整地層より古い遺構と捉えられる。西側は第30次調査で検出された30SD26に繋がるものと考えられる。30SD26は検出された遺構の中では古いものであるとの報告がされており、今回の調査成果と大きな齟齬は見られない。東側は73SD7にぶつかり、延伸は確認できなくなっている。83T8の他、46-44グリッドにトレンチ(83T9)を設定して、精査を行った。その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 隣接する第30次調査の範囲から延伸し、73SD7とぶつかる48-45グリッドで確認できなくなっている。調査区内で確認された全長は約8.1mである。走行方向は上幅の中央付近で計測すると、S-64°-E(N-64°-W)である。トレンチでの底面標高に注目すると、83T8で27.74m前後、83T9で27.91m前後となっており、東南東へ傾斜している。遺構の上幅は最大0.7mで、確認した深度は83T8で25cm、83T9で12cmである。比較的残存が良好な83T8で観察すると、斜面下方の南側の壁は底面から60°程の角度で直線的に立ち上がる。北側は南側と比較すると、なだらかに立ち上がり、やや平坦な部分が確認できるが、攪乱によって立ち上がりの様相は確認できない。

〔埋土・堆積状況〕 83T8は7層が本遺構の埋土で、褐灰色～灰黄褐色粘土質シルトの単層である。83T9は3層及び4層が本遺構の埋土である。2層によって分断されているが、灰黄褐色粘土の単層と見ることができる。斜面上方にあたる、北側には部分的に壁の崩落に伴うと考えられる地山ブロックの流入が見られる。全体的に酸化鉄の集積が見られる。明瞭な人為堆積の痕跡は見出せない。

〔重複・先後関係〕 83SK5、73SD7・83SD10と重複する。83SK5を切り、73SD7・83SD10に切られている。この他、本遺構は整地層に被覆されており、数少ない整地層より古い遺構である。

〔出土遺物〕 かわらけ430.6g、土壁3.3g、炭化物9.4gが出土しており、かわらけ4点を図示した(85～88)。

83SD11 (図13・16・写真図版8)

〔位置・検出状況・精査方法〕 48-45・46グリッドに位置する。83SD10に切られ、南南東方向に走行するにぶい黄褐色の帯状範囲として検出した。調査区西側には延伸が確認できないため、48-45・46ベルト部分で立ち上がるものと想定される。南側は調査区外へと延伸している。検出面は地山面である。83SD10と重複する箇所にトレンチ(83T10)を設定し、精査を行った。その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 調査区内で確認された全長は約1.9mである。走行方向は南南東方向で、上幅の中央付近で計測すると、S-30°-E(N-30°-W)になる。検出段階の標高に注目すると、南南東方向に緩やかに傾斜しているのが確認できる。確認できる上幅は最大で0.89mで、確認した深度は83T10で

19.1cmである。底面は平坦で、壁は45°程度の角度で直線的に立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 83T10で堆積状況を観察し、5層及び6層が本遺構の埋土である。にぶい黄褐色シルトを主体とし、しまりや混入物の違いにより2層に分層した。6層はしまりがなく、ブロック状の混入土が確認でき、人為堆積の可能性がある。底面には酸化鉄が集積し、斑状に見られる。5層は混入物が少なく、自然堆積の可能性が高いと考えられる。

〔重複・先後関係〕 83SD10と重複し、本遺構が切られている。

〔出土遺物〕 かわらけ333.4gが出土しているが、細片のため、図示していない。

83SD12 (30SD19) (図13・17)

〔位置・検出状況・精査方法〕 42-41グリッド～44-43グリッドに位置する。調査区西の南側で北西から南東方向に走行するにぶい黄褐色の範囲として検出した。北側は第30次調査へと延伸しており、第29次調査及び第30次調査で検出された30SD19に連続する。東側は83SD6とぶつかり確認できなくなっている。検出面は削平された地山面である。83T12の南側に一連のトレンチを設定して、精査を行った。その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 調査区内で確認された全長は約13.2mである。83SD16とぶつかる42-41グリッド内は東南東方向に、それより東側は南東方向に走行する。上幅の中央付近で計測すると、83SD16との合流地点より西側はS-75°-E (N-75°-W)で、東側はS-57°-E (N-57°-W)となる。検出段階での標高に注目すると、合流地点付近で28.67m前後、43-42グリッド西側付近で28.61m前後、83SD6とぶつかる44-43グリッド付近で28.4m前後となっており、南東方向に傾斜しているものと想定される。遺構の上幅は0.22～0.57mで、確認した深度は83T12で12cmである。底面は中央付近が緩やかに窪んでおり、壁は底面から45°程の角度で内湾しながら立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 83T12A断面の3層が本遺構の埋土で、にぶい黄褐色シルトの単層である。層厚がなく、人為堆積か自然堆積かの判断ができなかった。

〔重複・先後関係〕 83SD5・83SD6・83SD15・83SD16と重複する。83SD6・83SD15に切られ、83SD5を切っている。83SD16とは埋土が類似しており、最終的な埋没は時間差がないものと想定される。

〔出土遺物〕 国産陶器170.2g (2点)が出土しており、国産陶器2点を図示した(89、90)。

83SD24 (図13・17)

〔位置・検出状況・精査方法〕 48-43グリッドに位置する。83SD1と接するにぶい黄褐色、浅黄色、灰黄褐色が混在する帯状範囲として検出した。西側は南北方向に走行する近代以降の溝に切られ、それより西側は土地改変の影響で浅く窪んでおり、確認できなくなっている。47-42グリッドより西側では埋土が類似する83SD3が検出されており、一連の遺構の可能性がある。東側は第73次調査で検出された73SD4に連続する。検出面は削平された地山面である。精査は83T8で行い、その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 調査区内で確認された全長は約3.5mである。走行方向は東南東方向で、上幅の中央付近で計測すると、S-64°-E (N-64°-W)になる。トレンチ内の底面標高を見る限りでは、東側に緩やかに傾斜しているものと想定される。上幅は83SD1と重複しているため、確認できない。確認した深度は83T8で40cmである。底面は概ね平坦で、底面からの立ち上がりは緩やかであるが、中間部は15°前後の角度で直線的になっており、開口部は外側に開きながら立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 3層及び4層が本遺構の埋土である。3層はにぶい黄褐色シルトと地山起源のにぶい黄色～浅黄色粘土や灰黄褐色シルトとの混合土層、4層はにぶい黄色砂質シルトと地山起源の明黄褐色粘土との混合土層である。人為的な堆積状況を呈している。全体的に酸化鉄斑が顕著に見られる。

〔重複・先後関係〕 83SD1と重複し、本遺構が切られる。

〔出土遺物〕 なし。

83SD25 (図13・18・写真図版10)

〔位置・検出状況・精査方法〕 44・45-43・44グリッドに位置する。新たに検出した道路状遺構を構成する溝跡と29SD1を一連で確認するために、83T4の南側の一部を延長して精査した部分にあたる。検出段階では階段状の段差と認識していたが、断面観察によって、斜面下方（南側）の立ち上がりを確認したために、溝跡と判断した。第30次調査では本遺構に該当する遺構は確認されておらず、第30次調査とのわずかな未調査範囲の中に収まるものと考えられる。そのため、溝跡と報告するが、長方形基調の土坑である可能性も否定できない。

〔規模・形状〕 確認した全長は約1.3mである。走行方向は西北西から東南東方向で、上幅の中央付近で計測すると、S-64°-E (N-64°-W)になる。確認できた底面は部分的であるが、南南東に緩やかに傾斜しているのが確認できる。西壁で確認できる上幅は約1.1mであるが、両端とも切られているため、それ以上であることは確実である。確認した深度は26cmである。底面は概ね平坦で、壁は底面からなだらかに立ち上がることは確認できるが、北側は83P64に切られているため、南側は第30次調査の範囲に広がっているため、上部は確認できない。

〔埋土・堆積状況〕 83T4南側延長の3層が本遺構の埋土で、灰黄褐色シルトの単層である。酸化鉄の集積が顕著である。

〔重複・先後関係〕 83P64と重複し、本遺構が切られる。この他、南側に30SD26が近接しているが、先後関係は不明である。

〔出土遺物〕 なし。

83SD26 (図13・18)

〔位置・検出状況・精査方法〕 48-45グリッド～49-46グリッドに位置する。整地層を切り、南南東方向に走行するにぶい黄褐色の帯状範囲として検出した。北側は83SD4とぶつかり、南側は隣接する第79次の範囲に延伸するが、本遺構と考えられる溝跡は確認されていない。検出面は整地層上面である。西側に設定したトレンチ（83T5）で精査を行い、その他は保存することとした。

〔規模・形状〕 調査区内で確認された全長は約9.4mである。走行方向は北北東方向から南南東方向で、上幅の中央付近で計測すると、S-29°-E (N-29°-W)になる。検出段階の標高に注目すると、49-45グリッドのベルト付近では28.1m前後、83T5周辺では27.9m前後、49-46グリッドの調査区境付近では27.7m前後となっており、南南東側に傾斜しているのが確認できる。確認した遺構の上幅は0.69～0.95mで、確認した深度は34cmである。底面は概ね平坦で、壁は底面から40°～45°の角度でなだらかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 4層～7層が本遺構の埋土である。斜面上方の壁際には小規模な壁の崩落に伴うと考えられる地山ブロックを包含するにぶい黄褐色砂質シルトが三角形状に堆積している。中間部に地山ブロックの包含が確認でき、3層に分層できるが、埋土の主体はにぶい黄褐色シルトである。

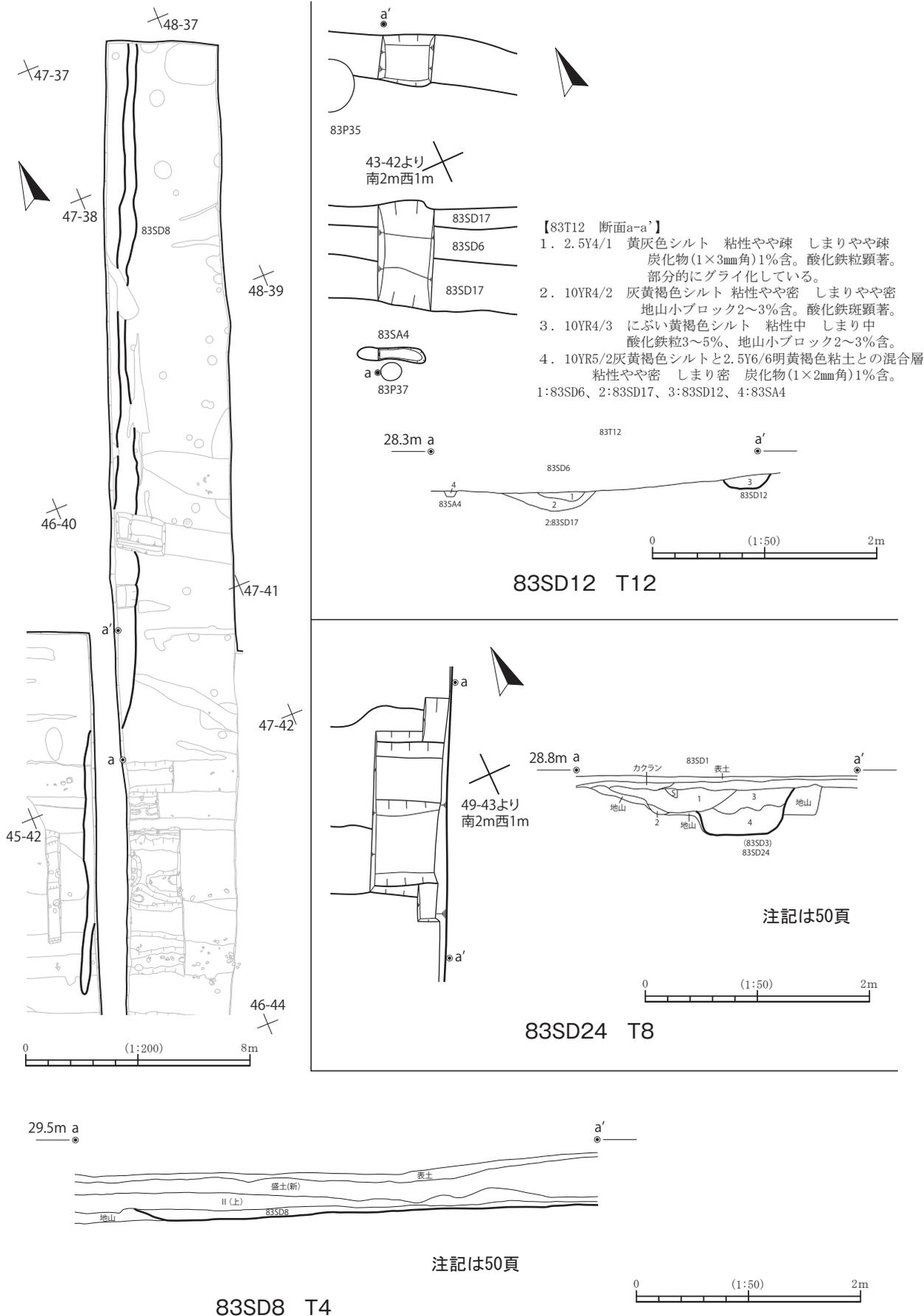
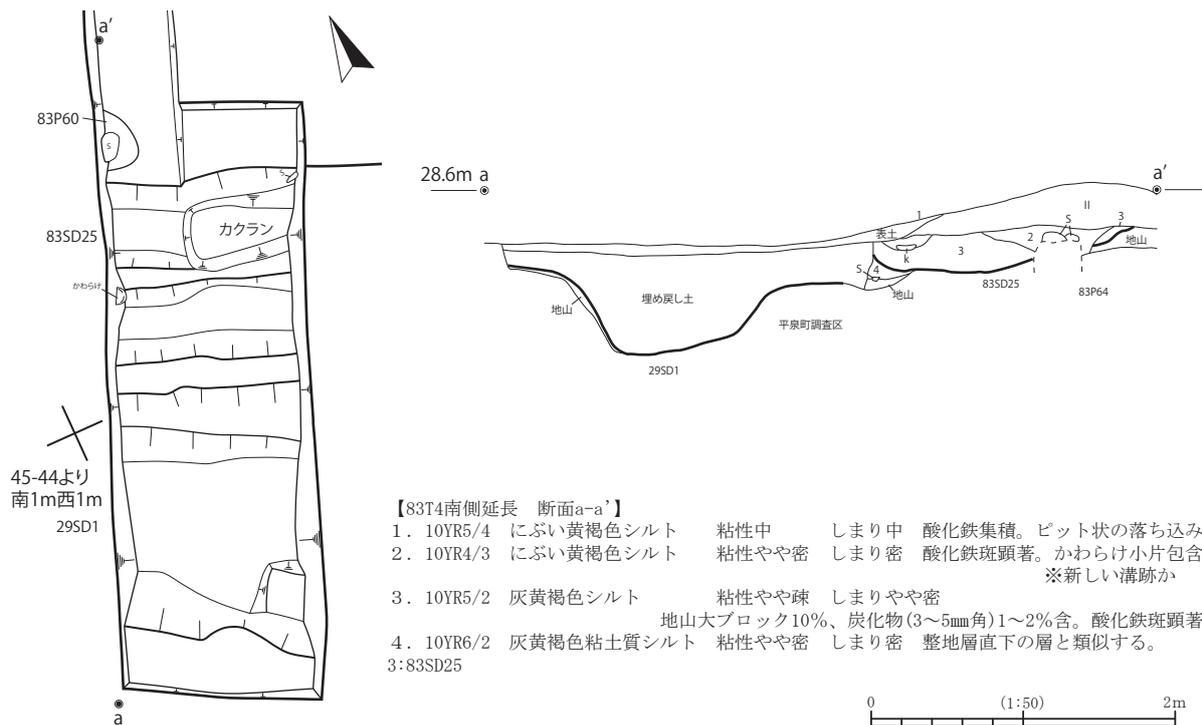


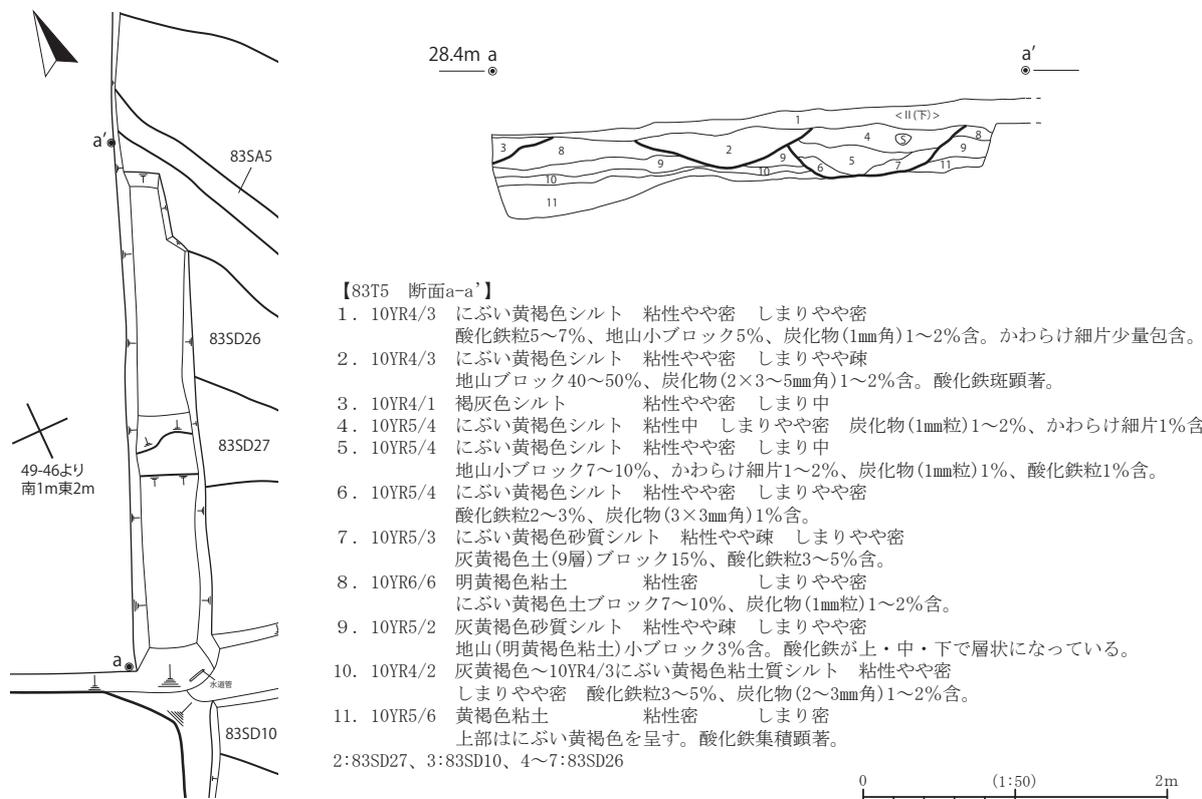
図17 83SD8・12・24 平断面図



【83T4南側延長 断面a-a'】

- 1. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト 粘性中 しまり中 酸化鉄集積。ピット状の落ち込み。
 - 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまり密 酸化鉄斑顕著。かわらけ小片包含。
※新しい溝跡か
 - 3. 10YR5/2 灰黄褐色シルト 粘性やや疎 しまりやや密
地山大ブロック10%、炭化物(3~5mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
 - 4. 10YR6/2 灰黄褐色粘土質シルト 粘性やや密 しまり密 整地層直下の層と類似する。
- 3:83SD25

83SD25 T4



【83T5 断面a-a'】

- 1. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまりやや密
酸化鉄粒5~7%、地山小ブロック5%、炭化物(1mm角)1~2%含。かわらけ細片少量包含。
 - 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまりやや疎
地山ブロック40~50%、炭化物(2×3~5mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
 - 3. 10YR4/1 褐灰色シルト 粘性やや密 しまり中
 - 4. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト 粘性中 しまりやや密 炭化物(1mm粒)1~2%、かわらけ細片1%含。
 - 5. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまり中
地山小ブロック7~10%、かわらけ細片1~2%、炭化物(1mm粒)1%、酸化鉄粒1%含。
 - 6. 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまりやや密
酸化鉄粒2~3%、炭化物(3×3mm角)1%含。
 - 7. 10YR5/3 にぶい黄褐色砂質シルト 粘性やや疎 しまりやや密
灰黄褐色土(9層)ブロック15%、酸化鉄粒3~5%含。
 - 8. 10YR6/6 明黄褐色粘土 粘性密 しまりやや密
にぶい黄褐色土ブロック7~10%、炭化物(1mm粒)1~2%含。
 - 9. 10YR5/2 灰黄褐色砂質シルト 粘性やや疎 しまりやや密
地山(明黄褐色粘土)小ブロック3%含。酸化鉄が上・中・下で層状になっている。
 - 10. 10YR4/2 灰黄褐色~10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト 粘性やや密
しまりやや密 酸化鉄粒3~5%、炭化物(2~3mm角)1~2%含。
 - 11. 10YR5/6 黄褐色粘土 粘性密 しまり密
上部はにぶい黄褐色を呈す。酸化鉄集積顕著。
- 2:83SD27、3:83SD10、4~7:83SD26

83SD10·26·27 T5

図18 83SD10・25~27 平断面図

夾雑物が少ないことや、レンズ状もしくは三角形に堆積していることから、自然堆積の可能性が高いと考えられる。

〔重複・先後関係〕 83SD4・83SD27と重複する。本遺構がこれらの遺構に切られる。

〔出土遺物〕 かわらけ46.3g、国産陶器199.8g（13点）が出土しており、国産陶器3点を図示した（91～93）。

83SD27（図13・18・写真図版10）

〔位置・検出状況・精査方法〕 48-45グリッド～49-46グリッドに位置する。検出段階で確認される整地層の中で、にぶい黄褐色土の割合が多い範囲として認識しており、溝跡との認識はしていなかった。83T5の堆積状況の観察において、にぶい黄褐色土と混合する範囲が溝状を呈しているのを確認したことから、遺構名を付した。西側は48-45グリッドに、東側は49-46グリッドで立ち上がる、短い溝跡である。検出面は整地層上面である。精査は83T5及び83T11で行い、その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 確認した全長は6.5mである。走行方向は西北西から東南東方向で、上幅の中央付近で計測すると、S-59°-E（N-59°-W）になる。検出面での標高に注目すると、東南東側が20cm程低くなっており、東南東方向に傾斜しているのが確認できる。遺構の上幅は83T11の西側が最も広く1.2mで、83T5の東側では0.66m程になる。確認した深度は83T5で24cmである。83T5で確認できる形状は底面が非常に狭く、壁は20°～25°程の角度で直線的に開きながら立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 83T5では2層が本遺構の埋土である。地山ブロックを多量に包含するにぶい黄褐色シルトの単層で、人為的な堆積状況を呈している。83T5の観察に先立って、調査区東側で確認できる明黄褐色土の範囲の性格を確認するために設定した83T11の観察を行っている。この段階では、斜面下方がややにぶい黄褐色土の割合が多いとの認識は持っていたが、溝としての認識はしていなかった。そのため、断面図には反映されていない。

〔重複・先後関係〕 73SD7・83SD26と重複する。本遺構はこれらの遺構に切られる。

〔出土遺物〕 なし。

（5） 堀 跡

83SA1（80SA3）（図19・20）

〔位置・検出状況・精査方法〕 45-42グリッド～47-43グリッドに位置する。東側で道路状遺構を含む複数の遺構が帯状範囲として検出しており、本遺構はその範囲の中央付近に位置する。83T4の様相を見る限り、83SD2の北壁の上端に構築され、83SD2と一連で埋没しており、83SD2と同時に存在したものと認識できる。ベルトを挟んだ西側へと延伸するものと考えられるが、検出面では確認できない。東側は47-43グリッドに末端部が確認でき、それより東側では延伸を確認できない。検出面は削平された地山面である。83T4で精査を行い、その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 調査区内で確認された全長は8.8mである。走行方向は西北西から東南東方向で、上幅の中央付近で計測すると、S-66°-E（N-66°-W）になる。底面標高に注目すると、東側が3cm程低くなっており、現況と同じく、東側に緩やかに傾斜しているものと想定される。確認できた上幅は最大で0.3m、確認した深度は11cmである。底面には柱痕跡と想定される小ピットが2箇所確認でき、その間隔は約80cmである。

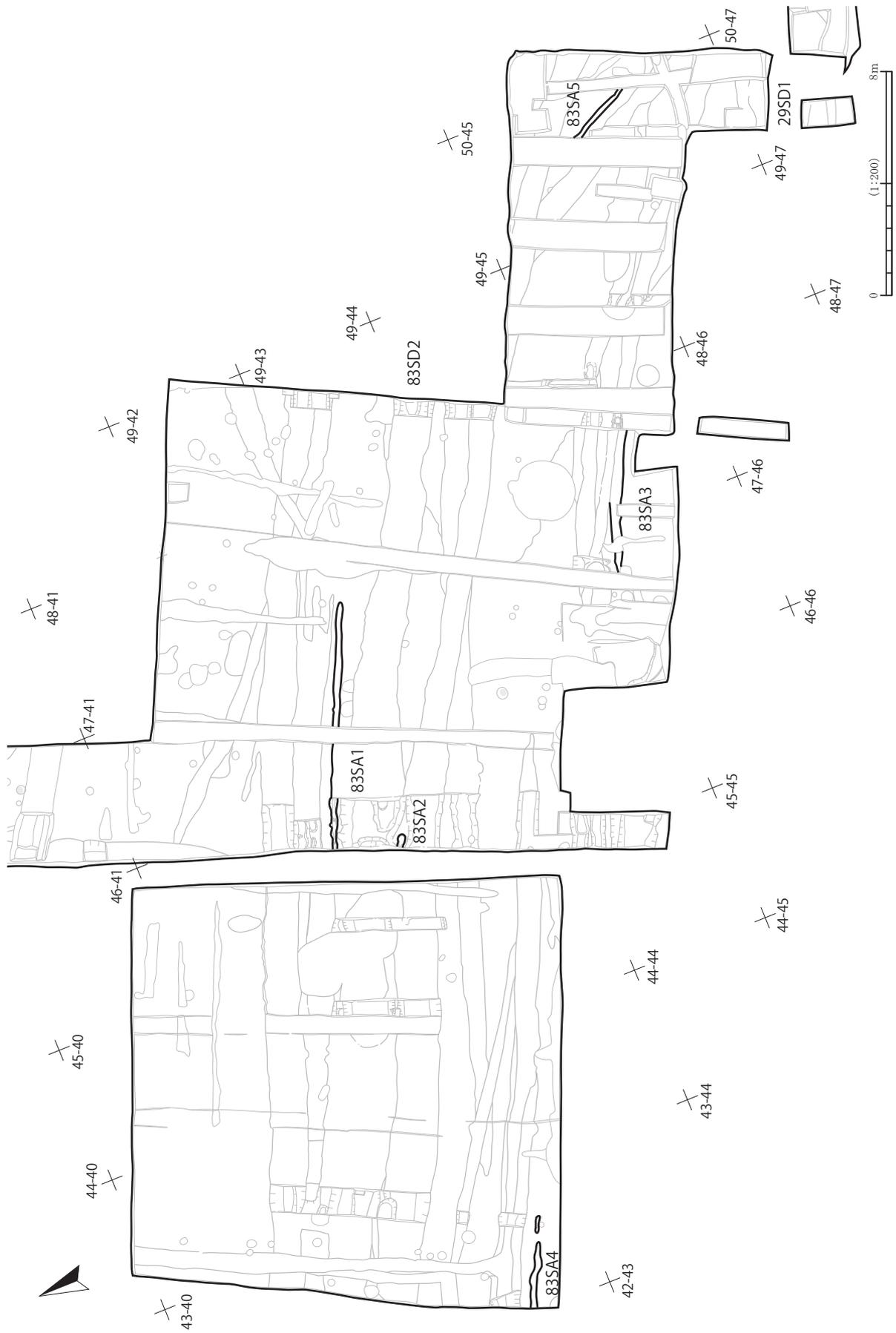


図19 83SA1~5 平面図

〔埋土・堆積状況〕 83T4西壁の18層及び83T4東壁の8層の一部が本遺構の埋土である。83SD2と連続して堆積しているのが確認できる。

〔重複・先後関係〕 83SD2以外の遺構との重複関係はない。

〔出土遺物〕 かわらけ5.8g、粘土塊24.5gが出土しているが、細片のため、図示していない。

83SA2 (図19・20)

〔位置・検出状況・精査方法〕 45-42グリッドに位置する。83T4の範囲内において、西北西から東南東方向に延伸するにぶい黄褐色の帯状範囲として検出した。ベルトを挟んだ西側では確認できないため、ごく一部しか残存しないものと想定される。83T4内での検出面は地山面である。

〔規模・形状〕 確認した全長は0.5mである。走行方向は西北西から東南東方向で、上幅の中央付近で計測すると、S-59°-E (N-59°-W) である。確認した上幅は最大で0.3m、確認した深度は10cmである。

〔埋土・堆積状況〕 83T4の13層及び14層が本遺構の埋土である。残存状態が良好とは言えず、柱状を呈する柱痕跡(13層)とその周囲に地山ブロックを多く包含する掘り方埋土(14層)と想定される堆積土が確認できるにすぎない。

〔重複・先後関係〕 83SD2と重複し、本遺構が切る。この他、83SD4と一連となっており、83SD4に並行する塀跡の可能性が考えられる。

〔出土遺物〕 かわらけ33.0gが出土しているが、細片のため、図示していない。

83SA3 (図19・20・写真図版7)

〔位置・検出状況・精査方法〕 46-44グリッド～47-45グリッドに位置する。83SD10の南側に隣接して東西方向に延伸する褐灰色～灰黄褐色の帯状範囲として検出した。西側は第30次調査の範囲へと延伸しているが、該当する遺構は報告されていない。東側は83SD10とぶつかって確認できなくなっている。検出は地山上面で行ったが、83T8の断面を観察すると、整地層上面であることが理解できる。83T8で精査を行い、他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 調査区内で確認された全長は5.8mである。走行方向は西北西から東南東方向で、上幅の中央付近で計測すると、S-68°-E (N-68°-W) となる。確認できた上幅は、83SD10とぶつかる部分が最も広く0.38mで、確認した深度は38cmである。83T8の中央が円形状に一段下がっており、柱材の痕跡の可能性が高い。

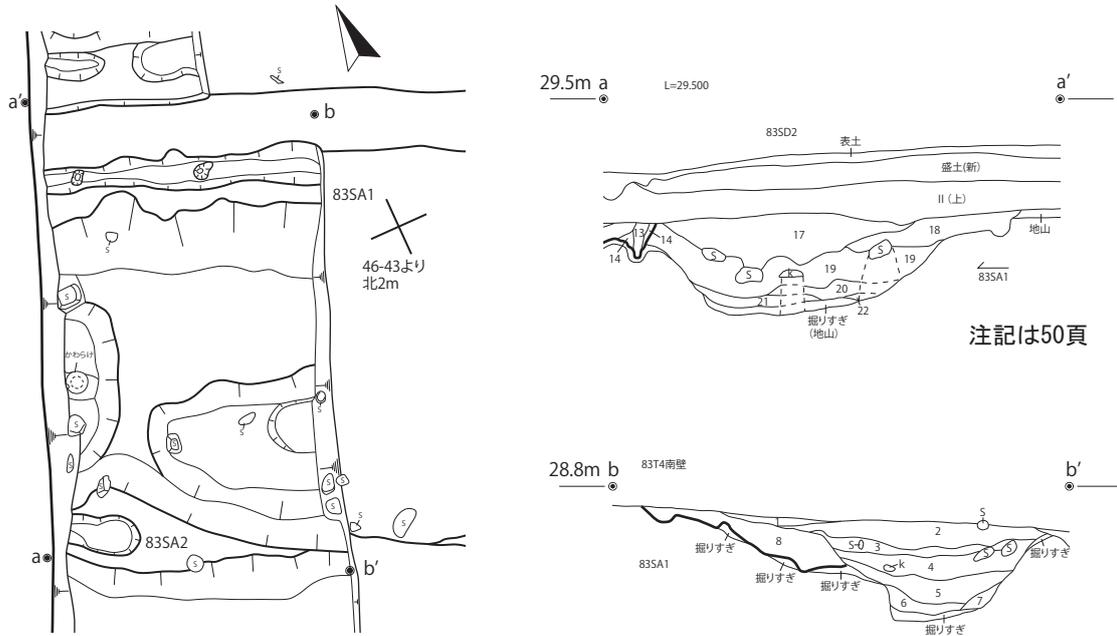
〔埋土・堆積状況〕 83T8の5層及び6層が本遺構の埋土である。6層は斜面下方の南側で確認できる。褐灰色～灰黄褐色粘土質シルトとにぶい黄褐色シルトの混合層で、人為的な堆積状況を呈する。しまりもあり、掘り方埋土と考えられる。5層は褐灰色～灰黄褐色粘土質シルトを主体とする。にぶい黄褐色シルトや地山ブロックが見られ、人為堆積と考えられる。

〔重複・先後関係〕 83SD10、83P76と重複する。本遺構はこれらの遺構に切られる。

〔出土遺物〕 かわらけ1.0gが出土しているが、細片のため、図示していない。

83SA4 (図19・20)

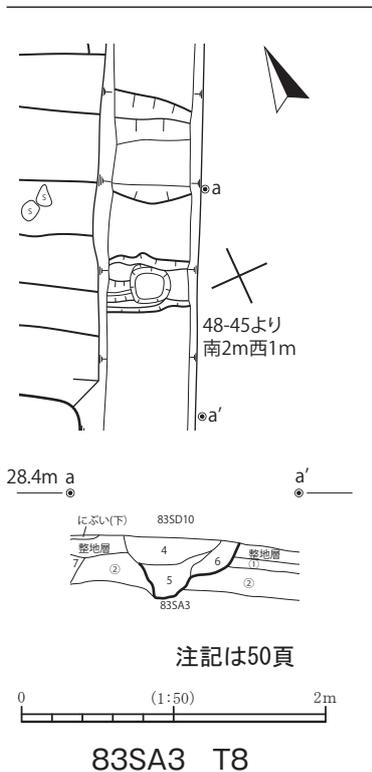
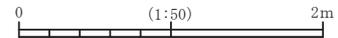
〔位置・検出状況・精査方法〕 42-42グリッドに位置する。西北西から東南東方向に延伸する灰黄褐色の帯状範囲として検出した。西側は第30次調査の範囲へと延伸しているが、該当する遺構は確認されていない。第83次調査においても、底面付近の数cmしか確認できないため、土地改変の影響を大き



【83T4 断面b-b'】

- | | | | |
|------------|--------------|-------|--------|
| 1. 10YR4/3 | にぶい黄褐色シルト | 粘性やや密 | しまりやや密 |
| 2. 10YR6/3 | にぶい黄褐色粘土質シルト | 粘性やや密 | しまりやや密 |
| 3. 10YR5/2 | 灰黄褐色粘土 | 粘性密 | しまり密 |
| 4. 10YR5/2 | 灰黄褐色粘土 | 粘性密 | しまり密 |
| 5. 10YR5/3 | にぶい黄褐色砂質シルト | 粘性やや疎 | しまりやや密 |
| 6. 10YR6/2 | 灰黄褐色シルト | 粘性やや密 | しまり中 |
| 7. 10YR6/2 | 灰黄褐色粘土 | 粘性密 | しまり密 |
| 8. 10YR5/3 | にぶい黄褐色粘土 | 粘性密 | しまりやや密 |
- 褐色砂との混合層。炭化物(2×5~10mm棒状)1~2%含。酸化鉄の集積が著しい。
 砂と粘土が塵の子状に混在。地山(にぶい黄色粘土)ブロック5~7%、炭化物(2~3mm粒)1~2%含。酸化鉄斑見られる。
 褐色砂ブロック5~7%、炭化物(1~2mm角)3~5%、炭化物(5~10mm角)1%含。酸化鉄斑顯著。

83SA1・2 T4



83SA3 T8



83SA4 T12

【83T12 断面a-a'】

2. 5Y4/1 黄灰色シルト 粘性やや疎 しまりやや疎
炭化物(1×3mm角)1%含。酸化鉄粒顯著。
部分的にグライ化している。
 - 10YR4/2 灰黄褐色シルト 粘性やや密 しまりやや密
地山小ブロック2~3%含。酸化鉄斑顯著。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 粘性中 しまり中
酸化鉄粒3~5%、地山小ブロック2~3%含。
 - 10YR5/2 灰黄褐色シルトと2. 5Y6/6 明黄褐色粘土との混合層
粘性やや密 しまり密 炭化物(1×2mm角)1%含。
- 1:83SD6、2:83SD17、3:83SD12、4:83SA4

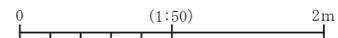


図20 83SA1~4 平断面図

く受けているものと想定される。検出面は削平されて地山面である。精査は83T12の延長線上の一部で行い、その他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 残存状態が悪いため、途切れる部分が認められるが、調査区内で確認された全長は合計3.0mである。走行方向は西北西から東南東方向で、上幅の中央付近で計測すると、S-65°-E(N-65°-W)になる。確認できた上幅は0.09~0.25m、確認した深度は5cmである。底面に板材もしくは柱材の痕跡は確認されていない。

〔埋土・堆積状況〕 4層が本遺構の埋土で、灰黄褐色シルトと地山起源の明黄褐色粘土の混合土の単層である。残存状態が悪く、底面付近がわずかに確認できるにすぎない。

〔重複・先後関係〕 なし。

〔出土遺物〕 なし。

83SA5 (図19)

〔位置・検出状況・精査方法〕 49-45・46グリッドに位置する。精査を行っていない遺構であるが、83SD26に隣接しかつ平行することから塀跡と想定した。

〔規模・形状〕 現状で把握できたのは、北西-南東方向に伸びる長さ2.4m、幅0.2mの範囲のみである。北西側、南東側それぞれの延長は現状では確認できなかった。

〔重複・先後関係〕 整地層上面で検出できることから、断面観察は行っていないが83SD26と同様に整地層より新しいと判断した。ただし、精査していないため、この塀跡の延長が確認できない点は整地層の下位に存在する可能性が残る。

〔出土遺物〕 なし。

(6) 不明遺構

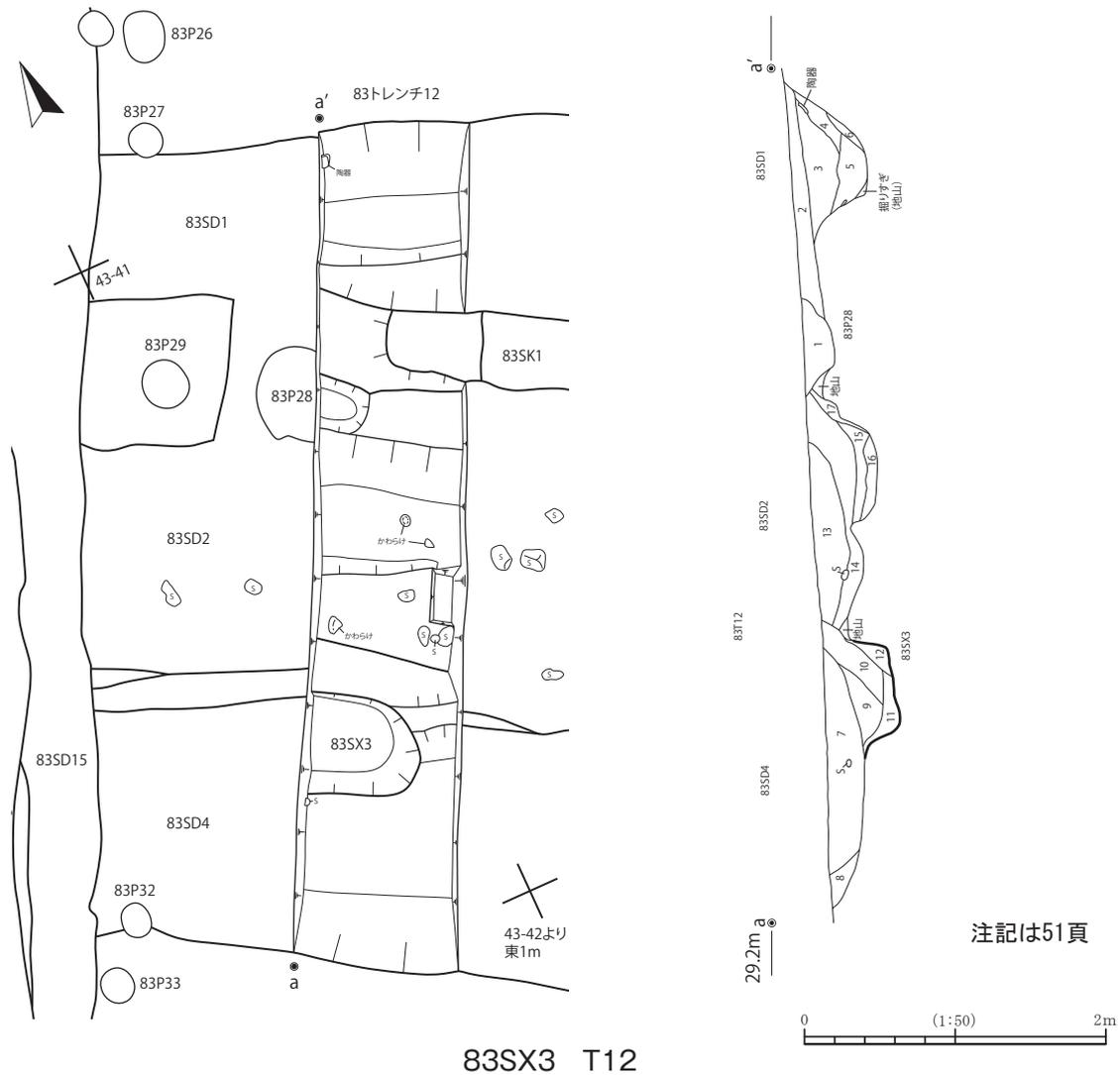
83SX3 (図21・写真図版10)

〔位置・検出状況・精査方法〕 42・43-41グリッドに位置する。当初は83SD4の一部と考えていたが、83T12内において、本遺構の範囲のみが掘り下がることと、83SD2と83SD4の間には黄褐色主体の濁った土が広がることから、別遺構と判断した。検出面は削平された地山面である。精査は83T12内にとどめ、他の部分は保存することとした。

〔規模・形状〕 部分的にしか確認できないため、詳細な規模や形状は不明と言わざるをえないが、東西方向を長辺とし、少なくとも2.2m以上にはなる。短辺は83T12内に限ると、0.8m以上になる。確認した深度は42cmである。底面は斜面に沿ってやや傾斜するものの、大きな凹凸は確認できない。壁は底面から鋭角に立ち上がり、開口部付近では外側に開きながら立ち上がる。長楕円形基調の土坑状の遺構である。

〔埋土・堆積状況〕 9層~12層が本遺構の埋土である。斜面上方にあたる北側の壁際には壁の崩落に伴うと考えられる地山起源の灰黄色粘土層(12層)が三角形に堆積している。主体は灰黄褐色シルトで、下部(11層)には小規模な壁の崩落に伴うと想定される地山ブロックの混入が見られる。全体的にレンズ状の堆積状況を呈しており、自然堆積の可能性が高いと考えられる。上部は83SD4の構築によって失われている。

〔重複・先後関係〕 83SD2・83SD4・83SD15と重複する。本遺構は、83SD4・83SD15に切られ、83SD2を切る。



83SX3 T12

図21 83SX3 平断面図

〔出土遺物〕 かわらけ23.3gが出土しているが、細片のため、図示していない。

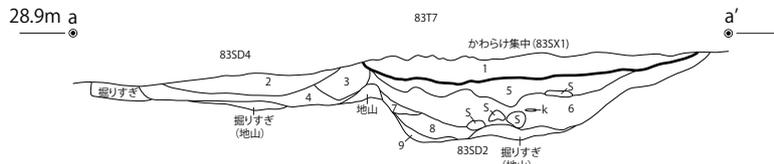
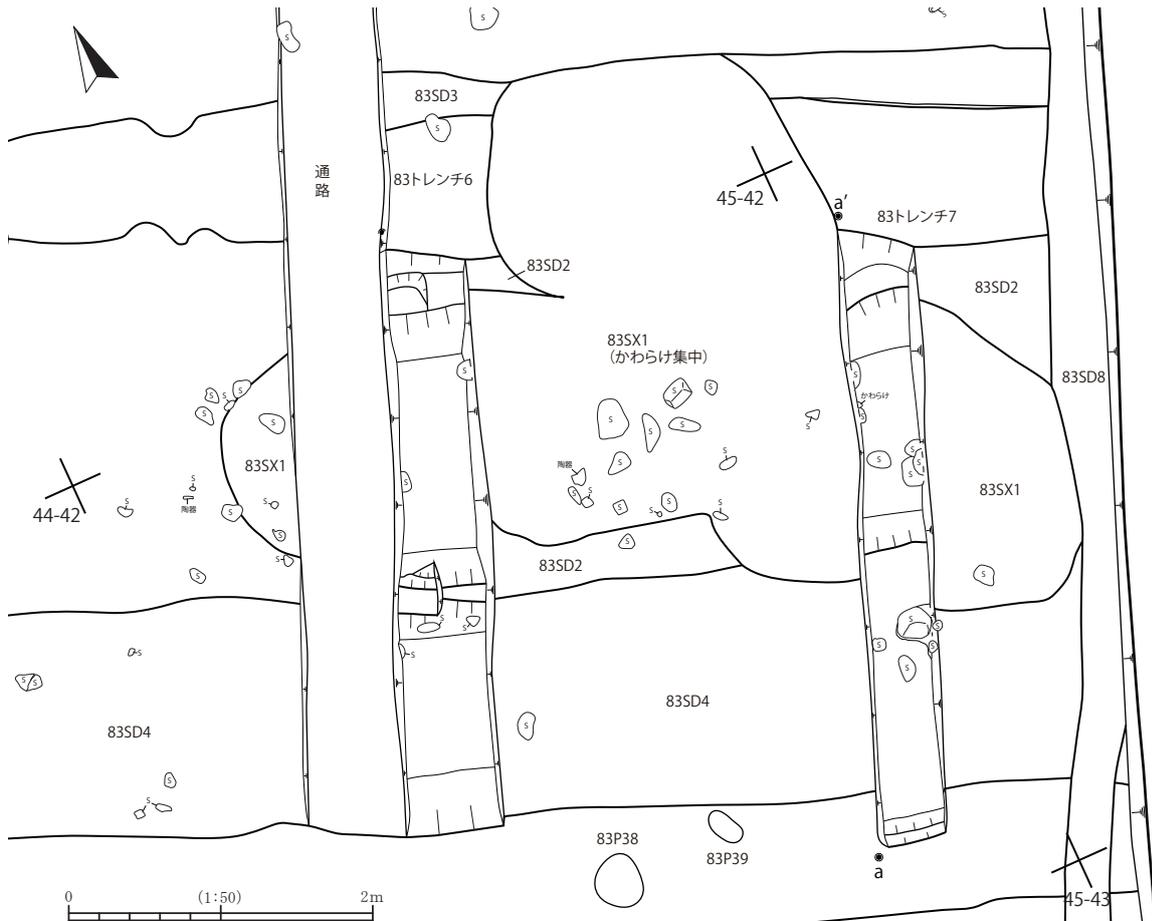
(7) かわらけ集中

83SX1 (図22・写真図版11・12)

〔位置・検出状況・精査方法〕 44-41グリッド～45-42グリッドに位置する。道路状遺構を構成する溝跡やこの溝跡と並行する溝跡等、複数の遺構を帯状範囲として検出したなかで、細かなかわらけ片が密集する範囲として検出した。83SD2を被覆するようにかわらけの範囲は広がっており、その形状は円形のプランが3つ重複しているように確認できた。精査は、このプランの形状を把握でき、83SD2との重複関係も把握できる部分にトレンチ(83T7)を設定して行った。この他83T6でも確認を行っている。その他の部分は保存することとした。

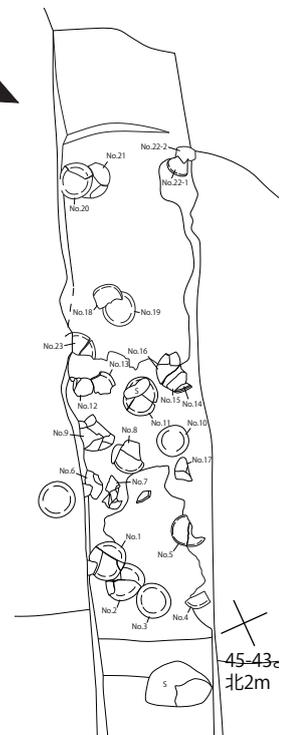
〔規模・形状〕 長辺は西北西-東南東方向で、不整形に広がる。東側は83SD8、北側は83SD1に切られているため、確認できる長辺は5.67m、短辺は3.86mである。83T7の精査の結果、83SD2の埋没が進み、浅く窪んだ状況でかわらけ集中が形成していると理解できる。層厚は最大で18cmである。

2 検出遺構



【83T7 断面a-a'】

1. 10YR4/2 灰黄褐色シルト 粘性やや疎 しまりやや疎 かわらけ主体層。上部は細片多く、下部には完形個体多数有。炭化物(1~3×3~5mm角)5~7%含。
 2. 10YR4/2 灰黄褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまり密 上面程灰黄褐色を呈す。炭化物(3×5mm角)2~3%、酸化鉄粒2~3%含。かわらけ細片包含。
 3. 10YR6/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまり密 かわらけ細片1~2%、地山(明黄褐色粘土)小ブロック2~3%含。酸化鉄斑顕著。
 4. 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまり密 地山(浅黄褐色粘土)ブロック5~7%、炭化物(2欠×3cm角、3×3cm角)1~2%含。
 5. 10YR4/2灰黄褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中 しまり中 にぶい黄褐色砂、褐色砂を層状に包含する。かわらけ片少量包含。酸化鉄斑顕著。
 6. 10YR5/2 灰黄褐色粘土 粘性密 しまりやや密 部分的ににぶい黄褐色(10YR5/3)を呈す。炭化物(2×3mm角)1~2%含。南側に拳大~人頭の礫を包含。酸化鉄斑顕著。
 7. 2.5Y7/4 浅黄色粘土質シルト 粘性やや密 しまりやや密 酸化鉄粒5~7%、灰黄褐色小ブロック3~5%含。
 8. 10YR5/2~6/2灰黄褐色シルト 粘性やや密 しまりやや密 地山ブロック7~10%、酸化鉄粒5~7%、灰黄褐色砂ブロック3~5%、炭化物(2×3mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
 9. 2.5Y7/4 浅黄色粘土質シルト 粘性やや密 しまりやや密 炭化物(2~3mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。 <壁崩落土層>
- 1:83SX1、2~4:83SD4、5~9:83SD2



遺物出土状況図

図22 83SX1 平断面図

〔埋土・堆積状況〕 83T7で堆積状況の観察を行った。1層が相当する。かわらけを主体とし、かわらけの間にしまりのない状態の灰黄褐色シルトが確認できる。83T6においても5層より上位にかわらけが集中する部分が確認でき、83T7の1層に対応する。人為的な所作により形成されたものである。

〔重複・先後関係〕 83SD1・83SD2・83SD4・83SD8と重複する。本遺構は、83SD1・83SD8に切られ、83SD2・83SD4を切っている。

〔出土遺物〕 かわらけ71,696.2g、国産陶器252.9g（8点）、輸入磁器16.9g（2点）、金属製品3.2g、石器類466.8g、土壁・粘土塊112.1g、炭化物150.0g、不明5.6gが出土しており、かわらけ67点、国産陶器5点、輸入磁器2点を図示した（94～160・161～165・166、167）。

（8）整地層

整地層（図23・写真図版12）

〔位置・検出状況・精査方法〕 東西方向47～49ライン、南北方向43～47ラインの広範囲に広がっている。47-45グリッドの範囲においても整地層の広がりを確認していたが、宅地造成に伴うものと想定していたため、その範囲を図化することはしていない。II層除去後に検出しており、調査区中央南側では、検出段階では若干濁った地山面と判断した程、汚れは見られなかった。整地層の堆積状況の確認を83T11で、関連する遺構の確認と合わせて、83T5、83T8、83T10で行い、その他の部分は保存することとした。

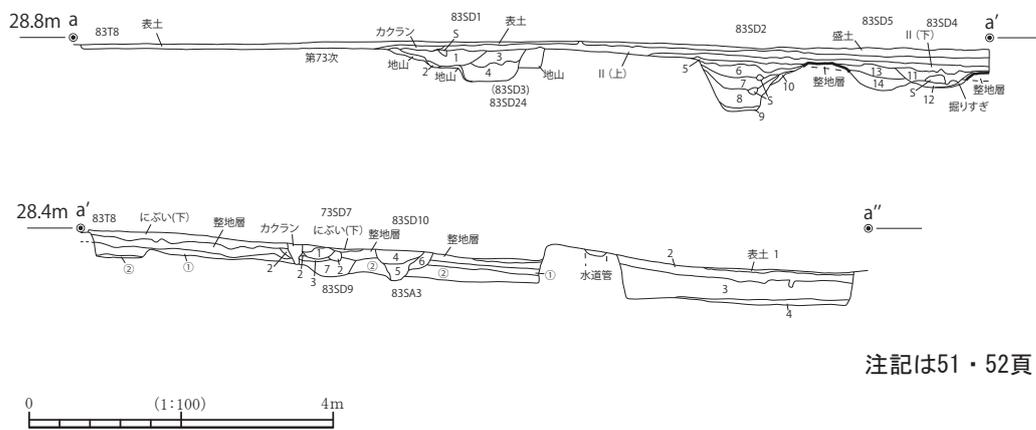
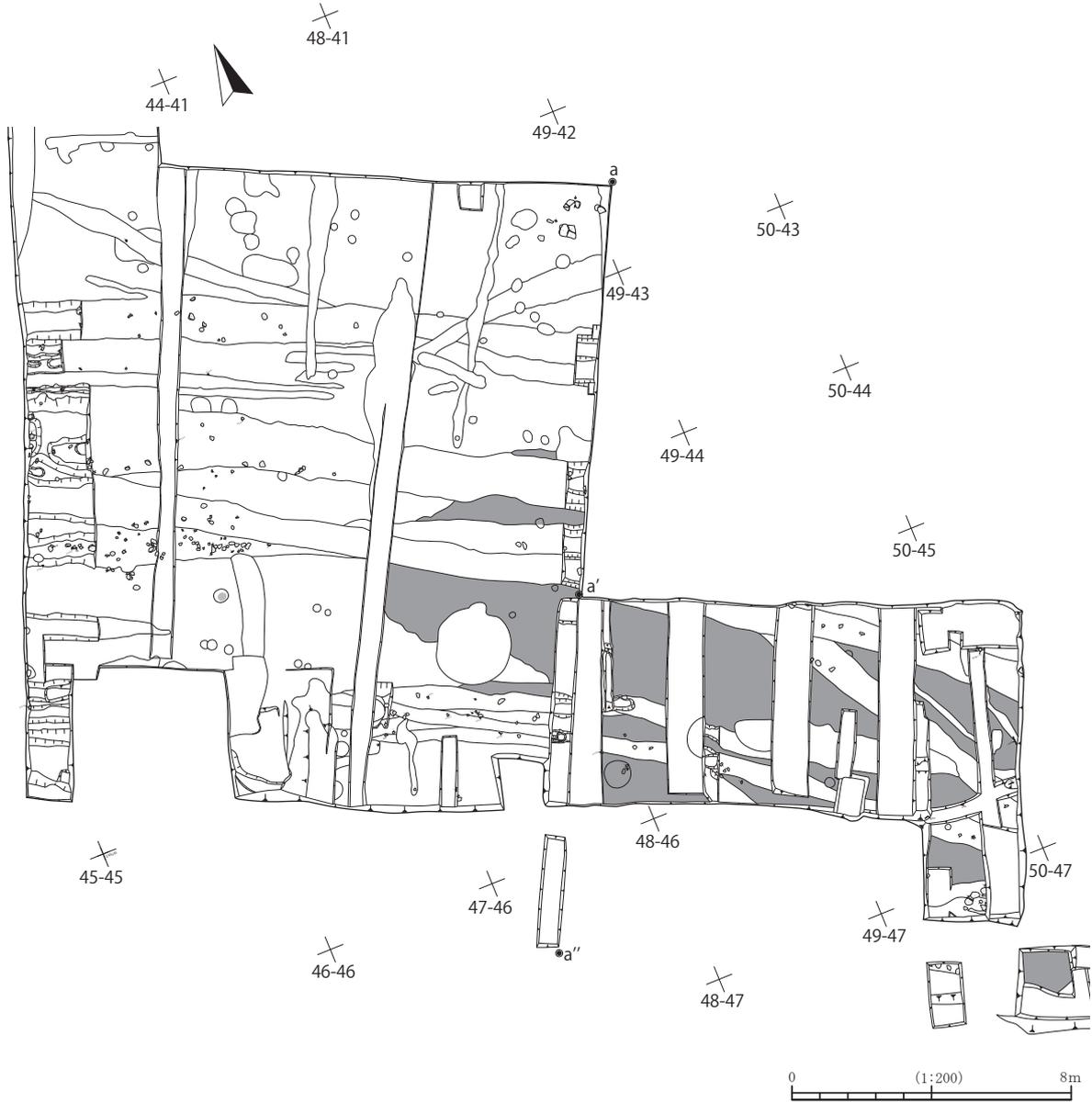
〔埋土・堆積状況〕 10YR6/8明黄褐色粘土を基調とする。地山主体のブロックで構成され、灰黄褐色シルトが部分的に混じる。トレンチで確認した層厚は3～17cmで、83T10が最も薄く、83T5が最も厚い。削平の影響を受けている部分もあり、多くは10cm程度の層厚である。83T8の状況を見ると、前後の層も猫間が淵跡側に向かって傾斜しており、整地層上面が水平であった確証は持てない。

〔重複・先後関係〕 東西方向47～49ライン、南北方向43～47ラインの広範囲にわたるため、多くの遺構と関連している。直接関連する遺構のうち、整地層より古い遺構は83SD9のみである。

〔出土遺物〕 かわらけ65.9g、国産陶器39.0g（1点）が出土しており、国産陶器1点を図示した（168）。

（9）柱 穴（附図参照）

柱穴を76個検出している。埋土の特徴から12世紀代のものの他、近世以降のものも多く混在しているものと推察される。遺物は83P28でかわらけ58.9g出土しているが、細片のため、図示していない。



注記は51・52頁

図23 整地層

土層注記

83SD2 T4 断面a-a'

13. 10YR3/3暗褐色～10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまり中 かわらけ細片2～3%、地山小ブロック2～3%含。酸化鉄粒顕著。
14. 10YR5/4にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 にぶい黄色粘土(地山)ブロック15～20%含。酸化鉄斑顕著。
15. 10YR5/2灰黄褐色粘土 粘性密・しまり密 炭化物(2mm角)3～5%、にぶい黄色粘土(地山)小ブロック3～5%、炭化物(2×3mm角)1～2%含。酸化鉄斑顕著。
16. 10YR6/6明黄褐色粘土 粘性密・しまり密 灰黄褐色粘土小ブロック5～7%含。酸化鉄斑顕著。
17. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや疎・しまりやや密 黄褐色(10YR5/6)砂質土、礫(φ10～15mm)との混合層 炭化物(2mm角)5～7%含む。かわらけ細片少量包含。
18. 10YR5/4にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 炭化物(2～3mm角)5～7%含。酸化鉄斑顕著。
19. 10YR5/2灰黄褐色粘土 粘性密・しまり密 炭化物(1～2×5×10mm角)1～2%、炭化物(2×3mm角)1～2%含。酸化鉄斑顕著。
20. 10YR5/2灰黄褐色粘土 粘性密・しまり中 細礫5～7%、にぶい黄色粘土(地山)小ブロック3～5%、炭化物(1～2mm粒)1～2%含。酸化鉄斑顕著。
21. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 にぶい黄色粘土(地山)ブロック5～7%、炭化物(1～2mm粒)2～3%含。酸化鉄斑顕著。
22. 2.5Y6/3にぶい黄色粘土 粘性密・しまり密 灰黄褐色土ブロック10～15%含。酸化鉄斑顕著。
- 地山 10YR6/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまり密 酸化鉄斑顕著。部分的ににぶい黄色(2.5Y6/3)を呈する。
- 13・14 : 83SA2、17～22 : 83SD2・83SA1

83SD2 T8 断面a-a'

- II(上) 10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや疎・しまりやや密
- II(下) 10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 炭化物(3～5mm角)1%、かわらけ小片多量包含。
- 整地層 10YR6/8明黄褐色粘土 粘性密・しまり密 灰黄褐色シルトブロック10～15%含。
5. 10YR5/1褐灰色～10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト 粘性やや密 しまり密 にぶい黄褐色シルトブロック7～10%(特に下部)、明黄褐色(10YR6/8)粘土(地山)小ブロック5～7%、炭化物(1×3mm角)1～2%含。酸化鉄集積。
6. 10YR5/1褐灰色～10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト 粘性やや密・しまり密 にぶい黄褐色シルトとの混合層。酸化鉄集積。
7. 10YR5/1褐灰色～10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト 粘性やや密・しまり密 明黄褐色(10YR6/8)粘土(地山)小ブロック3～5%、炭化物(2×5mm角)2～3%含。酸化鉄集積。
- 1～3 : 73SD7、4 : 83SD10、5・6 : 83SA3、7 : 83SD9

83SD2 T12 断面b-b'

1. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまり密 灰黄褐色シルト小ブロック5～7%、炭化物粒1～2%含。酸化鉄集積。
2. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 炭化物(1×1mm角)1～2%含。かわらけ細片包含。酸化鉄集積
3. 10YR4/2～5/2灰黄褐色シルト 粘性やや密・しまり密 かわらけ細片5～7%、炭化物(1×10mm角)2～3%含。酸化鉄斑顕著。
4. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性やや密・しまり密 地山小ブロック3～5%含。酸化鉄斑見られる。
5. 10YR5/1褐灰色～10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 かわらけ粒2～3%、炭化物(2×10mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
6. 2.5Y6/3にぶい黄色シルト 粘性中・しまりやや密 灰黄褐色シルトブロック15～20%含。酸化鉄斑顕著。
7. 10YR3/3暗褐色～10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまり密 かわらけ細片2～3%、炭化物(2×3mm角)1～2%含。酸化鉄斑顕著。
8. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性密・しまり密 地山(10YR5/6黄褐色粘土)ブロック15～20%含。酸化鉄斑顕著。
9. 10YR4/2灰黄褐色シルト 粘性密・しまり密 かわらけ細片5～7%、炭化物(3×5mm角)1～2%含。酸化鉄斑顕著。
10. 10YR5/2灰黄褐色～10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 炭化物(1mm粒)3～5%含。かわらけ細片包含。酸化鉄斑顕著。
11. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 地山(2.5Y7/3浅黄色粘土)ブロック15～20%含。酸化鉄斑顕著。
12. 2.5Y6/2灰黄色粘土 粘性密・しまりやや密 灰黄褐色シルトブロック10～15%含。酸化鉄斑顕著。
13. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 褐色(10YR4/4)砂、にぶい黄褐色(10YR6/3)粘土との混合層。礫(φ2～10mm)多量包含。かわらけ細片包含。
14. 10YR6/2灰黄褐色粘土 粘性密・しまり密 炭化物細片5～7%含。かわらけ細片包含。酸化鉄斑顕著。
15. 10YR6/4にぶい黄褐色粘土 粘性密・しまり密 灰黄褐色(10YR6/2)シルトブロック5～7%、炭化物(2×3mm角)1～2%含。酸化鉄斑顕著。
16. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 地山(10YR6/4にぶい黄褐色粘土)ブロック5～7%、炭化物(3mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
17. 2.5Y7/4浅黄色粘土 粘性密・しまりやや密 にぶい黄褐色シルトブロック5～7%含。酸化鉄斑顕著。
- 掘りすぎ(地山)2.5Y6/3にぶい黄色粘土
- 1 : 83P28、3～6 : 83SD1、7・8 : 83SD4、9～12 : 83SX3、13～17 : 83SD2

2 検出遺構

83SD1 T4 断面a-a'

5. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 かわらけ細片2~3%、炭化物(1~2mm粒)1~2%含。
6. 10YR4/2灰黄褐色粘土 粘性密・しまり密 にぶい黄褐色土小ブロック7~10%、地山小ブロック2~3%、炭化物(1~2mm角)2~3%含。酸化鉄斑顕著。
7. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 酸化鉄粒3~5%、地山小ブロック1~2%、炭化物(1mm粒)1~2%含。
8. 10YR4/2灰黄褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト粘性中・しまりやや密 地山ブロック3%、かわらけ細片2~3%、炭化物(2~5mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
9. 10YR5/3にぶい黄褐色粘土と2.5Y6/3にぶい黄色粘土との混合層 粘性密・しまりやや密 炭化物(2mm角)1%含。
- 地山 10YR6/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまり密 酸化鉄斑顕著。部分的ににぶい黄色(2.5Y6/3)を呈する。
- 5・6 : 83SD1、7~9 : 83SD3

83SD1 T8 断面a-a'

1. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまり密 炭化物(5×5mm角)2%含。にぶい黄褐色粘土が鹿の子状に見られる。酸化鉄斑顕著。
2. 10YR5/4にぶい黄褐色粘土 粘性やや密・しまり密 地山(浅黄色粘土)ブロック30%含。酸化鉄斑顕著。
3. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 地山(2.5Y6/3にぶい黄色~2.5Y7/3浅黄色粘土)と灰黄褐色(10YR4/2)シルトとの混合層。炭化物(2×3mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
4. 2.5Y6/3にぶい黄色砂質シルト 粘性中・しまり中 地山(2.5Y6/6明黄褐色粘土)との混合層。炭化物(2×2mm角)2~3%含。酸化鉄斑顕著。

83SD1 T12 断面b-b'

1. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまり密 灰黄褐色シルト小ブロック5~7%、炭化物粒1~2%含。酸化鉄集積。
2. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 炭化物(1×1mm角)1~2%含。かわらけ細片包含。酸化鉄集積
3. 10YR4/2~5/2灰黄褐色シルト 粘性やや密・しまり密 かわらけ細片5~7%、炭化物(1×10mm角)2~3%含。酸化鉄斑顕著。
4. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性やや密・しまり密 地山小ブロック3~5%含。酸化鉄斑見られる。
5. 10YR5/1褐灰色~10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 かわらけ粒2~3%、炭化物(2×10mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
6. 2.5Y6/3にぶい黄色シルト 粘性中・しまりやや密 灰黄褐色シルトブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
7. 10YR3/3暗褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密 しまり密 かわらけ細片2~3%、炭化物(2×3mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
8. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性密・しまり密 地山(10YR5/6黄褐色粘土)ブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
9. 10YR4/2灰黄褐色シルト 粘性密・しまり密 かわらけ細片5~7%、炭化物(3×5mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
10. 10YR5/2灰黄褐色~10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性中 しまりやや密 炭化物(1mm粒)3~5%含。かわらけ細片包含。酸化鉄斑顕著。
11. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 地山(2.5Y7/3浅黄色粘土)ブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
12. 2.5Y6/2灰黄色粘土 粘性密・しまりやや密 灰黄褐色シルトブロック10~15%含。酸化鉄斑顕著。
13. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 褐色(10YR4/4)砂、にぶい黄褐色(10YR6/3)粘土との混合層。礫(φ2~10mm)多量包含。かわらけ細片包含。
14. 10YR6/2灰黄褐色粘土 粘性密・しまり密 炭化物細片5~7%含。かわらけ細片包含。酸化鉄斑顕著。
15. 10YR6/4にぶい黄褐色粘土 粘性密・しまり密 灰黄褐色(10YR6/2)シルトブロック5~7%、炭化物(2×3mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
16. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 地山(10YR6/4にぶい黄褐色粘土)ブロック5~7%、炭化物(3mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
17. 2.5Y7/4浅黄色粘土 粘性密・しまりやや密 にぶい黄褐色シルトブロック5~7%含。酸化鉄斑顕著。
- 掘りすぎ(地山) 2.5Y6/3にぶい黄色粘土
- 1 : 83P28、3~6 : 83SD1、7・8 : 83SD4、9~12 : 83SX3、13~17 : 83SD2

83SD10 T8 断面a-a'

4. 10YR4/2灰黄褐色シルト 粘性やや疎・しまりやや密 炭化物(2×3mm角)1~2%含。かわらけ細片包含。にぶい黄褐色土が鹿の子状に見られる。
5. 10YR5/1褐灰色~10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト 粘性やや密・しまり密 にぶい黄褐色シルトブロック7~10%(特に下部)、明黄褐色(10YR6/8)粘土(地山)小ブロック5~7%、炭化物(1×3mm角)1~2%含。酸化鉄集積。
6. 10YR5/1褐灰色~10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト 粘性やや密・しまり密 にぶい黄褐色シルトとの混合層。酸化鉄集積。
- ① 10YR5/2灰黄褐色砂質シルト 粘性やや密・しまりやや密 炭化物(1mm粒)2~3%含。酸化鉄集積
- ② 10YR5/3~5/4にぶい黄褐色粘土質シルト 粘性やや密・しまり密 炭化物(2~5mm粒)3~5%含。酸化鉄斑状に見られる。

83SD3 T4 断面a-a'

5. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 かわらけ細片2~3%、炭化物(1~2mm粒)1~2%含。
6. 10YR4/2灰黄褐色粘土 粘性密・しまり密 にぶい黄褐色土小ブロック7~10%、地山小ブロック2~3%、炭化物(1~2mm角)2~3%含。酸化鉄斑顕著。
7. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 酸化鉄粒3~5%、地山小ブロック1~2%、炭化物(1mm粒)1~2%含。
8. 10YR4/2灰黄褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 地山ブロック3%、かわらけ細片2~3%、炭化物(2~5mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
9. 10YR5/3にぶい黄褐色粘土と2.5Y6/3にぶい黄色粘土との混合層 粘性密 しまりやや密 炭化物(2mm角)1%含。
- 5・6 : 83SD1、7~9 : 83SD3、10・11 : 83SD4、13・14 : 83SA2、15・16 : 83SD5、17~22 : 83SD2・83SA1

83SD4-5 T4 断面a-a'

10. 10YR3/1黒褐色シルト 粘性中・しまりやや密 炭化物(2~3mm角)2~3%含。かわらけ細片多量包含。
11. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 炭化物(5×10mm角、3~5mm角)3~5%、黄褐色~明黄褐色粘土(地山)小ブロック3~5%含。かわらけ細片多量包含。酸化鉄斑顕著。
12. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまり中 酸化鉄粒5~7%、かわらけ細片3~5%、黄褐色粘土(地山)小ブロック2~3%、炭化物(5×10mm角)2~3%含。
13. 10YR3/3暗褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまり中 かわらけ細片2~3%、地山小ブロック2~3%含。酸化鉄粒顕著。
14. 10YR5/4にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 にぶい黄色粘土(地山)ブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
15. 10YR5/2灰黄褐色粘土 粘性密・しまり密 炭化物(2mm角)3~5%、にぶい黄色粘土(地山)小ブロック3~5%、炭化物(2×3mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
16. 10YR6/6明黄褐色粘土 粘性密・しまり密 灰黄褐色粘土小ブロック5~7%含。酸化鉄斑顕著。
- 1~3 : 83SD6、(4 : 83SD17)、5・6 : 83SD1、7~9 : 83SD3、10・11 : 83SD4、13・14 : 83SA2、15・16 : 83SD5、17~22 : 83SD2・83SA1

83SD4-5 T8 断面a-a'

11. 10YR3/3暗褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 かわらけ細片少量包含。
12. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまり密 炭化物(1×3mm角)1%含。
13. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや疎・しまりやや密 炭化物(1×2mm粒)3~5%、地山小ブロック2~3%含。かわらけ細片包含。
14. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 炭化物(1×2mm角)5~7%、酸化鉄粒5~7%、地山ブロック3~5%含。かわらけ細片包含。
- 1・2 : 83SD1、3・4 : 83SD24、5~10 : 83SD2、11・12 : 83SD4、13・14 : 83SD5

83SD4 T12 断面b-b'

1. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまり密 灰黄褐色シルト小ブロック5~7%、炭化物粒1~2%含。酸化鉄集積。
2. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 炭化物(1×1mm角)1~2%含。かわらけ細片包含。酸化鉄集積
3. 10YR4/2~5/2灰黄褐色シルト 粘性やや密・しまり密 かわらけ細片5~7%、炭化物(1×10mm角)2~3%含。酸化鉄斑顕著。
4. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性やや密・しまり密 地山小ブロック3~5%含。酸化鉄斑見られる。
5. 10YR5/1褐灰色~10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 かわらけ粒2~3%、炭化物(2×10mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
6. 2.5Y6/3にぶい黄色シルト 粘性中・しまりやや密 灰黄褐色シルトブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
7. 10YR3/3暗褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性やや密・しまり密 かわらけ細片2~3%、炭化物(2×3mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
8. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 粘性密・しまり密 地山(10YR5/6黄褐色粘土)ブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
9. 10YR4/2灰黄褐色シルト 粘性密・しまり密 かわらけ細片5~7%、炭化物(3×5mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
10. 10YR5/2灰黄褐色~10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 炭化物(1mm粒)3~5%含。かわらけ細片包含。酸化鉄斑顕著。
11. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 地山(2.5Y7/3浅黄色粘土)ブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
12. 2.5Y6/2灰黄色粘土 粘性密・しまりやや密 灰黄褐色シルトブロック10~15%含。酸化鉄斑顕著。
13. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性やや密・しまりやや密 褐色(10YR4/4)砂、にぶい黄褐色(10YR6/3)粘土との混合層。礫(φ2~10mm)多量包含。かわらけ細片包含。
14. 10YR6/2灰黄褐色粘土 粘性密・しまり密 炭化物細片5~7%含。かわらけ細片包含。酸化鉄斑顕著。
15. 10YR6/4にぶい黄褐色粘土 粘性密・しまり密 灰黄褐色(10YR6/2)シルトブロック5~7%、炭化物(2×3mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
16. 10YR5/2灰黄褐色シルト 粘性中・しまりやや密 地山(10YR6/4にぶい黄褐色粘土)ブロック5~7%、炭化物(3mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
17. 2.5Y7/4浅黄色粘土 粘性密・しまりやや密 にぶい黄褐色シルトブロック5~7%含。酸化鉄斑顕著。
- 掘りすぎ(地山) 2.5Y6/3にぶい黄色粘土
- 1 : 83P28、3~6 : 83SD1、7・8 : 83SD4、9~12 : 83SX3、13~17 : 83SD2

2 検出遺構

83SD6 T4 断面a-a'

1. 10YR2/2黒褐色シルト	粘性やや密・しまり疎	現代の溝
2. 10YR4/2灰黄褐色～10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルト	粘性やや密 しまりやや密	かわらけ細片1%含。酸化鉄斑顕著。
3. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性中・しまり中	酸化鉄斑顕著。柱穴状の落ち込み
4. 10YR4/2灰黄褐色～10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性中・しまりやや密	酸化鉄斑顕著。(古い溝跡:83SD17か)

1～3 : 83SD6、(4 : 83SD17)

83SD9 T8 断面a-a'

整地層 10YR6/8明黄褐色粘土	粘性密・しまり密	灰黄褐色シルトブロック10～15%含。
① 10YR5/2灰黄褐色砂質シルト	粘性やや密・しまりやや密	炭化物(1mm粒)2～3%含。酸化鉄集積
② 10YR5/3～5/4にぶい黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり密	炭化物(2～5mm粒)3～5%含。酸化鉄斑状に見られる。
1. 10YR3/2黒褐色シルト	粘性やや疎・しまりやや密	地山小ブロック2～3%、炭化物含。かわらけ小片包含。酸化鉄集積。
2. 10YR5/4にぶい黄褐色シルト	粘性やや疎 しまりやや密	黄褐色粘土(地山)ブロック7～10%、炭化物(1～2mm粒)1%含。酸化鉄集積。
3. 10YR6/8明黄褐色粘土と灰黄褐色シルトの混合層	粘性やや密・しまりやや密	
4. 10YR4/2灰黄褐色シルト	粘性やや疎・しまりやや密	炭化物(2×3mm角)1～2%含。かわらけ細片包含。にぶい黄褐色土が鹿の子状に見られる。
7. 10YR5/1褐灰色～10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり密	明黄褐色(10YR6/8)粘土(地山)小ブロック3～5%、炭化物(2×5mm角)2～3%含。酸化鉄集積。

1～3 : 73SD7、4 : 83SD10、5・6 : 83SA3、7 : 83SD9

83SD24 T8 断面a-a'

1. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性中・しまり密	炭化物(5×5mm角)2%含。にぶい黄褐色粘土が鹿の子状に見られる。酸化鉄斑顕著。
2. 10YR5/4にぶい黄褐色粘土	粘性やや密・しまり密	地山(浅黄色粘土)ブロック30%含。酸化鉄斑顕著。
3. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや密・しまりやや密	地山(2.5Y6/3にぶい黄色～2.5Y7/3浅黄色粘土)と灰黄褐色(10YR4/2)シルトとの混合層。炭化物(2×3mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
4. 2.5Y6/3にぶい黄色砂質シルト	粘性中・しまり中	地山(2.5Y6/6明黄褐色粘土)との混合層。炭化物(2×2mm角)2～3%含。酸化鉄斑顕著。

1・2 : 83SD1、3・4 : 83SD24、5～10 : 83SD2、11・12 : 83SD4、13・14 : 83SD5

83SD8 T4 断面a-a'

1. 10YR6/2灰黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり中	明黄褐色(10YR7/6)シルトブロックを10%含。
----------------------	------------	----------------------------

83SA1・2 T4 断面a-a'

17. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや疎・しまりやや密	黄褐色(10YR5/6)砂質土、礫(φ10～15mm)との混合層 炭化物(2mm角)5～7%含む。かわらけ細片少量包含。
18. 10YR5/4にぶい黄褐色シルト	粘性中・しまりやや密	炭化物(2～3mm角)5～7%含。酸化鉄斑顕著。
19. 10YR5/2灰黄褐色粘土	粘性密・しまり密	炭化物(1～2×5×10mm角)1～2%、炭化物(2×3mm角)1～2%含。酸化鉄斑顕著。
20. 10YR5/2灰黄褐色粘土	粘性密・しまり中	細礫5～7%、にぶい黄色粘土(地山)小ブロック3～5%、炭化物(1～2mm粒)1～2%含。酸化鉄斑顕著。
21. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト	粘性中・しまりやや密	にぶい黄色粘土(地山)ブロック5～7%、炭化物(1～2mm粒)2～3%含。酸化鉄斑顕著。
22. 2.5Y6/3にぶい黄色粘土	粘性密・しまり密	灰黄褐色土ブロック10～15%含。酸化鉄斑顕著。

83SA3 T8 断面a-a'

整地層 10YR6/8明黄褐色粘土	粘性密・しまり密	灰黄褐色シルトブロック10～15%含。
① 10YR5/2灰黄褐色砂質シルト	粘性やや密・しまりやや密	炭化物(1mm粒)2～3%含。酸化鉄集積
② 10YR5/3～5/4にぶい黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり密	炭化物(2～5mm粒)3～5%含。酸化鉄斑状に見られる。
4. 10YR4/2灰黄褐色シルト	粘性やや疎・しまりやや密	炭化物(2×3mm角)1～2%含。かわらけ細片包含。にぶい黄褐色土が鹿の子状に見られる。
5. 10YR5/1褐灰色～10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり密	にぶい黄褐色シルトブロック7～10%(特に下部)、明黄褐色(10YR6/8)粘土(地山)小ブロック5～7%、炭化物(1×3mm角)1～2%含。酸化鉄集積。
6. 10YR5/1褐灰色～10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり密	にぶい黄褐色シルトとの混合層。酸化鉄集積。

83SX3 T12 断面a-a'

1. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性中・しまり密	灰黄褐色シルト小ブロック5~7%、炭化物粒1~2%含。酸化鉄集積。
2. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや密・しまりやや密	炭化物(1×1mm角)1~2%含。かわらけ細片包含。酸化鉄集積
3. 10YR4/2~5/2灰黄褐色シルト	粘性やや密・しまり密	かわらけ細片5~7%、炭化物(1×10mm角)2~3%含。酸化鉄斑顕著。
4. 10YR5/2灰黄褐色シルト	粘性やや密・しまり密	地山小ブロック3~5%含。酸化鉄斑見られる。
5. 10YR5/1褐灰色~10YR5/2灰黄褐色シルト	粘性中・しまりやや密	かわらけ粒2~3%、炭化物(2×10mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
6. 2.5Y6/3にぶい黄色シルト	粘性中・しまりやや密	灰黄褐色シルトブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
7. 10YR3/3暗褐色~10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや密・しまり密	かわらけ細片2~3%、炭化物(2×3mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
8. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性密・しまり密	地山(10YR5/6黄褐色粘土)ブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
9. 10YR4/2灰黄褐色シルト	粘性密・しまり密	かわらけ細片5~7%、炭化物(3×5mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
10. 10YR5/2灰黄褐色~10YR5/3にぶい黄褐色シルト	粘性中・しまりやや密	炭化物(1mm粒)3~5%含。かわらけ細片包含。酸化鉄斑顕著。
11. 10YR5/2灰黄褐色シルト	粘性中・しまりやや密	地山(2.5Y7/3浅黄色粘土)ブロック15~20%含。酸化鉄斑顕著。
12. 2.5Y6/2灰黄色粘土	粘性密・しまりやや密	灰黄褐色シルトブロック10~15%含。酸化鉄斑顕著。
13. 10YR5/2灰黄褐色シルト	粘性やや密・しまりやや密	褐色(10YR4/4)砂、にぶい黄褐色(10YR6/3)粘土との混合層。礫(φ2~10mm)多量包含。かわらけ細片包含。
14. 10YR6/2灰黄褐色粘土	粘性密・しまり密	炭化物細片5~7%含。かわらけ細片包含。酸化鉄斑顕著。
15. 10YR6/4にぶい黄橙色粘土	粘性密・しまり密	灰黄褐色(10YR6/2)シルトブロック5~7%、炭化物(2×3mm角)1~2%含。酸化鉄斑顕著。
16. 10YR5/2灰黄褐色シルト	粘性中・しまりやや密	地山(10YR6/4にぶい黄橙色粘土)ブロック5~7%、炭化物(3mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
17. 2.5Y7/4浅黄色粘土	粘性密・しまりやや密	にぶい黄褐色シルトブロック5~7%含。酸化鉄斑顕著。
掘りすぎ(地山) 2.5Y6/3にぶい黄色粘土		
1: 83P28、3~6: 83SD1、7~8: 83SD4、9~12: 83SX3、13~17: 83SD2		

整地層 断面a-a'

1. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性中・しまり密	炭化物(5×5mm角)2%含。にぶい黄橙色粘土が鹿の子状に見られる。酸化鉄斑顕著。
2. 10YR5/4にぶい黄褐色粘土	粘性やや密・しまり密	地山(浅黄色粘土)ブロック30%含。酸化鉄斑顕著。
3. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや密・しまりやや密	地山(2.5Y6/3にぶい黄色~2.5Y7/3浅黄色粘土)と灰黄褐色(10YR4/2)シルトとの混合層。炭化物(2×3mm角)1%含。酸化鉄斑顕著。
4. 2.5Y6/3にぶい黄色砂質シルト	粘性中・しまり中	地山(2.5Y6/6明黄褐色粘土)との混合層。炭化物(2×2mm角)2~3%含。酸化鉄斑顕著。
5. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや密・しまり密	灰黄褐色粘土小ブロック3~5%、炭化物(1×2mm角)1~2%、かわらけ細片1~2%含。
6. 10YR6/2灰黄褐色粘土	粘性密・しまり密	にぶい黄褐色シルトブロック15%、炭化物(1×1mm粒)2~3%含。かわらけ片包含。酸化鉄斑顕著。
7. 10YR5/4にぶい黄褐色シルト	粘性やや密・しまり中	炭化物(1×1mm~)が部分的に層状を呈している。酸化鉄粒5~7%、にぶい黄橙色ブロック3~5%、炭化物(1×2mm角)2~3%含。
8. 10YR6/4にぶい黄橙色粘土	粘性密・しまりやや密	炭化物(2×3mm角)2~3%含。酸化鉄斑顕著。
9. 2.5Y7/3浅黄色粘土	粘性密・しまりやや密	炭化物(2×2mm角)1~2%含。にぶい黄褐色土で汚れている。
10. 10YR6/3にぶい黄橙色粘土	粘性密・しまりやや密	明黄褐色粘土ブロック15%、酸化鉄粒7~10%含。
11. 10YR3/3暗褐色シルト	粘性やや密・しまりやや密	かわらけ細片少量包含。
12. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや密・しまり密	炭化物(1×3mm角)1%含。
13. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや疎・しまりやや密	炭化物(1×2mm粒)3~5%、地山小ブロック2~3%含。かわらけ細片包含。
14. 10YR5/3にぶい黄褐色シルト	粘性中・しまりやや密	炭化物(1×2mm角)5~7%、酸化鉄粒5~7%、地山ブロック3~5%含。かわらけ細片包含。
1:2: 83SD1、3:4: 83SD24、5~10: 83SD2、11:12: 83SD4、13:14: 83SD5		

断面a'-a''

II(上) 10YR5/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや疎・しまりやや密	
II(下) 10YR5/3にぶい黄褐色シルト	粘性やや密・しまりやや密	炭化物(3~5mm角)1%、かわらけ小片多量包含。
整地層 10YR6/8明黄褐色粘土	粘性密・しまり密	灰黄褐色シルトブロック10~15%含。

2 検出遺構

① 10YR5/2灰黄褐色砂質シルト	粘性やや密・しまりやや密	炭化物(1mm粒)2~3%含。酸化鉄集積
② 10YR5/3~5/4にぶい黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり密	炭化物(2~5mm粒)3~5%含。酸化鉄斑状に見られる。
①・②は整地層の下に見られる堆積層。		
1. 10YR3/2黒褐色シルト	粘性やや疎・しまりやや密	地山小ブロック2~3%、炭化物含。かわらけ小片包含。酸化鉄集積。
2. 10YR5/4にぶい黄褐色シルト	粘性やや疎・しまりやや密	黄褐色粘土(地山)ブロック7~10%、炭化物(1~2mm粒)1%含。酸化鉄集積。
3. 10YR6/8明黄褐色粘土と灰黄褐色シルトの混合層	粘性やや密・しまりやや密	
4. 10YR4/2灰黄褐色シルト	粘性やや疎・しまりやや密	炭化物(2×3mm角)1~2%含。かわらけ細片包含。にぶい黄褐色土が鹿の子状に見られる。
5. 10YR5/1褐灰色~10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり密	にぶい黄褐色シルトブロック7~10%(特に下部)、明黄褐色(10YR6/8)粘土(地山)小ブロック5~7%、炭化物(1×3mm角)1~2%含。酸化鉄集積。
6. 10YR5/1褐灰色~10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり密	にぶい黄褐色シルトとの混合層。酸化鉄集積。
7. 10YR5/1褐灰色~10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト	粘性やや密・しまり密	明黄褐色(10YR6/8)粘土(地山)小ブロック3~5%、炭化物(2×5mm角)2~3%含。酸化鉄集積。
1~3 : 73SD7、4 : 83SD10、5・6 : 83SA3、7 : 83SD9		

3 出土遺物

出土遺物はかわらけ、渥美や常滑等の国産陶器、白磁等の輸入磁器、瓦、羽口、土壁・炉壁・粘土塊類、縄文土器、土師器、石器類、中世以降の陶磁器類等が出土している。土器類で出土量が多いのはかわらけで、合計206,294.8 g 出土している。次いで、国産陶器22,347.2 g (684点)、輸入磁器294.4 g (37点)である。83SX1によりかわらけの出土量が突出している。これらの遺構毎の出土数量を表4に示した。

今回の調査区は、堆積状況に大きな差が確認できる。調査区の北半は、表土層や盛土層を除去すると、検出面である地山層が確認されているが、南半ではかわらけや国産陶器を包含するにぶい黄褐色土層が確認でき、出土量が多くなっている。

かわらけは、できるだけ遺構内のものは掲載するよう努めたが、掲載に耐えられない小片しか出土していない遺構に関しては、出土量を提示するにとどめている。なお、かわらけの分類・編年は、柳之御所遺跡堀内部地区の『総括報告書』(以下「総括編年」と呼称、岩手県教育委員会2019)の編年を使用する。陶磁器類は全点登録し、表に掲載した上で、良好な資料を示した。国産陶器の押印の名称については、『柳之御所資料館図録』(岩手県平泉町2000)に準拠し、輸入磁器の分類にあたっては、「大宰府分類」(太宰府市教育委員会2000)を参考にしている。また、年代については、かわらけの出土がまとまっている遺構を中心に検討したが、2つの遺構のみである(83SD2・83SX1)。以下は遺物の種別に関わらず遺構ごとに記載する。

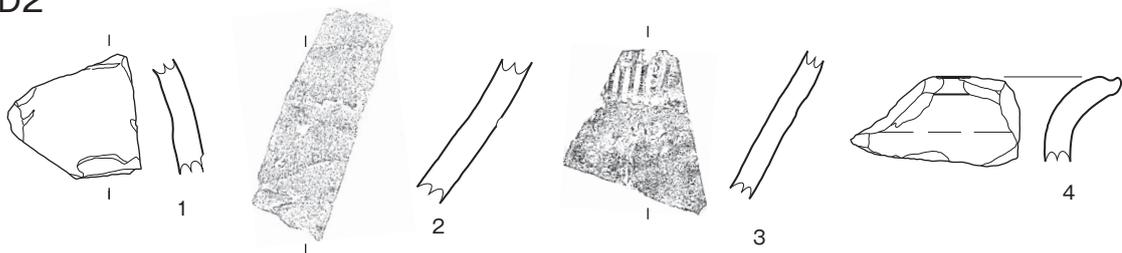
(1) 72SD2出土遺物 (図24)

1・2は渥美産の陶器である。1は壺の胴部資料で外面に線刻が確認できる。2は大甕の胴部片である。3・4は常滑産の大甕の破片で、3は胴部、4は口縁部片である。

(2) 80SC1出土遺物 (図24～26)

29SD1出土遺物 5・6は渥美の壺の胴部資料である。7は渥美の甕の胴部資料である。

72SD2



29SD1

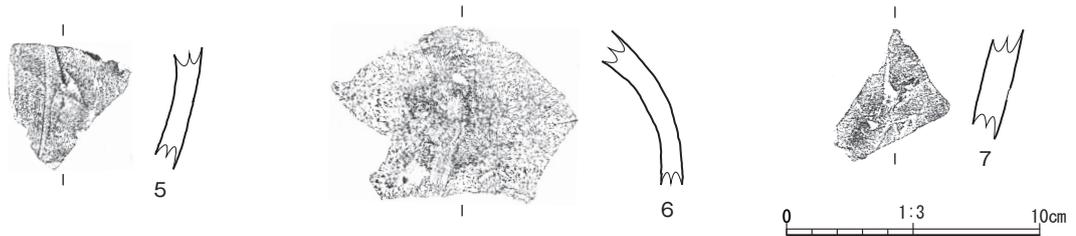


図24 出土遺物 1

3 出土遺物

表4 第83次調査出土遺物数量表

出土地点・出土遺構		かわらけ		国産陶器		輸入陶磁器		瓦		金属製品
		重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	重量	
72SD2		143.1	5	179.1	0	0.0	0	0.0	9.3	
83SK5		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
以外の土坑類		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
80SC1	83SD2 (25SD3)	T4	2,443.8	2	30.4	1	1.7	0	0.0	0.0
		T6	3,205.4	5	122.4	0	0.0	0	0.0	0.0
		T7	1,897.9	7	344.5	0	0.0	0	0.0	16.5
		T8	612.3	3	252.5	0	0.0	0	0.0	0.0
		T12	2,229.1	8	323.8	0	0.0	0	0.0	0.0
		上記以外	369.6	1	31.7	0	0.0	0	0.0	0.0
	合計	10,758.1	26	1,105.3	1	1.7	0	0.0	16.5	
	29SD1	20.9	3	115.2	0	0.0	0	0.0	0.0	
80SC2	83SD1 (25SD2)	T4	658.3	6	327.1	3	8.3	0	0.0	0.0
		T8	121.8	9	669.9	0	0.0	0	0.0	0.0
		T12	1,143.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.6
		上記以外	1,067.8	2	179.2	1	23.1	0	0.0	2.9
	合計	2,991.8	17	1,176.2	4	31.4	0	0.0	4.5	
		83SD17 (80SD1)	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0.0
		83SD10 (80SD1)	T8	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
T9	0.0		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
T10	101.0		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
	合計	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
73SD7		70.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SD3		130.1	1	49.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SD4		T4	1,952.3	4	185.0	0	0.0	0	0.0	0.0
		T6	220.4	1	130.9	0	0.0	0	0.0	0.0
		T7	739.9	3	38.8	0	0.0	0	0.0	6.9
		T8	73.7	2	56.9	0	0.0	0	0.0	0.0
		T12	189.5	2	42.8	0	0.0	0	0.0	0.0
		上記以外	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	合計	3,175.8	12	454.4	0	0.0	0	0.0	6.9	
83SD5		T4	18,319.7	5	154.3	0	0.0	0	0.0	29.3
		T8	241.8	1	44.8	0	0.0	0	0.0	0.0
		上記以外	56.6	4	204.6	0	0.0	0	0.0	0.0
		合計	18,618.1	10	403.7	0	0.0	0	0.0	29.3
83SD6		30.6	1	24.3	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SD8		1.2	0	0.0	1	2.2	0	0.0	0.0	
83SD9		430.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SD11		333.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SD12		0.0	2	170.2	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SD24		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SD25		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SD26		46.3	13	199.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SD27		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
上記以外の溝跡		9.5	2	28.3	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SA1 (80SA3)		5.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SA2		33.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
上記以外の堀跡		1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SE1		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SE2		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SX1		T7	50,495.3	1	22.5	1	15.8	0	0.0	3.2
		上記以外	21,200.9	7	230.4	1	1.1	0	0.0	0.0
		合計	71,696.2	8	252.9	2	16.9	0	0.0	3.2
83SX2		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SX3		23.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SX4		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SX5		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
83SX6		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
整地層		65.9	1	39.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
柱穴類		58.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
遺構外	83T1	2,373.5	163	6,427.7	6	82.5	0	0.0	29.6	
	83T2	3,118.9	24	622.4	1	1.9	0	0.0	119.0	
	83T3	51.1	2	36.5	0	0.0	0	0.0	0.0	
	83T4 (1区)	140.5	2	12.0	2	7.2	0	0.0	0.0	
	1区	730.3	7	69.2	3	11.7	0	0.0	111.0	
	2区	82,891.2	136	4,972.4	11	82.4	0	0.0	369.6	
	2区～3区	54.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
	3区	4,227.4	27	983.7	0	0.0	0	0.0	0.0	
	4区	2,851.9	187	3,756.7	6	56.5	0	0.0	7.5	
	4-5区	386.5	2	104.2	0	0.0	0	0.0	35.7	
	5区	499.0	24	934.6	0	0.0	1	71.8	0.0	
	83T7	35.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
	83T8	128.9	3	68.4	0	0.0	0	0.0	0.0	
	83T9	17.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
I層	0.0	3	90.4	0	0.0	0	0.0	0.0		
表採・排土	36.9	2	54.1	0	0.0	0	0.0	87.8		
合計	206,288.7	684	22,347.2	37	294.0	1	71.8	829.9		

II 調査内容

単位：g

羽口	土壁	炉壁	粘土塊	鉄滓	炭化物	種子	縄文土器	土師器	石器類	中世以降 陶磁器	不明・ その他	合計
重量	重量	重量	重量	重量	重量	重量	重量	重量	重量	重量	重量	
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	2,263.5	33.8	0.0	2,630.7
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	65.8	204.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	2,751.2
0.0	23.2	0.0	39.8	0.0	7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,398.0
0.0	0.0	0.0	46.7	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	26,603.5	0.0	0.0	28,916.4
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	864.8
0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	17.5	0.0	4.3	2,578.8
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	401.3
0.0	23.2	0.0	155.8	211.3	7.8	0.0	0.0	0.0	26,626.5	0.0	4.3	38,910.5
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	140.6
28.6	8.8	0.0	6.4	104.7	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,152.0
0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	793.1
0.0	0.0	0.0	0.0	34.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,180.4
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	169.4	0.0	0.0	1,442.4
28.6	10.2	0.0	6.4	139.6	9.8	0.0	0.0	0.0	169.4	0.0	0.0	4,567.9
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	527.1	0.0	0.0	638.8
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	527.1	0.0	0.0	655.5
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.5
10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	190.7
0.0	0.0	0.0	0.0	144.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	2,288.5
0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	367.9
0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	793.4
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	130.6
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	232.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	7.0	144.5	4.1	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	3,812.7
0.0	11.1	0.0	10.1	0.0	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18,552.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	286.6
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	261.2
0.0	11.1	0.0	10.1	0.0	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19,100.1
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	60.2
0.0	0.0	0.0	0.0	20.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.6
0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	443.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	333.4
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	170.2
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	246.1
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	40.0
0.0	0.0	0.0	24.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	65.1	0.0	19.5	0.0	123.1	0.0	0.0	0.0	413.1	0.0	0.0	51,157.6
0.0	1.9	0.0	25.6	0.0	26.9	0.0	0.0	0.0	53.7	0.0	5.6	21,546.1
0.0	67.0	0.0	45.1	0.0	150.0	0.0	0.0	0.0	466.8	0.0	5.6	72,703.7
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	104.9
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.9
19.8	215.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	247.4	2,172.5	0.0	11,568.1
0.0	1.5	0.0	0.0	24.9	0.0	0.0	0.0	0.0	246.0	279.4	8.7	4,422.7
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	198.5	155.7	0.0	441.8
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	2.3	0.0	168.9
0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	28.5	0.0	968.1
70.5	292.1	12.8	32.5	385.4	1.8	0.0	10.4	10.3	921.2	732.7	103.3	90,888.6
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.2
0.0	31.4	0.6	0.0	308.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3	376.5	0.0	5,939.5
0.0	0.0	0.0	7.6	59.3	0.0	0.0	0.0	0.0	84.8	543.2	13.5	7,381.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	164.8	0.0	696.5
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	463.9	0.0	1,969.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.4	15.9	0.0	229.6
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.4
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	106.6	0.0	285.4
129.7	665.6	13.4	289.0	1,295.2	210.7	1.9	10.4	10.3	31,832.4	5,082.5	135.4	269,508.5

83SD2

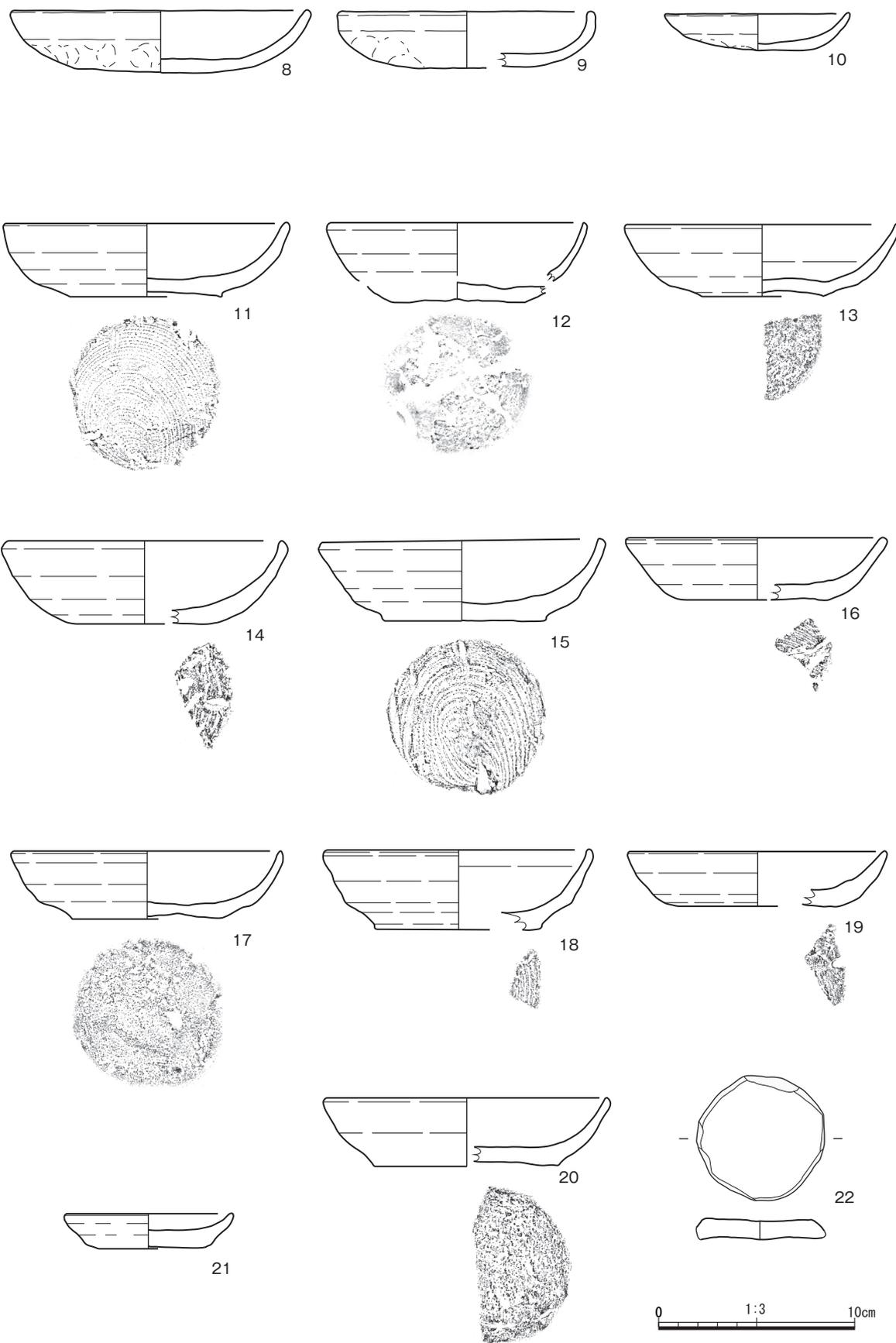


图25 出土遺物 2

83SD2

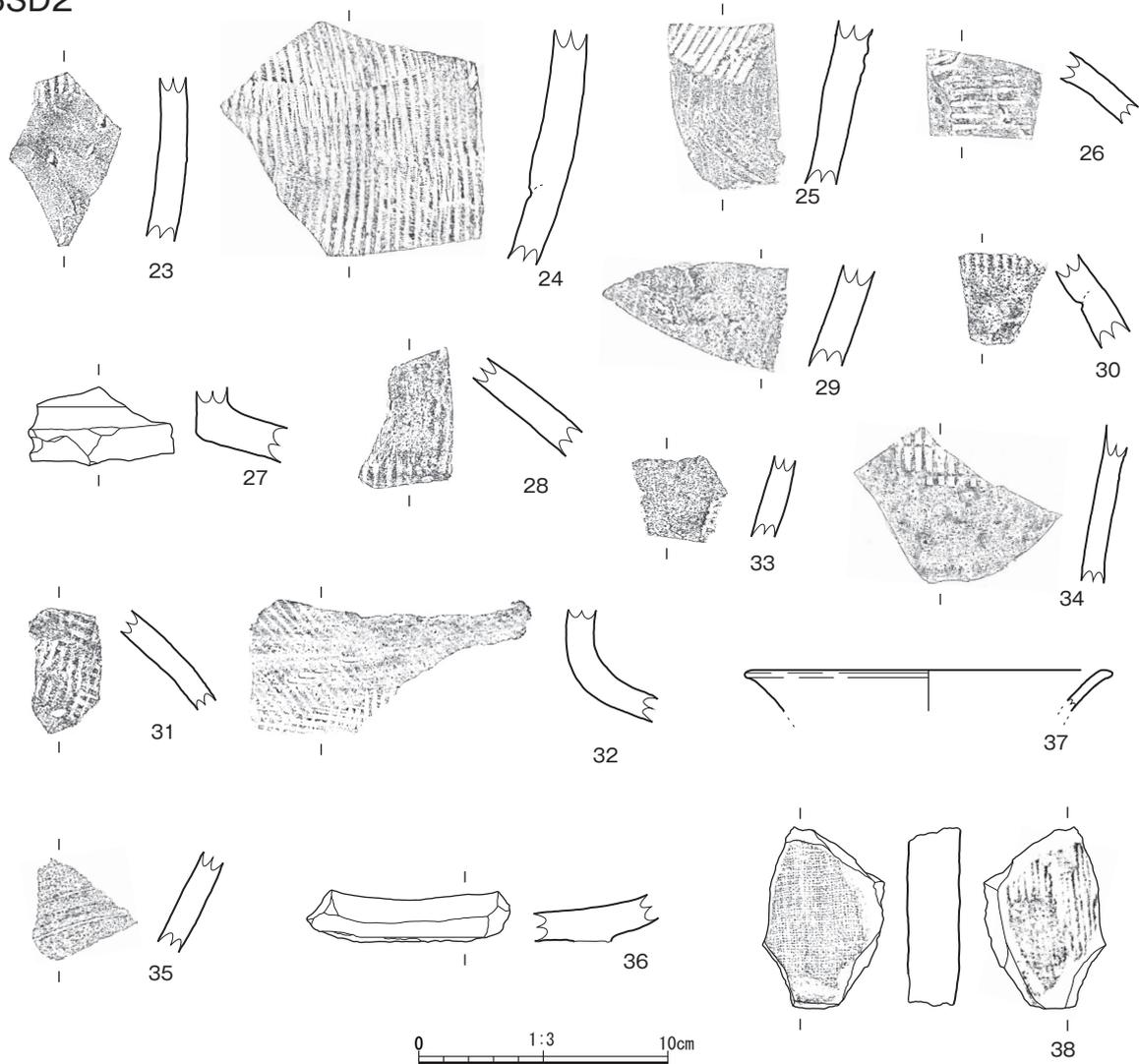


図26 出土遺物3

83SD2 (25SD3) 出土遺物 8～21はかわらけである。このうち8～10は手づくねかわらけで、8・9は大皿、10が小皿である。11～21はロクロかわらけで、21以外は大皿である。15・17・18・20の形態は底部がやや突出したもので、いわゆる椀形と皿型の間形態を呈する。22は土器片を再利用した円盤である。23～31は渥美の甕の胴部資料である。9点とも外面には押印が確認できる。24の外面には線刻が確認できる。32は須恵器大甕の頸部片である。中世須恵器の可能性はあるが、現時点での認識は古代の須恵器とする。33・34は常滑の甕の胴部資料である。34の外面には押印が確認できる。35・36は常滑の片口鉢で、前者は胴部、後者は底部片である。37は白磁の碗と考えられる口縁部の断片的な資料である。38は平瓦片である。一面に布目、もう一面に縄目痕が残る。

かわらけは、掲載遺物だけをみると、ロクロかわらけの比率が高く、また口径も14cm前後のものが多くを占める。器高も比較的高いものが多く、形態的に底部が突出した椀形に近いものがある程度含まれている。これらの特徴から「総括編年」のII b群に相当すると考えられる。ただし、今回の調査は遺構全体を調査したものでないため目安として捉えておく。

(3) 80SC2出土遺物 (図27)

83SD1 (25SD2) 39~40は、手づくねかわらけである。39には2段ナデが施される。41はロクロかわらけ大皿の底部片のみである。42~47は渥美産の大甕の胴部片である。42・44・45・47の4点には外面に押印が施される。48・49は渥美産の片口鉢の胴部資料である。50~54は常滑産の大甕の破片である、50・52の外面には押印が確認できる。55は須恵器系陶器の大甕片である。外面にタタキ痕が残る。58は白磁の壺の口縁部資料である。端部は玉縁状を呈する。57は白磁の皿と考えられる口縁部の断片的な資料である。56は白磁の皿の胴部資料である。内面には一条の線が巡っている。59は砥石である。

83SD17 (80SD1) 60は渥美の甕の胴部資料である。外面には押印が確認できる。

(4) 83SD3出土遺物 (図28)

61は手づくねかわらけの小皿である。62は常滑の甕の胴部資料である。外面には押印が確認できる。

(5) 83SD4出土遺物 (図28)

63はロクロかわらけ大皿の底部片である。64~66・68・69は渥美産の甕の胴部資料である。64・66・68の外面には押印が確認できる。67は渥美の片口鉢の口縁部資料である。70は常滑の甕の胴部資料である。外面には押印が確認できる。

(6) 83SD5出土遺物 (図28)

71~77はかわらけで、77以外はいずれも手づくねである。71・73・74はいわゆる2段ナデが施される。75・76は小皿である。77も小皿であるがロクロ調整のかわらけである。

78~80は渥美の甕の胴部資料である。79の外面には押印が確認できる。81~83は常滑産の陶器で、81は広口壺の口縁部片、そのほかは甕の胴部片である。83の外面には長格子文の押印が確認できる。84は須恵器系陶器の大甕片である。

(7) 83SD9出土遺物 (図28)

85・86は手づくねかわらけで、85は大皿、86は小皿である。87・88はロクロかわらけで、87は大皿、88は小皿である。

(8) 83SD12出土遺物 (図29)

89は渥美窯産の甕の胴部資料である。外面には押印が確認できる。90は常滑窯産甕の胴部片である。格子文の押印が施される。

(9) 83SD26出土遺物 (図29)

91は渥美窯産甕の胴部片である。92・93は常滑窯産の甕の破片である。92は頸部付近の破片で、93は胴部片である。

(10) 83SX1出土遺物 (図30~32)

検出時や遺構内に設定したトレンチ内のみの出土であるが、多くのかかわらけを中心とする遺物が出土している。このなかでは、手づくね67,250.7g、ロクロ4,445.5gであり、94 : 6の比率で圧倒的に

83SD 1

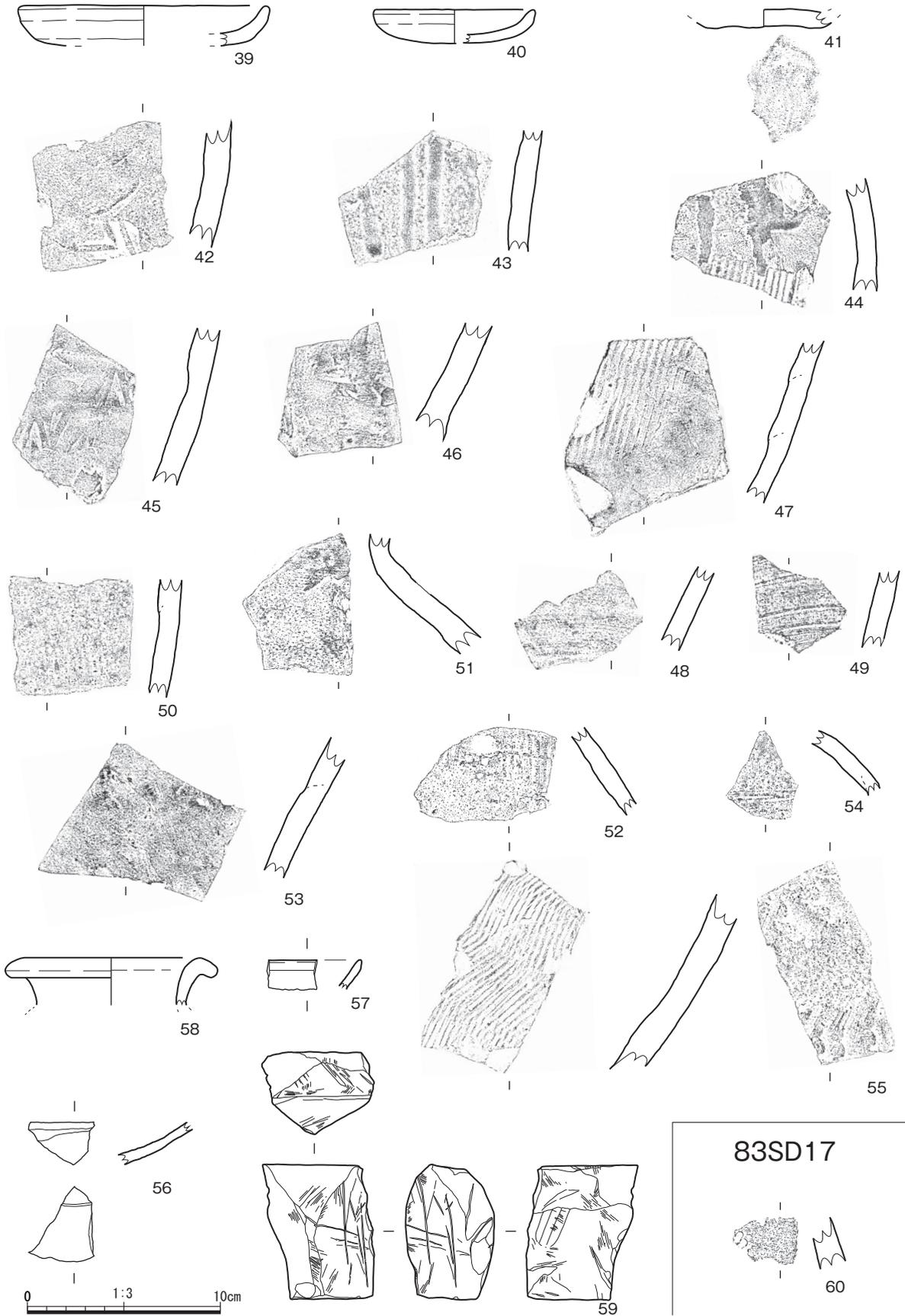
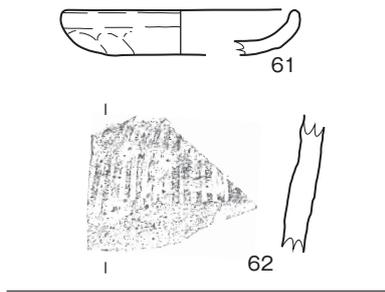
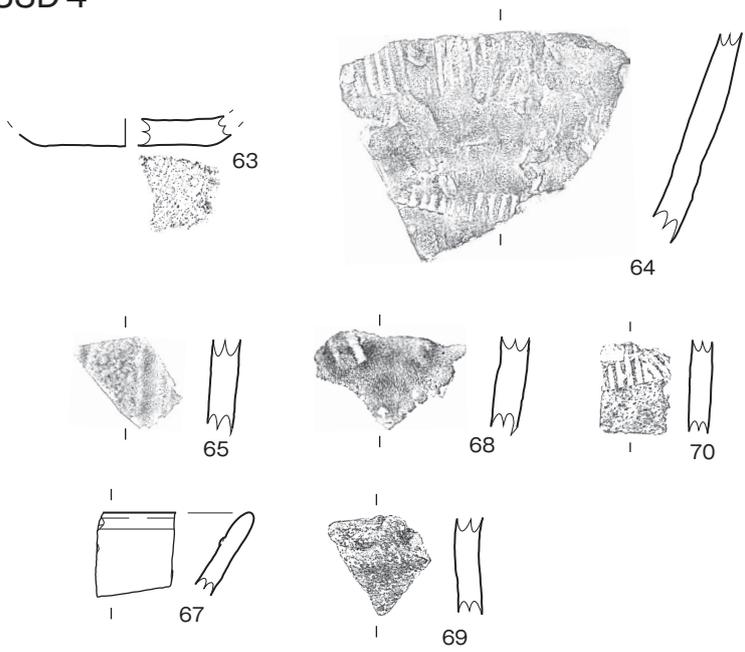


图27 出土遺物4

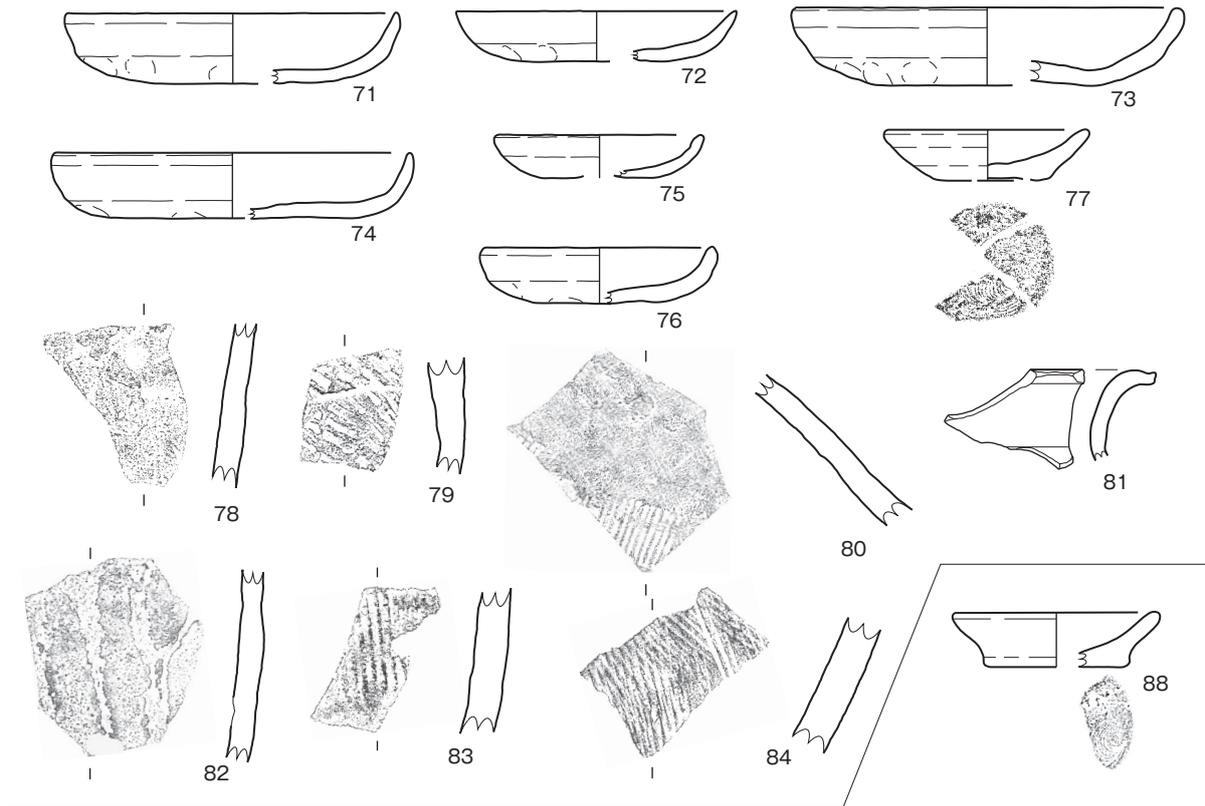
83SD 3



83SD 4



83SD 5



83SD 9

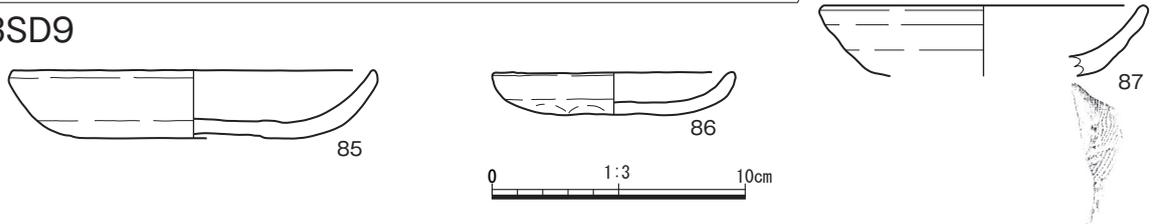


图28 出土遺物 5

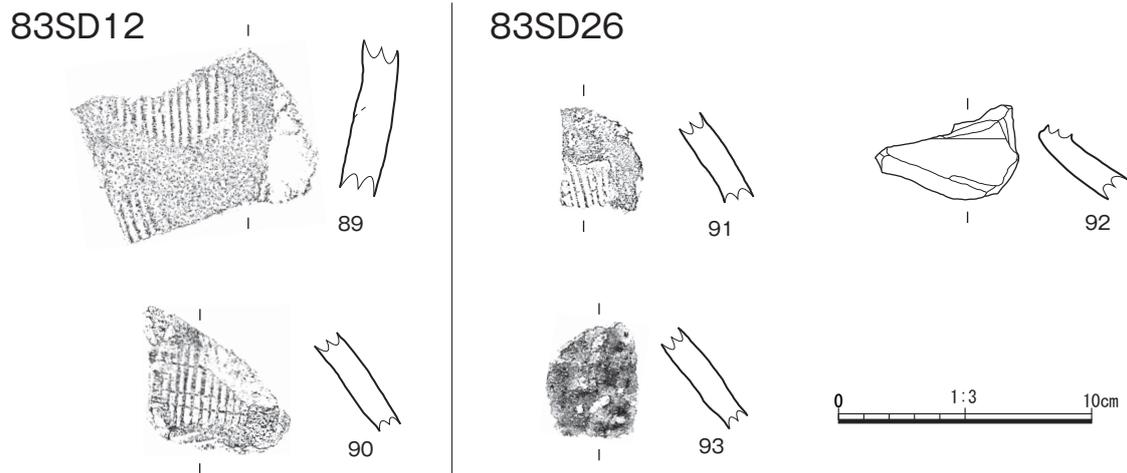


図29 出土遺物6

手づくねかわらけのほうが多い。94～148は手づくねかわらけである。94～143は大皿で、いずれも指頭痕が残る。口縁部の調整はヨコナデが施されるが、一部2段ナデが施される例がある（94・98・101・102・108・116・128・130・134・135・139・140）。144～149は小皿である。150～159はロクロかわらけである。150～157は大皿である。これらは器高が低めのものが多い傾向にある。158・159はロクロかわらけの小皿である。160は耳皿と想定した。ベースは手づくねかわらけであり、扁平にした後に両端を折り曲げたものである。小破片のため別器種の可能性がある。手づくねかわらけの比率が高く、口径の平均は13.6cm前後である。ロクロかわらけはわずかに存在し、形態的に皿形のものが多い。口径の平均は13cm前後である。これらの特徴から、「総括編年」のⅢ a群に相当すると考えられる。手づくねかわらけにはいわゆる2段ナデのものが一部に含まれることからⅢ a群のなかでも初期の一群の可能性はある。

161・162は渥美窯産甕の胴部資料である。161の外面には押印が確認できる。164・165は常滑の甕の胴部資料である。164の外面には押印が確認できる。163は須恵器系陶器の甕の胴部資料である。166は青白磁の碗の胴部資料である。167はⅡ類の白磁壺の胴部破片である。

(11) 整地層出土遺物 (図32)

調査した面積が少ないこともあり出土量は少ない。168は渥美の甕の胴部資料である。外面には押印が確認できる。

(12) 遺構外出土遺物 (図32～37)

試掘や検出作業中に遺構以外から出土した遺物を遺構外遺物とした。このうち、かわらけは全点登録するのみとした。陶磁器類は一部を掲載し、それ以外は観察表と写真図版のみに掲載している。なお、これら不掲載の土器・陶磁器類については登録番号順に並べている。出土量は、かわらけ97,543.6g、国産陶器18,132.3g、輸入陶磁器242.2g、瓦71.8g、金属760.2g、鞆羽口90.3g、土壁540.1g、炉壁13.4g、粘土塊40.1g、鉄滓779.6g、炭化物1.8g、縄文土器10.4g、土師器10.3g、石器類1,753.8g、中世以降の陶磁器5,042.0g、その他125.5gである。

83SX1

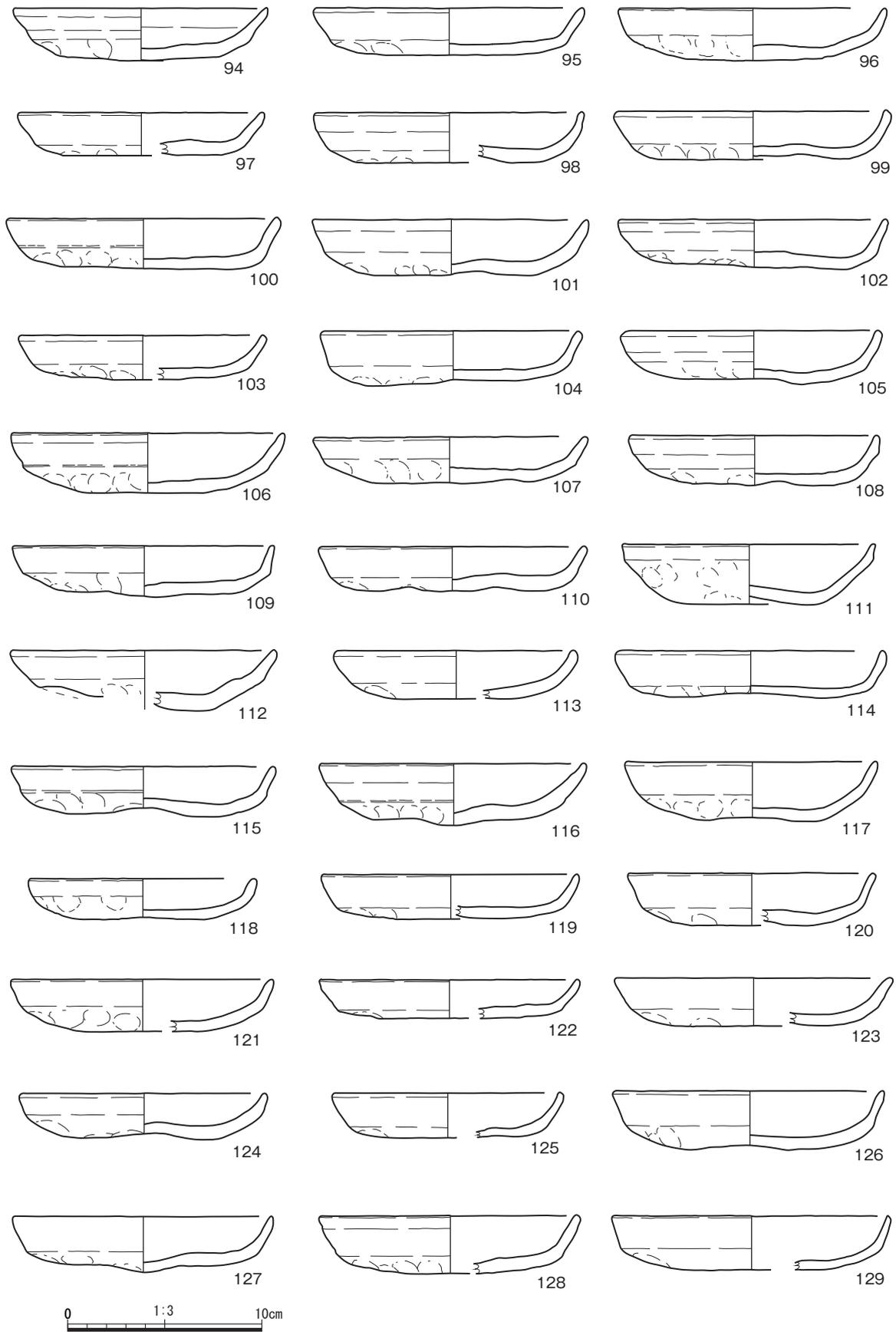


图30 出土遺物7

83SX1

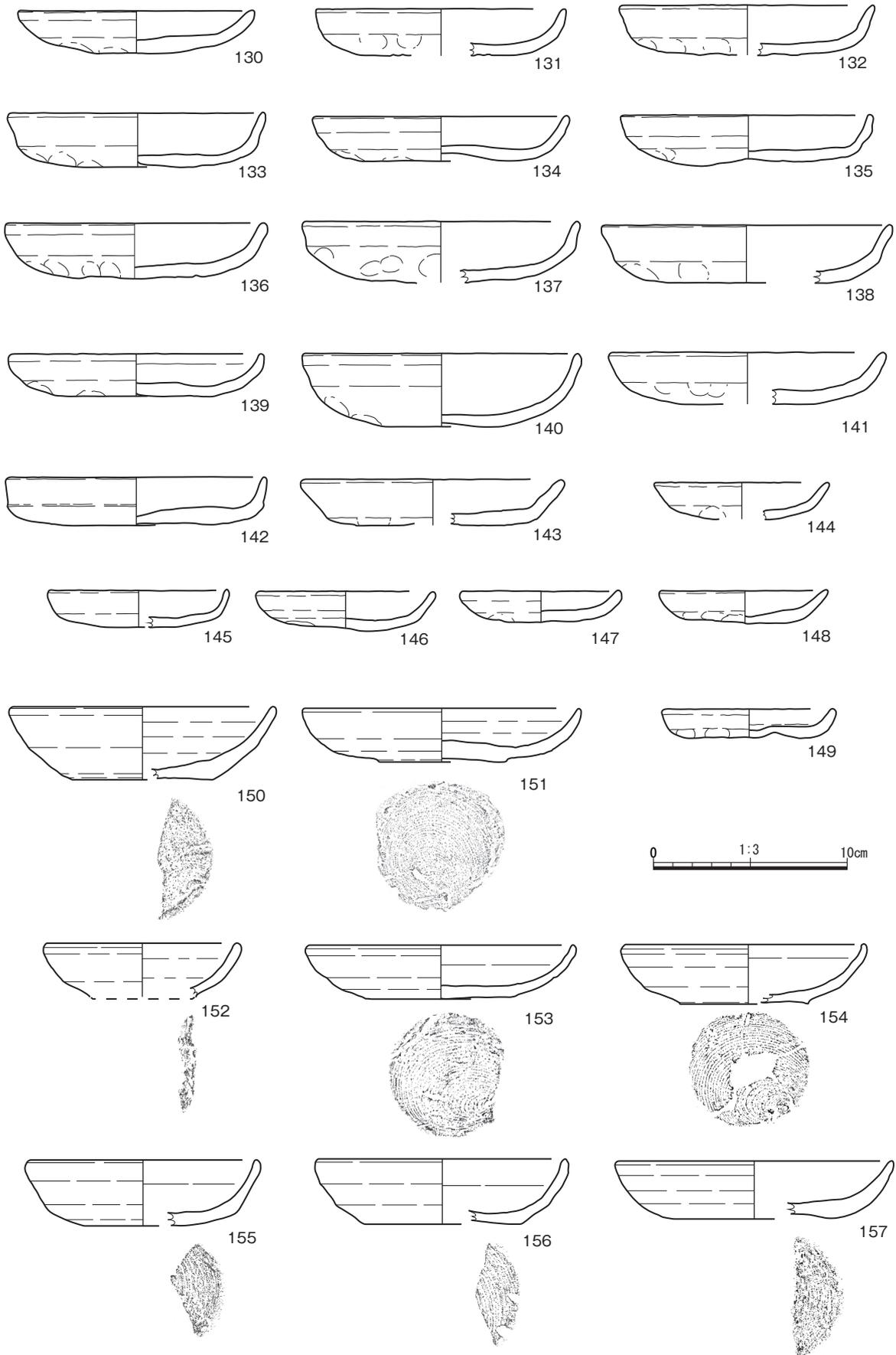
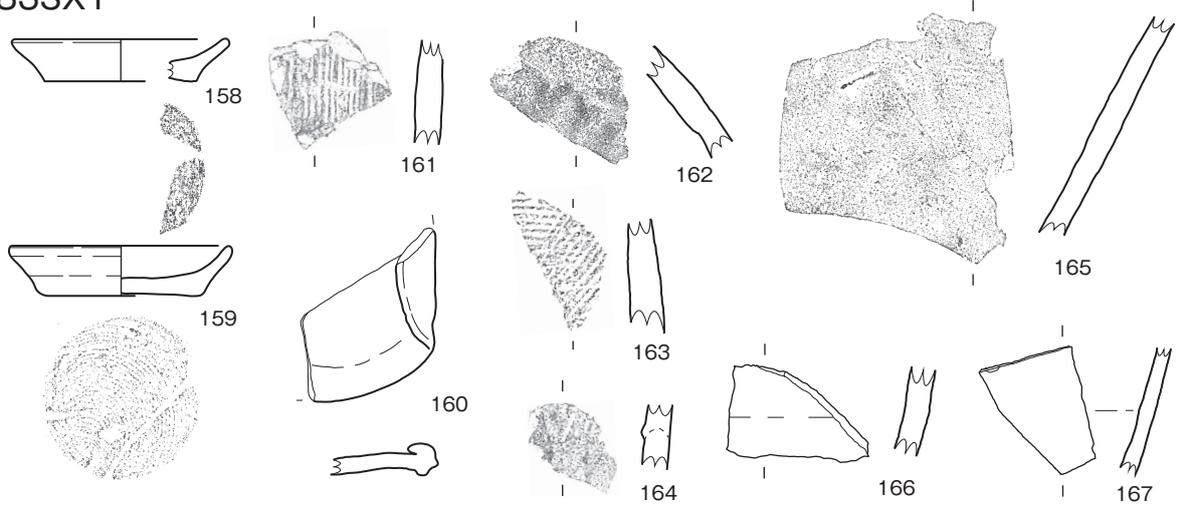
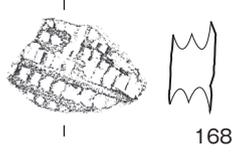


图31 出土遺物8

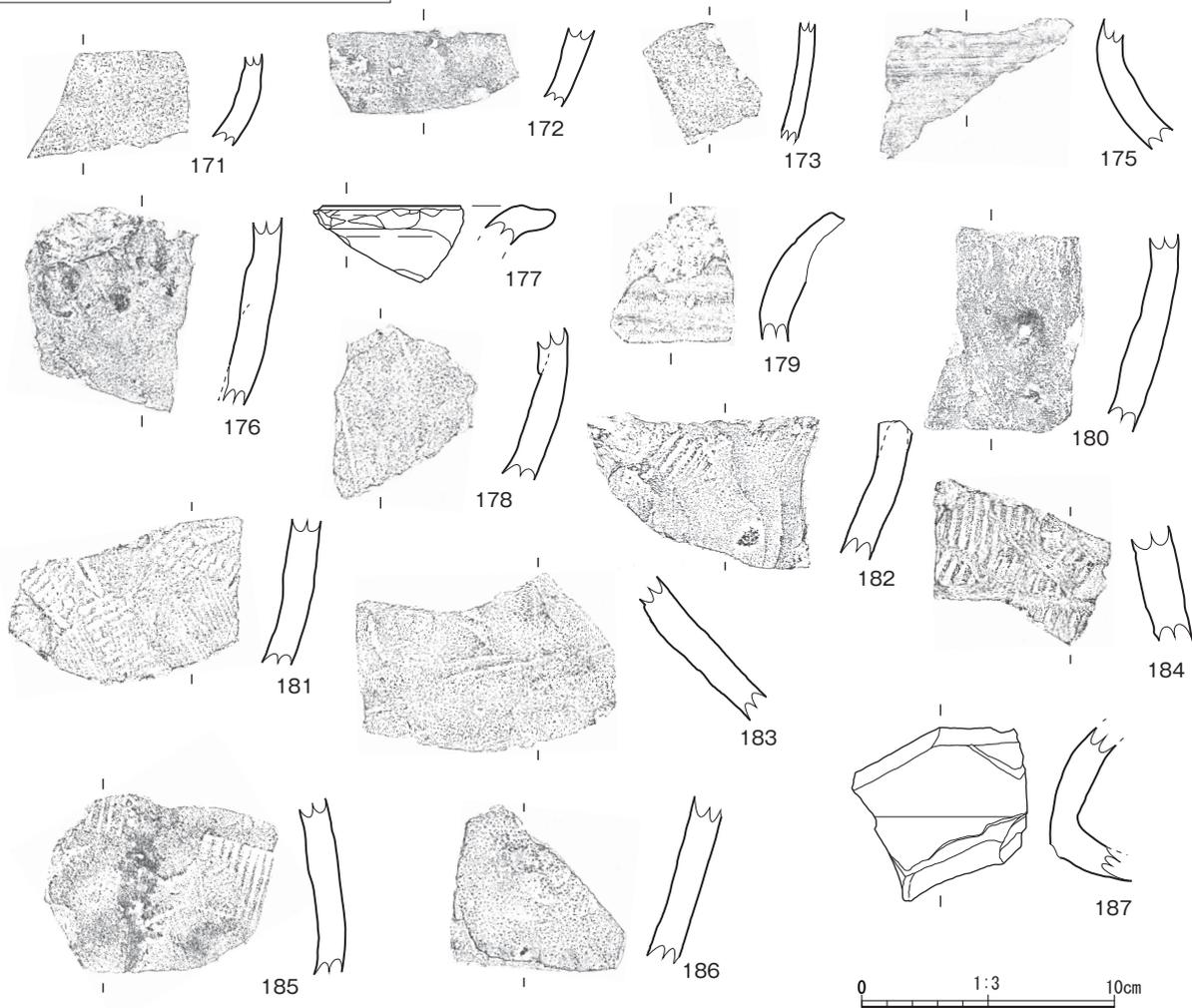
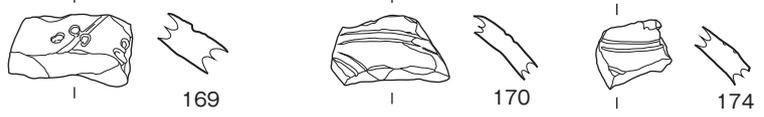
83SX1



整地層



試掘



0 1:3 10cm

图32 出土遺物9

169～219は遺構外出土陶器のうち試掘で出土したものをまとめた。169～192は渥美窯産の陶器である。169～174は壺類の破片である。169・170・174は外面に刻画文が施されている。169には花をモチーフにした刻画文が施文されている。170・174は半截竹管による刻画文が施文されている。175～189は甕類の破片である。181・182・184・185・188の外面には押印が確認できる。190～192は鉢類の破片である。193～216は常滑産の陶器である。193～194は壺類の破片で、193は頸部片、194は底部片である。195～213は甕の破片である。197・199・201～207・209・213の外面には押印が確認できる。214～216は片口鉢の破片である。217～218は須恵器系陶器甕の破片である。219は水沼窯産の大甕の底部片である

220～294は遺構以外から出土した陶磁器類である。220～267は渥美窯産の陶器である。220は器壁が薄いことから山茶碗の可能性もある。221～225は壺類の破片である。224は刻線が施されており筋文壺かもしれない。224は、外面に文様が刻まれており、刻画文陶器であろう。226～261は、甕類の破片である。226～234・237・238・241・244・247・250～253・256・257・259・261には押印が確認できる。262～267は鉢類であり、多くは片口鉢と考えられる。

268～290は常滑窯産の陶器である。268～269は壺類の破片である。270～287は甕類の破片である。このうち272・274・281・282・284には押印が確認できる。288～290は、片口鉢である。いずれも口縁部の破片である。291～293は須恵器系陶器の甕類の破片である。294は水沼窯産の陶器で甕類の破片である。格子状とX字状を組み合わせた押印が施される。

295～309は輸入磁器である。いずれも小破片であるができるだけ反転復元を行っている。そのため計測値は推定である点は注意が必要である。298～309は白磁である。298・299・306は皿で、298の内面には白堆線と推定される細線が施され、口縁は輪花の可能性もある。299は太宰府分類Ⅶ-1a類、306はⅣ-1類の可能性もある。ROg1は碗の口縁部片である。300～305、307・308は白磁壺類の破片である。300は口縁部資料で、口唇部は玉縁状を呈している。302・304・305・307・308は胴部資料である。このうち、302・307はⅡ類の壺である。303は底部資料である。295～297は青磁の碗である。295は口縁部、296・297は胴部資料である。

310・311は瓦片である。いずれも少破片のため詳細は不明である。311は平瓦の可能性もある。また311は38と同一個体の可能性がある。

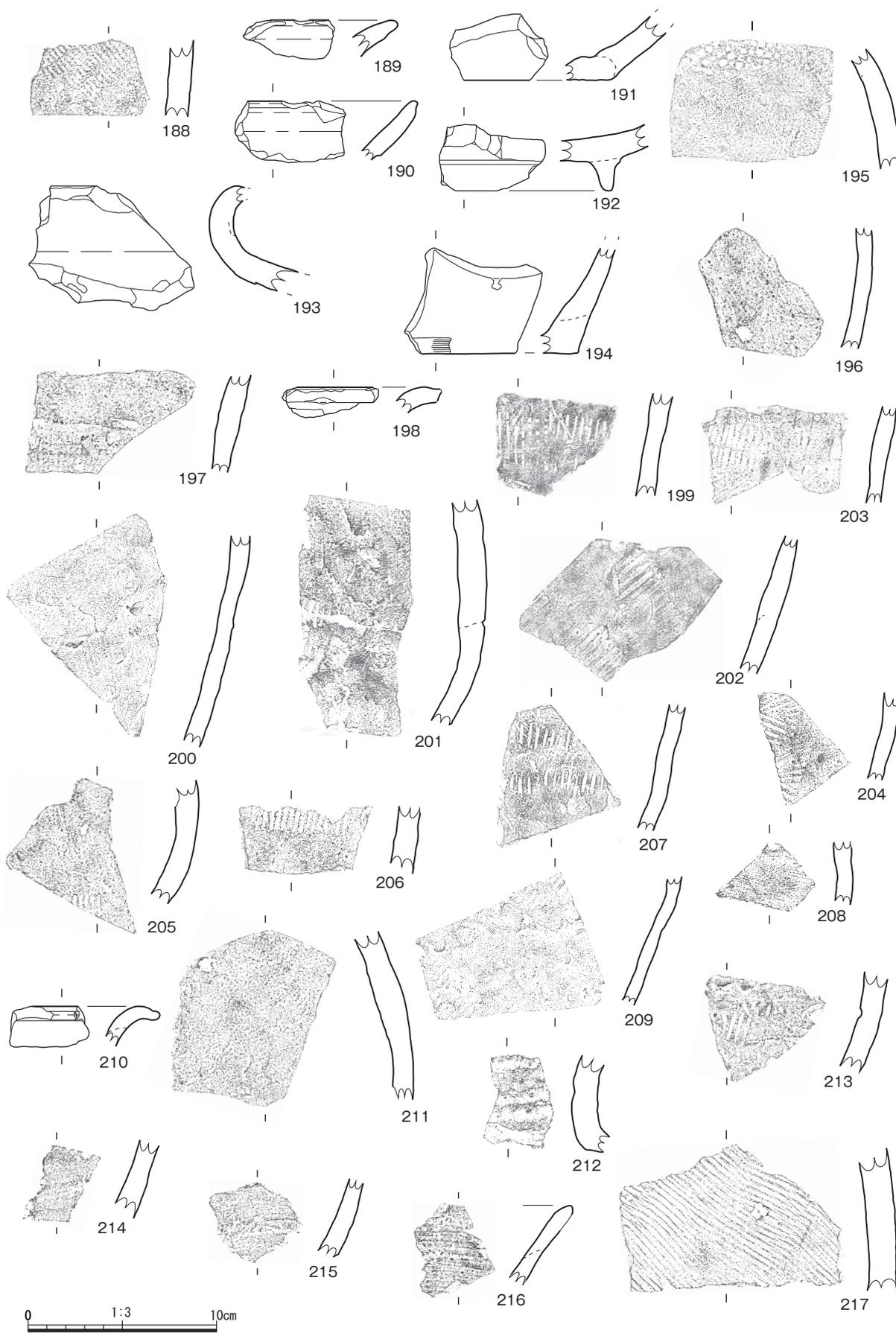


图33 出土遺物10

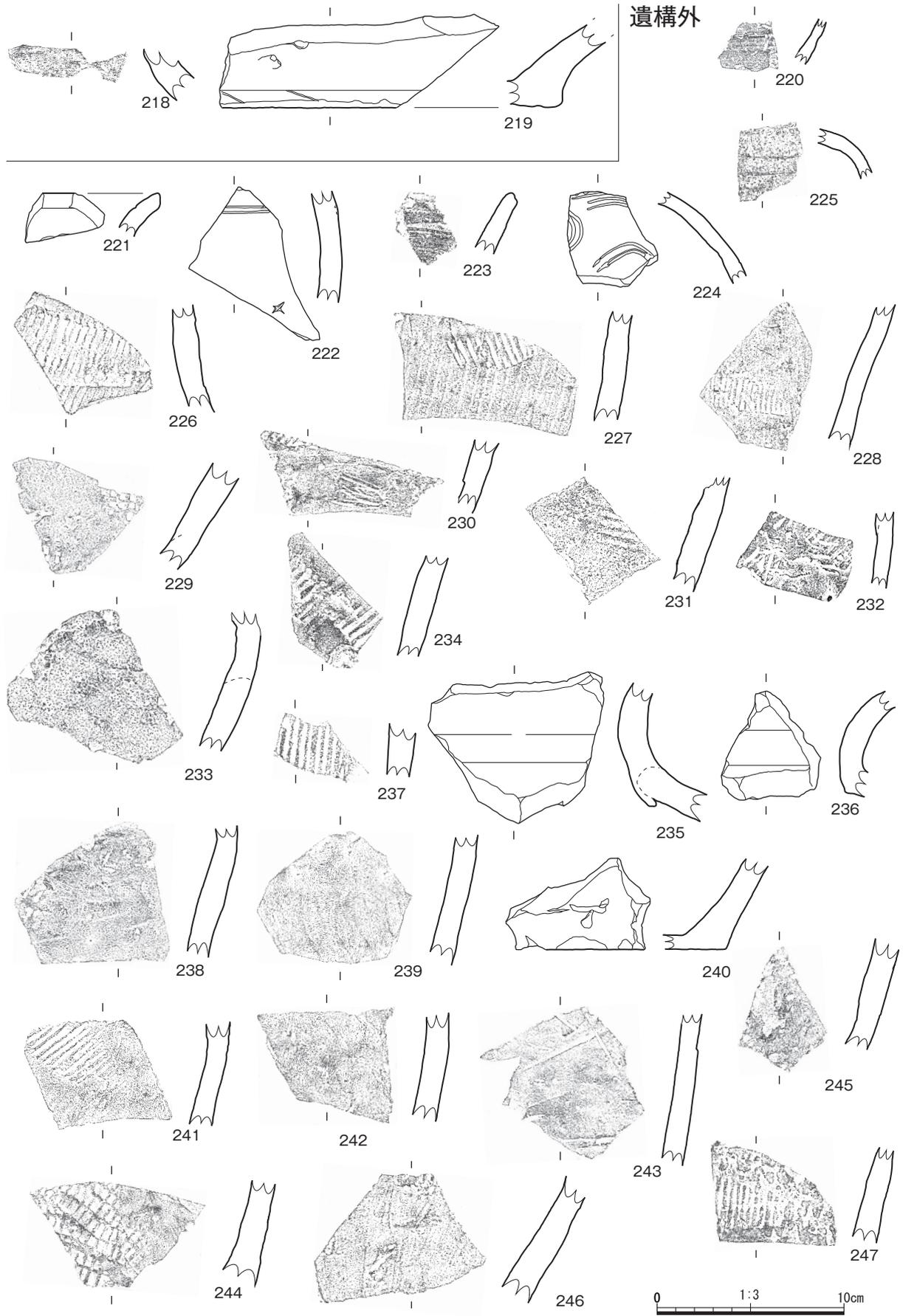


图34 出土遺物11

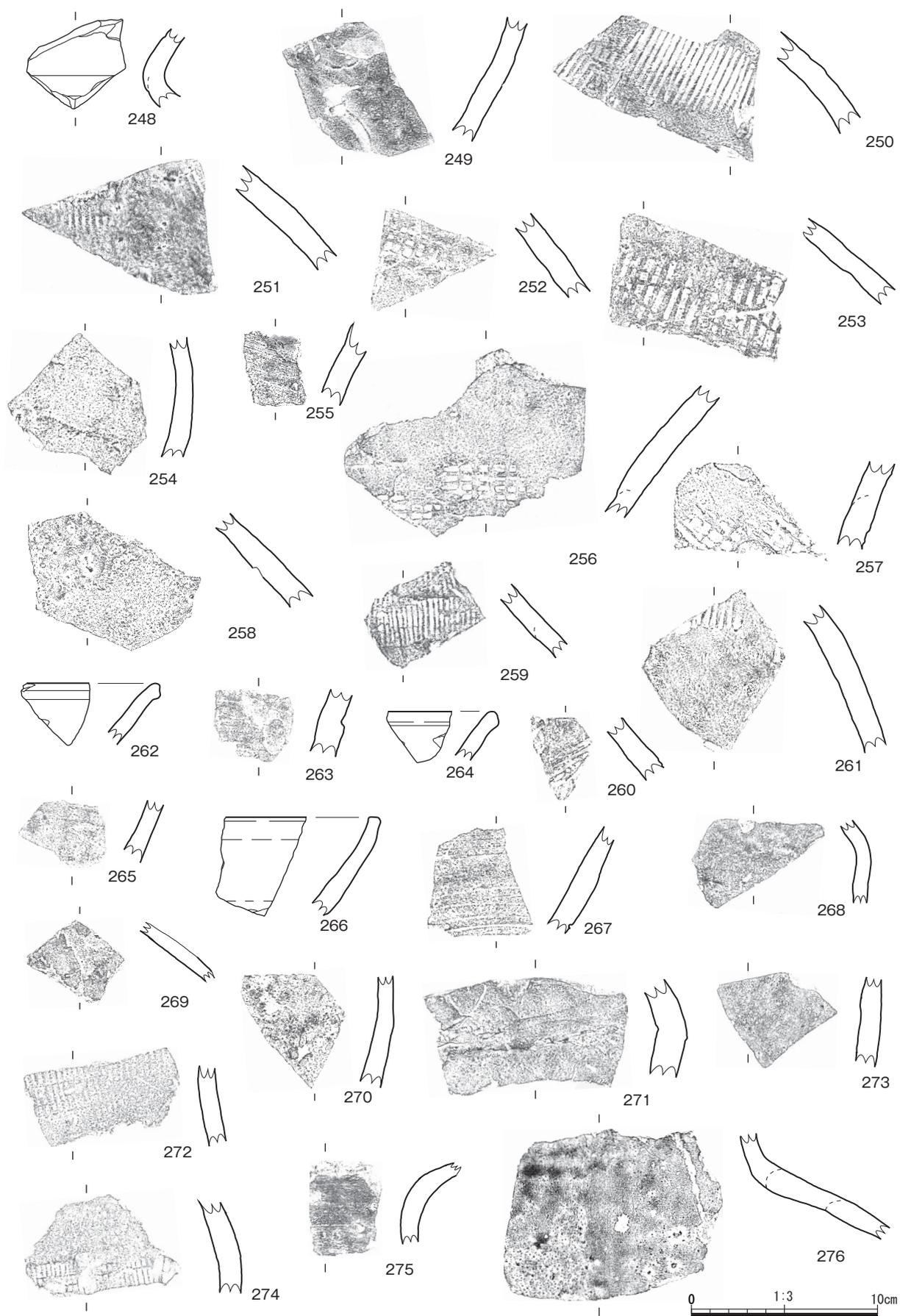


图35 出土遺物12

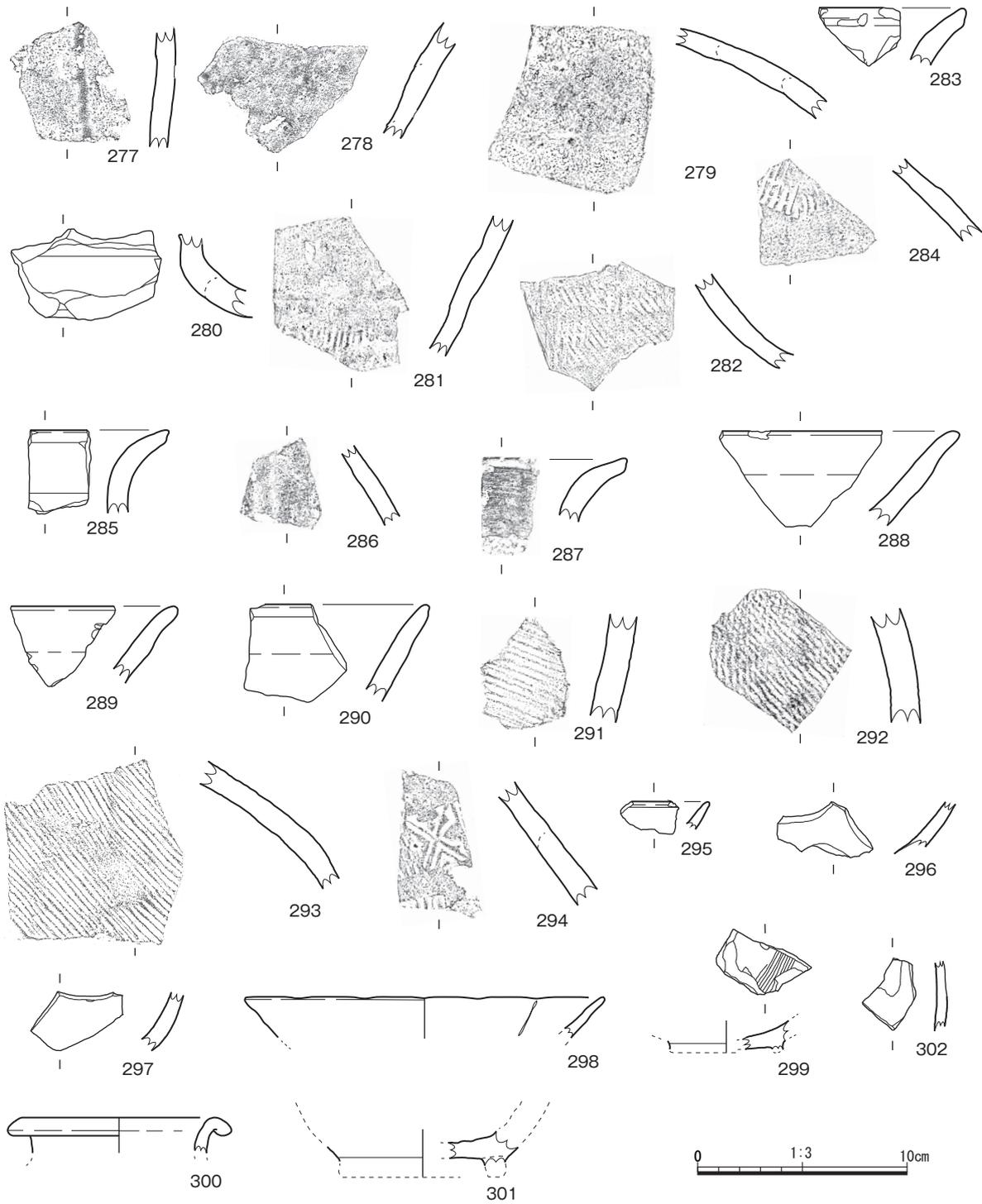


図36 出土遺物13

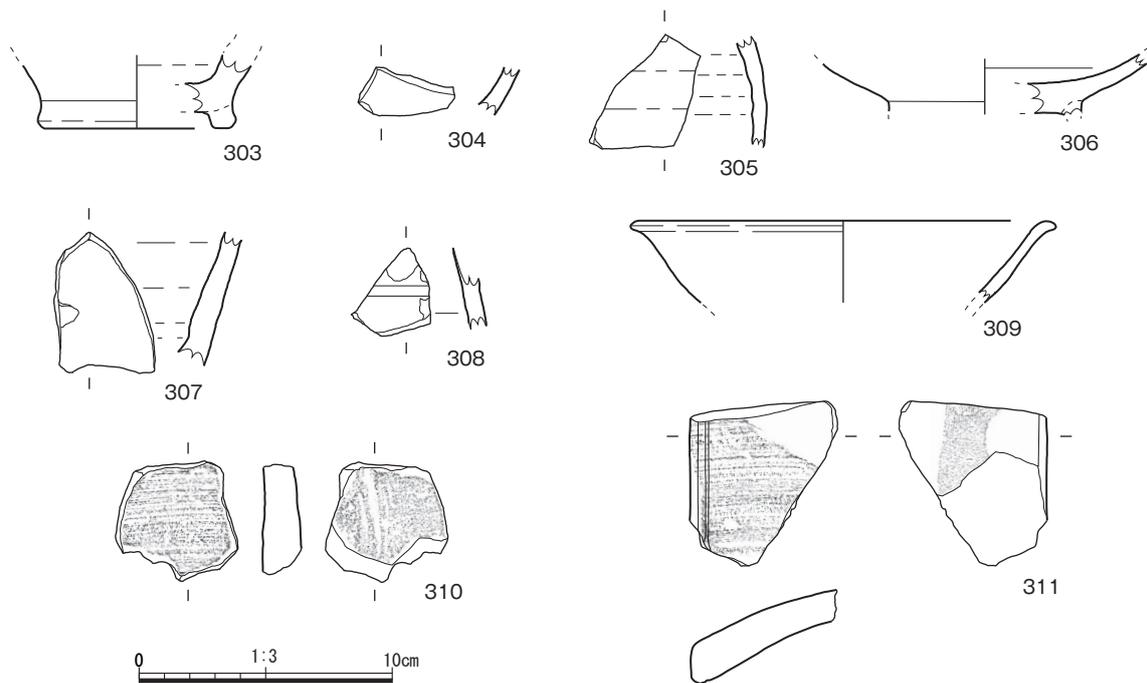


图37 出土遺物14

Ⅲ 総 括

1 道路跡について

堀外部地区の道路跡は、当初第25・29・30次調査によって検出された溝跡を道路側溝として認識したもので、25SD3を北側溝、29SD1を南側溝とする道路跡1条である。中尊寺方面と堀内部地区を結ぶ道路跡として注目された。また、北側溝である25SD3と重複する25SD7と29SD2は、北側溝の浚渫・造り替えであること、1 m北に平行する溝跡25SD2は、近接しすぎることもあり、道路北側の区画を構成する溝跡と解釈するものであった（平泉町教育委員会ほか1994）。

その後、岩手県教育委員会による第80次調査によって80SD1が発見されることにより、これまで区画溝としてきた25SD2を新たな道路跡の北側溝と認識するようになった（80SC1）。その結果、従来からある道路跡（後の80SC2）のほかにもう1条あることがわかり、2時期の道路跡の存在が明らかとなった（岩手県教育委員会2020）。つづく第81次調査においては、80SD1と25SD7（25SD3）が直接重複することが判明し、2条の道路跡の先後関係を把握することが可能となった。すなわち80SC1から80SC2へ変遷することが判明し、すくなくとも2時期の変遷が想定されることとなった（岩手県教育委員会2021）。今回の第83次調査は、おもに、この2時期の道路跡のそれぞれの延長を探る目的で調査したものである。

その結果、前章までに触れたように、今回の調査区で検出した溝跡を既存の道路側溝の延長と対応させてみた（図38）が、いくつか問題点を内包することになった。ここでは、再度道路側溝の対応関係を検討し、現時点での課題を提示しておきたい。

(1) 80SC1（旧期の道路）

80SC1の北側溝は25SD3である。今回の調査分では83SD2を対応させた。幅や断面とも合致しており、接続に矛盾はない。また、25SD3に重複する25SD7と29SD2は、ほぼ同一地点に位置することから25SD3の造り替えと考えられる（仮に80SC1Bとする）。対応する南側溝については他に候補がないこともあり、29SD1がそのまま対応すると考えられている（平泉町教育委員会ほか1994）。この重複する25SD7と29SD2につ

いては、今後さらなる発掘調査や検討が必要と考えている。

南側溝は29SD1である。今回の調査区では1地点でのみ確認しており、全容は不明である。この29SD1は、他の溝との重複も少なく比較的わかりやすいが、確認した範囲が他の側溝よりも少なく、とくに外側の堀付近や、第80～82次調査区での状況は不明の点が多い。

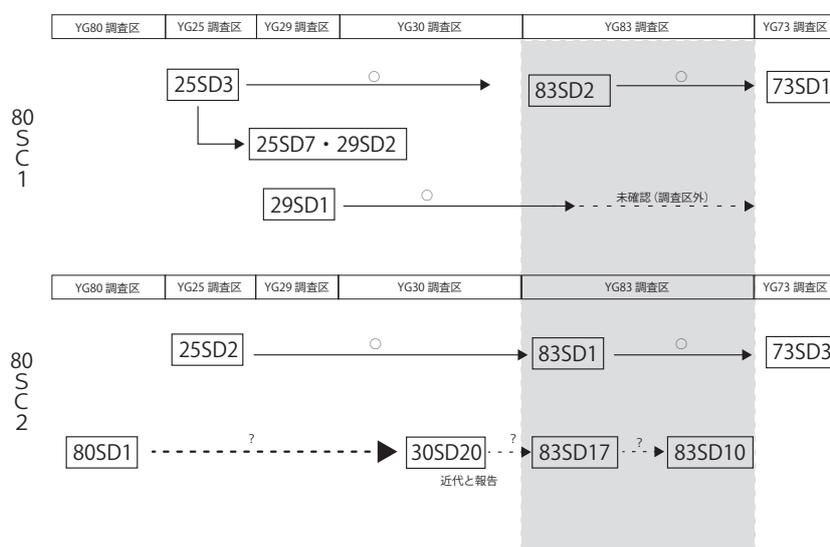


図38 道路側溝接続模式図

(2) 80SC2（新期の道路跡）

80SC2の北側溝である25SD2の延長を83SD1に対応させた。この範囲は溝幅も整合し、矛盾なく接合する。この83SD1の東側延長はそのまま73SD3と接合すると想定した。この部分についても整合し、接合に矛盾はない。外側の堀（土橋）付近で南方向に大きく曲がる状況が確認できる。

南側溝は80SD1である。その延長に対応する溝は83SD17と83SD10を考えた。しかし、これについてはいくつか問題点が含まれる。83SD17を南側溝とすると、その西側は30SD20が接続することになる。この溝跡が配置される30次調査の南半分については削平が大きく及んでおり、この溝も西へ向かうに従い不明瞭となる。したがって、さらに西にある80SD1と直接接続せず、距離もある。また30SD20は、先に触れたように、浅い溝で近世以降の遺物が出土する（平泉町教育委員会1994）。73SD1と同様に、上部が近世の溝跡で下部が12世紀の溝跡である可能性があるが、断面図を観察する限り非常に浅く重複する遺構は確認できない。したがって、現状では報告書の記載を変更する大きな理由がないことから、83SD17を南側溝と考えるなら、その延長については30SD20によって削平されたと考えた。西側についても直接接続する溝はなく、やや距離をおいた83SD10を想定している。この間は30次調査区が大部分を占めるが、近世以降の溝跡など錯綜としており、不明瞭な範囲でもある。

次に2つの道路跡の年代について簡単に触れておきたい。2つの道路跡の間には重複する83SX1が存在しており、この遺構を介在して新旧の道路跡（側溝）が重複している。83SX1出土のかわらけをみると、総括編年に照らせば、Ⅲ a 群に相当すると考えられる。Ⅲ群の年代観は1170年前後～1189年頃であり、Ⅲ a 群はその前半であろうことから、おおよそ1170年前後と考えられている。したがって、80SC2（新期の道路跡）は、1170年前後以降の年代が想定できる。いっぽう旧期の道路跡である80SC1では、側溝である83SD2出土かわらけの特徴からⅡ b 群に位置づけられそうである。そのためⅡ群のうちでも後半の1150～1160年代前後の年代が想定できる。したがって、80SC1は、12世紀第3四半期前半頃の年代が想定できよう。遺構の重複関係と出土遺構の年代観は矛盾がない。83SX1が存在していた頃に道路が存在していたかどうか不明な点も残るが現時点での大まかな年代観としては上記のような年代を想定した。

以上、道路跡の対応関係と問題点、年代観について触れてきた。とくに80SD1の延長部分について問題が残るものの、おおむね各側溝の延長については確認できたと考えられる。80SD1の延長問題については、発掘調査も含めて今後検討する必要がある。

2 道路跡よりも古い溝跡について

今回の調査では、これまで触れた各道路側溝よりも古い溝が複数存在することが判明した。北から列挙すると、83SD19・83SD3・83SD24・83SD5・83SD9・83SD26である。重複関係により、83SD19・83SD3・83SD24は、83SD1よりも古い。83SD24は83SD3や83SD19のいずれかの延長が接続するであろう。また東側で73SD4と接続する。83SD5・26は、重複関係により83SD4よりも古い。東側の延長は83SD26の可能性もある。その場合南側に湾曲する。83SD9は、重複関係により83SD10よりも古く、また整地層よりも下位にある溝跡である。多くの範囲で整地層が上部を覆うことから全容は不明である。また、上位には73SD7が位置している。平面図で表示した83SD9は73SD7である可能性がある。

このように複数の溝跡が、道路側溝と想定する溝跡よりも古く、またほぼ同一方向に延びている。

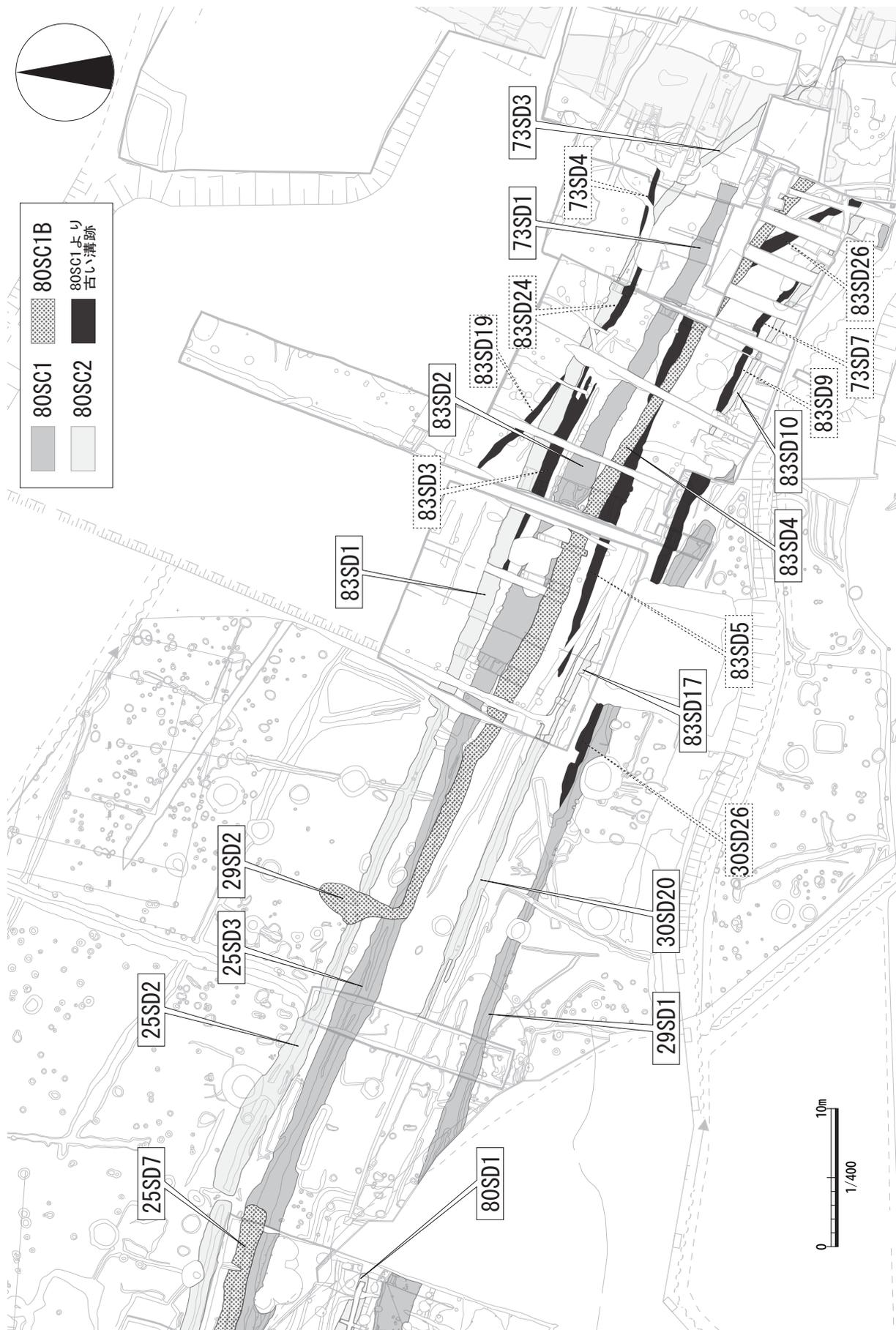


図39 道路跡想定図 (1/400)

途切れるものが多いものの、80SC1・2以外の道路側溝である可能性が考えられる。したがって、これまで2時期としていた道路跡はさらに時期が増える可能性がある。すくなくとも83SD4（29SD2）の存在自体がさらなる時期差を表しており、それに加えて既存の道路跡側溝よりも古い溝跡が複数存在するのである。今後、道路跡は2時期以上の時期差がある可能性を考慮し検討を行わなければならない。そのほか、外側の堀にある土橋（79SX1）付近は、多くの溝跡（道路側溝）がそこにむかって湾曲していくなど重要な範囲である。現状では、これらの溝と堀の関係、土橋との関係については部分的かつ年度を違えた調査が多く、不明瞭な点も残る。このため、この地点についても今後の調査が必要となろう。

以上、いくつかの課題をあげつつまとめてきた。残された課題については、発掘調査や検討を行うことによって明らかにしていきたい。

引用・参考文献

岩手県教育委員会

- 2013『柳之御所遺跡 第73次発掘調査概報』岩手県文化財調査報告書第137集
- 2015『柳之御所遺跡 第75次発掘調査概報』岩手県文化財調査報告書第144集
- 2016『柳之御所遺跡 第76次発掘調査概報』岩手県文化財調査報告書第147集
- 2017『柳之御所遺跡 第77次発掘調査概報』岩手県文化財調査報告書第150集
- 2018『柳之御所遺跡 第78・79次発掘調査概報』岩手県文化財調査報告書第153集
- 2019『柳之御所遺跡－堀内部地区内容確認調査－』岩手県文化財調査報告書第155集
- 2020『柳之御所遺跡 第80次発掘調査概報』岩手県文化財調査報告書第158集
- 2021『柳之御所遺跡 第81次発掘調査概報 高館跡 第7～10次内容確認調査総括編2』岩手県文化財調査報告書第160集
- 2022『柳之御所遺跡 第82次発掘調査概報』岩手県文化財調査報告書第162集

(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

- 1995『柳之御所跡』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第228集

太宰府市教育委員会2000『大宰府条坊跡XV－陶磁器分類編－』太宰府市の文化財第49集

岩手県平泉町

- 2000『柳之御所資料館常設展示図録』平泉町文化財センター編集

平泉町教育委員会

- 1983『柳之御所跡発掘調査報告書－第11・12次発掘調査概報－』岩手県平泉町文化財調査報告書第1集
- 1990『柳之御所跡発掘調査報告書－第24次・25次調査概報－』岩手県平泉町文化財調査報告書第19集
- 1991『柳之御所跡発掘調査報告書－第27次・29次調査概報－』岩手県平泉町文化財調査報告書第24集
- 1992『柳之御所跡発掘調査報告書－第30次調査概報』岩手県平泉町文化財調査報告書第28集
- 1992『平泉遺跡群発掘調査報告書』岩手県平泉町文化財調査報告書第29集
- 2001『平泉遺跡群発掘調査概報』岩手県平泉町文化財調査報告書第77集

平泉町教育委員会・建設省岩手工事事務所

- 1994『柳之御所跡発掘調査報告書－平泉バイパス・一閑遊水地関連遺跡発掘調査－』岩手県平泉町文化財調査報告書第38集

表5-1 かわらけ観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	出土遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	重量(g)	残存率(%)	色調	調整外/内/底	備考
8	R0k074	手づくね大皿	83SD2	埋土上位	15.0	3.2	—	178.4	99	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ(マメツ), ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
9	R0k080	手づくね大皿	83SD2	埋土上位	(12.6)	2.9	—	33.6	25	7.5YR8/2 (灰白)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
10	R0k068	手づくね小皿	83SD2	埋土上位	9.3	1.8	—	58.0	97	10YR7/2 (にぶい黄橙)	ヨコナデ, ユビナデ/ヨコナデ, ナデ	
11	R0k070	ロクロ大皿	83SD2	3層西側	14.3	3.8	7.7	212.3	85	10YR8/3 (浅黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	
12	R0k073	ロクロ大皿	83SD2	灰褐色土層 (埋土下位)	(13.0)	4.2	(7.0)	126.5	50	5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/ロクロナデ, マメツ/糸切り	かわらけ1・ 底部と切り離し
13	R0k012	ロクロ大皿	83SD2	埋土下位	(13.7)	3.7	(6.0)	51.4	30	5YR8/3~4 (淡橙)	ロクロナデ, マメツ/ロクロナデ/糸切り	
14	R0k071	ロクロ大皿	83SD2	埋土下位	(14.0)	4.3	—	58.1	20	5YR8/2 (灰白)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	
15	R0k076	ロクロ大皿	83SD2	埋土下位 (表土から75cm下)	(14.2)	4.2	(8.0)	230.8	80	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	ゆがみ有・ 海綿骨針含む
16	R0k079	ロクロ大皿	83SD2	埋土上位	(13.0)	3.2	—	29.4	20	5YR8/4 (淡橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	
17	R0k069	ロクロ大皿	83SD2	埋土上位 (灰色粘土層)	13.6	3.5	8.0	158.9	97	7.5YR8/2 (灰白)	ロクロナデ/マメツ(ロクロナデ)/糸切り	
18	R0k010	ロクロ大皿	83SD2	埋土中位~下位(砂質土)~シルト層	(13.4)	4.1	(8.6)	39.7	30	5YR8/4 (淡橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	
19	R0k072	ロクロ大皿	83SD2	埋土中位~下位(砂質土)~シルト層	(13.0)	2.8	—	23.8	18	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	
20	R0k078	ロクロ大皿	83SD2	埋土中位灰色粘土質(段差まで)	(14.2)	3.5	(9.4)	82.1	35	5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/マメツ/糸切り	
21	R0k075	ロクロ小皿	83SD2	北側埋土 (灰褐色土層)	(8.4)	1.8	(6.0)	50.3	80	10YR8/2 (灰白)	マメツ(ロクロナデ)/マメツ(ロクロナデ)/糸切り	
22	R0k081	土器片円盤	83SD2	4層	—	(1.1)	5.5	47.5	100	10YR7/3 (にぶい黄橙)	-/-/糸切り	
39	R0k398	手づくね大皿	83SD1	埋土下位	(12.8)	(2.1)	—	18.1	20	10YR7/2 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ/ヨコナデ	
40	R0k364	手づくね小皿	83SD1	埋土	(8.2)	(1.7)	—	17.4	20	10YR8/2 (灰白)	ヨコナデ/ナデ	
41	R0k402	ロクロ大皿	83SD1	底面	—	(1.0)	(6.0)	24.7	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	マメツ/マメツ/糸切り	
61	R0k082	手づくね小皿	83SD3	埋土	(9.0)	1.8	—	12.4	20	10YR8/3 (浅黄橙)	ヨコナデ/ナデ	
63	R0k138	ロクロ大皿	83SD4	褐灰色土層	—	(1.2)	(6.4)	12.2	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	-/-/糸切り	R0k434と 同一個体か
71	R0k087	手づくね大皿	83SD5	埋土	(13.0)	2.8	—	21.6	20	5YR8/2 (灰白)	ユビオサエ, ヨコナデ/ナデ	
72	R0k088	手づくね大皿	83SD5	埋土	(11.0)	2.0	—	22.1	20	7.5YR8/2 (灰白)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
73	R0k085	手づくね大皿	83SD5	埋土上位	(15.0)	3.1	—	74.6	45	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
74	R0k086	手づくね大皿	83SD5	埋土上位	(14.0)	2.6	—	41.2	25	10YR8/2 (灰白)	ユビオサエ, 2段ナデ/ナデ	
75	R0k083	手づくね小皿	83SD5	埋土	(8.0)	1.7	—	15.7	45	10YR8/3 (浅黄橙)	ヨコナデ, マメツ/ヨコナデ	166と接合
76	R0k084	手づくね小皿	83SD5	埋土上位	(9.0)	2.2	—	49.2	25	7.5YR8/2 (灰白)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	175・176と 接合
77	R0k089	ロクロ小皿	83SD5	埋土中位~	7.9	2.0	4.5	41.8	80	10YR8/3 (浅黄橙)	ロクロナデ/-/糸切り	170・180と 接合
85	R0k077	手づくね大皿	83SD9	埋土	(14.2)	2.7	—	149.8	60	7.5YR8/2 (灰白)	ヨコナデ, マメツ/ヨコナデ	
86	R0k393	手づくね小皿	83SD9	埋土	(9.4)	1.7	—	30.6	40	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
87	R0k406	ロクロ大皿	83SD9	埋土	(12.6)	(2.8)	(8.2)	15.2	20	10YR8/2 (灰白)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	
88	R0k408	ロクロ小皿	83SD9	埋土	(8.0)	(2.1)	(5.4)	16.5	20	10YR8/3 (浅黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	
94	R0k013	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.0)	2.7	—	71.8	45	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, 非頭痕	
95	R0k019	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	13.6	2.4	—	75.2	45	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
96	R0k021	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.6)	2.6	—	101.8	70	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
97	R0k022	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(12.4)	2.2	—	49.4	30	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
98	R0k023	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.6)	2.6	—	36.8	20	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
99	R0k024	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.8)	2.5	—	59.2	45	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
100	R0k025	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	13.7	2.6	—	159.8	97	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
101	R0k026	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(14.0)	2.9	—	212.0	97	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	かわらけ2
102	R0k027	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	13.7	2.5	—	187.9	100	7.5YR7/3 (にぶい橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	かわらけ3

※()内 口径・底径は復元値、器高は残存値

表5-2 かわらけ観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	出土 遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
103	R0k028	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.4)	2.3	—	46.4	40	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
104	R0k029	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	13.0	2.7	—	161.0	99	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
105	R0k030	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	12.9	2.8	—	111.8	75	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
106	R0k031	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	13.4	3.0	—	130.9	70	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ, 2段ナデ/ヨコナデ, ナデ	かわらけ8
107	R0k032	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	13.2	2.5	—	128.7	80	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	かわらけ9
108	R0k033	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	12.6	2.6	—	147.6	100	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	かわらけ10
109	R0k034	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	13.2	2.8	—	150.6	99	5YR8/4 (淡橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	かわらけ11
110	R0k035	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.5)	2.3	—	82.0	40	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/—	かわらけ13
111	R0k036	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.8)	3.1	—	78.9	55	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, 2段ナデ, ヨコナデ/—	かわらけ14
112	R0k037	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	13.5	(3.1)	—	156.6	80	7.5YR8/2 (灰白)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	かわらけ16
113	R0k038	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	12.1	2.5	—	52.2	45	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	かわらけ17
114	R0k039	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.5)	2.4	—	58.4	45	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	かわらけ18
115	R0k040	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	13.4	2.6	—	151.2	100	7.5YR8/2 (灰白)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	かわらけ19・スノ痕あり・曇母あり
116	R0k041	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	13.4	3.2	—	171.5	99	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, 2段ナデ, ヨコナデ/ヨコナデ, ハケメ	かわらけ20
117	R0k043	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	12.8	3.0	—	156.5	90	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	かわらけ23
118	R0k044	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(11.6)	2.1	—	35.9	40	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	かわらけ22-1
119	R0k046	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	2.3	—	35.4	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
120	R0k047	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.5)	2.7	—	45.9	30	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
121	R0k048	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.3)	2.7	—	70.1	45	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	376と接合
122	R0k049	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.2)	2.0	—	37.3	30	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
123	R0k050	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	2.5	—	60.3	35	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
124	R0k051	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	12.5	2.4	—	131.0	90	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
125	R0k052	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(11.6)	2.3	—	38.0	40	5YR8/3 (淡橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
126	R0k053	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	13.7	3.1	—	171.0	97	10YR7/2 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/—	
127	R0k054	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.2)	2.9	—	89.5	65	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
128	R0k055	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	3.0	—	67.2	40	10YR7/2 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, 2段ナデ/ヨコナデ, ナデ	
129	R0k059	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	2.8	—	33.8	23	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
130	R0k060	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.0)	2.2	—	56.4	40	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, 2段ナデ	
131	R0k061	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.8)	2.4	—	50.6	45	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
132	R0k062	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	2.6	—	59.1	45	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
133	R0k065	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	2.8	—	46.6	30	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
134	R0k066	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.2)	2.3	—	47.0	27	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, 2段ナデ, ヨコナデ/ヨコナデ	
135	R0k091	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	12.6	2.6	—	134.1	100	2.5YR7/4 (淡赤橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
136	R0k042	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	13.2	2.9	—	161.8	90	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	かわらけ21
137	R0k008	手づくね大皿	83SX1	灰褐～灰黄褐色土層	(14.0)	3.2	—	62.4	40	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ	
138	R0k009	手づくね大皿	83SX1	灰褐～灰黄褐色土層	(14.7)	3.0	—	56.4	30	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
139	R0k015	手づくね大皿	83SX1	灰褐～灰黄褐色土層	(12.9)	2.2	—	79.9	45	7.5YR7/3 (にぶい橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/—	
140	R0k067	手づくね大皿	83SX1	灰褐～灰黄褐色土層	(14.0)	3.8	—	68.6	40	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ユビオサエ, ヨコナデ, 2段ナデ/ヨコナデ, ナデ	
141	R0k007	手づくね大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(14.0)	2.7	—	76.7	40	2.5YR8/3 (淡黄)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	
142	R0k057	手づくね大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(13.0)	2.5	—	81.0	45	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコナデ, ナデ	

表5-3 かわらけ観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	出土 遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
143	R0k058	手づくね大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(13.4)	2.4	—	51.6	45	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
144	R0k020	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(8.5)	1.9	—	17.4	40	2.5YR8/3 (淡黄)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
145	R0k045	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(9.3)	1.9	—	26.1	47	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ(マメツ), ヨコ ナデ/ヨコナデ	
146	R0k056	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	9.0	2.1	—	58.3	95	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ, 2段 ナデ	
147	R0k064	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(8.0)	1.6	—	31.5	80	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ(マメツ), ヨコ ナデ/ヨコナデ	
148	R0k090	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	8.5	1.7	—	58.5	100	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
149	R0k006	手づくね小皿	83SX1	灰黄褐色土層	(8.7)	1.5	—	45.2	80	10YR8/2 (灰白)	ヨコナデ, 指頭痕/ヨコナデ	
150	R0k002	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(13.4)	3.8	(7.2)	61.8	35	7.5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	かわらけ6
151	R0k003	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(14.2)	2.8	(6.5)	89.1	50	10YR8/6 (黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	
152	R0k005	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(9.8)	2.8	—	24.5	20	7.5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/ロクロナデ	
153	R0k011	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(13.8)	2.8	(7.6)	54.9	40	7.5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	かわらけ5
154	R0k014	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	12.4	3.1	(6.5)	99.1	70	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ロクロナデ/-/糸切り	219・223・233・ 79・81・83と接合
155	R0k017	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	11.6	3.4	(6.0)	32.6	30	7.5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/	
156	R0k018	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	12.8	3.4	(8.0)	36.6	35	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	375と接合
157	R0k016	ロクロ大皿	83SX1	灰褐～灰黄褐 色土層	(14.2)	3.0	(8.0)	74.4	40	5YR7/4 (にぶい橙)	ロクロナデ/マメツ/糸切り	
158	R0k004	ロクロ小皿	83SX1	灰褐～灰黄褐 色土層	(8.4)	1.7	(6.0)	15.5	30	7.5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/マメツ/糸切り	
159	R0k001	ロクロ小皿	83SX1	灰黄褐色土層	(8.6)	1.9	(6.5)	43.7	70	10YR8/4 (浅黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	
160	R0k063	耳皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	1.2	—	23.5	20	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ナデ	スノコ痕
	R0k092	手づくね	83SD5	埋土	—	—	—	3.1	5	10YR8/2 (灰白)	-/-/-	穀物痕か?
	R0k093	ロクロ大皿	83SX1	灰黄褐色土層	—	(1.2)	(7.0)	43.6	20	7.5YR7/8 (黄橙)	-/-/糸切り	224と接合
	R0k094	ロクロ大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(13.4)	(2.6)	(7.5)	58.7	40	7.5YR7/6 (橙)	-/-/糸切り	
	R0k095	ロクロ大皿	83SX1	灰黄褐色土層	—	(1.6)	(6.0)	27.6	20	7.5YR7/6 (橙)	-/-/糸切り	
	R0k096	ロクロ大皿	83SX1	灰黄褐色土層	—	(1.1)	(7.0)	24.9	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	-/-/糸切り	
	R0k097	ロクロ大皿	83SX1	灰黄褐色土層	—	(1.1)	(6.0)	13.5	20	7.5YR7/4 (にぶい橙)	-/-/糸切り	
	R0k098	ロクロ大皿	83SX1	灰褐～灰黄褐 色土層	—	(0.8)	(7.0)	20.2	20	7.5YR7/4 (にぶい橙)	-/-/糸切り	
	R0k099	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(1.5)	(7.0)	65.7	50	5YR7/6 (橙)	-/-/糸切り	86・245と 接合
	R0k100	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(0.8)	(7.0)	8.8	10	7.5YR7/6 (橙)	-/-/糸切り	
	R0k101	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(1.2)	(6.0)	12.5	10	10YR7/4 (にぶい黄橙)	-/-/糸切り	
	R0k102	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(10.4)	(2.0)	—	21.8	40	7.5YR7/6 (橙)	マメツ/マメツ/-	
	R0k103	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(1.1)	(6.0)	26.2	20	7.5YR7/4 (にぶい橙)	-/-/糸切り	
	R0k104	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(0.6)	(7.0)	29.0	25	7.5YR7/6 (橙)	-/-/糸切り	
	R0k105	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(0.6)	(6.5)	24.1	15	7.5YR6/3 (にぶい橙)	-/-/糸切り	
	R0k106	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(1.6)	(6.3)	27.1	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	-/-/糸切り	
	R0k107	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(11.4)	(2.1)	(6.0)	29.1	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	
	R0k108	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(1.1)	(6.0)	9.1	10	7.5YR7/4 (にぶい橙)	-/-/糸切り	
	R0k109	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(1.2)	(8.0)	47.2	30	10YR7/4 (にぶい黄橙)	-/-/糸切り	
	R0k110	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(2.1)	(5.0)	31.2	15	7.5YR7/3 (にぶい橙)	-/-/糸切り	
	R0k111	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(2.2)	(6.0)	21.6	20	5YR7/6 (橙)	-/-/糸切り	
	R0k112	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(1.2)	(7.0)	33.7	20	7.5YR7/4 (にぶい橙)	-/-/糸切り	
	R0k113	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	—	(1.5)	(7.0)	20.7	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	-/-/糸切り	

表5-4 かわらけ観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	出土 遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
	R0k114	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.7)	(6.0)	13.9	20	5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k115	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.8)	(7.0)	52.7	20	7.5YR7/4 (にぶい橙)	—/—/糸切り	
	R0k116	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.8)	(2.0)	—	18.9	15	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/—	
	R0k117	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.5)	(7.0)	37.0	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k118	ロクロ大皿	83SX1	褐色～灰黄褐色土層	—	(1.4)	(7.4)	32.2	20	7.5YR7/4	—/—/糸切り	
	R0k119	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.1)	(6.6)	13.3	10	7.5YR7/4	—/—/糸切り	
	R0k120	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.9)	(6.0)	29.5	20	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k121	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.8)	(6.6)	18.7	20	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k122	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.2)	(7.0)	49.8	20	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k123	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.7)	(6.0)	40.4	30	10YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k124	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.2)	(6.0)	31.2	30	5YR8/4 (淡橙)	—/—/糸切り	
	R0k125	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.4)	(7.0)	45.6	40	7.5YR7/8 (黄橙)	—/—/糸切り	375と接合
	R0k126	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(2.2)	(6.0)	21.6	25	5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k127	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.0)	(7.0)	29.8	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k128	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.1)	(6.4)	18.5	20	7.5YR7/4 (にぶい橙)	—/—/糸切り	
	R0k129	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(2.1)	(6.0)	36.9	25	7.5YR7/4 (にぶい橙)	—/—/糸切り	
	R0k130	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	(0.6)	(6.0)	10.7	10	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k131	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	(0.9)	(7.2)	14.8	10	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k132	ロクロ大皿	83SD1	埋土上位 (～2cm)	—	(1.1)	(8.0)	13.6	10	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k133	ロクロ大皿	83SD2	埋土下位	—	(1.0)	(7.0)	24.9	15	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k134	ロクロ大皿	83SD2	埋土下位	—	(1.6)	(6.0)	16.7	10	10YR8/3 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k135	ロクロ大皿	83SD2	北壁	—	(1.5)	(6.4)	55.2	30	10YR8/2 (灰白)	—/—/糸切り	
	R0k136	ロクロ大皿	83SD2	底面	—	(1.2)	(7.2)	22.7	20	10YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	かわらけ1
	R0k137	ロクロ大皿	83SD2	にぶい黄褐色土層	—	(1.9)	(6.2)	28.9	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k139	ロクロ大皿	遺構外	灰黄褐色土層	—	(1.0)	(8.0)	26.6	20	5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k140	ロクロ大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	(0.7)	(6.0)	9.8	10	7.5YR7/4 (にぶい橙)	—/—/糸切り	
	R0k141	ロクロ大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.2)	(6.2)	12.9	10	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k142	ロクロ大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.0)	(7.2)	17.6	15	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k143	ロクロ大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.2)	(5.8)	15.5	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k144	ロクロ大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	(0.9)	(5.6)	12.9	10	7.5YR7/4 (にぶい橙)	—/—/糸切り	
	R0k145	ロクロ大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.3)	(5.6)	18.9	10	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k146	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.2)	(1.6)	—	9.5	10	7.5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/—/—	
	R0k147	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.3)	(8.0)	25.6	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k148	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.3)	(7.0)	41.5	30	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k149	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.0)	(6.0)	20.4	10	10YR6/3 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k150	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.7)	(7.2)	83.6	50	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k151	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	(1.0)	—	15.2	10	5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k152	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	(0.9)	(4.0)	19.1	10	5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k153	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	(1.1)	(6.0)	16.5	20	5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k154	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	(1.1)	(6.0)	12.0	20	7.5YR7/4 (にぶい橙)	—/—/糸切り	

表5-5 かわらけ観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	出土遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
	R0k155	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	(0.9)	(6.4)	16.4	20	10YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k156	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	(1.1)	(6.0)	17.1	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k157	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	(1.5)	(6.0)	23.8	20	10YR8/2 (灰白)	—/—/糸切り	
	R0k158	手づくね大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(13.0)	(1.9)	—	48.8	30	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k159	内折れ皿	83SX1	灰黄褐色土層	—	—	—	1.5	5	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ナデ	
	R0k160	手づくね大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(12.2)	(1.8)	—	21.5	15	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k161	手づくね大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(12.3)	(2.0)	—	27.0	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k162	ロクロ小皿	83SX1	灰黄褐色土層	—	—	—	2.8	5	10YR5/8 (明褐)	—/—/糸切り	顔料
	R0k163	手づくね大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(14.0)	(2.0)	—	19.3	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k164	手づくね大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(14.0)	(2.0)	—	27.7	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k165	手づくね大皿	83SX1	灰黄褐色土層	(12.6)	(1.7)	—	16.3	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k166	手づくね大皿	83SX1	灰褐～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.5)	—	22.8	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k167	手づくね大皿	83SX1	灰褐～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.8)	—	36.9	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k168	手づくね大皿	83SX1	灰褐～灰黄褐色土層	(13.2)	(2.4)	—	35.0	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k169	手づくね大皿	83SX1	にぶい黄褐色土層	—	—	—	18.5	—	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k170	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.2)	—	50.1	35	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ヨコナデ	
	R0k171	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.6)	(2.6)	—	54.4	30	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k172	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(9.0)	(1.1)	—	15.2	30	10YR7/2 (にぶい黄橙)	マメツ	
	R0k173	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.5)	—	52.4	30	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k174	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.4)	(2.1)	—	31.4	20	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k175	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.4)	—	37.8	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k176	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.6)	(2.2)	—	22.9	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k177	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.2)	(2.0)	—	21.9	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k178	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.4)	(2.2)	—	18.8	15	7.5YR8/6 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k179	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.2)	—	22.6	15	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k180	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.2)	(1.8)	—	12.3	10	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k181	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.0)	—	27.5	25	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k182	器台	遺構外	排土一括	—	(1.7)	(4.0)	23.1	—	7.5YR6/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k183	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.2)	(2.3)	—	27.5	25	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k184	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.3)	—	46.3	30	10YR7/2 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k185	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	—	—	23.4	15	10YR8/4 (浅黄橙)	ヨコナデ	
	R0k186	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.0)	—	26.5	15	10YR8/3 (浅黄橙)	マメツ	
	R0k187	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	—	—	1.4	—	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/—/—	油煙
	R0k188	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	(2.0)	—	25.2	20	7.5YR7/3 (にぶい橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k189	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(8.4)	(1.5)	—	11.4	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k190	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	(2.2)	—	43.4	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k191	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.0)	—	24.4	15	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k192	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.8)	(2.3)	—	28.5	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k193	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.8)	(1.7)	—	19.7	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k194	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.1)	—	26.8	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	

表5-6 かわらけ観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	出土 遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
	R0k195	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.0)	(2.4)	—	50.3	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k196	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.4)	(2.4)	—	31.2	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k197	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.6)	(1.7)	—	21.5	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k198	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(14.0)	(2.4)	—	42.3	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k199	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(10.0)	(1.6)	—	18.0	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k200	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(8.6)	(1.2)	—	10.3	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k201	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(14.0)	(2.2)	—	26.6	15	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k202	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(9.0)	(1.5)	—	19.3	30	7.5YR8/6 (浅黄橙)	ヨコナデ	
	R0k203	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(9.0)	(1.0)	—	19.2	30	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k204	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.6)	(2.7)	—	21.8	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k205	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.2)	(2.3)	—	25.5	15	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k206	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.6)	(2.3)	—	52.8	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k207	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(12.0)	(1.6)	—	25.5	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k208	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.0)	(2.0)	—	32.7	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k209	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	—	(1.2)	—	43.1	30	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/ユビオサエ	
	R0k210	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(9.0)	(1.2)	—	16.2	30	10YR8/4 (浅黄橙)	ヨコナデ	
	R0k211	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(11.2)	(1.7)	—	8.3	10	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	油煙
	R0k212	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.6)	(2.0)	—	45.0	25	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k213	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(12.8)	(2.1)	—	26.2	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k214	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(9.0)	(1.6)	—	16.3	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k215	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.0)	(1.7)	—	20.0	15	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k216	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(9.0)	(1.4)	—	12.2	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k217	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(9.0)	(1.1)	—	6.8	10	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k218	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(11.6)	(1.5)	—	17.4	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ヨコナデ	
	R0k219	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.0)	(1.7)	—	21.5	15	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k220	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(14.0)	(1.6)	—	23.2	15	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k221	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(14.0)	(2.1)	—	43.8	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k222	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(11.8)	(2.2)	—	20.2	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k223	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(14.0)	(2.3)	—	31.3	20	7.5YR6/2 (灰褐)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k224	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.0)	(2.0)	—	27.3	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k225	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(12.4)	(2.2)	—	17.4	20	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k226	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(12.8)	(2.1)	—	23.6	15	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k227	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(9.0)	(1.2)	—	8.4	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k228	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.2)	(2.2)	—	41.8	30	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k229	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(14.0)	(1.6)	—	14.9	10	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k230	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.0)	(1.6)	—	23.4	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k231	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.2)	(1.2)	—	15.8	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k232	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(13.4)	(1.5)	—	19.8	15	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k233	手づくね大皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(14.0)	(2.1)	—	22.7	15	10YR8/2 (灰白)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k234	手づくね小皿	83SX1	褐灰~灰黄褐色土層	(9.0)	(1.4)	—	12.4	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	

表5-7 かわらけ観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	出土遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
	R0k235	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.5)	—	23.0	15	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k236	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	(1.6)	—	14.1	10	10YR5/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k237	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.5)	(2.1)	—	38.8	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k238	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.1)	—	25.2	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k239	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(11.0)	(1.2)	—	26.8	30	5YR7/4 (にぶい橙)	ヨコナデ	
	R0k240	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.2)	(2.0)	—	28.3	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k241	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.2)	(2.1)	—	29.9	20	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k242	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.8)	(2.3)	—	38.8	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	マメツ	
	R0k243	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.0)	(1.2)	—	13.7	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k244	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(8.4)	(1.4)	—	8.0	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k245	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(8.4)	(1.6)	—	14.6	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k246	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(8.8)	(1.9)	—	20.4	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k247	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(11.4)	(2.0)	—	29.1	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k248	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(9.6)	(1.5)	—	28.0	30	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k249	内折れ皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	—	—	—	1.3	5	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ナデ	
	R0k250	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.2)	(2.6)	—	32.9	30	10YR7/3 (にぶい黄橙)	マメツ	
	R0k251	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(8.4)	(1.5)	—	8.4	15	10YR8/3 (浅黄橙)	ヨコナデ	
	R0k252	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.4)	(2.3)	—	48.5	30	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k253	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.4)	(2.5)	—	35.5	25	7.5YR7/6 (橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k254	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.4)	(2.2)	—	18.4	20	7.5YR7/6 (橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k255	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.8)	—	—	15.4	10	7.5YR7/6 (橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k256	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(9.0)	(1.8)	—	15.8	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k257	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.4)	(2.6)	—	48.6	30	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k258	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(9.0)	(1.6)	—	9.0	15	10YR7/2 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k259	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.4)	(1.8)	—	29.8	25	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k260	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.4)	—	35.7	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k261	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.4)	(2.1)	—	29.7	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k262	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.6)	(2.1)	—	19.5	15	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k263	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.7)	—	46.5	30	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k264	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.5)	—	65.2	35	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k265	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(11.0)	(1.7)	—	31.6	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ヨコナデ/底部穿孔	かわらけ22
	R0k266	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(10.0)	(1.2)	—	10.0	15	10YR6/2 (灰黄褐)	ヨコナデ	かわらけ22
	R0k267	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(8.0)	(1.2)	—	17.9	40	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	かわらけ22
	R0k268	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.2)	(2.1)	—	32.9	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k269	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(11.4)	(1.7)	—	33.0	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k270	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.8)	(2.1)	—	25.3	20	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k271	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.2)	(2.8)	—	70.0	40	10YR2/6 (灰黄褐)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k272	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.4)	(2.1)	—	39.8	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k273	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.4)	(2.1)	—	28.6	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k274	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.4)	(2.3)	—	27.8	20	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	

表5-8 かわらけ観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	出土 遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
	R0k275	手づくね大皿	遺構外	灰黄褐色土層	(14.0)	(2.5)	—	55.6	30	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	スノコ痕
	R0k276	手づくね大皿	遺構外	灰黄褐色土層	(11.8)	(2.3)	—	49.2	30	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k277	手づくね小皿	遺構外	灰黄褐色土層	(8.0)	(1.1)	—	11.8	25	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k278	手づくね大皿	遺構外	灰黄褐色土層	(14.0)	(1.9)	—	23.3	15	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k279	手づくね大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.0)	—	8.5	5	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/—	刻書か?
	R0k280	手づくね小皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	(1.0)	—	10.6	5	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/—/—	刻書か?
	R0k281	手づくね小皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	(8.4)	—	—	5.3	5	7.5YR8/4 (浅黄橙)	—/—/—	刻書か?
	R0k282	手づくね大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	—	—	5.5	5	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/—/—	刻書か?
	R0k283	手づくね小皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	—	—	3.0	5	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/—	刻書か?
	R0k284	手づくね小皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	—	—	2.8	5	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/—	刻書か?
	R0k285	手づくね大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	—	—	11.7	5	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/—	線刻か?
	R0k286	手づくね大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	(10.4)	—	—	8.3	5	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/—/—	線刻か?
	R0k287	手づくね大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	(2.1)	—	48.0	25	7.5YR6/2 (灰褐)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k288	手づくね小皿	遺構外	検出面	8.9	2.3	(4.0)	69.3	97	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k289	手づくね大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	(11.0)	—	—	24.1	10	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/—/—	線刻か?
	R0k290	手づくね小皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	(9.6)	—	—	8.7	5	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/—/—	線刻か?
	R0k291	手づくね小皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	(8.8)	—	—	5.3	5	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/—	線刻か?
	R0k292	手づくね小皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	(9.6)	—	—	5.0	5	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/—/—	線刻か?
	R0k293	手づくね大皿	遺構外	褐灰～灰黄褐色土層	—	—	—	4.2	5	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/—/—	線刻か?
	R0k294	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(1.6)	—	14.8	10	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k295	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(9.2)	—	—	3.2	5	7.5YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/—	線刻か?
	R0k296	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.8)	(2.2)	(10.0)	82.4	45	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	スノコ痕
	R0k297	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.4)	—	56.7	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k298	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(14.0)	(2.2)	—	38.9	30	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k299	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(11.4)	(2.2)	—	31.1	30	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k300	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.8)	(1.9)	—	27.3	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k301	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.2)	(2.3)	—	19.2	15	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k302	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(8.6)	(1.2)	—	7.4	15	7.5YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k303	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	(2.2)	—	32.7	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k304	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(8.2)	(1.5)	—	9.9	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k305	手づくね小皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(9.0)	(1.5)	—	11.2	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k306	ロクロ大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.0)	(2.4)	—	26.0	20	7.5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	389と接合
	R0k307	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.0)	(1.5)	—	13.9	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k308	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(12.4)	(1.5)	—	32.8	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k309	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(13.0)	(1.9)	—	48.5	30	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k310	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐色土層	(11.6)	(1.5)	—	11.9	10	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k311	手づくね大皿	83SX1	検出面	(12.4)	(1.8)	—	33.1	25	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k312	手づくね大皿	83SX1	検出面	(13.2)	(1.8)	—	28.2	20	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k313	内折れ皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(10.0)	(0.9)	—	6.0	10	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ナデ	
	R0k314	内折れ皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(8.0)	(1.0)	—	3.8	5	7.5YR7/3 (にぶい黄橙)	ナデ	

表5-9 かわらけ観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	出土遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
	R0k315	手づくね小皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(8.4)	(1.5)	—	15.4	25	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k316	手づくね小皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(10.0)	(1.6)	—	11.7	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k317	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(13.8)	(2.1)	—	53.1	30	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k318	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(13.2)	(2.1)	—	58.6	40	10YR6/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k319	手づくね小皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(8.6)	(1.3)	—	25.8	40	10YR7/2 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k320	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(13.4)	(1.8)	—	51.2	45	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k321	手づくね小皿	遺構外	にぶい黄褐色土層	(9.8)	(2.1)	—	23.3	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k322	手づくね小皿	83SD2	埋土上位	(8.0)	(1.1)	—	5.8	50	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k323	内折れ皿	83SD2	埋土上位	(9.6)	—	—	4.6	5	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ナデ	
	R0k324	手づくね大皿	83SD2	埋土中位 (砂質土～)	(11.4)	(1.6)	—	14.6	10	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k325	内折れ皿	83SD2	にぶい黄褐色土層	(10.0)	(1.1)	—	12.1	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ナデ	
	R0k326	手づくね大皿	83SD2	にぶい黄褐色土層	(10.0)	(1.6)	—	20.9	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k327	手づくね大皿	83SD2	にぶい黄褐色土層	(11.2)	(1.8)	—	14.4	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k328	手づくね小皿	83SD2	にぶい黄褐色土層	(9.6)	—	—	2.6	3	10YR7/2 (にぶい黄橙)	灯明皿	油煙
	R0k329	手づくね小皿	83SD2	灰褐色粘土壁土層	(8.8)	(1.7)	—	12.0	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k330	手づくね小皿	83SD2	埋土下位	(10.0)	(1.3)	—	8.9	10	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	
	R0k331	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(10.0)	(2.0)	—	27.2	45	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k332	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(13.0)	(1.7)	—	33.4	20	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k333	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	14.0	2.7	—	155.7	80	7.5YR8/4 (浅黄橙)	マメツ	
	R0k334	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	—	(5.0)	13.0	—	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k335	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(12.6)	(2.5)	—	63.3	45	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	37と接合
	R0k336	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	—	—	(4.5)	31.5	—	7.5YR8/3 (浅黄橙)	—/—/糸切り?	
	R0k337	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(13.0)	(3.0)	(7.0)	34.6	25	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k338	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(13.6)	(2.2)	—	97.9	45	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	67と接合
	R0k339	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部	(12.6)	(1.8)	—	18.0	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k340	手づくね大皿	83SD5	埋土上位	(13.2)	(2.2)	—	26.5	20	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k341	ロクロ大皿	83SD5	埋土上位	—	—	(8.0)	35.7	—	7.5YR8/6 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k342	手づくね小皿	83SD5	埋土上位	(8.8)	(1.4)	—	6.1	5	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ヨコナデ	
	R0k343	手づくね大皿	83SD5	埋土上位	(12.6)	(1.5)	—	24.2	25	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k344	ロクロ大皿	83SD5	埋土上位	—	—	(6.0)	35.9	5	7.5YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k345	手づくね小皿	83SD5	埋土上位	(8.2)	(1.4)	—	30.6	50	10YR8/3 (浅黄橙)	ヨコナデ	
	R0k346	手づくね小皿	83SD5	埋土上位	(8.0)	(1.7)	—	20.7	45	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ヨコナデ	173と接合
	R0k347	手づくね大皿	83SD5	埋土上位	(10.4)	(1.6)	—	17.6	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k348	手づくね小皿?	83SD5	埋土上位	(9.6)	—	—	1.8	2	10YR7/3 (にぶい黄橙)	灯明皿	油煙か?
	R0k349	手づくね大皿	83SD5	埋土中位～	(13.2)	(1.8)	—	22.0	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k350	手づくね大皿	83SD5	埋土中位～	(13.4)	(2.0)	—	29.7	20	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k351	手づくね大皿	83SD5	埋土中位～	(10.4)	—	—	4.3	3	10YR8/3 (浅黄橙)	—/—/—	線刻か?
	R0k352	手づくね大皿	83SD5	埋土中位～	(12.2)	—	—	6.2	10	10YR8/3 (浅黄橙)	ヨコナデ	油煙か?
	R0k353	手づくね大皿	83SD5	埋土中位～	(11.6)	(1.0)	—	14.3	20	10YR8/2 (灰白)	ヨコナデ	
	R0k354	ロクロ大皿	83SD5	埋土	—	(1.0)	(4.0)	24.6	5	7.5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	

表5-10 かわらけ観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	出土遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
	R0k355	手づくね大皿	83SD5	埋土	(11.6)	(2.0)	—	27.7	20	10YR7/2 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k356	手づくね小皿	83SD5	埋土	(8.8)	(1.7)	—	23.9	40	10YR8/3 (浅黄橙)	ヨコナデ	スノコ痕
	R0k357	手づくね大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層下部～検出面	(12.2)	(2.2)	—	93.3	70	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ/ナデ	
	R0k358	ロクロ大皿	83SD2	—	(13.0)	(3.0)	(7.0)	83.4	45	7.5YR7/3 (にぶい橙)	マメツ/マメツ/糸切り	かわらけ2
	R0k359	手づくね大皿	83SD2	—	(13.8)	(2.8)	—	32.0	25	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	かわらけ2
	R0k360	手づくね大皿	83SD2	灰褐色土層	(13.6)	(2.2)	—	43.2	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	かわらけ3
	R0k361	ロクロ大皿	83SD2	北側埋土 (灰褐色土層)	(13.2)	(1.7)	(8.0)	79.8	40	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	
	R0k362	ロクロ大皿	83SD2	灰褐色土層 (埋土下位)	—	(1.3)	(6.0)	48.4	5	10YR8/1 (灰白)	—/—/糸切り	
	R0k363	手づくね大皿	83SD2	北側埋土 (灰褐色土層)	(13.8)	(2.0)	—	15.5	10	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/—	
	R0k365	手づくね小皿	83SD2	埋土上位(写真 かわらけの下)	—	—	—	6.8	5	10YR8/3 (浅黄橙)	—/—/	漆
	R0k366	ロクロ大皿	83SD2	底面より一段下がる 部分灰褐色土層	—	(1.2)	(7.0)	41.2	10	10YR8/3 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k367	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色 土層下部	14.1	2.8	6.5	149.6	70	7.5YR6/4 (にぶい橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸切り	
	R0k368	内折れ皿	遺構外	にぶい黄褐色 土層下部	(8.2)	(1.0)	—	2.3	1	7.5YR8/4 (浅黄橙)	—/—/	
	R0k369	ロクロ大皿	83SD2	埋土最上位	—	(1.0)	(8.0)	65.2	5	7.5YR6/4 (にぶい橙)	—/—/糸切り	
	R0k370	ロクロ大皿	83SD2	埋土最上位	—	(1.5)	(8.0)	79.1	5	10YR8/3 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k371	内折れ皿	83SD1	埋土	(9.6)	(1.2)	—	5.3	3	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/	
	R0k372	ロクロ大皿	83SD2	埋土下位	—	(2.1)	(6.0)	27.1	5	10YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k373	手づくね小皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(8.6)	(1.2)	—	7.3	10	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ヨコナデ/ヨコナデ	
	R0k374	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(11.4)	(2.3)	—	27.5	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k375	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(11.0)	(1.6)	—	14.0	15	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k376	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(11.6)	(1.5)	—	15.4	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k377	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(13.2)	—	—	10.8	10	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k378	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(13.4)	(1.5)	—	19.5	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k379	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(12.4)	(1.6)	—	28.1	25	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k380	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(12.4)	(2.0)	—	22.6	20	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k381	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(12.6)	(1.6)	—	12.5	15	10YR/2 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k382	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(13.8)	(2.4)	—	28.8	20	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k383	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(12.2)	(2.3)	—	36.9	25	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k384	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(13.0)	(2.1)	—	28.0	15	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k385	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(13.2)	(2.0)	—	24.1	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k386	手づくね大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(10.0)	(1.7)	—	30.4	25	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	
	R0k387	手づくね小皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	9.0	1.2	—	54.2	95	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	32と接合
	R0k388	手づくね小皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	7.6	1.6	—	46.3	98	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	36と接合
	R0k389	手づくね小皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	(9.0)	(1.6)	—	19.8	45	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ, ヨコナデ/ヨコ ナデ	33と接合
	R0k390	ロクロ	遺構外	にぶい黄褐色 土層	—	(1.5)	(5.0)	10.6	3	5YR7/6 (橙)	—/—/糸切り	
	R0k391	ロクロ大皿	遺構外	検出面(赤い砂 質土層)	—	(1.3)	(6.0)	19.9	3	10YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k392	ロクロ大皿	遺構外	埋土	(12.0)	(3.1)	(7.0)	39.2	40	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	
	R0k394	ロクロ小皿	83SD2	埋土中位(灰色 粘土質)段差まで	(8.2)	(1.7)	(6.0)	7.6	20	7.5YR8/4 (浅黄橙)	マメツ/マメツ/糸切り(マ メツ)	
	R0k395	ロクロ大皿	83SD2	埋土上位	(10.4)	(2.1)	(7.5)	93.9	70	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k396	手づくね大皿	83SD2	埋土中位	(11.2)	(1.6)	—	34.8	50	7.5YR8/3 (浅黄橙)	ヨコナデ/マメツ	371と接合

表5-11 かわらけ観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	出土 遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	残存率 (%)	色調	調整外/内/底	備考
	R0k397	手づくね大皿	83SD1	埋土中位	(13.0)	(2.0)	—	22.1	25	10YR8/3 (浅黄橙)	ヨコナデ/ヨコナデ	
	R0k399	ロクロ大皿	83SD2	埋土中位	(13.2)	(3.9)	(7.0)	61.2	45	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	
	R0k400	ロクロ大皿	83SD2	埋土中位	(10.4)	(3.5)	(6.0)	41.1	30	5YR7/6 (橙)	マメツ/マメツ/マメツ(糸 切り)	
	R0k401	内折れ皿	83SD2	北側埋土下位	(9.2)	(0.7)	—	3.2	3	10YR7/6 (にぶい黄橙)	—/—/—	
	R0k403	ロクロ大皿	83SD2	埋土下位 低い部分	—	(1.5)	(6.5)	55.0	20	10YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k404	ロクロ大皿	83SD2	埋土下位 低い部分	(14.2)	(2.1)	—	19.8	15	7.5YR7/4 (にぶい橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/—	
	R0k405	内折れ皿	遺構外	にぶい黄褐色 土層下部	(8.6)	(1.0)	—	6.2	10	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ナデ	
	R0k407	手づくね大皿	83SD9	埋土	(14.0)	(1.3)	—	10.6	10	10YR8/2 (灰白)	ロクロナデ/ロクロナデ/—	工具痕?
	R0k409	ロクロ小皿	73SD7	埋土	(9.0)	(1.6)	(6.3)	37.7	30	7.5YR7/6 (橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	
	R0k410	ロクロ大皿	遺構外	表土～にぶい 黄褐色土層	—	(1.3)	(6.0)	48.7	5	10YR7/3 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k411	内折れ皿	遺構外	暗～黒褐色土層 (2層目)	(8.0)	(0.9)	—	3.6	10	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ナデ	
	R0k412	手づくね大皿	遺構外	暗褐色土層～に ぶい黄褐色土層	(12.4)	(2.5)	—	38.7	25	10YR5/2 (灰黄褐)	内底面に糸切り痕(再利用か)	
	R0k413	器台 (柱状高台)	遺構外	重機粗堀一括	—	(1.8)	(4.0)	37.0	10	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k414	ロクロ大皿	遺構外	重機粗堀一括	—	(1.5)	(7.0)	50.5	5	7.5YR5/2 (灰褐)	—/—/糸切り	
	R0k415	手づくね大皿	遺構外	重機粗堀一括	(13.4)	(2.1)	—	47.0	35	10YR8/4 (浅黄橙)	ヨコナデ, ユビオサエ	
	R0k416	器台 (柱状高台)	遺構外	にぶい黄褐色 土層下部	—	(2.3)	(5.5)	79.6	10	7.5YR7/4 (にぶい橙)	マメツ	
	R0k417	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色 土層下部	—	(1.8)	(5.5)	52.6	20	7.5YR7/3 (にぶい橙)	—/—/糸切り	
	R0k418	手づくね小皿	遺構外	検出面	(9.0)	(1.4)	—	31.7	50	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k419	手づくね大皿	遺構外	重機粗堀一括	(12.6)	(2.5)	—	67.5	50	10YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k420	ロクロ大皿	遺構外	重機粗堀一括	—	(3.1)	(7.8)	142.9	70	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	
	R0k421	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色土層 (整地層?より下)	—	(2.0)	(8.0)	27.2	10	7.5YR8/4 (浅黄橙)	—/—/糸切り	
	R0k422	ロクロ大皿	遺構外	にぶい黄褐色 土層	(14.2)	(4.0)	(6.0)	27.9	20	10YR8/4 (浅黄橙)	ロクロナデ/ロクロナデ/糸 切り	
	R0k423	手づくね大皿	83SX1	褐灰～灰黄褐 色土層	(12.8)	(2.5)	—	41.3	25	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	268と接合
	R0k424	手づくね小皿	遺構外	検出面	9.1	1.7	—	75.4	100	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k425	手づくね小皿	遺構外	検出面	9.2	1.8	—	76.7	99	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k426	手づくね小皿	遺構外	検出面	9.0	1.7	—	64.2	99	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k427	手づくね小皿	遺構外	検出面	8.2	1.7	—	42.8	80	10YR8/3 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k428	手づくね小皿	遺構外	検出面	(10.8)	(1.7)	—	27.9	45	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k429	ロクロ大皿	遺構外	検出面	(14.0)	(3.6)	(6.0)	90.0	45	7.5YR7/6 (橙)	マメツ/マメツ/糸切り	
	R0k430	手づくね小皿	遺構外	検出面	(8.8)	(1.4)	—	38.6	80	7.5YR8/4 (浅黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k431	手づくね小皿	遺構外	検出面	(9.2)	(1.7)	—	51.2	70	10YR7/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k432	手づくね小皿	遺構外	検出面	(8.8)	(2.0)	—	54.5	85	10YR6/4 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k433	手づくね大皿	遺構外	表採	(12.4)	(2.4)	—	43.8	30	10YR7/3 (にぶい黄橙)	ユビオサエ→ヨコナデ	
	R0k434	ロクロ大皿	83SD4	褐灰色土層	—	(0.9)	—	11.2	5	10YR7/4 (にぶい黄橙)	—/—/糸切り	R0k138と 同一個体か

表6-1 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
1	R0t319	壺	胴部	渥美	72SD2	49～51-47・48	攪乱層 (石積面)	外:2.5Y4/1黄灰 内:7.5YR5/1褐灰	刻線、外面降灰釉		32.7
2	R0t677	甕	胴部	渥美	72SD2	72SD2・79SX1ト レンチ	T13-5層	外:10YR5/1褐灰 内:10YR5/1褐灰			55.2
3	R0t678	甕	胴部	常滑	72SD2	72SD2・79SX1ト レンチ	T13-5層	外:10YR4/1褐灰 内:7.5YR5/1褐灰	外面押印(縦長格子文?)		40.4
4	R0t679	甕	口縁部	常滑	72SD2	72SD2・79SX1	攪乱層	外:10YR4/2灰黄褐 内:10YR5/3にぶい黄褐			38.7
5	R0t369	壺	胴部	渥美	29SD1	48～50-44～47	3層	外:5YR4/3にぶい赤褐 内:2.5Y7/1灰白			27.2
6	R0t370	壺	胴部	渥美	29SD1	48～50-44～47	3層	外:2.5Y4/1黄灰 内:2.5Y5/1黄灰	内面降灰釉	Rot515	62.2
	R0t515	壺	胴部	渥美	遺構外	48～50-44～47	Ⅱ層下部	外:2.5Y4/1黄灰 内:2.5Y5/1黄灰		Rot370	7.4
7	R0t371	甕	胴部	渥美	29SD1	48～50-44～47	3層	外:2.5YR5/1赤灰 内:10YR7/1灰白			25.8
23	R0t340	甕	胴部	渥美	83SD2	83T6内	T6-6～9層	外:10YR7/2にぶい黄橙 内:2.5Y6/3にぶい黄	内面降灰釉、外面押印 (格子文?)		40.9
24	R0t373	甕	胴部	渥美	83SD2	83T8延長	埋土	外:10YR7/1灰白 内:7.5YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文)、 刻線(窯印?)		231.4
25	R0t389	甕	胴部	渥美	83SD2	83T12内	T12-B14層	外:10YR5/1褐灰 内:10YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文)		70.8
26	R0t400	甕	胴部	渥美	83SD2	83T12内	埋土上位	外:2.5Y5/1黄灰 内:2.5Y5/1黄灰	外面押印(平行条線文)		26.4
27	R0t402	甕	頸部	渥美	83SD2	83T12内	埋土上位	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y6/1黄灰	外面降灰釉、外面剥落		54.3
28	R0t516	甕	胴部	渥美	83SD2	83T7内かわらけ 集中下	にぶい黄褐 色土層	外:10YR6/1褐灰 内:10YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文?)		36.5
29	R0t518	甕	胴部	渥美	83SD2	83T7内かわらけ 集中下	にぶい黄褐 色土層	外:10YR7/2にぶい黄橙 内:10YR7/2にぶい黄橙	Rot388と同一個体		57.6
30	R0t520	甕	胴部	渥美	83SD2	83T7内かわらけ 集中下	にぶい黄褐 色土層	外:2.5Y5/3黄褐 内:10YR7/1灰白	外面降灰釉、外面押印 (平行条線文?)		26.3
31	R0t521	甕	胴部	渥美	83SD2	83T7内かわらけ 集中下	にぶい黄褐 色土層	外:7.5YR1/1灰白 内:2.5Y7/1灰白	外面押印(縦長格子文?)		25.4
32	R0t676	甕	頸部	須恵器	83SD2	83T7内	埋土下位	外:5B4/1暗青灰 内:5B4/1暗青灰			105.7
33	R0t327	甕	胴部	常滑	83SD2	83T6	T6-5層	外:7.5YR6/3にぶい褐 内:10YR6/2灰黄褐			20.3
34	R0t393	甕	胴部	常滑	83SD2	83T12内	埋土上位	外:5YR5/2灰褐 内:10YR5/2黄灰褐	外面押印(縦長格子文)		54.9
35	R0t394	片口鉢	胴部	常滑	83SD2	83T12内	埋土上位	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y8/1灰白			21.3
36	R0t519	片口鉢	底部	常滑	83SD2	83T7内かわらけ 集中下	にぶい黄褐 色土層	外:10YR5/1褐灰 内:2.5Y5/1黄灰	高台部欠		70.4
42	R0t386	甕	胴部	渥美	83SD1	83T12内	T12-3層	外:10R5/1赤灰 内:10R5/1赤灰	外面押印(綾杉文?)		100.2
43	R0t388	甕	胴部	渥美	83SD1	83T12内	T12-3層	外:2.5Y5/2暗灰黄 内:2.5Y5/3黄褐	内外面降灰釉		79.1
44	R0t398	甕	胴部	渥美	83SD1	83T12内	T12-3層	外:5YR6/1褐灰 内:10YR6/2灰黄褐	外面降灰釉、外面押印 (平行条線文?)		82.4
45	R0t399	甕	胴部	渥美	83SD1	83T12内	T12-3層	外:2.5Y5/1黄灰 内:2.5Y5/1黄灰	外面押印(格子文?)		87.4
46	R0t404	甕	胴部下位	渥美	83SD1	83T12内	T12-5層	外:N7/0灰白 内:N6/1灰	内面降灰釉		95.4
47	R0t451	甕	胴部	渥美	83SD1	83T4内	埋土	外:N4/0灰 内:2.5Y5/1黄灰	外面押印(平行条線文)		128.2
48	R0t326	片口鉢	胴部	渥美	83SD1	42～45-40～43	埋土上位	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白			40.8
49	R0t453	片口鉢	胴部	渥美	83SD1	83T4内	埋土	外:5Y7/1灰白 内:5Y7/2灰白	内面降灰釉		33.7
50	R0t387	甕	胴部	常滑	83SD1	83T12内	T12-3層	外:5Y4/3暗オリーブ 内:10YR5/3にぶい黄褐	外面降灰釉、外面押印 (縦長格子文)		70.8
51	R0t391	甕	肩部	常滑	83SD1	83T12内	T12-3層	外:5Y7/2灰白 内:7.5YR4/1褐灰	外面降灰釉		84.0
52	R0t403	甕	胴部	常滑	83SD1	83T12内	T12-5層	外:10YR4/2灰黄褐 内:10YR7/1灰白	外面押印(縦長格子文)、 内面剥落		50.5
53	R0t450	甕	胴部	常滑	83SD1	83T4内	埋土	外:10YR5/3にぶい黄褐 内:7.5Y5/3にぶい褐			122.7
54	R0t454	甕	胴部	常滑	83SD1	83T4内	埋土	外:5Y5/3灰オリーブ 内:7.5YR6/4にぶい橙	外面降灰釉		17.0
55	R0t683	甕	胴部	須恵器系	83SD1	42～45-40～43	埋土上位	外:N5/0灰 内:N5/0灰			138.4
60	R0t396	甕	胴部	渥美	83SD17	83T12内	T12-A2層	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白	外面押印?		16.7
62	R0t321	甕	胴部	常滑	83SD3	83T4内	埋土	外:10YR5/1褐灰 内:10YR6/2灰黄褐	外面押印(平行条線文)		49.8
64	R0t277	甕	胴部	渥美	83SD4	83T4内	埋土	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白	外面押印(平行条線文)		144.5
65	R0t317	甕	胴部	渥美	83SD4	83T4内	埋土	外:5Y5/2灰オリーブ 内:2.5Y6/1黄灰	外面降灰釉、Rot388と 同一個体		21.8
66	R0t042	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:7.5YR5/1褐灰 内:7.5YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文)	Rot329	47.2
	R0t329	甕	胴部	渥美	83SD4	83T6内	埋土	外:7.5YR5/1褐灰 内:7.5YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文)	Rot42	130.9

表6-2 国産陶器観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合関係	重量(g)
67	Rot335	片口鉢	口縁部	渥美	83SD4	83SD4内	T7-2層	外:10YR6/1褐灰 内:7.5YR7/2明褐灰			13.7
68	Rot376	甕	胴部	渥美	83SD4	83T8延長	埋土	外:2.5Y5/3黄褐 内:2.5Y6/1黄灰	外面降灰釉、外面押印(平行条線文?)		36.2
69	Rot377	甕	胴部	渥美	83SD4	83T8延長	埋土	外:2.5Y6/3にぶい黄 内:2.5Y6/1黄灰	外面降灰釉、Rot173と同一個体か		20.7
70	Rot395	甕	胴部	常滑	83SD4	83T12内	T12-B7層	外:2.5YR3/2暗赤褐 内:7.5YR4/3褐	外面押印(-)		16.8
78	Rot309	甕	胴部	渥美	83SD5	83T4内	T4-15層中 ~下部	外:10YR6/1褐灰 内:2.5Y7/1灰白			42.7
79	Rot347	甕	胴部	渥美	83SD5	43-44-42	埋土上位	外:10YR5/1褐灰 内:2.5Y6/2灰黄	外面押印(縦長格子文)、 内面降灰釉		36.9
80	Rot681	甕	胴部	渥美	83SD5		埋土	外:7.5YR6/1褐灰 内:7.5YR6/1褐灰	国産陶器1、外面押印 (縦長格子文)		85.8
81	Rot682	壺	口縁部	常滑	83SD5		埋土	外:5YR4/2灰褐 内:5YR4/2灰褐	国産陶器2、内外面降 灰釉		16.8
82	Rot294	甕	胴部	常滑	83SD5	83T4内	T4-15層上部	外:5Y5/2灰オリーブ 内:5YR4/1褐灰	外面降灰釉		69.8
83	Rot378	甕	胴部	常滑	83SD5	83T8延長	埋土	外:2.5Y5/3黄褐 内:10YR5/3にぶい黄褐	外面降灰釉、外面押印 (縦長格子文)		44.8
84	Rot675	甕	胴部	須恵器系	83SD5	44-42	埋土上位	外:N5/0灰 内:N5/0灰			65.1
89	Rot397	甕	胴部	渥美	83SD12	83T12内	83T12-A3層	外:5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白	外面押印(平行条線文)		130.5
90	Rot674	甕	胴部	常滑	83SD12	42-42	埋土上位	外:7.5YR6/2灰褐 内:7.5YR6/2灰黄褐	外面押印(縦長格子文)		39.7
91	Rot638	甕	胴部	渥美	83SD26	83T5内北側溝	埋土	外:10YR6/1褐灰 内:10YR6/1褐灰	外面押印(縦長格子文?)		25.8
92	Rot629	甕	頸部	常滑	83SD26	83T5内北側溝	埋土	外:5Y6/3オリーブ黄 内:2.5Y6/1黄灰	外面降灰釉		33.1
93	Rot637	甕	胴部	常滑	83SD26	83T5内北側溝	埋土	外:2.5Y6/2灰黄 内:10YR6/2にぶい黄褐	外面降灰釉		32.6
161	Rot324	甕	胴部	渥美	83SX1	44-42 (83SD2周辺)	1層	外:2.5Y5/1黄灰 内:10YR6/2灰黄褐	外面押印(平行条線文)		27.1
162	Rot672	甕	胴部	渥美	83SX1	44-41-42(83SD1 と83SD2の間)	1層	外:2.5Y6/2灰褐 内:7.5YR5/1褐灰	外面降灰釉		38.2
163	Rot379	甕	胴部	須恵器系	83SX1	83T7(83SD2上の かわらけ集中)	T7-1層	外:2.5Y5/1黄灰 内:2.5Y5/1黄灰			22.5
164	Rot270	甕	胴部	常滑	83SX1	44-45-42-43	検出面	外:5Y6/3オリーブ黄 内:10YR5/2灰黄褐	外面降灰釉、外面押印 (条線文?)		20.2
165	Rot684	甕	胴部	常滑	83SX1	かわらけ集中 (83SD2の上)	検出面	外:7.5YR5/2灰褐 内:10YR6/3にぶい黄褐	図有		124.8
168	Rot372	甕	胴部	渥美	整地層	83T8北側	整地層	外:2.5Y7/2灰黄 内:10YR6/1褐灰	外面押印(格子文)		39.0
169	Rot018	壺	胴部上半	渥美	試掘	83T1	I~II層	外:10YR7/1灰白 内:10YR7/1灰白	刻画文(△花)		28.5
170	Rot032	壺	胴部上半	渥美	試掘	83T1	I~II層	外:2.5Y4/1黄灰 内:2.5Y6/2黄灰	刻画文、外面降灰釉	※Rot36と 胎土類似	16.7
171	Rot041	壺	肩部	渥美	試掘	83T1	I~II層	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白	外面降灰釉		29.6
172	Rot062	壺	胴部	渥美	試掘	83T1	盛土層~II層	外:10YR6/1褐灰 内:10YR6/1褐灰	外面降灰釉		34.1
173	Rot110	壺	胴部	渥美	試掘	83T2	II層	外:10YR3/1黒褐 内:10YR4/1褐灰			18.4
174	Rot111	壺	胴部上半	渥美	試掘	83T2	II層	外:2.5Y5/2暗灰黄 内:2.5Y5/1黄灰	刻画文、外面降灰釉、 Rot32と同一個体		10.8
175	Rot002	甕	頸部	渥美	試掘	83T1	I~II層	外:10YR7/1灰白 内:10YR7/1灰白	内面降灰釉		52.6
176	Rot004	甕	胴部	渥美	試掘	83T1	I~II層	外:10YR5/1褐灰 内:10YR5/1褐灰	外面降灰釉		99.3
177	Rot022	甕	口縁部	渥美	試掘	83T1	I~II層	外:7.5YR4/1褐灰 内:7.5YR6/3にぶい褐			34.8
178	Rot035	甕	胴部	渥美	試掘	83T1	I~II層	外:2.5Y5/2暗灰黄 内:7.5YR5/1褐灰	外面降灰釉		69.3
179	Rot057	甕	口縁部	渥美	試掘	83T1	盛土層~II層	外:2.5Y5/1黄灰 内:2.5Y5/1黄灰	内面降灰釉		51.6
180	Rot061	甕	胴部	渥美	試掘	83T1	盛土層~II層	外:2.5Y7/2灰黄 内:2.5Y6/1黄灰	外面化粧土?		100.9
181	Rot079	甕	胴部	渥美	試掘	83T1	盛土層~II層	外:10YR5/1褐灰 内:10YR6/1褐灰	外面押印(縦長格子文)		108.5
182	Rot103	甕	胴部	渥美	試掘	83T1拡張	II層	外:10YR6/1褐灰 内:10YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文)		91.9
183	Rot114	甕	肩部	渥美	試掘	83T1拡張	I層~盛土層	外:10YR5/2灰黄褐 内:10YR5/1褐灰	外面降灰釉		136.6
184	Rot150	甕	胴部	渥美	試掘	83T1拡張 (中央~)	I~II層	外:2.5Y5/1黄灰 内:2.5Y6/1黄灰	外面押印(平行条線文)		82.7
185	Rot155	甕	胴部	渥美	試掘	83T1拡張 (中央~)	I~II層	外:10YR5/1褐灰 内:10YR6/2灰黄褐	内外面降灰釉、外面押印 (平行条線文)		117.3
186	Rot166	甕	胴部	渥美	試掘	83T2南端	II層上~中部	外:5Y5/3灰オリーブ 内:10YR6/2灰黄褐	外面降灰釉、内面煤付着		78.9
187	Rot167	甕	頸部	渥美	試掘	83T2南端	I層	外:2.5Y5/2暗灰黄 内:2.5Y6/1黄灰	外面釉薬		85.7
188	Rot173	甕	胴部	渥美	試掘	83T2南端	II層下部	外:2.5Y7/2灰黄 内:10YR6/1褐灰	外面降灰釉、外面押印 (縦長格子文)		49.9

表6-3 国産陶器観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合関係	重量(g)
189	R0t185	甕	口縁部	渥美	試掘	83T1中央～南	Ⅱ層	外:5PB5/1青灰 内:N6/1灰			13.2
190	R0t011	鉢類	口縁部	渥美	試掘	83T1	I～Ⅱ層	外:10YR6/1褐灰 内:10YR6/1褐灰			31.9
191	R0t043	片口鉢	底部	渥美	試掘	83T1	I～Ⅱ層	外:10YR7/1灰白 内:10YR7/1灰白			53.6
192	R0t075	片口鉢	底部	渥美	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白			57.9
193	R0t034	広口壺	頸部	常滑	試掘	83T1	I～Ⅱ層	外:5Y5/3灰オリーブ 内:7.5YR5/4にぶい褐	内外面降灰釉、欠け口の一部が平滑		107.4
194	R0t033	壺?	底部	常滑	試掘	83T1	I～Ⅱ層	外:10YR5/1褐灰 内:10YR6/1褐灰	内面降灰釉		106.4
195	R0t003	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	I～Ⅱ層	外:7.5YR5/1褐灰 内:10YR5/2灰黄褐			109.7
196	R0t015	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	I～Ⅱ層	外:10YR3/1黒褐 内:10YR3/2黒褐	内外面降灰釉		52.5
197	R0t029	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	I～Ⅱ層	外:2.5Y5/2暗灰黄 内:10YR4/3にぶい黄褐	内外面降灰釉、外面押印(縦長格子文)		74.3
198	R0t058	甕	口縁部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:10YR3/1黒褐 内:10YR3/1黒褐	内面降灰釉		14.0
199	R0t063	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:2.5Y4/1黄灰 内:10YR6/2灰黄褐	外面押印(格子文、縦長格子文)		51.8
200	R0t064	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:2.5Y5/1黄灰 内:10YR5/2灰黄褐			105.2
201	R0t066	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:7.5YR6/3にぶい褐 内:2.5Y6/1黄灰	外面押印(縦長格子文)	Rot134	55.9
	R0t134	甕	胴部	常滑	試掘	83T1拡張(中央～)	I～Ⅱ層	外:7.5YR6/3にぶい褐 内:2.5Y6/1黄灰	外面押印(縦長格子文)	Rot66	102.7
202	R0t067	甕	胴部	常滑	試掘	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:2.5Y6/1黄灰 内:2.5Y6/1黄灰	外面押印(平行条線文)		103.5
203	R0t074	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:N3/0暗灰 内:5YR5/1褐灰	外面押印(縦長格子文)	Rot84	28.3
	R0t084	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:N3/0暗灰 内:5YR5/1褐灰	外面押印(縦長格子文)	Rot74	26.6
204	R0t076	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:2.5YR3/2暗赤褐 内:7.5YR5/3にぶい褐	外面押印(条線文)		28.8
205	R0t077	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:7.5YR5/3にぶい褐 内:10YR5/2灰黄褐	外面押印(平行条線文?)		65.1
206	R0t082	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:5Y6/3オリーブ黄 内:10YR6/2灰黄褐	外面降灰釉、外面押印		49.6
207	R0t086	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:10YR5/1褐灰 内:10YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文)、Rot63と同一個体		54.4
208	R0t097	甕	胴部	常滑	試掘	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:5YR5/2灰褐 内:2.5Y6/2灰黄	刻線、内面降灰釉		17.3
209	R0t101	甕	胴部	常滑	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:7.5YR4/1褐灰 内:7.5YR5/2灰褐	外面押印(縦長格子文)		239.9
210	R0t147	甕	口縁部	常滑	試掘	83T1拡張(中央～)	I～Ⅱ層	外:10YR4/3にぶい黄褐 内:5Y6/2灰オリーブ	内面降灰釉		15.3
211	R0t152	甕	胴部	常滑	試掘	83T1拡張(中央～)	I～Ⅱ層	外:2.5Y7/2灰黄 内:2.5Y6/1黄灰			146.9
212	R0t162	甕	頸部	常滑	試掘	83T1	Ⅱ層	外:2.5Y6/1黄灰 内:2.5Y6/1黄灰	内外面降灰釉		37.7
213	R0t182	甕	胴部	常滑	試掘	83T1中央～南	Ⅱ層	外:5YR4/2灰褐 内:10YR6/3にぶい黄橙	外面降灰釉、外面押印(縦長格子文)		53.5
214	R0t123	片口鉢	胴部	常滑	試掘	83T1拡張	I層～盛土層	外:2.5Y6/1黄灰 内:2.5Y6/1黄灰			19.3
215	R0t164	片口鉢	胴部	常滑	試掘	83T1	Ⅱ層	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白			26.5
216	R0t184	片口鉢	口縁部	常滑	試掘	83T1中央～南	Ⅱ層	外:7.5Y6/2灰オリーブ 内:5Y7/1灰白	内外面降灰釉		23.2
217	R0t051	甕	胴部	須恵器系	試掘	83T1	I～Ⅱ層	外:N4/0灰白 内:N6/1灰			211.4
218	R0t143	甕	頸部	須恵器系	試掘	83T1拡張(中央～)	I～Ⅱ層	外:N5/0灰 内:N5/0灰			32.4
219	R0t102	甕	底部	水沼	試掘	83T1	盛土層～Ⅱ層	外:2.5YR4/1赤灰 内:7.5YR6/1褐灰	二次焼成?		228.5
220	R0t215	山茶碗?	胴部	渥美	遺構外	46・47-37～41	I～Ⅱ層	外:7.5YR5/1褐灰 内:7.5YR6/1褐灰			7.5
221	R0t561	広口壺	口縁部	渥美	遺構外	48～50-44～47	Ⅱ層	外:10YR5/1褐灰 内:10YR5/1褐灰			15.9
222	R0t291	壺	胴部	渥美	遺構外	49～51-47・48	I～Ⅱ層	外:2.5Y5/1黄灰 内:5Y6/1灰	刻線、外面降灰釉		60.8
223	R0t419	壺	口縁部	渥美	遺構外	42・43-41	Ⅱ層下部	外:5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白	内面降灰釉		14.6
224	R0t438	壺	胴部	渥美	遺構外	46・47-43・44	Ⅱ層下部	外:2.5Y4/1黄灰 内:7.5YR6/1褐灰	刻画文(連弁文?)、外面降灰釉		34.7
225	R0t502	壺	肩部	渥美	遺構外	48～50-45・46	Ⅱ層下部	外:2.5Y7/2灰黄 内:2.5Y6/1黄灰			15.4
226	R0t068	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:10YR7/3にぶい黄褐 内:10YR6/2灰黄褐	内面降灰釉、外面押印(平行条線文)		68.2
227	R0t196	甕	胴部	渥美	遺構外	42～49-40～45	粗掘	外:10YR6/1褐灰 内:10YR6/1褐灰	外面押印(縦長格子文)		115.8
228	R0t197	甕	胴部	渥美	遺構外	42～49-40～45	粗掘	外:7.5YR6/1褐灰 内:7.5YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文)		65.4

表6-4 国産陶器観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合関係	重量(g)
229	Rot198	甕	胴部	渥美	遺構外	46~50-45・46	I層	外:N4/0灰 内:2.5Y6/1黄灰	外面押印(格子文)		75.9
230	Rot205	甕	胴部	渥美	遺構外	48・49-44~46	粗掘	外:5Y7/1灰白 内:5Y6/3オリーブ黄	刻線(窯印?)、外面押印(-)、内面降灰釉		60.9
231	Rot208	甕	胴部	渥美	遺構外	45~48-41~45 (南東)	I~II層	外:2.5Y6/2灰黄 内:5YR5/1褐灰	外面降灰釉、外面押印(平行条線文?)		61.5
232	Rot231	甕	頸部	渥美	遺構外	45~48-41~45	II層	外:5YR5/1褐灰 内:10YR5/1褐灰	外面押印(-)		32.2
233	Rot236	甕	胴部	渥美	遺構外	45~48-41~45	II層下部	外:5Y6/1灰 内:10YR6/1褐灰	外面降灰釉		120.1
234	Rot239	甕	胴部	渥美	遺構外	45~48-41~45	II層下部	外:2.5Y5/1黄灰 内:2.5Y5/1黄灰	外面押印(平行条線文)		55.5
235	Rot245	甕	頸部	渥美	遺構外	45~48-41~45	II層下部	外:N6/1灰 内:N6/1灰			150.6
236	Rot246	甕	頸部	渥美	遺構外	43・44-40	I~II層	外:5YR4/1褐灰 内:5YR4/1褐灰	内外面降灰釉		49.8
237	Rot256	甕	胴部	渥美	遺構外	45-41	II層下部	外:2.5Y8/2灰白 内:10YR5/1褐灰	外面降灰釉、外面押印(平行条線文)		28.7
238	Rot261	甕	胴部	渥美	遺構外	44・45-42	II層下部	外:2.5Y5/1黄灰 内:2.5Y5/1黄灰	外面押印(-)、内面降灰釉		118.4
239	Rot271	甕	胴部	渥美	遺構外	44・45-42・43	II層下部	外:2.5Y5/1黄灰 内:2.5Y4/1黄灰	内面降灰釉		97.0
240	Rot273	甕	底部	渥美	遺構外	44・45-41	II層下部	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y5/1黄灰			105.4
241	Rot278	甕	胴部	渥美	遺構外	83T4南側拡張	II層	外:10YR5/1褐灰 内:10YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文)		78.4
242	Rot282	甕	胴部	渥美	遺構外	83T4南側拡張	II層	外:2.5Y5/1黄灰 内:10YR5/2灰黄褐			77.0
243	Rot293	甕	胴部	渥美	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:10YR6/2灰黄褐 内:10YR5/3にぶい黄褐			103.0
244	Rot305	甕	胴部	渥美	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:2.5Y6/1黄灰 内:2.5Y7/1灰白	外面押印(格子文)		91.3
245	Rot313	甕	胴部	渥美	遺構外	49~51-47・48 西側サブトレンチ内	II層	外:2.5Y6/2灰黄 内:2.5Y7/2灰白	外面釉薬		48.8
246	Rot411	甕	胴部	渥美	遺構外	44・45-42・43	II層下部	外:10YR6/1褐灰 内:10YR5/1褐灰			133.9
247	Rot415	甕	胴部	渥美	遺構外	42・43-41	II層下部	外:10YR7/2にぶい黄褐 内:N6/1灰	外面押印(縦長格子文)		68.5
248	Rot418	甕	頸部	渥美	遺構外	42・43-41	II層下部	外:5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白			36.3
249	Rot427	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-42・43	II層下部	外:2.5YR6/1赤褐 内:10YR6/2灰黄褐			79.0
250	Rot442	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-43	II層下部	外:5YR6/2灰褐 内:10YR7/2にぶい黄褐	外面押印(平行条線文)	Rot445	95.8
	Rot445	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-43	II層下部	外:5YR6/2灰褐 内:10YR7/2にぶい黄褐	外面押印(平行条線文)	Rot442	30.3
251	Rot443	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-43	II層下部	外:5Y5/3灰オリーブ 内:2.5Y6/1黄灰	外面降灰釉、外面押印(縦長格子文)		112.3
252	Rot448	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-42・43	II層下部~ 検出面	外:7.5YR7/1明褐灰 内:7.5YR7/1明褐灰	外部押印(格子文)		45.9
253	Rot464	甕	胴部	渥美	遺構外	47・48-43・44	II層	外:5Y7/1灰白 内:N5/0灰	外面押印(縦長格子文)	Rot465・472	73.5
	Rot465	甕	胴部	渥美	遺構外	47・48-43・44	II層	外:5Y7/1灰白 内:N5/0灰	外面押印(縦長格子文)	Rot464・472	22.4
	Rot472	甕	胴部	渥美	遺構外	47・48-43・44	II層	外:5Y7/1灰白 内:N5/0灰	外面押印(縦長格子文)	Rot464・465	15.3
254	Rot497	甕	肩部	渥美	遺構外	48~50-44~47	II層下部	外:2.5Y5/1黄灰 内:5Y5/3灰オリーブ	外面降灰釉、Rot513と同一個体カ		70.6
255	Rot532	甕	口縁部	渥美	遺構外	48~50-44~47	II層	外:N4/0灰 内:2.5Y6/1黄灰	端部欠、内面降灰釉		28.5
256	Rot572	甕	胴部	渥美	遺構外	48~50-44~47	II層	外:2.5Y6/1黄灰 内:2.5Y7/1灰白	外面押印(格子文)		196.6
257	Rot574	甕	胴部	渥美	遺構外	48~50-44~47	II層	外:10YR7/1灰白 内:10YR7/1灰白	外面押印(格子文)		77.2
258	Rot576	甕	胴部	渥美	遺構外	48~50-44~47	II層	外:5Y4/3暗オリーブ 内:5Y6/1灰	外面降灰釉、外面剥落		118.8
259	Rot581	甕	胴部	渥美	遺構外	48~50-44~47	II層	外:10YR6/2灰黄褐 内:10YR6/1褐灰	外面押印(縦長格子文)		46.8
260	Rot590	甕	胴部	渥美	遺構外	48~50-44~47	II層	外:10YR7/2にぶい黄褐 内:10YR7/2にぶい黄褐	刻線?		19.5
261	Rot649	甕	胴部	渥美	遺構外	48~50-44~47	II層下部	外:2.5Y6/2灰黄 内:10YR7/1灰白	外面降灰釉、外面押印(平行条線文)、刻線?		112.3
262	Rot315	鉢類	口縁部	渥美	遺構外	49~51-47・48	I層~盛土層	外:5Y5/1灰 内:5Y6/2灰オリーブ	内外面降灰釉		13.9
263	Rot262	片口鉢?	胴部	渥美	遺構外	44・45-42	II層下部	外:5Y6/1灰 内:5Y6/1灰			29.8
264	Rot229	片口鉢	口縁部	渥美	遺構外	46~48-41~45	II層下部	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白			9.3
265	Rot267	片口鉢	胴部	渥美	遺構外	44・45-42	II層下部	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y7/2灰黄			22.3
266	Rot349	片口鉢	口縁部	渥美	遺構外	48~50-44~47	II層	外:N6/1灰 内:N6/1灰			33.4
267	Rot476	片口鉢	胴部	渥美	遺構外	45~47-44・45	I~II層	外:10YR7/1灰白 内:10YR7/1灰白			58.3

表6-5 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
268	R0t221	壺?	胴部	常滑	遺構外	46・47-37~41	検出面	外:2.5Y5/2暗灰黄 内:10YR6/2灰黄褐	外面降灰釉		31.3
269	R0t459	壺?	胴部	常滑	遺構外	45~47-44・45	II層	外:2.5Y5/2暗黄灰 内:2.5Y3/1黒褐	外面降灰釉		18.9
270	R0t238	甕	胴部	常滑	遺構外	46~48-41~45	II層下部	外:7.5YR4/3褐 内:5Y5/4オリーブ	内面降灰釉		39.9
271	R0t276	甕	胴部	常滑	遺構外	83T4南側拡張	II層	外:7.5YR4/1褐灰 内:5YR5/3にぶい赤褐	刻線?		136.8
272	R0t289	甕	胴部	常滑	遺構外	83T4南側拡張	II層	外:2.5Y7/1灰白 内:10YR5/2灰黄褐	外面押印(縦長格子文)		55.8
273	R0t296	甕	胴部	常滑	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:2.5Y4/2暗灰黄 内:2.5Y4/1黄灰	外面降灰釉、Rot308と 同一個体		40.0
274	R0t312	甕	胴部	常滑	遺構外	49~51-47・48 サブレンチ内	II層	外:2.5Y6/2灰黄 内:2.5Y5/1黄灰	外面押印(縦長格子文)		75.9
275	R0t314	甕	口縁部	常滑	遺構外	49~51-47・48 サブレンチ内	II層	外:10YR4/1褐灰 内:10YR6/2灰黄褐	端部欠		34.3
276	R0t328	甕	肩部	常滑	遺構外	42~45-40~43 (83SD1~83SD2)	検出面	外:5Y5/2灰オリーブ 内:10YR6/3にぶい黄橙	外面降灰釉		207.4
277	R0t348	甕	胴部	常滑	遺構外	45~47-44・45	II層	外:5YR4/2灰褐 内:7.5YR5/3にぶい褐	外面降灰釉		37.6
278	R0t412	甕	胴部	常滑	遺構外	44・45-42・43	II層下部	外:5Y5/3灰オリーブ 内:N5/0灰	外面降灰釉		63.5
279	R0t434	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-43・44	II層下部	外:2.5Y5/2暗灰黄 内:10YR6/2灰黄褐	外面降灰釉		92.0
280	R0t436	甕	頸部	常滑	遺構外	46・47-43・44	II層下部	外:5Y5/3灰オリーブ 内:7.5YR5/3にぶい褐	内外面降灰釉		58.2
281	R0t449	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-42・43	II層下部~ 検出面	外:7.5YR5/3にぶい褐 内:10YR5/3にぶい黄褐	外面押印(平行条線文?)		65.9
282	R0t456	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-43・44	II層下部	外:7.5YR4/1褐灰 内:10YR4/2灰黄褐	外面押印(平行条線文?)、 内面降灰釉		60.6
283	R0t565	甕	口縁部	常滑	遺構外	48~50-44~47	II層	外:7.5YR6/1褐灰 内:7.5YR6/1褐灰			15.5
284	R0t575	甕	胴部	常滑	遺構外	48~50-44~47	II層	外:10YR6/3にぶい黄橙 内:7.5YR5/3にぶい褐	外面押印(条線文)		34.0
285	R0t616	甕	口縁部	常滑	遺構外	48~50-44~47	II層	外:5Y6/2灰オリーブ 内:2.5Y7/2灰黄	外面降灰釉、外面剥落		24.2
286	R0t651	甕	胴部	常滑	遺構外	48~50-44~47	II層下部	外:2.5Y4/1黄灰 内:2.5Y6/2灰黄	外面降灰釉		20.6
287	R0t666	甕	口縁部	常滑	遺構外	48~50-44~47	II層下部	外:10YR4/2灰黄褐 内:2.5Y7/2灰黄			18.3
288	R0t193	片口鉢	口縁部	常滑	遺構外	—	I層	外:10YR6/2灰黄褐 内:10YR6/2灰黄褐			39.0
289	R0t284	片口鉢	口縁部	常滑	遺構外	83T4南側拡張	II層	外:2.5Y7/1灰白 内:2.5Y7/1灰白			18.6
290	R0t662	片口鉢	口縁部	常滑	遺構外	48~50-44~47	II層下部	外:2.5Y6/2灰黄 内:2.5Y6/2灰黄	内外面降灰釉		31.4
291	R0t272	甕	胴部	須恵器系	遺構外	44・45-42・43	II層下部	外:2.5Y8/1灰白 内:2.5Y8/1灰白	二次焼成?		39.1
292	R0t303	甕	胴部	須恵器系	遺構外	49-47飛び地	I層~盛土層	外:N4/0灰 内:N4/0灰			73.9
293	R0t474	甕	胴部	須恵器系	遺構外	45~47-44・45	I~II層	外:N6/0灰 内:5Y6/1灰			125.1
294	R0t584	甕	胴部	水沼	遺構外	48~50-44~47	攪乱層	外:5YR7/2にぶい黄褐 内:5YR7/2にぶい黄褐	外面押印(複合文:縦長格子文 +X字状)、Rot124と同一個体か		44.5
	R0t001	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:5YR5/1褐灰			47.1
	R0t005	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:10YR5/1褐灰			21.0
	R0t006	甕?	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:7.5YR6/1褐灰	外面剥落?		1.7
	R0t007	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:10YR6/2灰黄褐			41.1
	R0t008	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:10YR6/3にぶい黄橙	外面押印(平行条線文)、 内面降灰釉		47.7
	R0t009	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:7.5YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文)、 内外面煤付着		26.8
	R0t010	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I~II層	外:7.5YR6/4にぶい橙	外面押印(-)		32.1
	R0t012	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:10YR6/1褐灰	外面押印(縦長格子文?)、 Rot1と同一個体か		15.5
	R0t013	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:10YR6/1褐灰	外面押印(縦長格子文?)		38.0
	R0t014	甕	胴部	須恵器系	遺構外	83T1	I~II層	外:N5/0灰			58.9
	R0t016	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:10YR6/1褐灰	外面押印(縦長格子文?)		29.4
	R0t017	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I~II層	外:10YR6/3にぶい黄橙			15.2
	R0t019	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I~II層	外:5YR6/4にぶい橙	外面押印(縦長格子文)		23.5
	R0t020	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:10YR6/2灰黄褐	外面押印(縦長格子文?)		21.8
	R0t021	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I~II層	外:10YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文)	Rot7 と類似	28.1

表6-6 国産陶器観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合関係	重量(g)
	ROt023	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:10YR6/2灰黄褐			11.5
	ROt024	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I～II層	外:10YR4/3にぶい黄褐	内外面降灰釉、外面押印(格子文?)		18.2
	ROt025	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:10YR3/1黒褐	内面降灰釉		18.1
	ROt026	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I～II層	外:5YR4/2灰褐			7.6
	ROt027	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:2.5Y7/1灰白			9.4
	ROt028	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:10YR6/1褐灰			51.7
	ROt030	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:10YR5/1褐灰	Rot4と同一個体		48.8
	ROt031	壺?	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:5YR4/1褐灰	外面押印(平行条線文?)		31.7
	ROt036	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I～II層	外:7.5YR4/3褐			11.0
	ROt037	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I～II層	外:2.5YR5/3にぶい赤褐			19.5
	ROt038	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I～II層	外:5YR3/3暗赤褐	外面押印(格子文?)		14.0
	ROt039	甕	口縁部	常滑	遺構外	83T1	I～II層	外:7.5YR2/1黒	外面降灰釉		6.3
	ROt040	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I～II層	外:5YR5/3にぶい赤褐			14.6
	ROt044	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:10YR6/1褐灰			60.9
	ROt045	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:2.5Y5/2暗灰黄	外面押印(-)、内面降灰釉		26.8
	ROt046	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I～II層	外:10YR4/1褐灰	外面押印(縦長格子文?)、外面降灰釉		24.1
	ROt047	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	I～II層	外:10YR6/2灰黄褐	外面押印(格子文)		28.6
	ROt048	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:7.5YR5/1褐灰			16.5
	ROt049	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:10YR3/1黒褐	外面押印(平行条線文)		25.9
	ROt050	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I～II層	外:2.5Y6/2灰黄	外面押印(縦長格子文)		47.6
	ROt052	甕	胴部	須恵器系	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:N5/0灰	Rot51と同一個体		31.5
	ROt053	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:10YR4/1褐灰			23.0
	ROt054	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:10YR3/3暗褐			17.0
	ROt055	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:10YR4/2灰黄褐	外面押印(縦長格子文)		67.3
	ROt056	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:10YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文?)		71.0
	ROt059	甕?	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:5YR4/1褐灰			39.7
	ROt060	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:7.5YR6/1褐灰	外面押印(縦長格子文)		36.7
	ROt065	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:10YR6/1褐灰			69.7
	ROt069	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:2.5Y7/1灰白	外面押印(-)、外面剥落		28.5
	ROt070	甕	頸部	常滑	遺構外	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:2.5Y7/1灰白	外面剥落		21.0
	ROt071	甕	頸部	常滑	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:2.5Y5/3黄褐	外面降灰釉		28.2
	ROt072	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:5YR5/3にぶい赤褐	外面押印(縦長格子文)		38.6
	ROt073	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:2.5Y6/2灰黄	外面押印(平行条線文?)、外面降灰釉		39.5
	ROt078	甕	胴部	常滑	試掘	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:10YR6/2灰黄褐			27.9
	ROt080	壺	胴部	渥美	遺構外	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:5Y5/3灰オリーブ	内面降灰釉		12.3
	ROt081	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:2.5Y2/1黒			19.5
	ROt083	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:2.5Y4/4オリーブ褐	外面降灰釉、Rot29と同一個体		19.4
	ROt085	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:7.5YR6/3にぶい褐			5.8
	ROt087	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:10YR3/1黒褐	内面降灰釉・Rot29と同一個体か		36.8
	ROt088	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:7.5YR2/1黒			19.2
	ROt089	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:10YR6/1褐灰	Rot67と同一個体か		27.1
	ROt090	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:2.5YR4/2灰赤			24.0

表6-7 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
	R0t091	甕?	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:10YR5/1褐灰			20.2
	R0t092	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:7.5YR5/3にぶい褐			14.1
	R0t093	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:2.5Y6/1黄灰	外面押印(平行条線文?)		71.6
	R0t094	壺	胴部	渥美	遺構外	83T1	盛土層～II層	外:10YR5/2灰黄褐			10.0
	R0t095	壺	胴部	渥美	遺構外	83T2西側	I層～検出面	外:10R4/1暗赤灰			21.8
	R0t096	甕	胴部	常滑	遺構外	83T2西側	I層～検出面	外:7.5YR2/1黒			24.2
	R0t098	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:7.5YR4/3褐	外面降灰釉		11.3
	R0t099	壺	胴部	渥美	遺構外	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:10YR7/1灰白			11.1
	R0t100	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1南側拡張	I層～盛土層	外:N5/0灰	外面押印(縦長格子文)		13.8
	R0t104	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張	II層	外:2.5YR3/1暗赤灰	外面押印(平行条線文)		11.1
	R0t105	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張	II層	外:2.5Y6/3にぶい黄			16.2
	R0t106	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張	II層	外:7.5YR6/4にぶい橙	外面押印(格子文?)		17.6
	R0t107	甕	胴部	須恵器系	遺構外	83T1拡張	II層	外:7.5YR5/1褐灰	Rot51と同一個体か		55.5
	R0t108	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張	II層	外:7.5YR4/3褐	外面押印(縦長格子文)		17.9
	R0t109	甕	頸部	常滑	遺構外	83T1拡張	II層	外:7.5YR3/1黒褐	Rot70と同一個体		5.3
	R0t112	甕	胴部	常滑	遺構外	83T2	II層	外:7.5YR4/4褐			8.5
	R0t113	甕	胴部	常滑	遺構外	83T2	II層	外:7.5YR3/4暗褐	外面押印(格子文?)		9.3
	R0t115	甕	胴部	須恵器系	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:2.5Y5/1黄褐			31.1
	R0t116	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:10YR6/3にぶい黄橙			28.1
	R0t117	甕?	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:10YR4/2灰黄褐			14.0
	R0t118	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:2.5Y5/2暗灰黄	外面降灰釉		33.3
	R0t119	甕?	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:10YR6/1褐灰			10.9
	R0t120	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:N4/0灰	外面押印(平行条線文?)		14.7
	R0t121	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:10YR4/1褐灰			17.0
	R0t122	甕	胴部	須恵器系	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:N4/0灰			35.5
	R0t124	甕	胴部	水沼	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:10YR4/1褐灰	外面押印(特殊)		25.7
	R0t125	壺?	胴部	渥美	遺構外	83T2	I層	外:10YR4/1褐灰			3.3
	R0t126	鉢類	胴部	渥美	遺構外	83T2	I層	外:2.5Y5/2暗灰黄			3.5
	R0t127	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:7.5YR4/3褐	外面降灰釉		11.0
	R0t128	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張	I層～盛土層	外:5PB6/1青灰	外面押印(縦長格子文)		16.7
	R0t129	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張 (中央～)	I～II層	外:2.5Y5/1黄灰	外面降灰釉		17.5
	R0t130	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張 (中央～)	I～II層	外:10YR7/1灰白	外面押印(平行条線文?)		18.9
	R0t131	壺?	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張 (中央～)	I～II層	外:N6/0灰	器面摩滅		8.8
	R0t132	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張 (中央～)	I～II層	外:10YR5/1褐灰	外面降灰釉、外面剥落		25.9
	R0t133	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張 (中央～)	I～II層	外:10YR6/1褐灰			23.9
	R0t135	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張 (中央～)	I～II層	外:7.5YR4/3褐	外面押印(縦長格子文)		15.2
	R0t136	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張 (中央～)	I～II層	外:2.5Y7/1灰白	外面剥落		12.3
	R0t137	甕	胴部	渥美	遺構外	83T2	I～II層	外:5YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文)		23.7
	R0t138	甕	胴部	渥美	遺構外	83T2南側	II層下部	外:N5/0灰			19.1
	R0t139	甕	胴部	須恵器	遺構外	83T2南側	II層下部	外:N4/0灰		Rot140	21.6
	R0t140	甕	胴部	須恵器系	遺構外	83T2南側	II層下部	外:N4/0灰		Rot139	15.7
	R0t141	甕	胴部	常滑	遺構外	83T2南側	II層下部	外:7.5YR6/4にぶい橙	Rot85と同一個体		7.3

表6-8 国産陶器観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合関係	重量(g)
	ROt142	甕	胴部	常滑	遺構外	83T2南側	II層下部	外:7.5YR4/3褐			5.2
	ROt144	甕	頸部	渥美	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	外:2.5Y5/1黄灰	内外面降灰釉		25.2
	ROt145	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	外:5YR4/3にぶい赤褐	外面降灰釉		13.5
	ROt146	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	外:5YR3/4暗赤褐			16.4
	ROt148	鉢類?	胴部	須恵器系	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	外:7.5YR5/1褐灰			10.3
	ROt149	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	外:7.5YR2/2黒褐	外面押印(平行条線文)		15.3
	ROt151	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	外:2.5Y4/1黄灰			30.9
	ROt153	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	外:7.5YR4/3褐	外面押印(格子文?)		11.7
	ROt154	甕	胴部	須恵器系	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	外:N6/1灰			100.9
	ROt156	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	外:7.5Y7/1灰白	外面釉薬?		30.2
	ROt157	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1拡張(中央～)	I～II層	2.5YR4/3にぶい赤褐	外面押印(縦長格子文)		16.8
	ROt158	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	I層	外:10YR6/1褐灰			73.8
	ROt159	鉢類?	胴部	常滑	遺構外	83T1	II層	外:N7/0灰白	内面降灰釉		10.0
	ROt160	甕	胴部	渥美	遺構外	83T2南端	II層上～中部	外:5Y5/3灰オリーブ	内外面降灰釉、外面押印(縦長格子文)		51.6
	ROt161	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	II層	外:7.5YR7/4にぶい橙			15.1
	ROt163	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1	II層	外:5Y7/2灰白			22.3
	ROt165	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1	II層	外:2.5Y6/2灰黄	外面降灰釉、外面押印(縦長格子文?)		41.5
	ROt168	甕	胴部	常滑	遺構外	83T2南端	I層	外:5Y3/2オリーブ黒	外面降灰釉		40.6
	ROt169	甕	胴部	渥美	遺構外	83T2南端	I層	外:10YR5/1褐灰	外面押印(縦長格子文?)、内面降灰釉		57.0
	ROt170	甕	頸部	常滑	遺構外	83T2南端	II層上～中部	外:5Y4/3暗オリーブ	外面降灰釉		12.5
	ROt171	甕	口縁部	渥美	遺構外	83T1	I層	外:10YR5/1褐灰			10.5
	ROt172	甕	肩部	常滑	遺構外	83T2南端	II層下部	外:5Y7/2灰白	外面剥落		24.8
	ROt174	甕	胴部	常滑	遺構外	83T3	I層～盛土層	外:5YR3/3暗赤褐			14.6
	ROt175	甕	頸部	渥美	遺構外	83T3	I層～盛土層	外:2.5Y5/1黄灰			21.9
	ROt176	甕	胴部	常滑	遺構外	83T4	I～II層	外:7.5YR4/3褐			6.7
	ROt177	甕	胴部	常滑	遺構外	83T4	I～II層	外:5YR4/3にぶい赤褐	内面剥落		5.3
	ROt178	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1中央～南	II層	外:10YR6/2灰黄褐			15.8
	ROt179	片口鉢	胴部	渥美	遺構外	83T1中央～南	II層	外:N7/0灰白			20.6
	ROt180	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1中央～南	II層	外:5Y5/3灰オリーブ	外面降灰釉、外面剥落		11.1
	ROt181	播鉢	胴部	近世陶器	遺構外	83T1中央～南	II層	外:7.5YR4/3褐			13.2
	ROt183	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1中央～南	II層	外:7.5YR2/2黒褐			18.7
	ROt186	甕	胴部	常滑	遺構外	83T1中央～南	II層	外:5Y6/2灰オリーブ	外面降灰釉、外面押印(格子文)		33.0
	ROt187	甕	胴部	渥美	遺構外	83T1中央～南	II層	外:10YR7/1灰白	外面押印(縦長格子文?)		35.7
	ROt188	甕	胴部	渥美	遺構外	83T2南端	II層下部	外:5Y6/3オリーブ黄	外面降灰釉		25.1
	ROt189	甕	頸部	常滑	遺構外	83T1中央～南	II層	外:5Y5/3灰オリーブ	外面降灰釉		25.8
	ROt190	甕	頸部	渥美	遺構外	83T1中央～南	II層	外:2.5Y5/1黄灰	内外面降灰釉		14.3
	ROt191	甕	胴部	常滑	遺構外	83T2南端	II層下部	外:5YR5/4にぶい赤褐			3.9
	ROt192	甕	胴部	渥美	遺構外	—	I層	外:7.5YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文?)		39.8
	ROt194	壺?	胴部	渥美	遺構外	—	I層	外:2.5Y5/2暗灰黄	外面降灰釉		11.6
	ROt195	甕	胴部	渥美	遺構外	49～51-47・48	I～II層	外:7.5YR5/1褐灰	外面押印(格子文)		82.5
	ROt199	甕	肩部	渥美	遺構外	45～47-44・45	粗掘	外:10YR7/1灰白			75.0
	ROt200	甕	胴部	常滑	遺構外	45～47-44・45	粗掘	外:2.5YR4/3にぶい赤褐	外面押印(格子文?)		17.8

表6-9 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
	R0t201	甕	胴部	須恵器	遺構外	42～48-40～45	粗掘	外:N4/0灰			38.3
	R0t202	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	粗掘	外:10YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文?)		34.5
	R0t203	甕	胴部	渥美	遺構外	42～48-40～45	粗掘	外:10YR7/2にぶい黄橙			40.2
	R0t204	甕	胴部	渥美	遺構外	42～48-40～45	粗掘	外:10YR7/1灰白	外面押印(縦長格子文?)		24.2
	R0t206	甕	胴部	常滑	遺構外	45～47-44・45	粗掘	外:2.5YR3/3暗赤褐			48.1
	R0t207	甕	胴部	常滑	遺構外	45～47-44・45	粗掘	外:7.5YR4/1褐灰			26.2
	R0t209	甕	胴部	渥美	遺構外	42～48-40～45	I～II層	外:7.5YR5/1褐灰			28.0
	R0t210	?甕	口縁部	常滑	遺構外	42～45-40～43	粗掘	外:5YR4/3にぶい赤褐	端部欠、内面剥落		3.9
	R0t211	片口鉢	胴部	常滑	遺構外	46～48-41～45 (南東)	I～II層	外:5YR7/1灰白			5.8
	R0t212	甕	胴部	常滑	遺構外	46～48-41～45 (南東)	I～II層	外:7.5YR3/3暗褐			6.9
	R0t213	甕	胴部	須恵器	遺構外	49～51-47・48	粗掘	外:N4/0灰	Rot201と同一個体か		29.3
	R0t214	甕	胴部	須恵器系	遺構外	42～45-40～43	粗掘	外:7.5YR6/1褐灰			41.3
	R0t216	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-37～41	I～II層	外:2.5Y7/1灰白	外面押印(平行条線文)		11.4
	R0t217	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-37～41	I～II層	外:7.5YR4/2灰褐			3.9
	R0t218	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-37～41	I～II層	外:7.5YR4/3褐			3.0
	R0t219	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-37～41	I～II層	外:5Y4/4暗オリーブ	外面降灰釉、外面剥落		7.8
	R0t220	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-37～41	I～II層	外:7.5YR4/3褐	外面降灰釉		4.3
	R0t222	甕	胴部	渥美	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:10YR4/1褐灰			20.2
	R0t223	甕	胴部	常滑	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:10YR5/2灰黄褐			28.0
	R0t224	片口鉢?	口縁部	渥美	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:7.5YR6/1褐灰			2.5
	R0t225	甕	胴部	渥美	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:N7/0灰白			58.4
	R0t226	甕	胴部	須恵器系	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:10YR4/1褐灰			31.3
	R0t227	甕	胴部	常滑	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:10YR2/1黒	外面押印(縦長格子文)		23.0
	R0t228	甕	口縁部	常滑	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:5YR5/2灰褐			15.1
	R0t230	甕	胴部	渥美	遺構外	46～48-41～45	II層	外:10YR6/1褐灰	内面降灰釉		36.7
	R0t232	甕	胴部	常滑	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:5Y6/3オリーブ黄	外面降灰釉		16.2
	R0t233	甕	胴部	渥美	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:10YR6/1褐灰			27.2
	R0t234	甕	胴部	渥美	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:10YR2/1黒	外面押印(-)		5.4
	R0t235	甕	口縁部	須恵器	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:N4/0灰			12.6
	R0t237	甕	胴部	常滑	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:10YR6/3にぶい黄橙	外面押印(縦長格子文)		20.6
	R0t240	片口鉢?	胴部	渥美	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:10YR7/3にぶい黄橙			19.8
	R0t241	甕	胴部	常滑	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:7.5YR3/4暗褐	内外面降灰釉		10.6
	R0t242	甕	胴部	常滑	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:7.5YR4/3褐	外面押印(-)		31.0
	R0t243	甕	胴部	渥美	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:10YR7/1灰白			36.9
	R0t244	甕	胴部	常滑	遺構外	46～48-41～45	II層下部	外:5YR3/3暗赤褐			4.8
	R0t247	甕	胴部	須恵器系	遺構外	43・44-40	I～II層	外:7.5YR5/1褐灰			11.9
	R0t248	甕	胴部	渥美	遺構外	43・44-40	I～II層	外:5Y4/1灰			33.9
	R0t249	甕	胴部	常滑	遺構外	43・44-40	I～II層	外:5YR3/3暗赤褐			12.3
	R0t250	甕	胴部	渥美	遺構外	45-43	II層下部	外:7.5YR5/2灰褐			29.8
	R0t251	甕	胴部	渥美	遺構外	45-43	II層下部	外:10YR7/1灰白			10.6
	R0t252	片口鉢?	胴部	渥美	遺構外	45-41	II層下部	外:N7/0灰白			19.2
	R0t253	片口鉢?	胴部	常滑	遺構外	45-41	II層下部	外:2.5Y7/1灰白			11.4

表6-10 国産陶器観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合関係	重量(g)
	R0t254	甕	胴部	常滑	遺構外	45-41	II層下部	外:7.5Y6/2灰オリーブ	外面降灰釉・Rot388と同一個体		15.2
	R0t255	甕	胴部	水沼	遺構外	45-41	II層下部	外:2.5Y4/1黄灰			25.1
	R0t257	甕	胴部	渥美	遺構外	44・45-42	II層下部	外:7.5YR5/2灰褐	外面押印(縦長格子文)		18.9
	R0t258	甕	胴部	常滑	遺構外	44・45-42	II層下部	外:5YR3/3暗赤褐	外面押印(格子文)		6.8
	R0t259	壺?	胴部	渥美	遺構外	44・45-42	II層下部	外:5YR4/1褐灰			4.0
	R0t260	甕	胴部	渥美	遺構外	44・45-42	II層下部	外:10YR5/2灰黄褐			59.0
	R0t263	壺?	胴部	渥美	遺構外	45-40・41	II層	外:N7/0灰白			2.7
	R0t264	甕	胴部	常滑	遺構外	44・45-42	II層下部	外:2.5Y3/1黒褐			45.8
	R0t265	甕	胴部	常滑	遺構外	44・45-42	II層下部	外:5YR6/4にぶい橙			13.0
	R0t266	甕	胴部	渥美	遺構外	44・45-42	II層下部	外:2.5Y6/3にぶい黄	外面降灰釉		10.3
	R0t268	甕	胴部	常滑	83SX1	44・45-42	検出面	外:2.5Y4/1黄灰			7.8
	R0t269	甕	胴部	常滑	遺構外	44・45-42・43	II層下部	外:10YR6/3にぶい黄橙			18.9
	R0t274	甕	胴部	常滑	遺構外	44・45-41	II層下部	外:7.5YR6/4にぶい橙	外面押印(縦長格子文)		17.8
	R0t275	甕	胴部	常滑	遺構外	47~51-45~48	盛土層~II層	外:7.5YR4/3褐	内面降灰釉		30.3
	R0t279	甕	胴部	渥美	遺構外	83T4南側拡張	I層	外:2.5Y6/1黄灰			19.6
	R0t280	甕	胴部	常滑	遺構外	83T4南側拡張	I層	外:10YR3/3暗褐			37.5
	R0t281	甕	胴部	渥美	遺構外	83T4南側	検出面	外:10YR6/2灰黄褐	外面押印(-)、内外面降灰釉		29.8
	R0t283	甕	胴部	常滑	遺構外	83T4南側拡張	I層	外:2.5Y7/1灰白	外面剥落		5.3
	R0t285	甕	胴部	渥美	遺構外	83T4南側拡張	I層	外:2.5Y7/2灰黄	外面押印(平行条線文)		49.4
	R0t286	甕	胴部	常滑	83SD5	83SD5(83T4内)	T4-15層	5YR4/3にぶい赤褐	外面押印(縦長格子文?)		9.5
	R0t287	甕	胴部	渥美	遺構外	83T4南側拡張	I層	外:N4/0灰	外面押印(平行条線文)		47.0
	R0t288	甕	胴部	渥美	遺構外	83T4南側拡張	II層	外:N6/0灰	外面押印(平行条線文?)		20.0
	R0t290	甕	頸部	常滑	遺構外	50-47	II層	外:7.5YR4/3褐	外面降灰釉		24.4
	R0t292	甕	胴部	常滑	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:10YR6/1褐灰	外面押印(縦長格子文)		20.8
	R0t295	甕	胴部	常滑	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:5YR5/4にぶい赤褐			11.0
	R0t297	甕	胴部	常滑	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:7.5Y4/2灰オリーブ	外面降灰釉	Rot308	13.0
	R0t298	甕	胴部	常滑	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:2.5Y3/2黒褐			29.5
	R0t299	甕	胴部	渥美	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:5Y6/3オリーブ黄	外面降灰釉		17.4
	R0t300	甕	胴部	渥美	遺構外	50-47	II層	外:10YR5/1褐灰			9.7
	R0t301	甕	胴部	渥美	遺構外	50-47	II層	外:7.5YR6/1褐灰			7.9
	R0t302	甕	胴部	渥美	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:2.5Y7/2灰黄			40.4
	R0t304	甕	胴部	渥美	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:10YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文)		64.7
	R0t306	甕	胴部	渥美	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:7.5YR5/1褐灰			44.6
	R0t307	甕	胴部	渥美	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:2.5Y5/1黄灰	外面押印(平行条線文)		25.9
	R0t308	甕	胴部	常滑	遺構外	49~51-47・48	I~II層	外:7.5Y4/2灰オリーブ	外面降灰釉	Rot297	28.8
	R0t310	甕	胴部	渥美	83SD5	83SD5(83T4内)	T4-15層中~下部	外:5Y6/2灰オリーブ	外面押印(平行条線文)、外面降灰釉		15.7
	R0t311	甕	胴部	渥美	83SD5	83SD5(83T4内)	T4-15層中~下部	外:N4/0灰			16.6
	R0t316	甕	胴部	渥美	遺構外	49~51-47・48	盛土層	外:10YR6/1褐灰			16.7
	R0t318	甕	胴部	常滑	83SD4	83SD4(83T4内)	埋土	外:7.5YR4/1褐灰			12.4
	R0t320	甕	胴部	常滑	83SD6	83SD6(83T4内)	埋土	外:7.5YR5/1灰褐	外面押印(縦長格子文)		24.3
	R0t322	椀	胴部	近世陶器	遺構外	45-42	II層	外:2.5Y5/3黄褐	内外面釉		2.9
	R0t323	甕	肩部	常滑	83SD2	83SD2(83T4内)	T4-19~21層	外:5YR3/3暗赤褐	内面降灰釉、内面剥落		7.3

表6-11 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
	R0t325	甕	胴部	渥美	83SX1	42~45-40~43 (83SD2周辺)	1層	外:2.5Y6/3にぶい黄	外面降灰釉		6.5
	R0t330	甕	胴部	渥美	遺構外	42~45-40~43 (83SD1~83SD2)	検出面	外:2.5Y6/2灰黄	外面降灰釉		35.1
	R0t331	甕	胴部	常滑	83SD2	83SD2(83T6内)	T6-5層	外:7.5YR3/1黒褐			33.9
	R0t332	甕	胴部	渥美	83SD2	83SD2(83T6内)	T6-5層	外:7.5YR4/1褐灰			20.6
	R0t333	鉢類?	胴部	常滑	83SD2	83SD2(83T6内)	T6-6層	外:N6/1灰			6.7
	R0t334	甕	胴部	渥美	83SX1	42~45-40~43(83SD1 周辺)かわらけ集中北	1層	外:N5/0灰			5.8
	R0t336	甕	胴部	渥美	83SD4	83T7(83SD4内)	T7-2層	外:N6/0灰			17.1
	R0t337	甕	胴部	常滑	遺構外	42~45-40~43 (83SD1~83SD4内)	検出面	外:5YR6/3にぶい橙			46.4
	R0t338	甕	胴部	常滑	遺構外	42~45-40~43 (83SD1~83SD4内)	検出面	外:7.5YR5/3にぶい褐			27.3
	R0t339	甕	胴部	常滑	遺構外	42~48-40~45 (83SD1と84SD4の間)	検出面	外:5YR6/4にぶい橙			12.3
	R0t341	甕?	胴部	渥美	遺構外	48-45	検出面	外:N7/0灰白	外面降灰釉、Rot435と 同一個体か		42.6
	R0t342	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	検出面	外:2.5Y7/2灰黄			5.7
	R0t343	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46	検出面	外:5YR5/4にぶい赤褐	外面押印(縦長格子文)		21.7
	R0t344	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	検出面	外:7.5YR7/4にぶい橙			9.9
	R0t345	甕	胴部	常滑	遺構外	46~48-41~45 (83SD4より南)	検出面	外:5YR5/4にぶい赤褐	外面押印(-)		15.6
	R0t346	甕	胴部	渥美	遺構外	46~48-41~45 (83SD2~83SD4内)	検出面	外:10YR5/1褐灰			30.0
	R0t350	甕	口縁部	常滑	遺構外	47・48-44・45	検出面	外:7.5YR3/1黒褐			7.9
	R0t351	壺	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:5YR6/1褐灰			5.9
	R0t352	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層	外:7.5YR5/2灰褐			23.6
	R0t353	甕	肩部	常滑	遺構外	48-45	II層	外:7.5YR6/2灰褐			29.2
	R0t354	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:2.5Y6/3にぶい黄	外面降灰釉		24.2
	R0t355	壺	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:2.5Y6/1黄灰			13.3
	R0t356	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:10YR6/1褐灰			3.7
	R0t357	片口鉢?	口縁部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:N7/0灰白			9.2
	R0t358	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:10YR7/1灰白			11.4
	R0t359	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層	外:5Y7/2灰白	外面剥落・Rot267と類似		11.9
	R0t360	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層	外:5Y5/3灰オリーブ	外面降灰釉		13.3
	R0t361	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:10YR6/1褐灰			8.7
	R0t362	壺	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:2.5Y6/3にぶい黄			6.9
	R0t363	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:2.5Y6/2灰黄	Rot481と同一個体か		8.1
	R0t364	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47	検出面	外:2.5Y5/1黄灰			42.4
	R0t365	甕	頸部	渥美	遺構外	49・50-45~47	検出面	外:2.5Y4/1赤灰	内外面降灰釉		4.3
	R0t366	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47	検出面	外:10YR3/1黒褐			19.1
	R0t367	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47	検出面	外:10YR6/1褐灰			18.2
	R0t368	山皿?	口縁部	渥美	遺構外	48-45	II層	外:5YR7/2灰白			1.0
	R0t374	甕	胴部	常滑	83SD2	83SD2 (83T8延長)	埋土	外:5Y6/3オリーブ黄	外面降灰釉		15.2
	R0t375	壺?	胴部	渥美	83SD2	83SD2 (83T8延長)	埋土	外:2.5Y8/1灰白			5.9
	R0t380	甕	胴部	常滑	遺構外	83T8南延長	検出面	外:5Y6/3オリーブ黄	外面降灰釉		5.0
	R0t381	甕	胴部	渥美	遺構外	83T8南延長	検出面	外:N5/0灰			34.4
	R0t382	甕	胴部	渥美	遺構外	83T8南延長	検出面	外:10YR7/1灰白			29.0
	R0t383	甕	胴部	常滑	83SD15	42~45-40~43 南北溝	埋土	外:2.5Y7/1灰白	外面剥落		11.2
	R0t384	甕	頸部	須恵器系	83SD15	42~45-40~43 南北溝	埋土	外:10YR4/1褐灰			17.1

表6-12 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
	R0t385	壺	胴部	渥美	遺構外	46~48-41~45	I層	外:10YR7/1灰白			12.4
	R0t390	甕	胴部	渥美	83SD2	83SD2(83T12内)	T12-B14層	外:10YR5/1褐灰			45.9
	R0t392	甕	胴部	常滑	83SD1	83SD1(83T12内)	T12-3層	外:5YR6/4にぶい橙			20.1
	R0t401	甕	胴部	常滑	83SD2	83SD2(83T12内)	埋土上位	外:2.5YR4/3にぶい赤褐	外面押印(-)		27.2
	R0t405	甕	胴部	常滑	83SD2	83SD2(83T12内)	T12-B14層	外:5YR6/6橙			23.0
	R0t406	甕	胴部	常滑	83SD4	83SD4(83T12内)	T12-B7層 下部	外:10YR6/3にぶい黄橙			26.0
	R0t407	甕	胴部	渥美	遺構外	48~50-44~47	I層	外:5Y4/1灰	外面押印(縦長格子文)		23.2
	R0t408	甕	胴部	渥美	遺構外	-	排土	外:10YR4/1褐灰	外面押印(平行条線文?)		15.4
	R0t409	鉢類?	胴部	常滑	83SD4	83SD4(83T4内)	埋土	外:N6/1灰	Rot333と同一個体か		6.3
	R0t410	甕	胴部	渥美	遺構外	-	排土	外:N6/0灰			38.7
	R0t413	甕	胴部	常滑	遺構外	44・45-42・43	II層下部	外:5Y5/2灰オリーブ	内外面降灰釉		34.0
	R0t414	片口鉢	胴部	渥美	遺構外	42~45-40~43	I~II層	外:10YR7/1灰白			19.6
	R0t416	甕	胴部	渥美	遺構外	42・43-41	II層下部	外:10YR6/1褐灰			37.3
	R0t417	甕	胴部	常滑	遺構外	43・44-42・43	II層	外:5YR5/3にぶい赤褐	外面降灰釉		20.0
	R0t420	甕	胴部	常滑	遺構外	44-41・42	II層下部	外:2.5Y7/2灰黄			10.8
	R0t421	甕	胴部	常滑	遺構外	44-41・42	II層下部	外:2.5Y4/3にぶい赤褐	内面降灰釉		13.5
	R0t422	甕	胴部	渥美	遺構外	42・43-41・42	II層	外:N6/0灰	外面押印(平行条線文)		18.8
	R0t423	甕	胴部	渥美	遺構外	42・43-41・42	II層	外:10YR6/1褐灰			38.2
	R0t424	甕	胴部	常滑	遺構外	42・43-41・42	II層	外:5YR6/3にぶい橙			15.5
	R0t425	甕	胴部	常滑	遺構外	42・43-41・42	II層	外:N8/0灰白	外面降灰釉、外面押印 (平行条線文)、外面剥落		26.5
	R0t426	甕	口縁部	渥美	遺構外	42・43-41・42	II層	外:10YR5/1褐灰	内面剥落		13.0
	R0t428	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-42・43	II層下部	外:10YR7/2にぶい黄橙			58.4
	R0t429	甕	胴部	須恵器	遺構外	46・47-42・43	II層下部	外:N4/0灰	Rot201と同一個体		20.0
	R0t430	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-42・43	II層下部	外:7.5YR5/1褐灰			21.6
	R0t431	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-42・43	II層下部	外:2.5YR5/3にぶい赤褐			14.8
	R0t432	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-42・43	II層下部	外:2.5Y6/3にぶい黄	外面降灰釉		3.1
	R0t433	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-42・43	II層下部	外:10YR7/2にぶい黄橙			11.8
	R0t435	甕?	胴部	渥美	遺構外	46・47-43・44	II層下部	外:5YR6/2灰オリーブ	外面降灰釉、Rot341と 同一個体か		52.6
	R0t437	甕	頸部	渥美	遺構外	46・47-43・44	II層下部	外:10YR5/1褐灰			41.5
	R0t439	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-43・44	II層下部	外:10R5/4赤褐	時代不明		7.9
	R0t440	甕	口縁部	須恵器	遺構外	46・47-43・44	II層下部	外:N4/0灰			12.6
	R0t441	壺?	頸部	渥美	72SD2	83T13	T13-5層	外:7.5YR6/3にぶい褐			12.1
	R0t444	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-43	II層下部	外:N7/0灰白	外面押印(平行条線文)		48.1
	R0t446	甕	胴部	渥美	遺構外	46・47-43・44	II層下部	外:2.5Y7/1灰白			22.6
	R0t447	甕	胴部	渥美	遺構外	45・46-42	II層下部~ 検出面	外:10YR7/1灰白	外面押印(平行条線文)、 内面剥落		9.0
	R0t452	甕	胴部	常滑	83SD1	83SD1(83T4内)	埋土	外:2.5Y3/1黒褐	外面降灰釉		5.1
	R0t455	甕	胴部	渥美	83SD1	83SD1(83T4内)	埋土	外:7.5YR6/2灰褐			20.4
	R0t457	甕	胴部	常滑	遺構外	46・47-43・44	II層下部	外:7.5YR4/3褐	内面降灰釉		17.3
	R0t458	甕	胴部	渥美	83SD2	83SD2(83T4内)	T4-17層	外:10YR4/1暗赤灰	外面降灰釉		23.1
	R0t460	甕	胴部	常滑	遺構外	45~47-44・45	II層	外:10YR7/1灰白	外面剥落		26.1
	R0t461	甕	胴部	常滑	遺構外	45~47-44・45	II層	外:7.5YR5/3にぶい褐			14.1
	R0t462	瓦で登録									

表6-13 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
	R0t463	甕	胴部	渥美	遺構外	47・48-43・44	II層	外:7.5YR6/2灰褐	外面押印(格子文)		14.6
	R0t466	甕	肩部	常滑	遺構外	47・48-43・44	II層	外:5Y5/3灰オリーブ	外面降灰釉		34.3
	R0t467	壺	胴部	渥美	遺構外	47・48-43・44	II層	外:2.5Y6/1黄灰			12.2
	R0t468	甕	胴部	渥美	遺構外	47・48-43・44	II層	外:2.5Y5/1黄灰			37.5
	R0t469	甕	胴部	常滑	遺構外	47・48-43・44	II層	外:5YR3/1黒褐	外面降灰釉		14.0
	R0t470	甕	胴部	須恵器	遺構外	47・48-43・44	II層	外:N4/0灰	Rot201と同一個体		20.2
	R0t471	甕	胴部	渥美	遺構外	47・48-43・44	II層	外:10YR5/1褐灰			3.8
	R0t473	壺	胴部	渥美	遺構外	47・48-43・44	II層	外:10YR6/1褐灰			12.7
	R0t475	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	I～II層	外:2.5Y5/3黄褐	外面降灰釉、外面押印 (縦長格子文?)		66.3
	R0t477	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	I～II層	外:10YR7/1灰白			24.5
	R0t478	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:2.5Y8/1灰白	外面押印(平行条線文)		14.2
	R0t479	甕	肩部	常滑	遺構外	46～48-41～45 東側南	II層～整地層	外:2.5Y5/2黄褐	外面降灰釉		15.9
	R0t480	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:10YR5/1褐灰		Rot485	44.3
	R0t481	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:5Y6/2灰オリーブ	外面降灰釉		37.2
	R0t482	壺?	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:10YR4/1褐灰	外面押印(-)		23.9
	R0t483	甕	胴部	常滑	遺構外	45～47-44・45	II層	外:5Y7/1灰白	外面剥落		15.2
	R0t484	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:7.5YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文)		24.9
	R0t485	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:10YR5/1褐灰		Rot480	32.7
	R0t486	甕	頸部	常滑	遺構外	45～47-44・45	II層	外:10YR7/1灰白	外面剥落		28.6
	R0t487	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:7.5YR3/2黒褐	外面降灰釉		37.2
	R0t488	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:10YR5/1褐灰	外面降灰釉		20.0
	R0t489	甕	胴部	常滑	遺構外	45～47-44・45	II層	外:5Y4/3暗オリーブ	外面降灰釉		13.3
	R0t490	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:10YR5/1褐灰			53.9
	R0t491	甕	胴部	渥美	遺構外	45～47-44・45	II層	外:10YR7/1灰白			4.9
	R0t492	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5YR7/3浅黄	外面剥落		22.8
	R0t493	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y4/1黄灰	外面降灰釉		27.9
	R0t494	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:7.5YR5/1褐灰	外面押印(縦長格子文?)		28.1
	R0t495	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5YR5/3黄褐	外面降灰釉		19.1
	R0t496	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:7.5YR6/3にぶい褐			12.1
	R0t498	壺?	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y6/2灰黄			24.1
	R0t499	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y6/3にぶい黄	外面降灰釉		23.3
	R0t500	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y7/3浅黄	外面剥落		14.9
	R0t501	壺?	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:7.5YR6/1褐灰			20.9
	R0t503	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y7/3浅黄	外面剥落		7.4
	R0t504	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:10YR7/1灰白	外面押印(平行条線文?)		46.4
	R0t505	壺?	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:10YR7/1灰白			19.8
	R0t506	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:5Y4/3暗オリーブ	外面降灰釉		12.5
	R0t507	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:5Y5/3灰オリーブ	外面降灰釉		7.3
	R0t508	甕	肩部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:7.5YR3/1黒褐			6.9
	R0t509	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:10YR6/1褐灰			10.6
	R0t510	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y7/2灰黄			4.7
	R0t511	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y6/2灰黄			12.5

表6-14 国産陶器観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合関係	重量(g)
	R0t512	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y3/1黒褐	外面降灰釉、外面押印(格子文?)		8.8
	R0t513	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:5Y5/4オリーブ	外面降灰釉、Rot497と同一個体		11.5
	R0t514	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層下部	外:10YR6/3にぶい黄橙	外面押印(縦長格子文)		7.5
	R0t517	甕	胴部	渥美	83SD2	83SD2(83T7内) (かわらけ集中下)	にぶい黄褐色土層	外:10YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文)		22.6
	R0t522	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y6/2灰黄	外面降灰釉、外面押印(格子文)		27.0
	R0t523	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:10YR7/1灰白	外面押印(格子文)		30.3
	R0t524	壺?	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:2.5Y4/2オリーブ褐	外面降灰釉		3.3
	R0t525	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	II層下部	外:10YR7/1灰白	外面押印(縦長格子文)		7.2
	R0t526	壺	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:2.5Y7/3浅黄			6.0
	R0t527	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:5Y5/1褐灰			15.3
	R0t528	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	整地層上面	外:2.5Y6/3にぶい黄			16.4
	R0t529	甕	胴部	渥美	遺構外	48-45	整地層上面	外:2.5Y6/3にぶい黄	外面降灰釉		20.3
	R0t530	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	整地層上面	外:5Y5/3灰オリーブ	外面降灰釉		14.5
	R0t531	甕	胴部	常滑	遺構外	48-45	II層	外:10YR5/3にぶい褐			18.0
	R0t533	甕	頸部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:10YR5/1褐灰			20.8
	R0t534	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:10YR5/1褐灰			19.7
	R0t535	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:10YR7/1灰白			19.6
	R0t536	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:2.5Y5/1黄灰			6.8
	R0t537	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:2.5Y7/2灰黄			18.7
	R0t538	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46	II層	外:2.5Y7/3浅黄	外面降灰釉		10.2
	R0t539	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:10YR7/1灰白			7.8
	R0t540	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:10YR6/1褐灰			3.1
	R0t541	壺	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:10YR6/1褐灰			7.0
	R0t542	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46	II層	外:5YR4/1褐灰			10.7
	R0t543	片口鉢	胴部	常滑	遺構外	49-45・46	II層	外:N7/0灰白			17.8
	R0t544	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46	II層	外:5Y7/1灰白	外面剥落		9.3
	R0t545	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46	II層	外:10YR5/3にぶい黄褐	外面降灰釉		10.9
	R0t546	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46	II層	外:10YR7/2にぶい黄橙			13.6
	R0t547	甕	頸部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR5/2灰黄褐			15.1
	R0t548	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:2.5Y4/3オリーブ褐	外面降灰釉		9.9
	R0t549	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR6/1褐灰	外面押印(平行条線文?)		9.2
	R0t550	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:2.5Y5/3黄褐	外面降灰釉		32.8
	R0t551	甕	頸部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR6/1褐灰			23.8
	R0t552	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:2.5Y7/2灰黄			34.0
	R0t553	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR7/1灰白			17.2
	R0t554	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:7.5YR6/1褐灰	外面押印(-)		20.1
	R0t555	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:5YR5/3にぶい赤褐			6.4
	R0t556	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR6/2灰黄褐			6.5
	R0t557	壺?	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR6/1褐灰			5.0
	R0t558	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:7.5YR5/2灰褐	外面降灰釉、外面押印(縦長格子文)		23.9
	R0t559	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:2.5Y6/3にぶい黄	外面降灰釉		15.2
	R0t560	甕	口縁部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR3/1黒褐	端部欠		14.9

表6-15 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
	R0t562	片口鉢	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR6/1褐灰			12.1
	R0t563	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR2/1黒	外面降灰釉		12.5
	R0t564	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR6/3にぶい黄橙	外面押印(平行条線文)		15.8
	R0t566	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR5/1褐灰			23.2
	R0t567	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR6/2灰黄褐	外面押印(平行条線文?)		21.6
	R0t568	片口鉢?	口縁部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:7.5YR4/2灰褐			3.7
	R0t569	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:7.5YR4/4褐	外面押印(格子文?)		10.5
	R0t570	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR7/2にぶい黄橙			7.6
	R0t571	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR7/2にぶい黄橙	外面押印(平行条線文?)		24.3
	R0t573	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR5/1褐灰			69.8
	R0t577	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:7.5YR5/1褐灰			7.2
	R0t578	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:7.5YR5/3にぶい褐			16.2
	R0t579	甕	口縁部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:7.5YR5/1褐灰	Rot561と同一個体		9.6
	R0t580	甕	口縁部	常滑	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR4/3オリーブ褐	外面降灰釉		6.1
	R0t582	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:5YR5/1褐灰	外面押印(縦長格子文?)		12.2
	R0t583	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46北側	II層	外:10YR7/2にぶい黄橙	外面押印(格子文)、 Rot574と同一個体		19.7
	R0t585	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46南側	攪乱層	外:7.5YR7/1明褐灰			12.9
	R0t586	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46南側	攪乱層	外:5Y7/1灰白	外面剥落		21.0
	R0t587	甕	胴部	常滑	遺構外	49-45・46南側	II層	外:2.5Y7/2灰黄	外面剥落		30.4
	R0t588	甕	胴部	渥美	遺構外	49-45・46南側	II層	外:10YR7/1灰白			32.7
	R0t589	壺	胴部	渥美	遺構外	49-45・46南側	II層	外:2.5Y6/3にぶい黄	外面降灰釉		15.8
	R0t591	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:7.5YR5/1褐灰			38.0
	R0t592	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:7.5YR6/3にぶい褐	外面押印(平行条線文)		13.8
	R0t593	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:10YR5/2灰黄褐	外面降灰釉		14.4
	R0t594	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:7.5YR5/1褐灰	外面押印(格子文?)		19.9
	R0t595	片口鉢	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:2.5Y7/1灰白			22.9
	R0t596	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:5Y5/2灰オリーブ	外面降灰釉		17.2
	R0t597	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:10YR6/1褐灰			34.8
	R0t598	甕	口縁部	常滑	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:7.5YR3/1黒褐			11.8
	R0t599	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:10YR5/1褐灰			13.4
	R0t600	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:2.5Y6/1黄灰	外面降灰釉		31.6
	R0t601	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:7.5YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文?)		29.7
	R0t602	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:7.5YR5/3にぶい褐			7.8
	R0t603	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:7.5YR6/1褐灰			10.9
	R0t604	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:10YR6/3にぶい黄橙			11.2
	R0t605	甕	口縁部	渥美	遺構外	49・50-45~47 北側	II層	外:2.5Y5/2暗灰黄	内面降灰釉		11.9
	R0t606	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47 南側	II層	外:7.5YR6/1褐灰			17.3
	R0t607	壺?	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47 南側	II層	外:2.5Y6/3にぶい黄	外面降灰釉		14.8
	R0t608	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 南側	II層	外:7.5YR4/2灰褐	外面押印(平行条線文?)		20.0
	R0t609	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 南側	II層	外:7.5YR5/3にぶい褐			39.8
	R0t610	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45~47 南側	II層	外:5YR5/1褐灰	外面押印(平行条線文?)		14.0
	R0t611	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45~47 南側	II層	外:7.5YR3/2黒褐			6.7

表6-16 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
	R0t612	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:5Y7/2灰白	外面剥落		17.7
	R0t613	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:7.5YR5/2灰褐			7.6
	R0t614	壺?	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:5YR5/2灰オリーブ	外面降灰釉		6.6
	R0t615	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:10YR6/1褐灰			6.1
	R0t617	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:N5/0灰			21.3
	R0t618	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:10YR3/1黒褐	外面降灰釉		19.0
	R0t619	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:2.5YR4/1赤灰			17.8
	R0t620	片口鉢	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:2.5Y7/1灰白	内面降灰釉		22.5
	R0t621	不明	胴部	近世陶器	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:7.5YR4/1褐灰	内外面煤付着		6.6
	R0t622	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:7.5YR5/3にぶい褐	外面押印(-)		7.6
	R0t623	片口鉢	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:10YR7/1灰白			11.7
	R0t624	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:10YR7/3にぶい黄橙 内:10YR6/2灰黄褐	外面押印(格子文)		9.0
	R0t625	壺?	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 南側	II層	外:10YR6/1褐灰			11.6
	R0t626	甕	胴部	渥美	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:10YR6/1褐灰			10.2
	R0t627	片口鉢	胴部	渥美	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:7.5Y7/2灰白	内面降灰釉		6.9
	R0t628	甕	頸部	常滑	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:5Y4/3暗オリーブ	外面降灰釉		9.5
	R0t630	甕	頸部	常滑	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:10YR4/3にぶい黄褐	外面降灰釉		9.9
	R0t631	甕	胴部	渥美	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:5YR4/1褐灰			17.2
	R0t632	甕	頸部	渥美	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:10YR2/2黒褐	Rot561と同一個体か		16.8
	R0t633	甕	胴部	常滑	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:7.5YR5/3にぶい褐			4.9
	R0t634	壺	胴部	渥美	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:5YR5/1褐灰			6.5
	R0t635	甕	胴部	常滑	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:7.5YR5/4にぶい褐			14.2
	R0t636	甕	胴部	渥美	83SD26	49・50-45～47 83T5内北側溝	埋土	外:10YR6/1褐灰			12.2
	R0t639	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:7.5YR4/1褐灰			18.8
	R0t640	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:7.5YR4/1褐灰			12.7
	R0t641	壺	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:10YR7/2にぶい黄橙			18.3
	R0t642	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:2.5Y3/2黒褐	内面降灰釉		12.3
	R0t643	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:2.5Y6/2灰黄			8.8
	R0t644	壺?	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:10YR7/1灰白			15.1
	R0t645	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:2.5Y7/1灰白	外面押印(縦長格子文?)		28.4
	R0t646	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:7.5YR3/1黒褐			6.9
	R0t647	甕	頸部	渥美	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:2.5Y7/2灰黄			18.2
	R0t648	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47 東側	II層	外:7.5YR6/2灰褐			4.0
	R0t650	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47	II層下部	外:10YR6/1褐灰			49.6
	R0t652	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47	II層下部	外:5YR5/1褐灰			21.9
	R0t653	片口鉢	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47	II層下部	外:10YR7/1灰白			9.9
	R0t654	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47	II層下部	外:10YR5/1褐灰	外面押印(格子文?)		41.2
	R0t655	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47	II層下部	外:5Y6/2灰オリーブ	外面降灰釉		20.2
	R0t656	壺?	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47	II層下部	外:5YR5/1褐灰			10.5
	R0t657	甕	頸部	渥美	遺構外	49・50-45～47	II層下部	外:2.5Y7/1灰白	外面降灰釉		22.6
	R0t658	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47	II層下部	外:5Y5/2灰オリーブ	外面降灰釉		7.6
	R0t659	甕	肩部	常滑	遺構外	49・50-45～47	II層下部	外:5Y6/2灰オリーブ	外面降灰釉		22.5

表6-17 国産陶器観察表・登録台帳

掲載 番号	登録 番号	器種名	部位	産地	遺構名	出土地点	層位	色調	押印・特徴など	接合 関係	重量 (g)
	R0t660	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47	Ⅱ層下部	外:10YR6/1褐灰			12.3
	R0t661	片口鉢	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47	Ⅱ層下部	外:5Y7/1灰白			20.8
	R0t663	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47	Ⅱ層下部	外:5Y7/2灰白	外面降灰釉		13.9
	R0t664	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47	Ⅱ層下部	外:7.5YR5/3にぶい褐			4.9
	R0t665	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47	Ⅱ層下部	外:2.5YR4/1赤灰			10.0
	R0t667	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47	Ⅱ層下部	外:7.5YR5/3にぶい褐			4.6
	R0t668	山茶碗	胴部	渥美?	遺構外	49・50-45～47	Ⅱ層下部	外:7.5YR7/1明褐灰	内面降灰釉		1.2
	R0t669	甕	頸部	常滑	遺構外	49・50-45～47	Ⅱ層下部	外:5Y6/3オリーブ黄	外面降灰釉		25.3
	R0t670	甕	胴部	常滑	遺構外	49・50-45～47	Ⅱ層下部	外:7.5Y7/1灰白			4.2
	R0t671	甕	胴部	渥美	遺構外	49・50-45～47	表採	外:10YR7/1灰白	外面押印(格子文?)		68.5
	R0t673	鉢類	高台部	常滑	83SD4	83SD4(83T7内) (83SD2との境)	埋土	外:N6/1灰			8.0
	R0t680	瓦で登録									

表7 輸入陶磁器観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	種別	器種名	部位	出土遺構	出土地点	層位	重量(g)	色調	特徴	接合関係
37	R0g36	白磁	碗	口縁部	83SD2	83T4内	埋土上位 (砂質土層)	1.7	外:5Y7/2灰白 内:5Y7/2灰白	VI-1a類	
56	R0g30	白磁	皿	胴部	83SD1	83T4内	埋土	4.4	外:5Y7/2灰白 内:5Y7/2灰白		
57	R0g28	白磁	皿	口縁部	83SD1	83T4内	埋土	1.7	外:7.5Y7/1灰白 内:7.5Y7/1灰白		
58	R0g23	白磁	壺	口縁部	83SD1	42~45-40~43	埋土上位	23.1	外:5Y7/2灰白 内:5Y7/2灰白	二次焼成? III-1類	Rog10と 同一個体か
166	R0g18	青白磁	碗	胴部	83SX1	44・45-41・42 かわらけ集中範囲	検出面	1.1	外:7.5GY7/1明緑灰 内:7.5GY7/1明緑灰	II類	
167	R0g24	白磁	壺	胴部	83SX1	かわらけ集中 (83T7内)	褐灰~灰黄褐色土層	15.8	外:10YR8/1灰白 内:10YR8/1灰白	II類	
295	R0g25	青磁	碗	口縁部	遺構外	46~47-37~41	検出面 (地山面)	3.1	外:7.5Y6/2灰オリーブ 内:7.5Y6/2灰オリーブ		
296	R0g33	青磁	碗	胴部	遺構外	48-45	にぶい黄褐色土層下部	11.9	外:7.5Y6/2灰オリーブ 内:7.5Y6/2灰オリーブ		
297	R0g35	青磁	碗	胴部	遺構外	48~50-44~47	にぶい黄褐色土層上面	11.7	外:5Y6/2灰オリーブ 内:5Y6/2灰オリーブ		
298	R0g21	白磁	皿	口縁部	遺構外	83T4南側拡張	にぶい黄褐色土層	4.3	外:5Y7/2灰白 内:5Y7/2灰白	輪花・白堆線?VII-4類	
299	R0g32	白磁	皿	底部	遺構外	48-45	にぶい黄褐色土層下部	9.5	外:2.5Y7/2灰黄 内:2.5Y7/2灰黄	VII-1a類か	
300	R0g10	白磁	壺	口縁部	遺構外	46~48-41~45	表土~にぶい黄褐色土層	6.8	外:5Y6/3オリーブ 内:5Y6/3オリーブ黄	III-1類	Rog11
	R0g11	白磁	壺	胴部	遺構外	46~48-41~45	表土~にぶい黄褐色土層	2.2			83Rog10
301	R0g15	白磁	壺	底部	遺構外	46~48-41~45 (中央ベルト東隣南)	にぶい黄褐色土層下部	13.8	外:7.5Y8/1灰白 内:7.5Y8/1灰白	III-1類	
302	R0g16	白磁	壺	胴部	遺構外	45-41	にぶい黄褐色土層下部	4.9	外:10YRにぶい黄橙 内:10YR8/1灰白	II類	
303	R0g19	白磁	壺	底部	遺構外	83T4南側拡張	にぶい黄褐色土層	36.4	外:7.5Y8/2灰白 内:7.5Y8/2灰白	III-1類	
304	R0g31	白磁	壺	胴部	遺構外	48-45	にぶい黄褐色土層下部	6.7	外:5Y7/2灰白 内:5Y7/2灰白		
305	R0g34	白磁	壺	胴部	遺構外	48-45	にぶい黄褐色土層下部	13.1	外:5Y7/1灰白 内:5Y7/1灰白		
306	R0g04	白磁	皿	底部	試掘	83T1	盛土層~にぶい黄褐色土層	23.5	外:5Y7/2灰白 内:5Y7/2灰白	IV-1a類	
307	R0g02	白磁	壺	胴部	試掘	83T1	表土~にぶい黄褐色土層	32.4	外:2.5Y7/2灰黄 内:2.5Y7/2灰黄	II類	
308	R0g03	白磁	壺	胴部	試掘	83T1	表土~にぶい黄褐色土層	10.3	外:5Y7/2灰白 内:2.5Y7/1灰白		
309	R0g01	白磁	碗	口縁部	試掘	83T1	表土~にぶい黄褐色土層	8.4	外:5Y7/1灰白 内:5Y7/1灰白	VIII-1or3類	
	R0g29	白磁	壺	胴部	83SD1	83T4内	埋土	2.2	7.5Y7/1灰白		
	R0g22	白磁	壺	胴部?	83SD8	83T4内	埋土	2.2	5Y7/1灰白		
	R0g37	青磁	碗	胴部	遺構外	49-45・46南側	にぶい黄褐色土層	3.6	7.5Y6/1灰		
	R0g26	青磁	碗	胴部	遺構外	44-41・42	にぶい黄褐色土層下部	1.1	2.5GY6/1オリーブ灰		
	R0g27	陶器?	碗	胴部	遺構外	46・47-43・44	にぶい黄褐色土層下部	1.9	2.5Y6/3にぶい黄		
	R0g13	白磁	壺	胴部	遺構外	46・47-37~41	表土~にぶい黄褐色土層	5.4	5Y7/1灰白		
	R0g14	白磁	壺	胴部	遺構外	46~48-41~45 中央ベルト東隣南	にぶい黄褐色土層下部	1.1	10YR8/2灰白	外面剥落	
	R0g20	白磁	壺	底部	遺構外	83T4南側拡張	にぶい黄褐色土層	8.4	5Y8/1灰白		83Rog19と 同一個体
	R0g12	白磁	壺	頸部?	遺構外	46・47-37~41	表土~にぶい黄褐色土層	3.2	5Y7/1灰白		
	R0g17	白磁	碗	胴部	遺構外	45-41	にぶい黄褐色土層下部	1.5	7.5Y7/1灰白		
	R0g09	青磁	碗	胴部	試掘	83T4	表土層~にぶい黄褐色土層	2.6	5Y5/3灰オリーブ		
	R0g07	白磁	壺	胴部	試掘	83T4	表土層~にぶい黄褐色土層	4.6	7.5Y7/1灰白		
	R0g05	白磁	壺	胴部	試掘	83T1拡張	にぶい黄褐色土層(3層目)	3.0	7.5Y6/1灰		
	R0g06	白磁	壺	胴部	試掘	83T1拡張	暗~黒褐色土層(2層目)	4.9	5Y7/1灰白		
	R0g08	白磁	壺	胴部	試掘	83T2南端	にぶい黄褐色土層下部	1.9	5Y7/1灰白		

表8 瓦観察表・登録台帳

掲載番号	登録番号	器種名	遺構名	出土地点・遺構名 (グリッド)	層位	重量 (g)	色調	特徴	備考
38	RT01	瓦	83SD2	46～48-41～45	検出面	31.7		平瓦	Rot462と同一個体?
310	R0t680	瓦	遺構外	49～51-47・48	I層～II層	71.8			
311	R0t462	瓦	遺構外	47・48-43・44	にぶい黄褐色土層	55.1		平瓦	Rot680と同一個体?

表9 石製品観察表・登録台帳

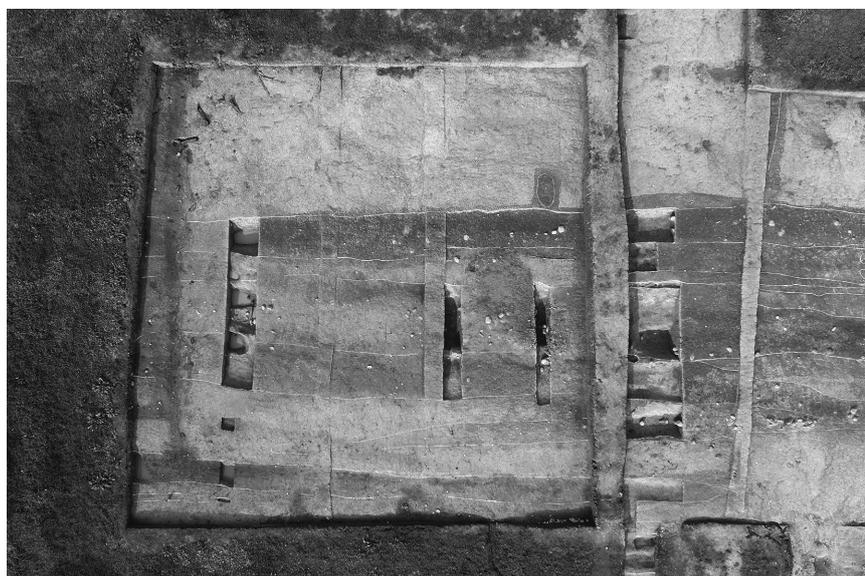
掲載番号	登録番号	器種名	出土遺構	出土地点	層位	重量 (g)	石材	特徴
59	83RQa001	砥石	83SD1	42～45-40～43	埋土上位(～20cm)	169.4	凝灰岩	中砥?

写 真 图 版

調査区 全景 上が北東



調査区西側 全景 上が北東



調査区東側 全景 上が北東



72SD2 検出状況 上が北東



72SD2 検出状況 東→



83T13 断面 南東→



83SK5 断面 南東→



80SC1-80SC2
全景 南東→



83SD2 (83T4)
完掘 南東→



83SD2 (83T12)
断面 南東→



83SD2 (83T6)
断面 南東→



83SD2 (83T7)
断面 南東→



83SD2 (83T4)
断面 北西→



83SD2 (83T8)
断面 北西→



29SD1 (83T4)
断面 南東→



83SD1 (83T4)
全景 北東→



83SD1 (83T4)
断面 南東→



83SD1 (83T8)
断面 北西→



83SD1 (83T12)
断面 南東→



83SD4・83SD10
全景 南東→



83SD10・83SA3 (83T10)
断面 北西→



73SD7・83SD10・
83SD11 (83T10)
断面 南東→



83SD4 (83T4)
断面 南東→



83SD4・83SD5 (83T8)
断面 西→



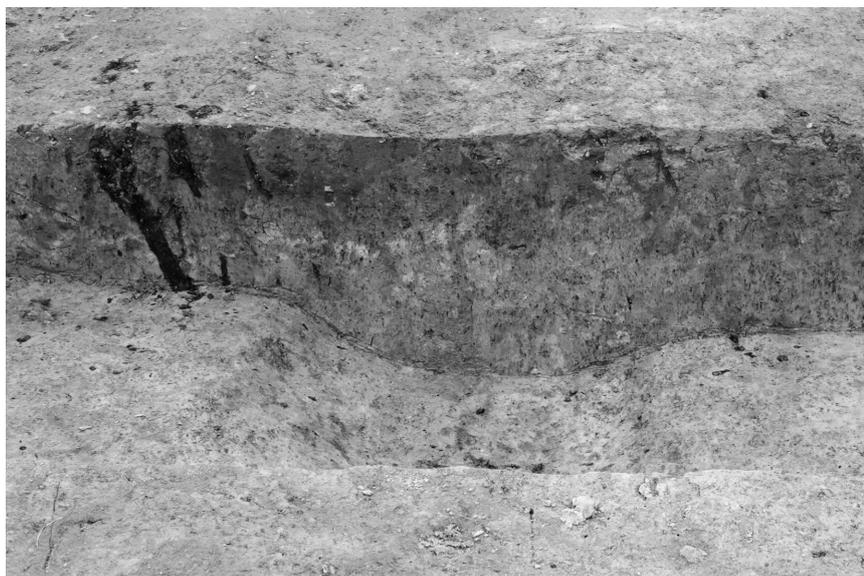
83SD5 (83T4)
断面 南東→



83SD6 (83T4)
断面 南東→



83SD9 (83T8)
断面 北西→



83SD25 (83T4)
断面 南東→



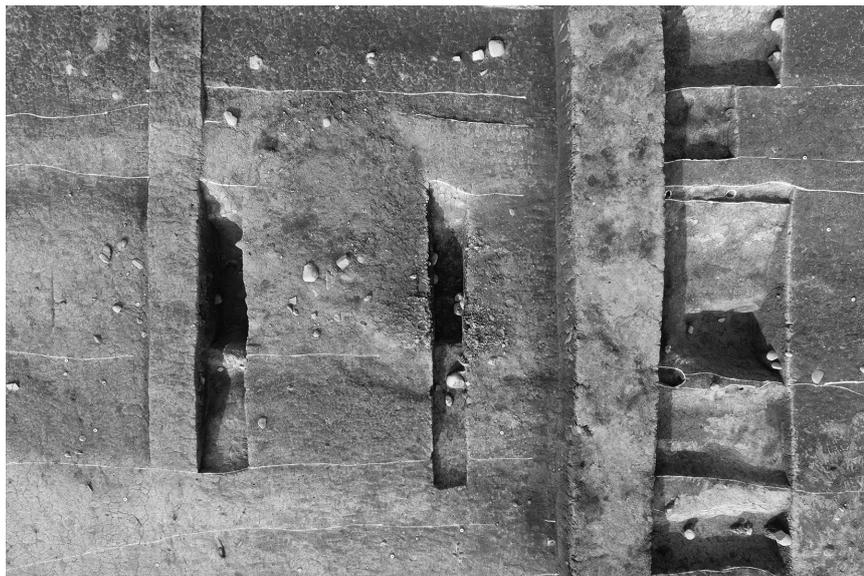
83SD10・26・27 (83T5)
断面 南東→



83SX3 (83T12)
断面 南東→



83SX1 全景 上が北東



83SX1 (83T7)
断面 南東→



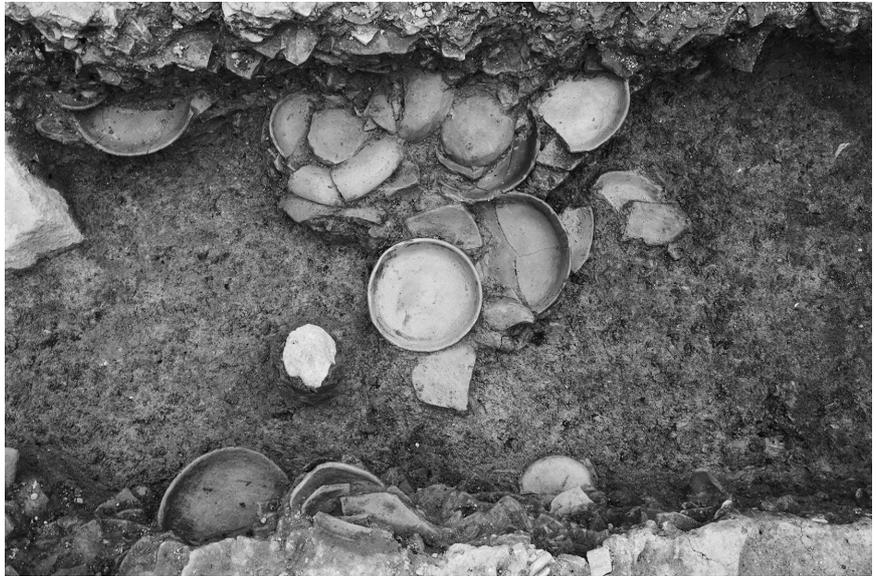
83SX1 検出状況 南東→



83SX1 かわらけ出土状況
(83T7) 南東→

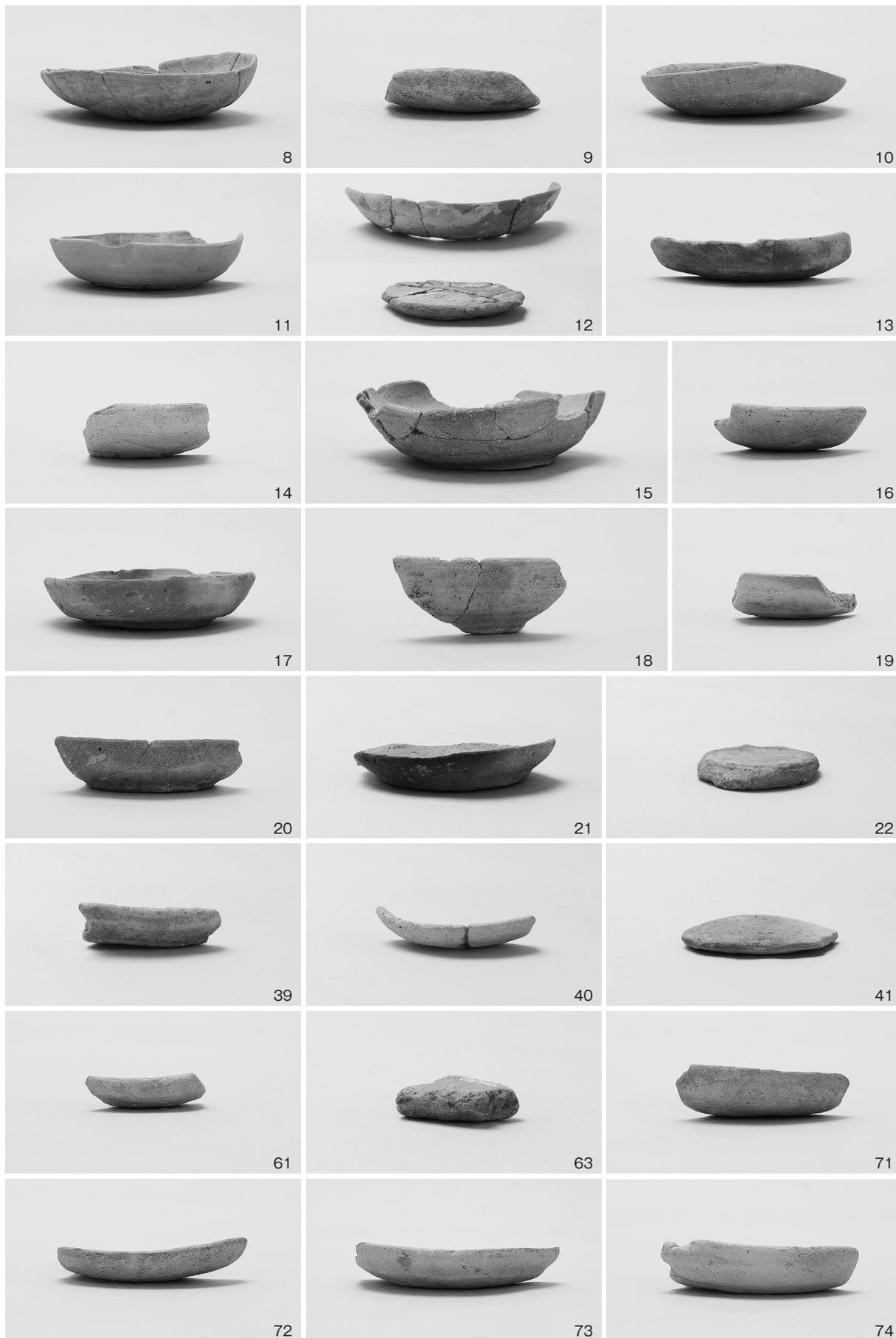


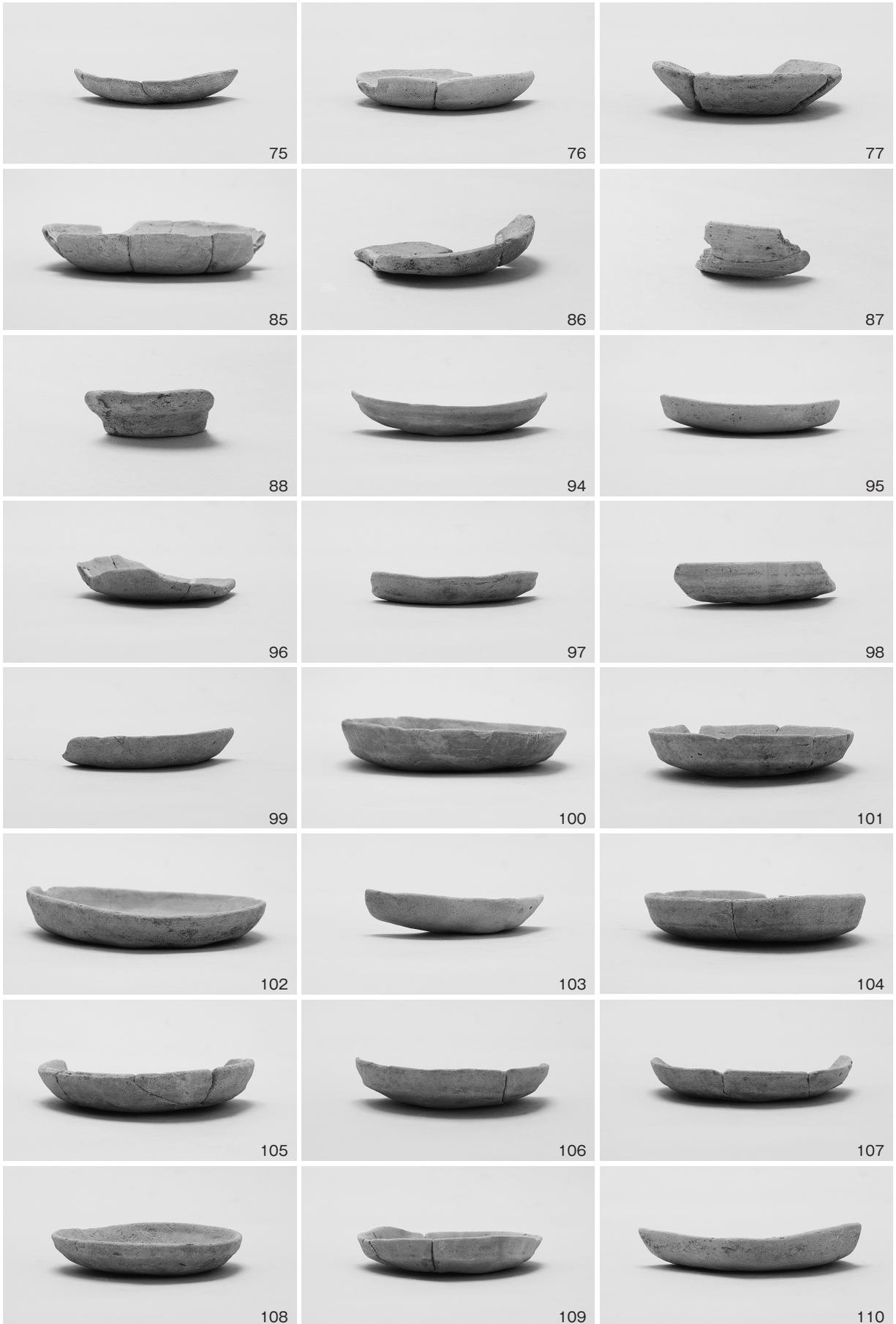
83SX1 遺物出土状況
(83T7出土状況図の下)
南東→

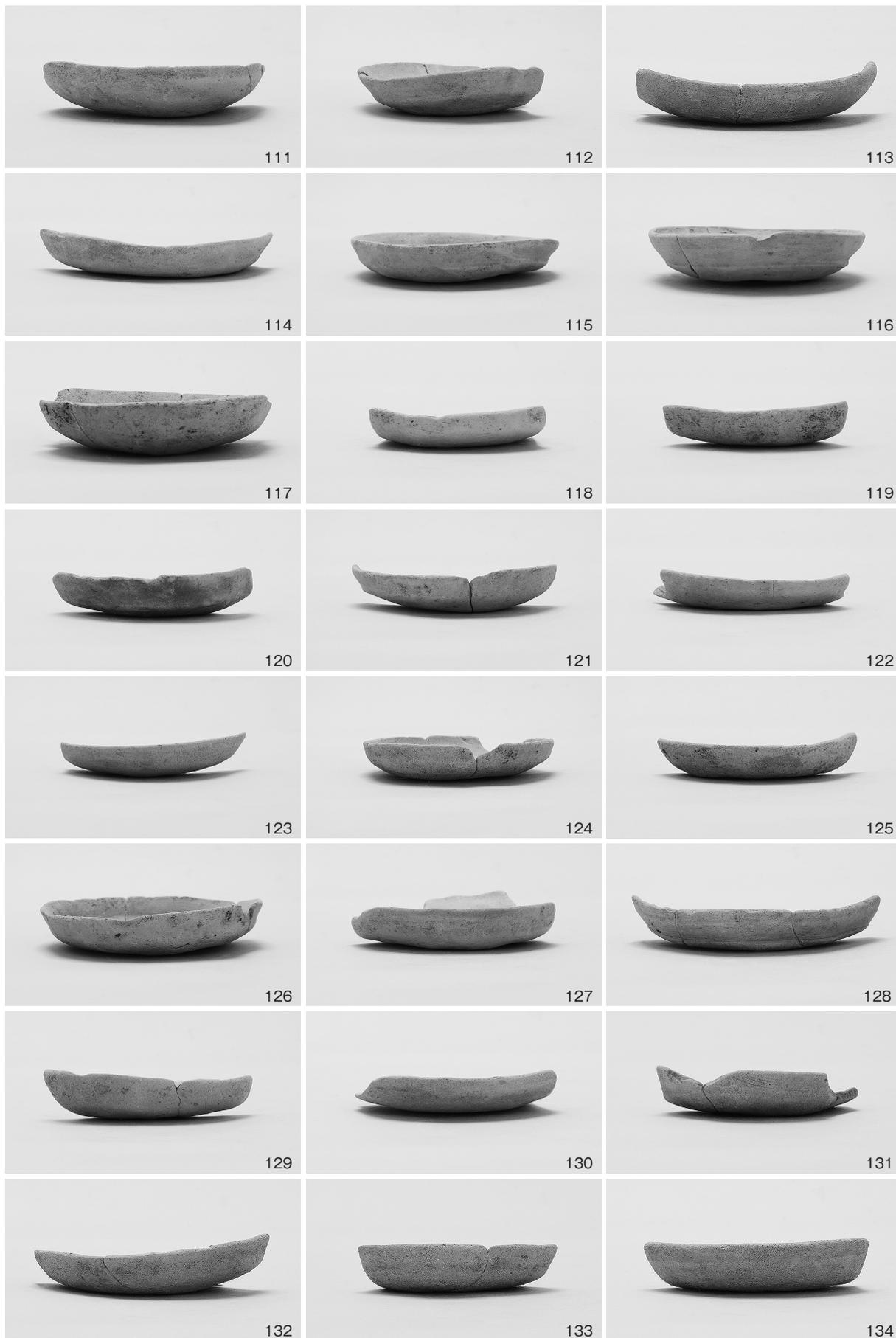


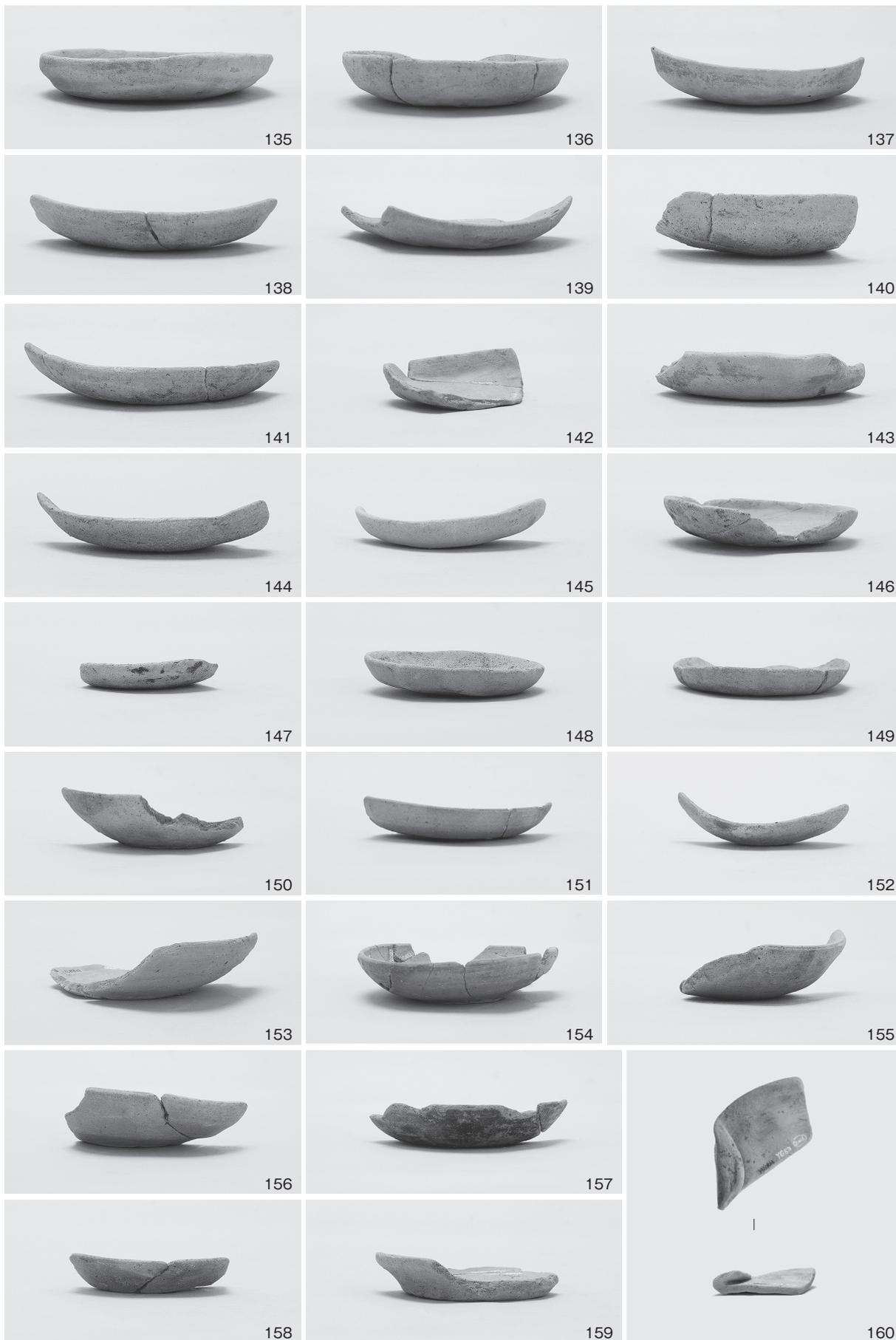
整地層 (83T8)
断面 北西→



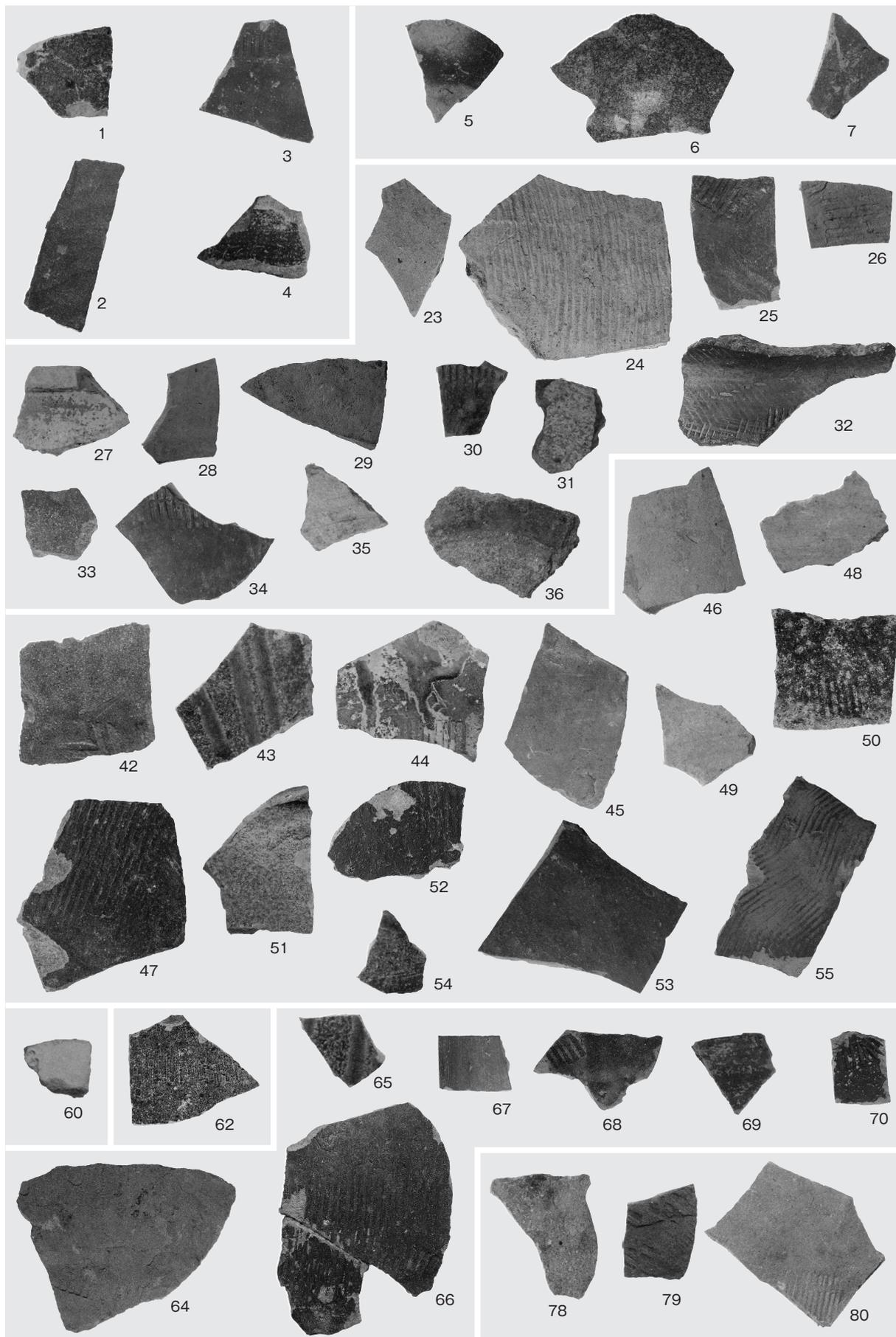


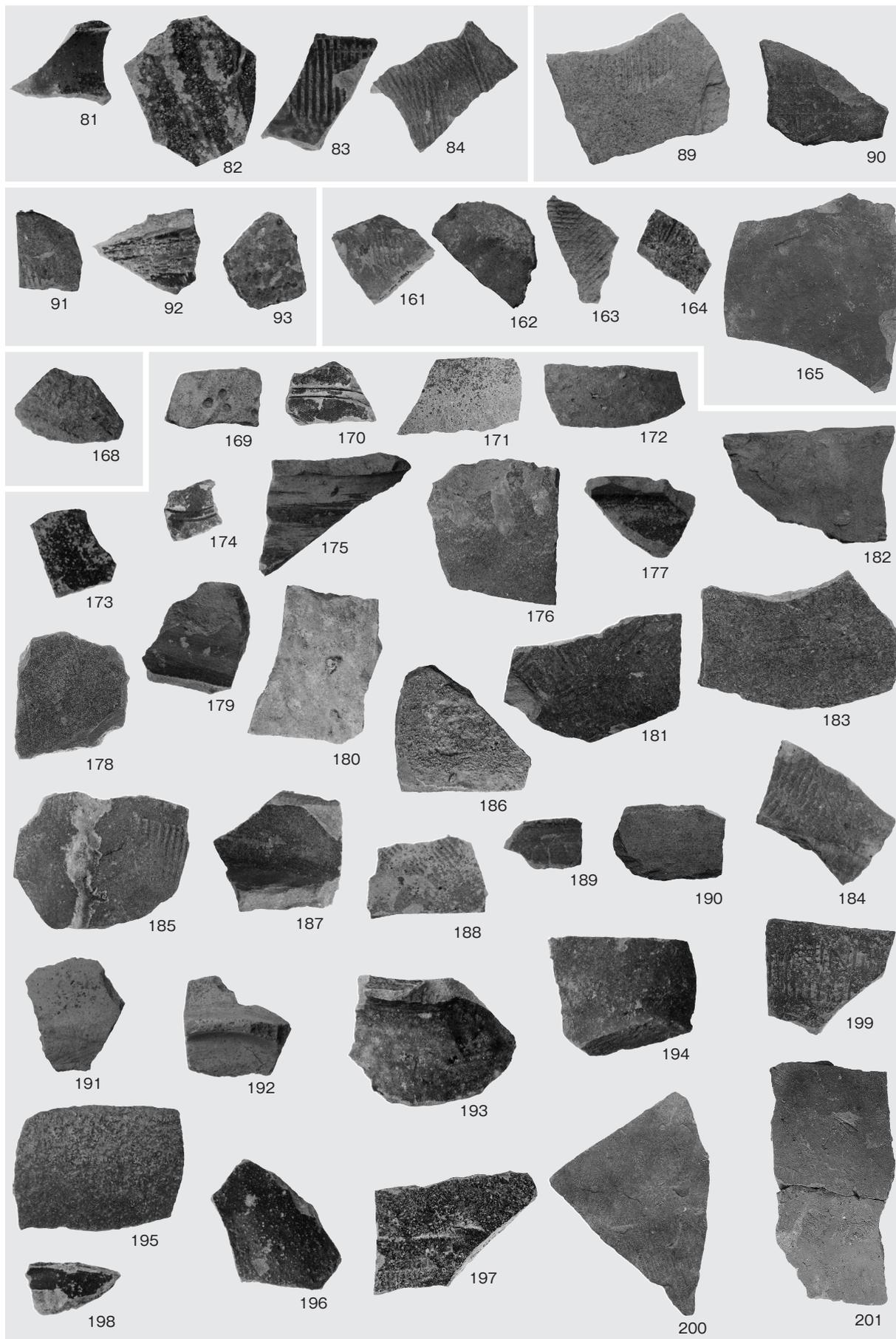




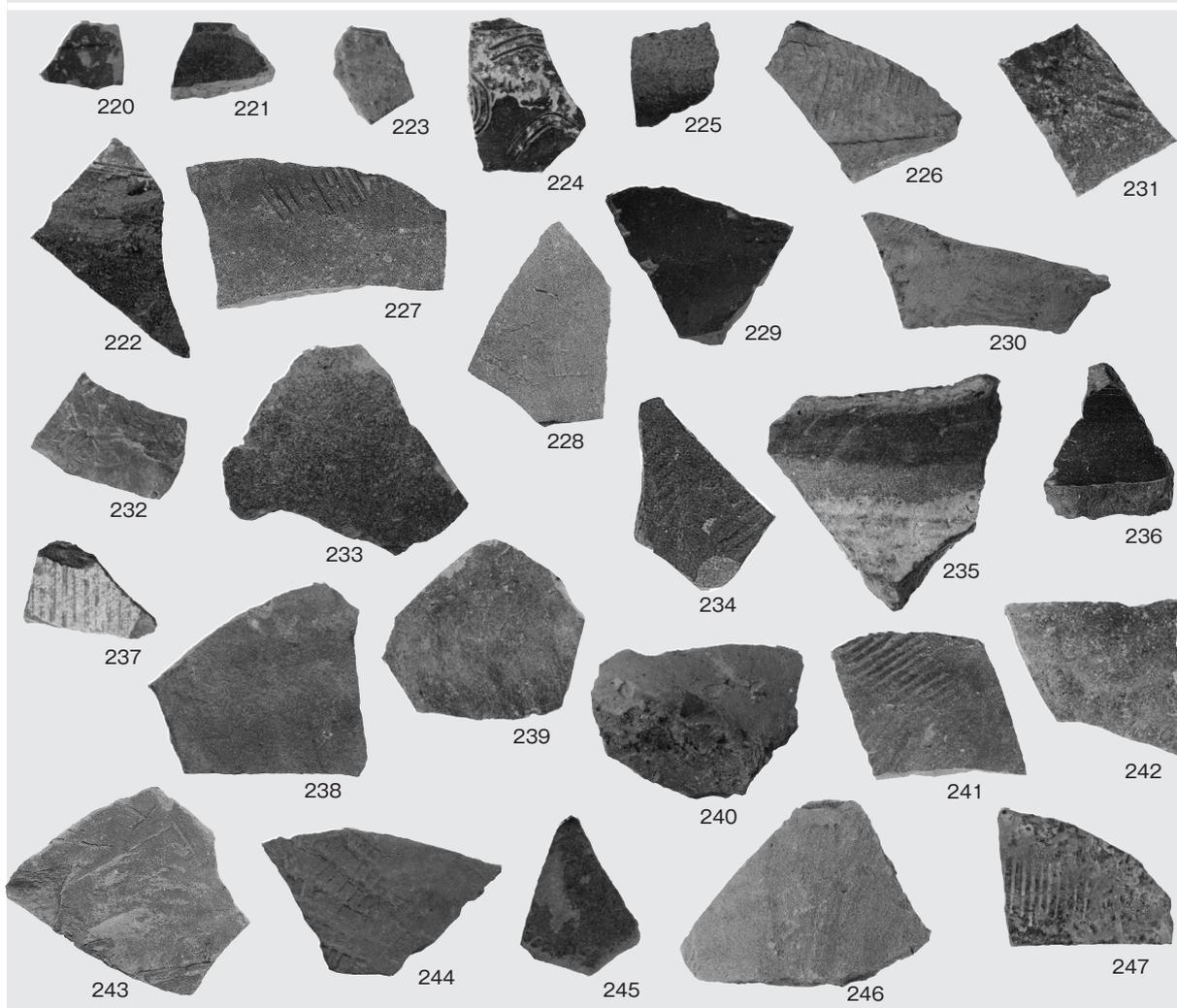
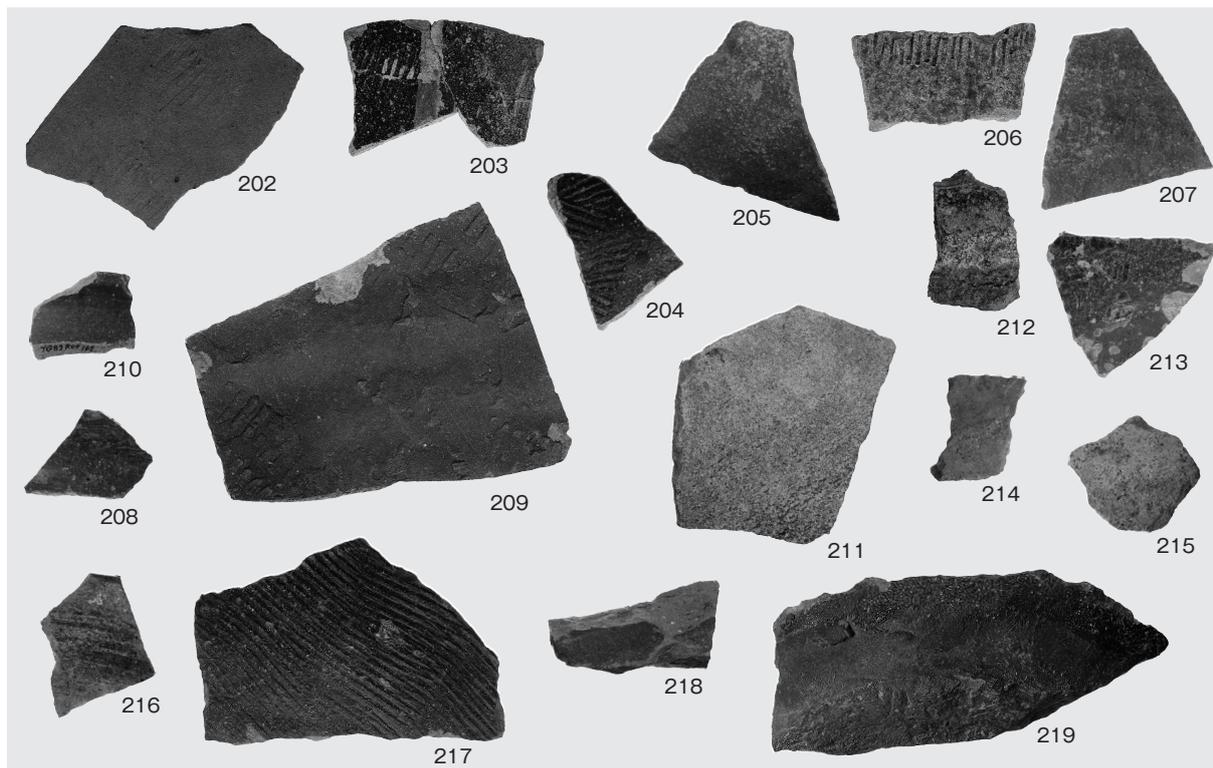


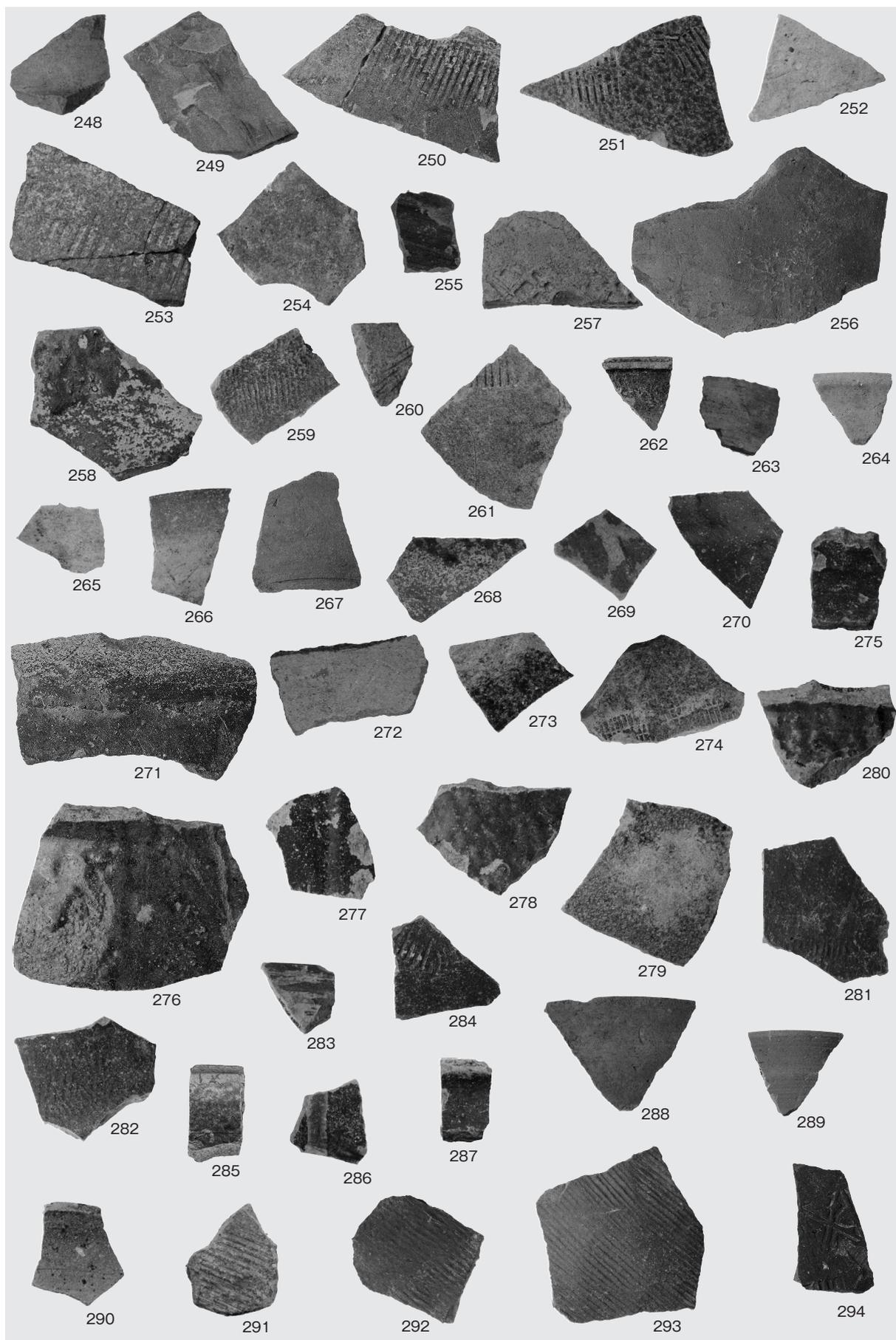
土器・陶磁器類④



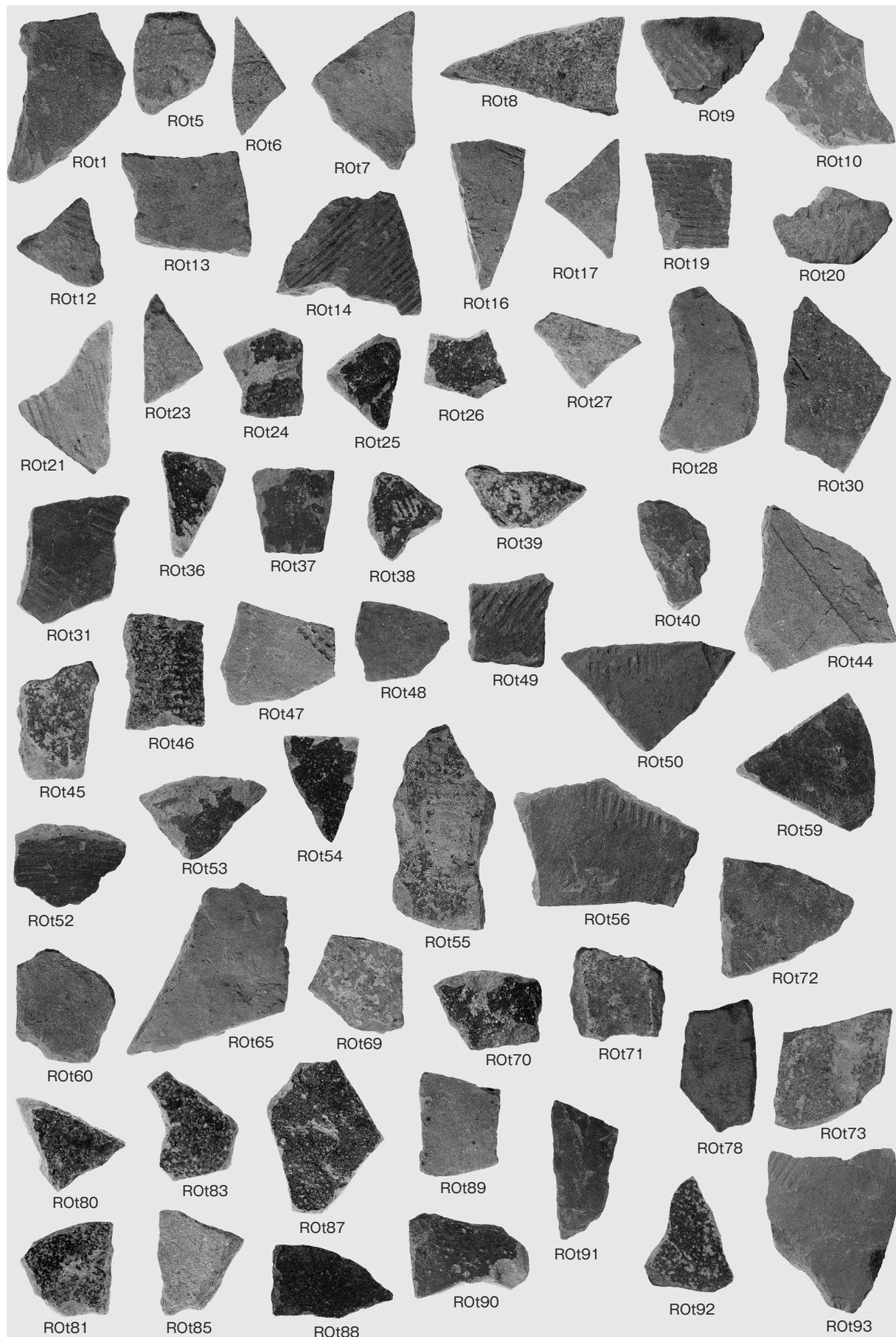


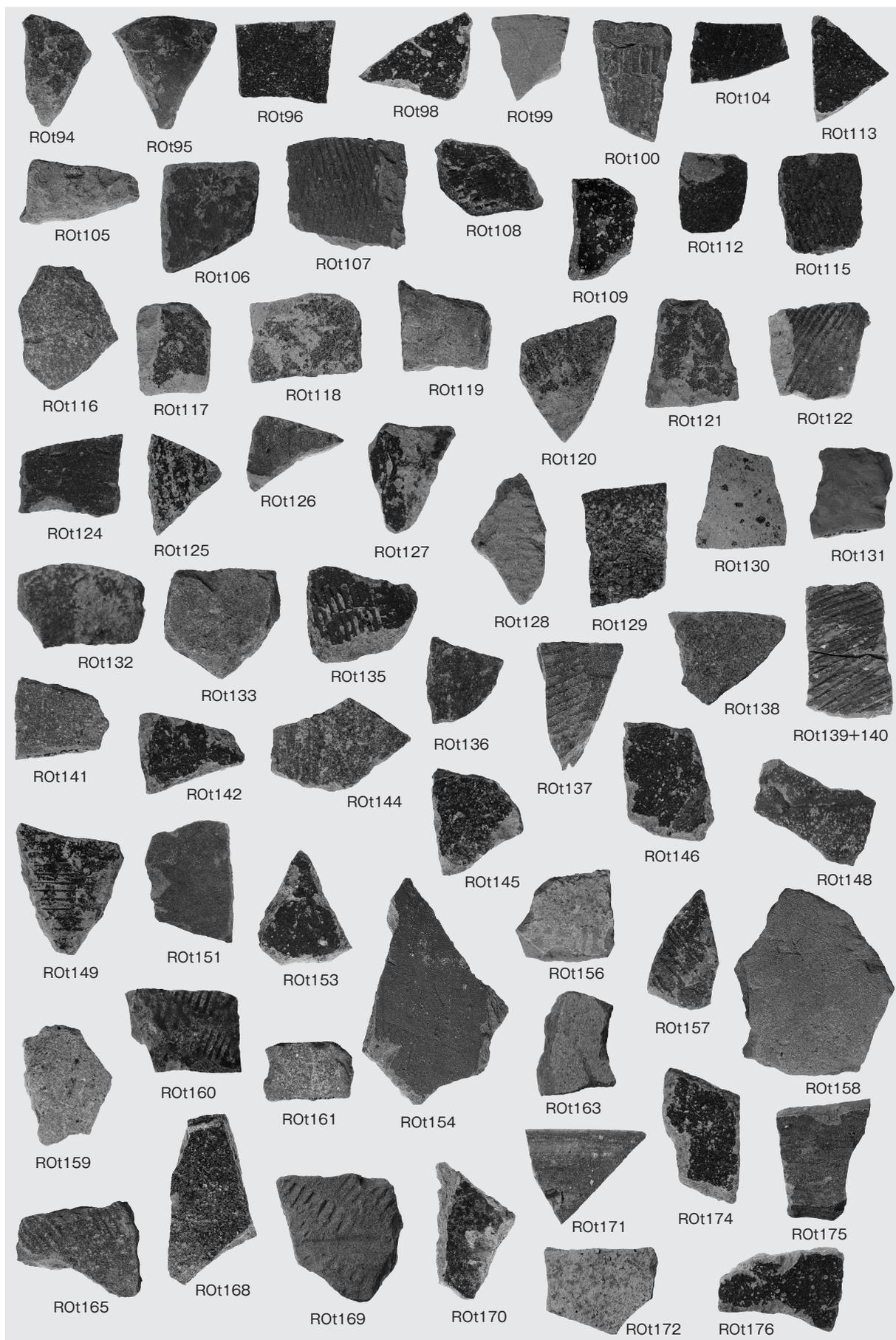
土器・陶磁器類 ⑥

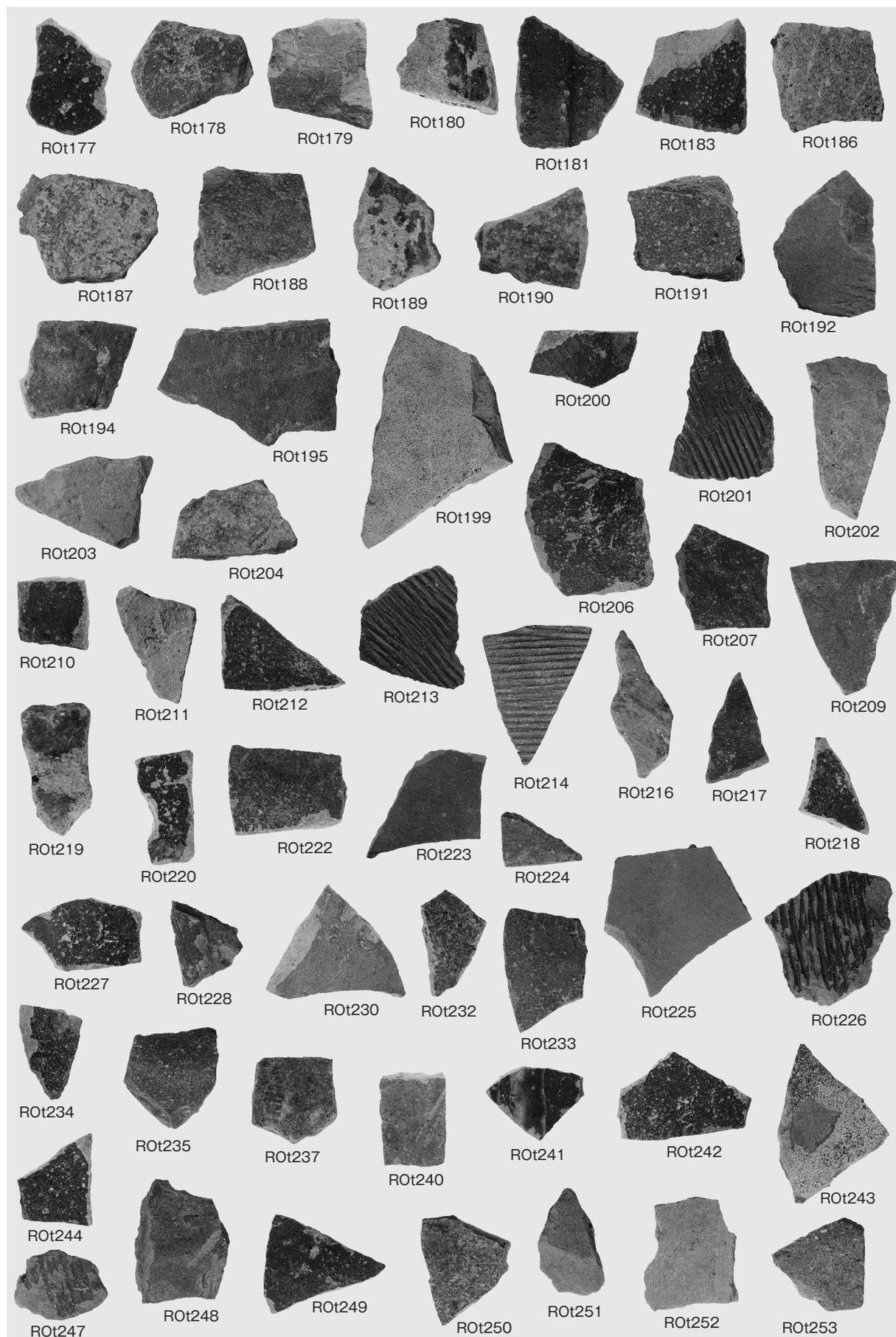


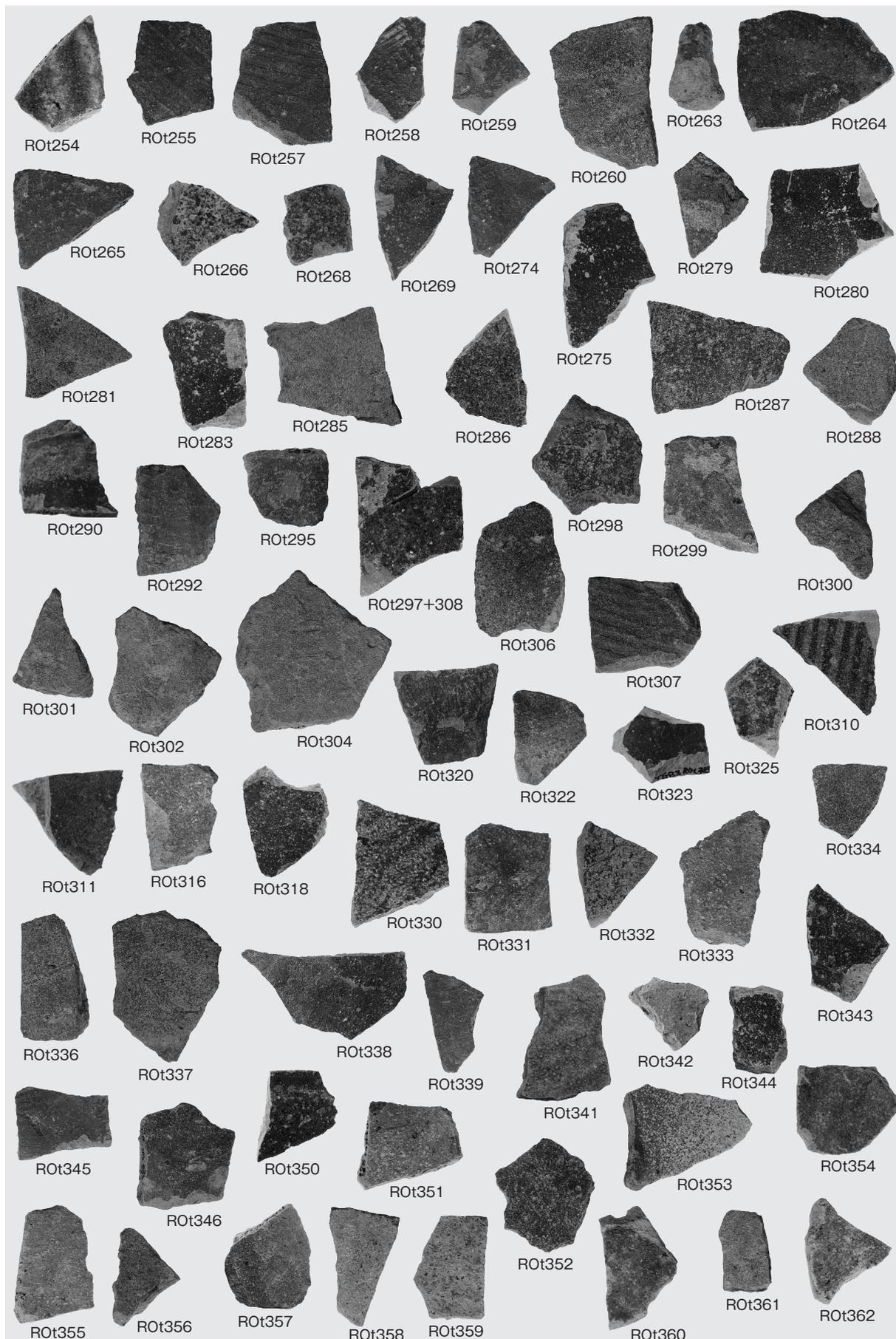


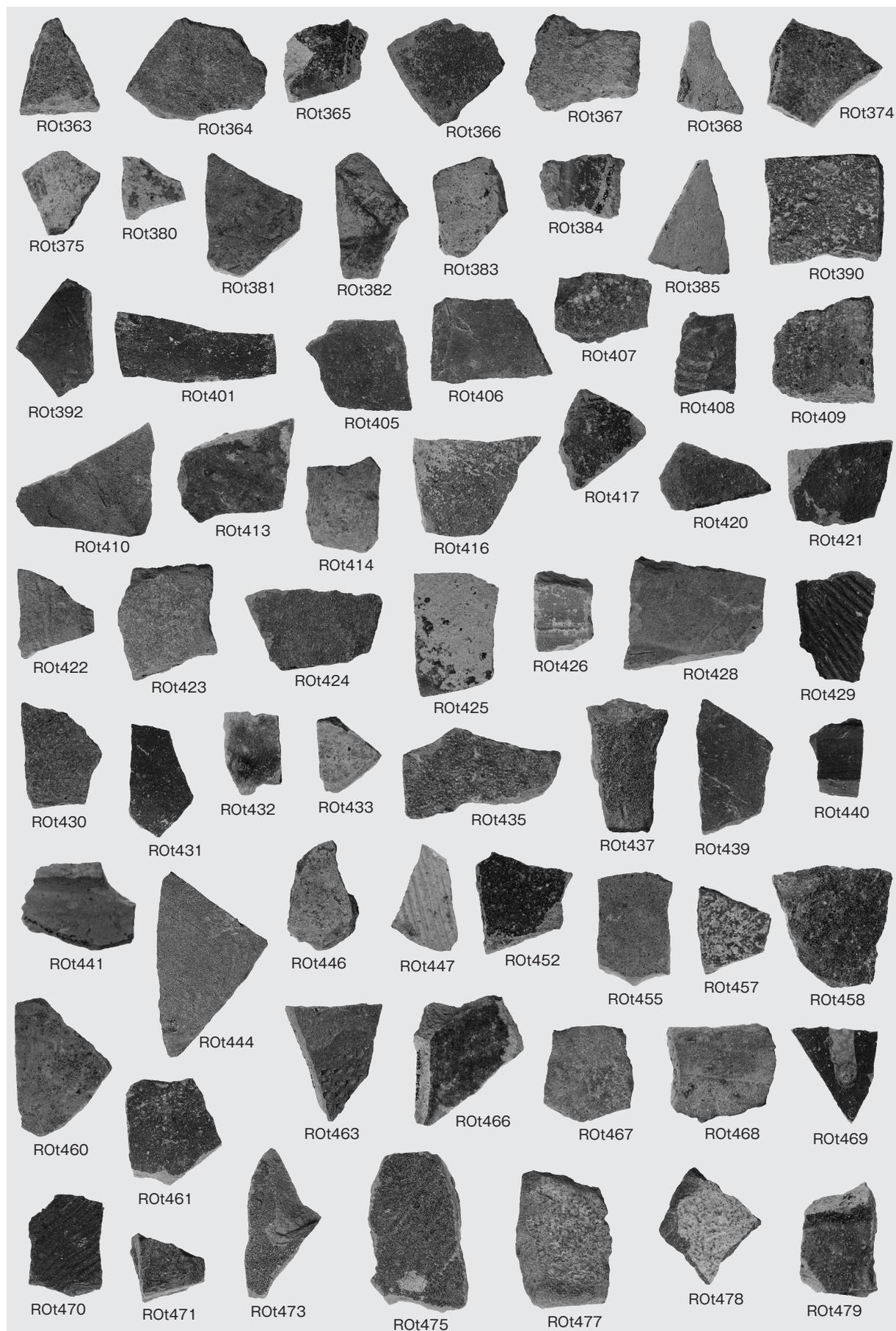
土器・陶磁器類 ⑧

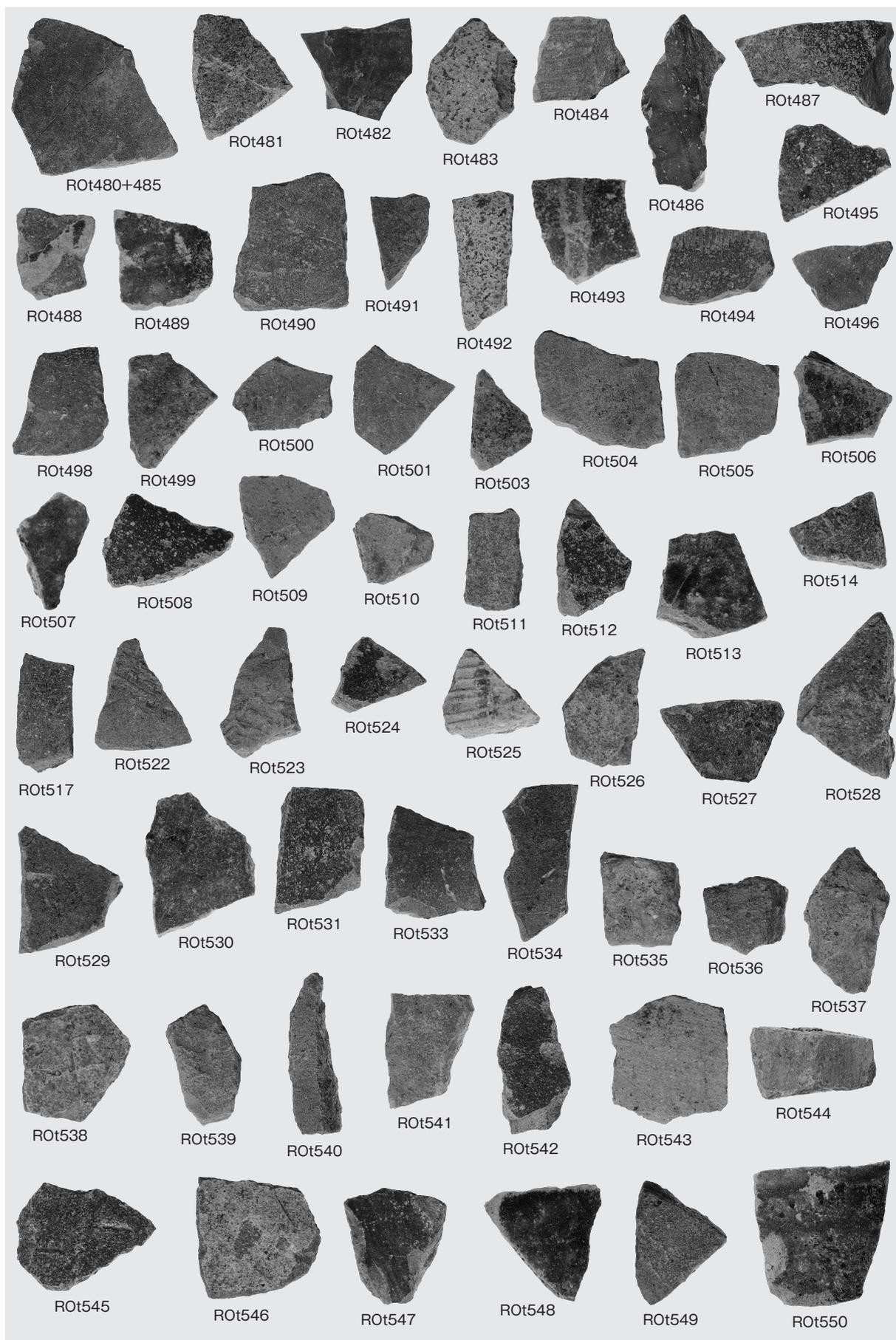




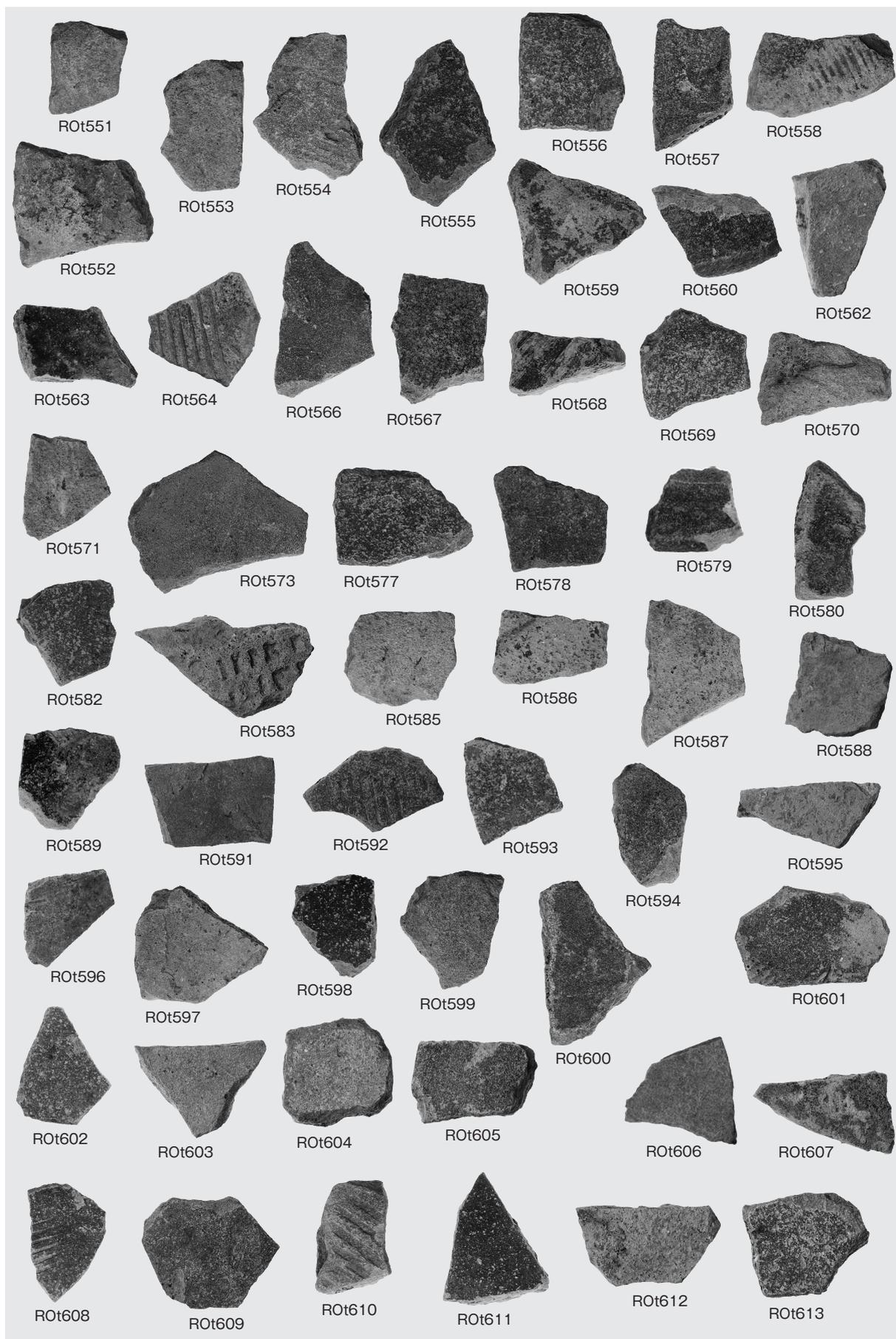


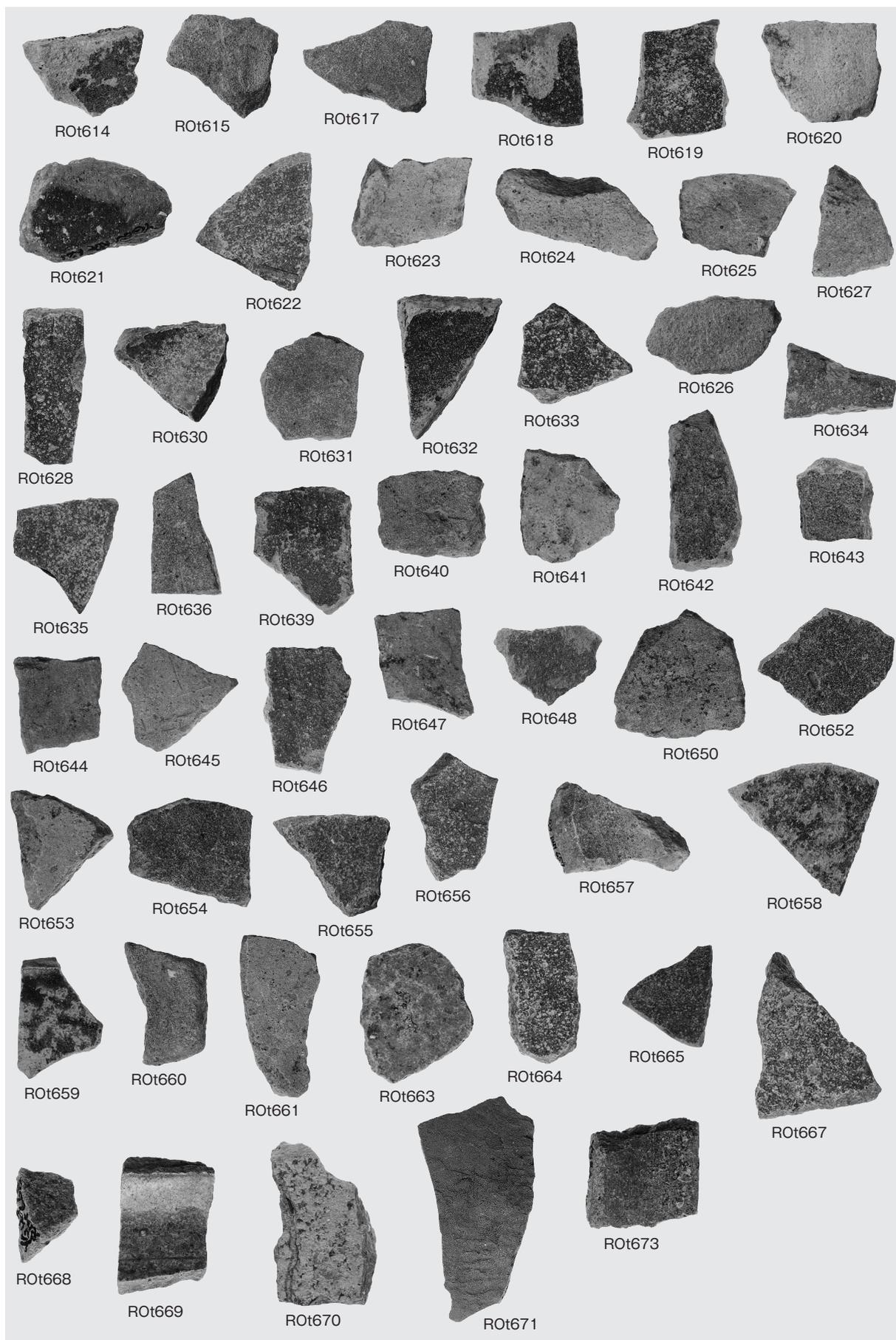


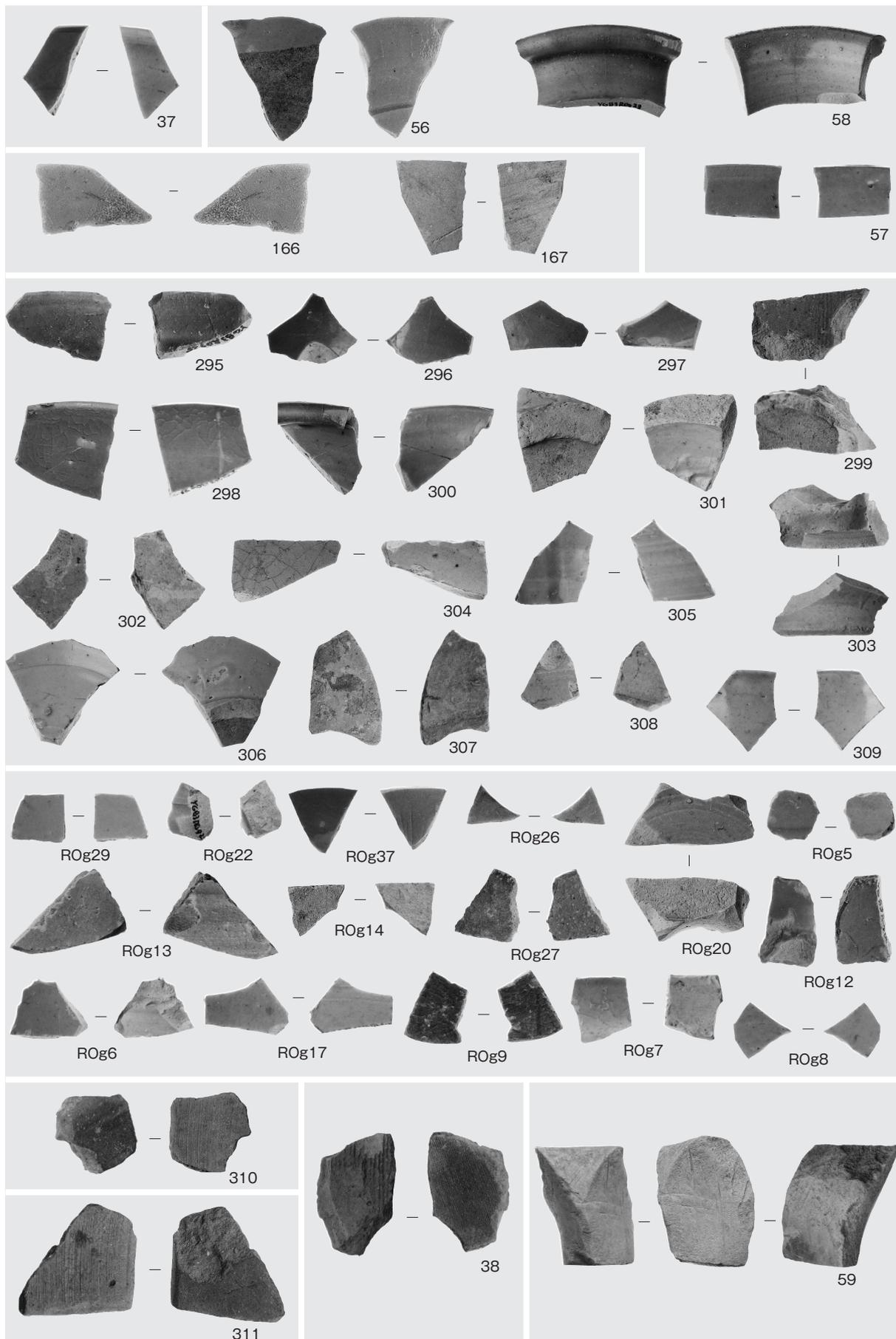




土器・陶磁器類 ⑭







報告書抄録

ふりがな	ひらいずみいせきぐんはくつちょうさほうこくしょ やなぎのごしょいせき							
書名	平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡							
副書名	第83次発掘調査概報							
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第166集							
編集者名	中村 孝 北村忠昭							
編集機関	岩手県教育委員会							
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL019-629-6488							
発行年月日	令和5年3月24日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
やなぎのごしょいせき 柳之御所遺跡	いわてけん 岩手県 にしいわいぐん 西磐井郡 ひらいずみちやう 平泉町 ひらいずみあざ 平泉字 やなぎのごしょ 柳御所	03402	NE76-0190	38度59分 28秒	141度7分 35秒	2021 0601~1031	800	内容確認 調査
ふりがな 所収遺跡名	種別	主な 時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
やなぎのごしょいせき 柳之御所遺跡	居館跡	平安 時代	道路状遺構 溝跡 土坑 井戸跡 柱穴		かわらけ 国産陶器（渥美産・ 常滑産・須恵器系陶器） 中国産磁器（白磁・ 青磁・青白磁）			
要約	柳之御所遺跡の第83次調査の概報である。調査は、堀外部地区で行ったものである。堀外部地区で発見されている道路跡の延長を探るのが主な目的である。調査の結果、2条の道路跡の延長を確認したが、一部不明瞭な点が残された。また、これらの道路跡（道路側溝）よりも、古い溝跡を重複した状況で複数検出し、道路側溝の可能性を想定した。したがって、これまで道路跡は2時期と想定していたが、造り替えを含め、それ以上の時期が存在する可能性がある。							

岩手県文化財調査報告書 第166集

平泉遺跡群発掘調査報告書

柳之御所遺跡

—第83次発掘調査概報—

印刷日 令和5年3月24日

発行日 令和5年3月24日

発行 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

電話 (019) 629-6171 (代表)

印刷 株式会社 一関プリント社

〒021-0031 岩手県一関市青葉一丁目7-24

電話 (0191) 23-4586

